

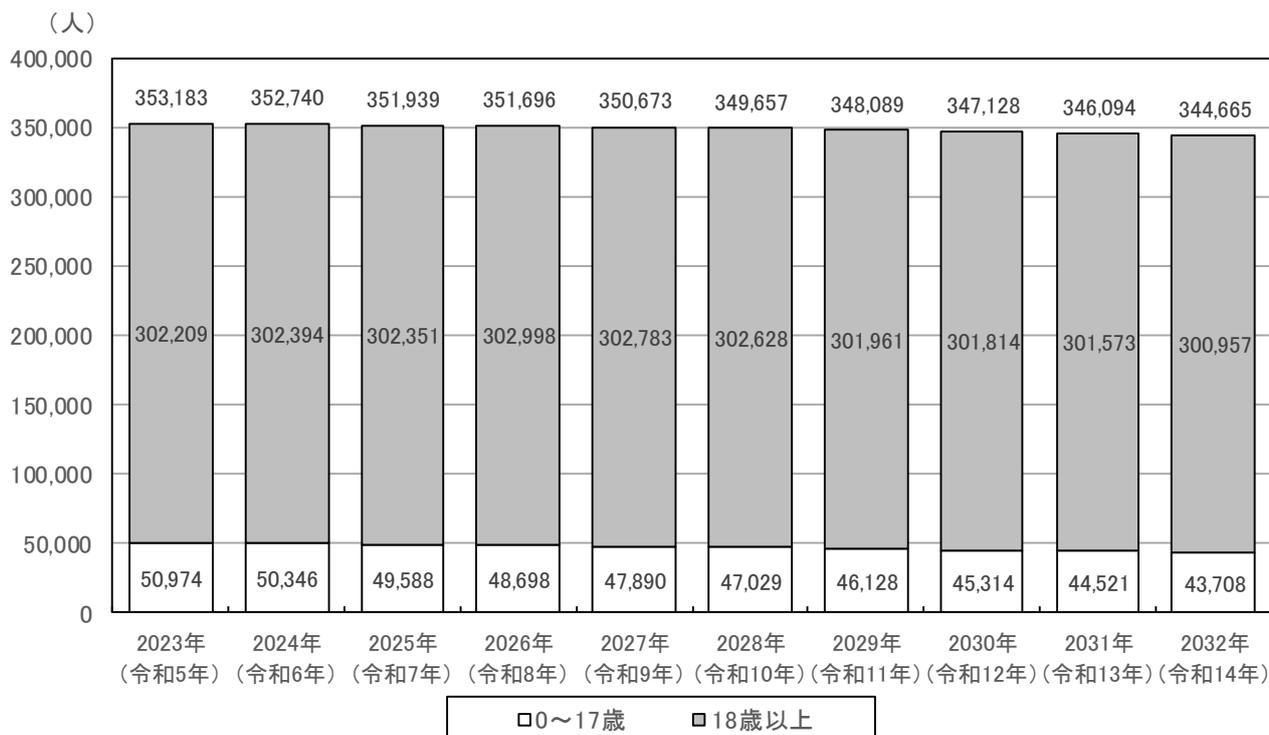
第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

第1章 人口推計

(1) 川越市の総人口と17歳以下の子どもの数の将来予測

総人口は各年の3月1日段階での年齢で、2023年（令和5年）から2032年（令和14年）にかけて微減傾向になると推計されます。

18歳以上の人口は、2026年以降は微減傾向になる一方、17歳以下の人口は総人口と同様の傾向が見られ、2023年の50,974人から微減傾向で、2032年には43,708人になると推計されます。



■年齢別人口推計結果

(単位:人)

	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)	2030年 (令和12年)	2031年 (令和13年)	2032年 (令和14年)
合計	353,183	352,740	351,939	351,696	350,673	349,657	348,089	347,128	346,094	344,665
18歳以上	302,209	302,394	302,351	302,998	302,783	302,628	301,961	301,814	301,573	300,957
0～17歳	50,974	50,346	49,588	48,698	47,890	47,029	46,128	45,314	44,521	43,708

(2) 年齢別(3歳区分)子どもの数の将来予測

17歳以下の2024年(令和6年)から2032年(令和14年)までの子どもの数の変化を年齢別に分析すると、以下のようになります。

0歳では、2,129人から2,115人へ14人(0.7%)減少します。1、2歳では、4,451人から4,378人へ73人(1.6%)減少します。

3～5歳では、7,520人から6,669人へ851人(11.3%)減少します。

6～17歳では、36,246人から30,546人へ5,700人(15.7%)減少します。

■年齢別人口推計結果(実数)

(単位:人)

	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)	2030年 (令和12年)	2031年 (令和13年)	2032年 (令和14年)
0歳	2,121	2,129	2,104	2,108	2,110	2,115	2,117	2,114	2,114	2,115
1、2歳	4,664	4,451	4,399	4,383	4,362	4,368	4,375	4,382	4,381	4,378
3～5歳	7,800	7,520	7,179	6,965	6,757	6,680	6,668	6,649	6,660	6,669
5歳までの合計	14,585	14,100	13,682	13,456	13,229	13,163	13,160	13,145	13,155	13,162
6～17歳	36,389	36,246	35,906	35,242	34,661	33,866	32,968	32,169	31,366	30,546
18歳以上	302,209	302,394	302,351	302,998	302,783	302,628	301,961	301,814	301,573	300,957
合計	353,183	352,740	351,939	351,696	350,673	349,657	348,089	347,128	346,094	344,665

■年齢別人口推計結果(比率)

	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)	2030年 (令和12年)	2031年 (令和13年)	2032年 (令和14年)
0歳	99.6%	100.0%	98.8%	99.0%	99.1%	99.3%	99.4%	99.3%	99.3%	99.3%
1、2歳	104.8%	100.0%	98.8%	98.5%	98.0%	98.1%	98.3%	98.4%	98.4%	98.4%
3～5歳	103.7%	100.0%	95.5%	92.6%	89.9%	88.8%	88.7%	88.4%	88.6%	88.7%
5歳までの合計	103.4%	100.0%	97.0%	95.4%	93.8%	93.4%	93.3%	93.2%	93.3%	93.3%
6～17歳	100.4%	100.0%	99.1%	97.2%	95.6%	93.4%	91.0%	88.8%	86.5%	84.3%
18歳以上	99.9%	100.0%	100.0%	100.2%	100.1%	100.1%	99.9%	99.8%	99.7%	99.5%
合計	100.1%	100.0%	99.8%	99.7%	99.4%	99.1%	98.7%	98.4%	98.1%	97.7%

※2024年を100%に設定した割合

第2章 調査の概要

1. 調査の目的・対象・方法等

(1) 調査の目的

この調査は、川越市在住の子どもの保護者に対してアンケート調査を行い、次期（仮称）川越市子ども計画の策定の基礎となる、幼児教育・保育及び地域の子育て支援の量の見込みの設定及び今後の利用希望による各事業のニーズ量を適切に把握し、川越市の子ども・子育て支援施策の参考とするものです。

(2) 調査の種類及び対象者

この調査の種類と対象者は下表のとおりです。

図表 1-2-1-1 調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
就学前児童保護者用アンケート	就学前児童がいる家庭の保護者（住民基本台帳より無作為に抽出）	2,400人
放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者用アンケート	放課後児童クラブ（学童保育）を利用している児童の保護者	3,079人

※抽出日：令和5年9月14日

(3) 抽出方法

就学前児童保護者用アンケート：住民基本台帳からの無作為抽出

放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者用アンケート：放課後児童クラブ（学童保育）利用児の保護者全員

(4) 調査方法

就学前児童保護者用アンケート

〔配布〕 郵送配布

〔回収〕 郵送回収又はインターネット回答

放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者用アンケート

〔配布〕 放課後児童クラブ（学童保育）を通じて配布

〔回収〕 放課後児童クラブ（学童保育）を通じて回収、郵送回収又はインターネット回答

(5) 調査期間

令和5年9月25日（月）から同年10月20日（金）まで

2. 回収結果

回収結果は下表のとおりです。

図表 1-2-2-1 有効回答数（上段）及び有効回答率（下段）

区分	配布数	有効回答数	うち郵送回答	うち WEB 回答
就学前児童保護者用アンケート	2,400	1,060	412	648
		44.2%	38.9%	61.1%
放課後児童クラブ（学童保育） 利用保護者用アンケート	3,079	1,541	603	938
		50.0%	39.1%	60.9%

3. 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しています。
- ・グラフ上で基数は n で表しています。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています、したがって、合計値は100%を超える場合もあります。
- ・複数回答の設問は、図表タイトルの後ろに「(複数回答)」と記してあり、それ以外は単数回答としています。
- ・サンプル数が30未満のものについては参考値として掲載しています。
- ・平成25年度及び平成30年度の同様のアンケート調査を実施しており、回答結果の推移が分かるように、同じ内容の設問については、過年度調査結果の数値（グラフ）を併記しています。

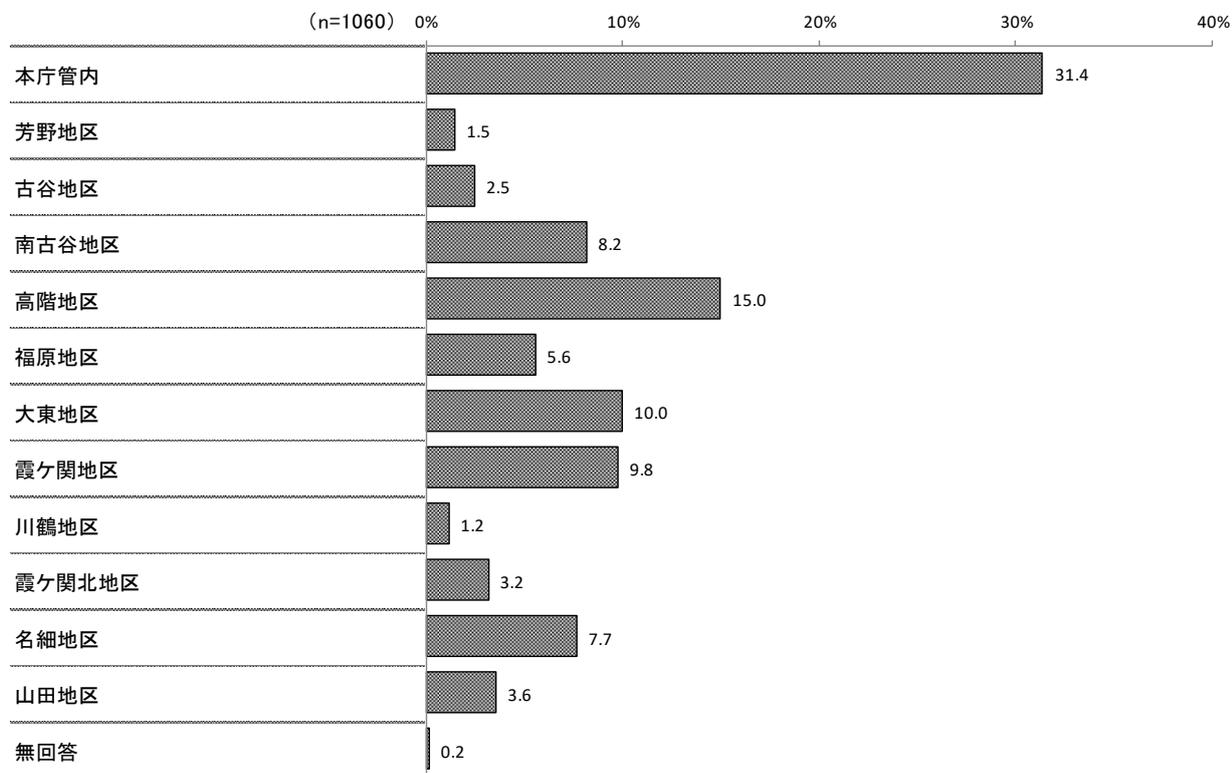
第3章 就学前児童保護者用アンケートの結果

1. 子どもと家族の状況について

(1) 回答者の居住地区

居住地区は「本庁管内」が 31.4%と最も高く、次いで「高階地区」が 15.0%、「大東地区」が 10.0%となっています。

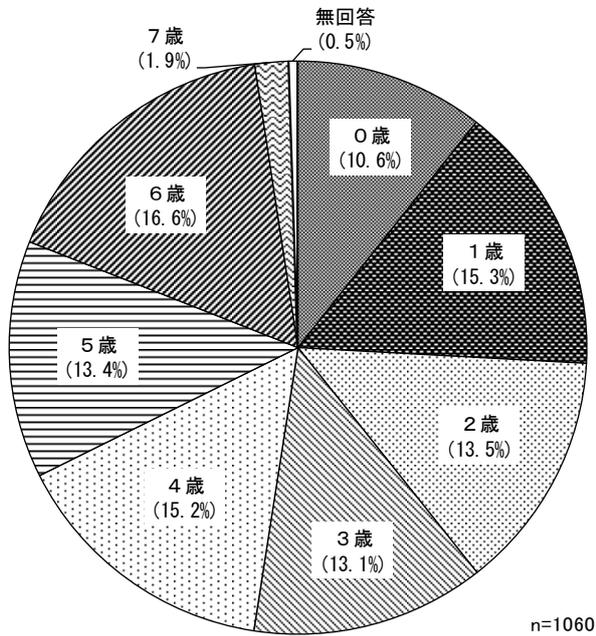
図表 1-3-1-1 居住地区



(2) 子どもの年齢

子どもの年齢は「6歳」が16.6%と最も高く、次いで「1歳」が15.3%、「4歳」が15.2%となっています。

図表1-3-1-2 子どもの年齢



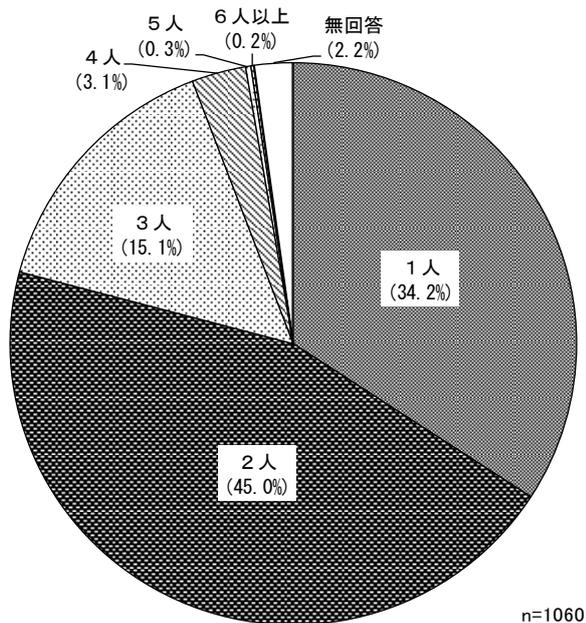
(3) 子どもの人数と末子の年齢

1世帯当たりの子どもの人数は、「2人」が45.0%と最も高く、次いで「1人」が34.2%、「3人」が15.1%となっています。

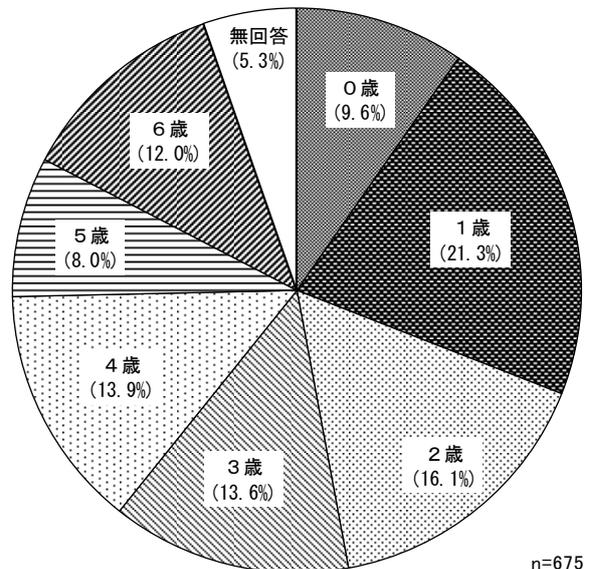
また、2人以上の子どもがいる世帯の末子の年齢は、「1歳」が21.3%と最も高くなっています。

図表1-3-1-3 子どもの人数と末子の年齢

【子どもの人数】



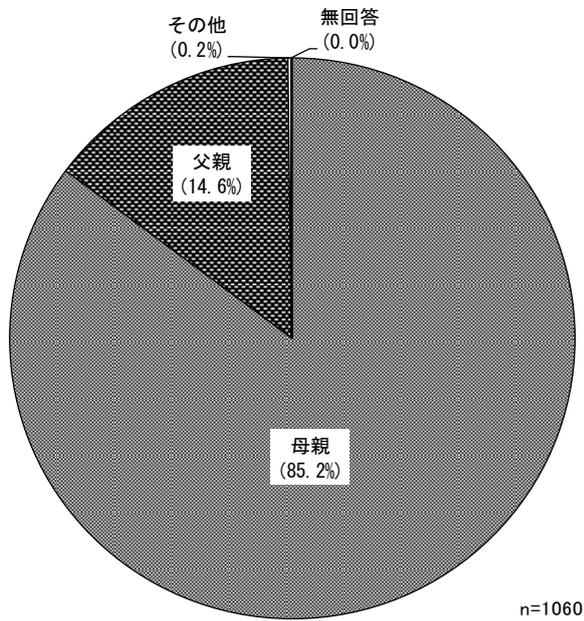
【末子の年齢】



(4) この調査票に回答する人

調査票の回答者は、「母親」が 85.2%に対し、「父親」が 14.6%と「母親」の割合が大きく上回っています。

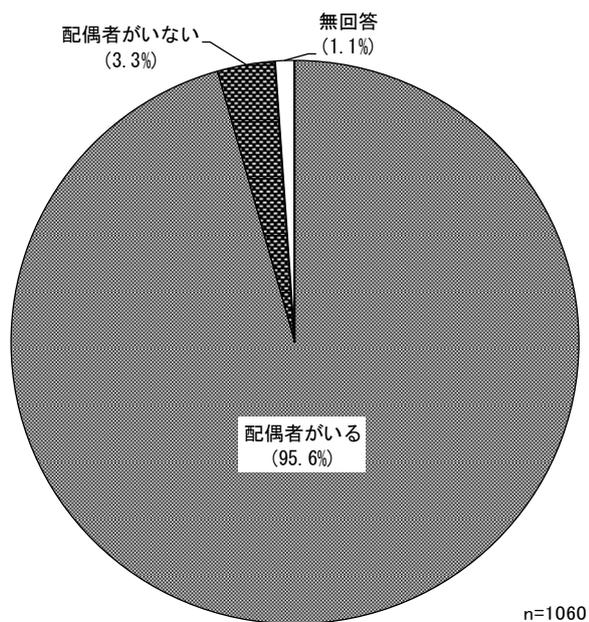
図表 1-3-1-4 この調査票に回答する人



(5) 配偶関係について

調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 95.6%、「配偶者がいない」が 3.3%となっています。

図表 1-3-1-5 配偶関係



(6) 世帯人数と18歳未満の子どもの人数

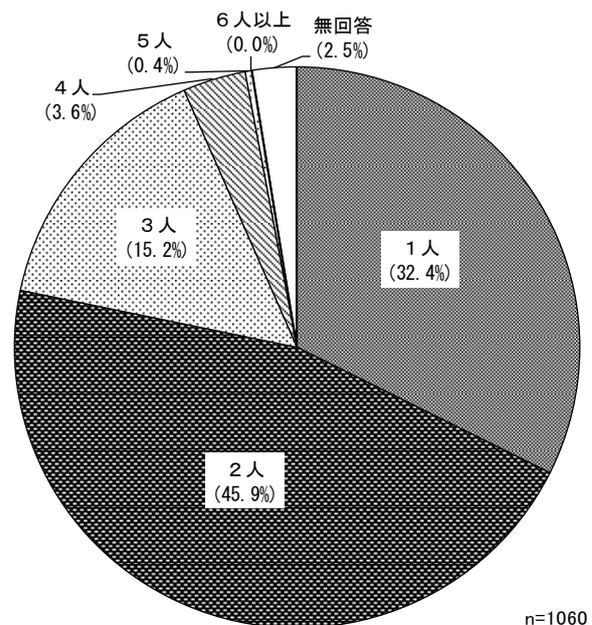
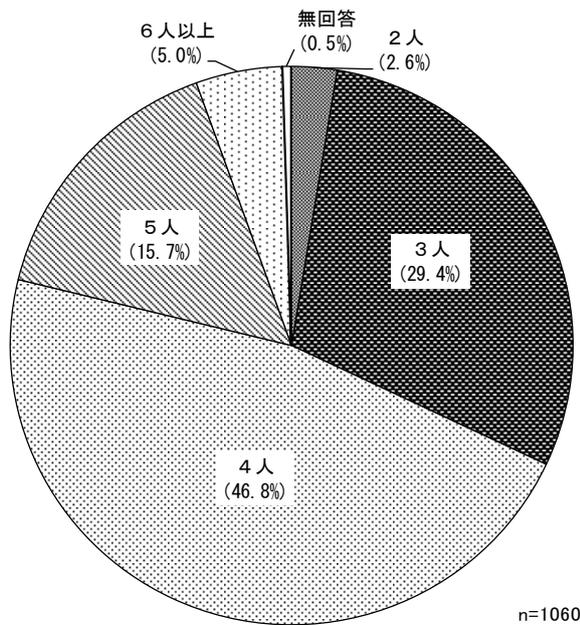
1世帯当たりの世帯人数は、「4人」が46.8%と最も高く、次いで「3人」が29.4%、「5人」が15.7%となっています。

また、18歳未満の子どもの人数は、「2人」が45.9%と最も高く、次いで「1人」が32.4%、「3人」が15.2%となっています。

図表 1-3-1-6 世帯人数と18歳未満の子どもの人数

【世帯人数】

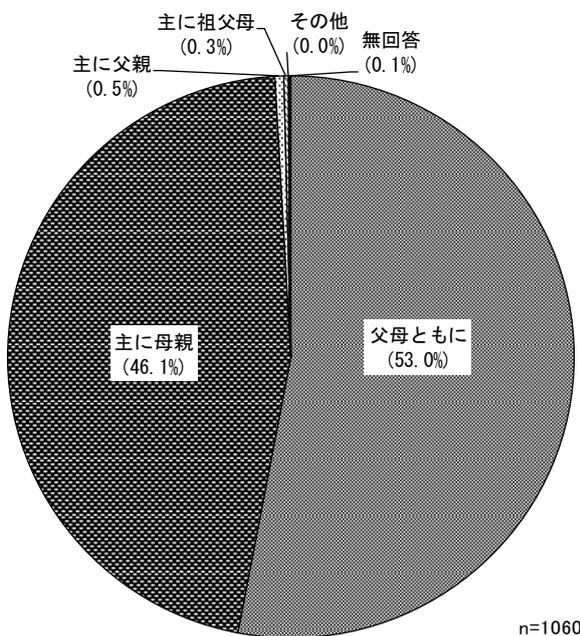
【18歳未満の子どもの人数】



(7) 子育てを主に行っている人

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が53.0%と最も高く、次いで「主に母親」が46.1%となっています。

図表 1-3-1-7 子育てを主に行っている人

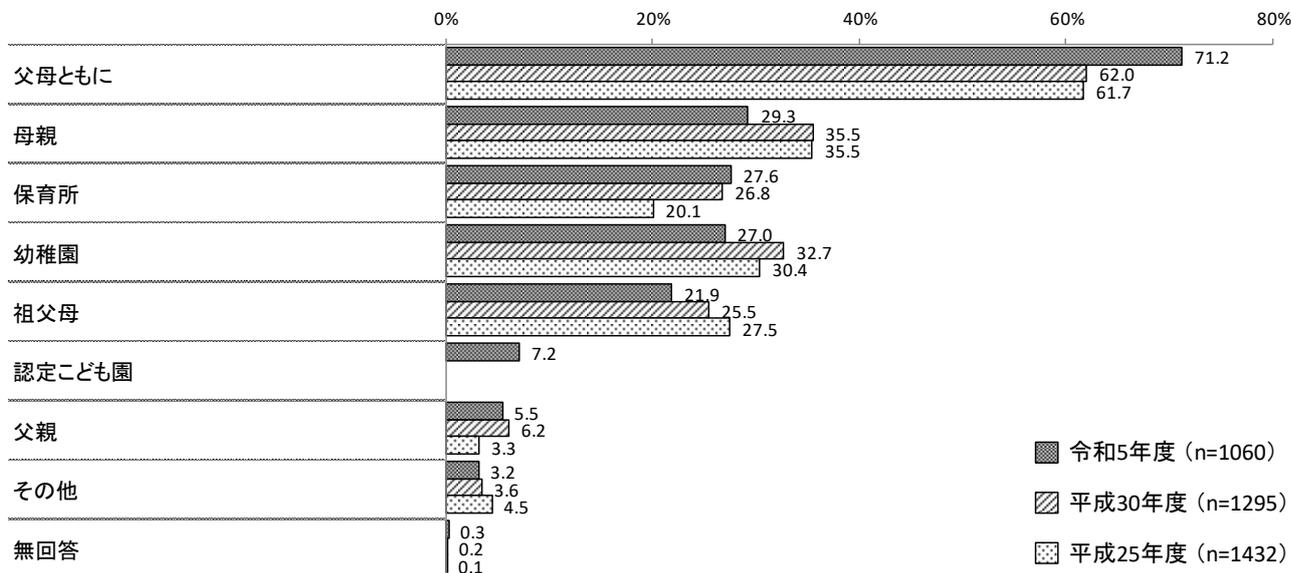


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人（施設）

子育てに日常的に関わっている人（施設）について複数回答で聞いたところ、「父母ともに」が71.2%と最も高く、次いで「母親」が29.3%、「保育所」が27.6%となっています。

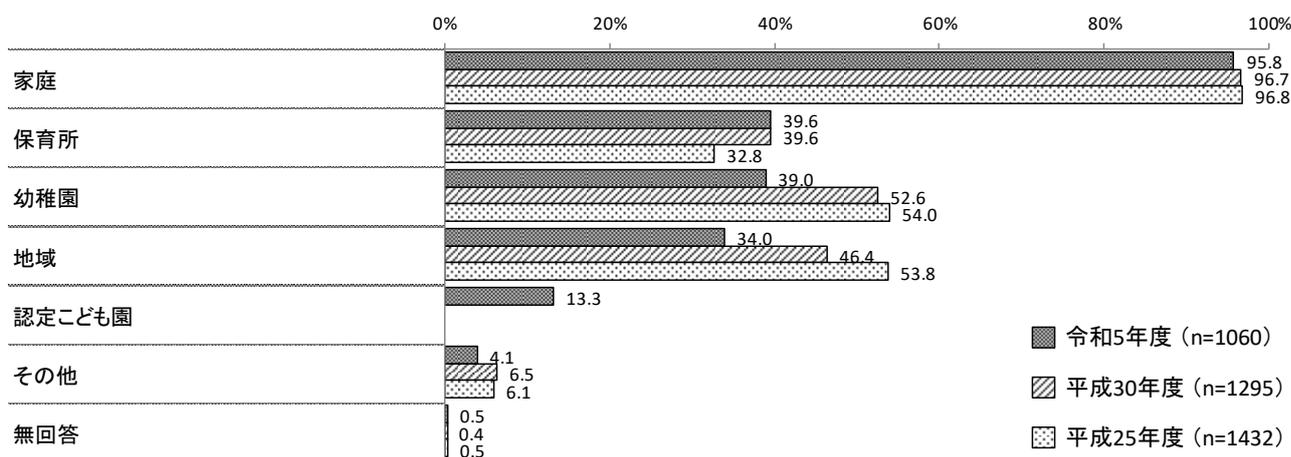
図表 1-3-2-1 子育てに日常的に関わっている人（施設）（複数回答）



(2) 子育てに影響すると思う環境

子育てに影響すると思う環境について複数回答で聞いたところ、「家庭」が95.8%と最も高く、次いで「保育所」が39.6%、「幼稚園」が39.0%となっています。

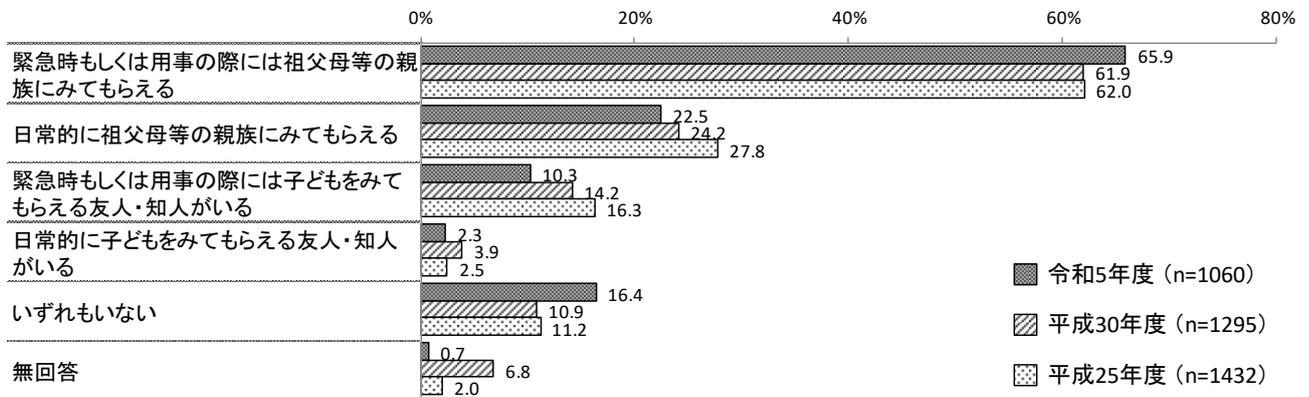
図表 1-3-2-2 子育てに影響すると思う環境（複数回答）



(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について複数回答で聞いたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が22.5%となっています。一方、「いずれもない」と回答したのは16.4%でした。

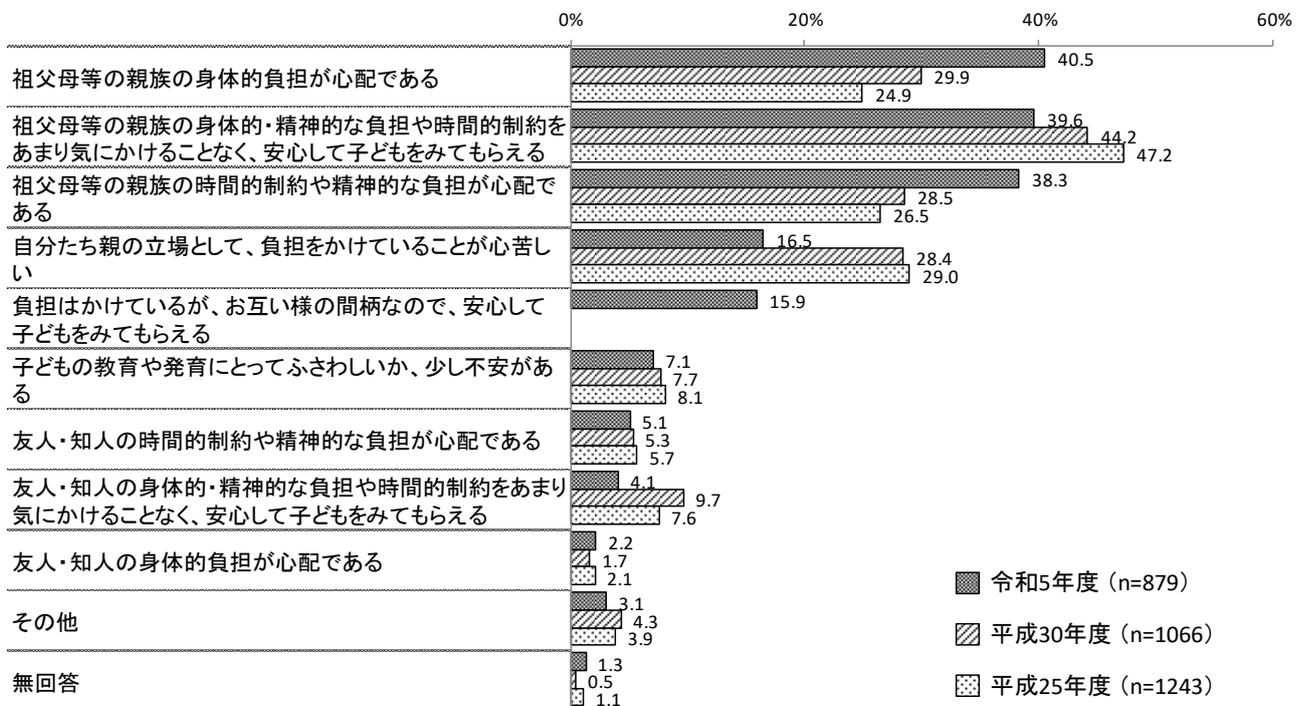
図表 1-3-2-3 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）



(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について複数回答で聞いたところ、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が40.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる」が39.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」が38.3%となっています。

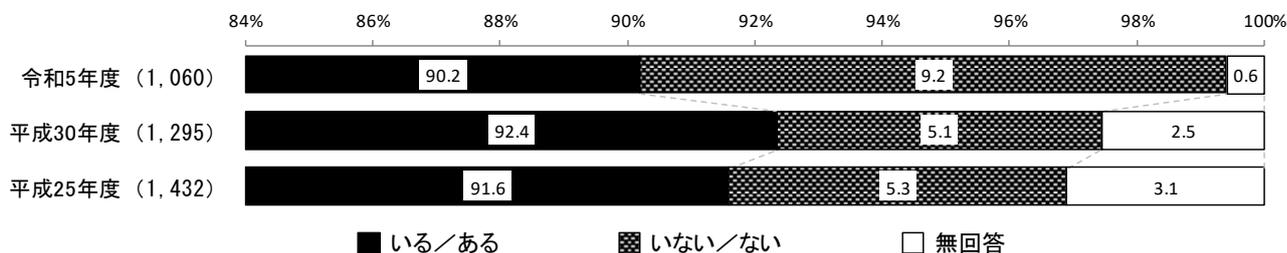
図表 1-3-2-4 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況（複数回答）



(5) 子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)の有無

子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)の有無は、「いる/ある」が90.2%、「いない/ない」が9.2%だった。

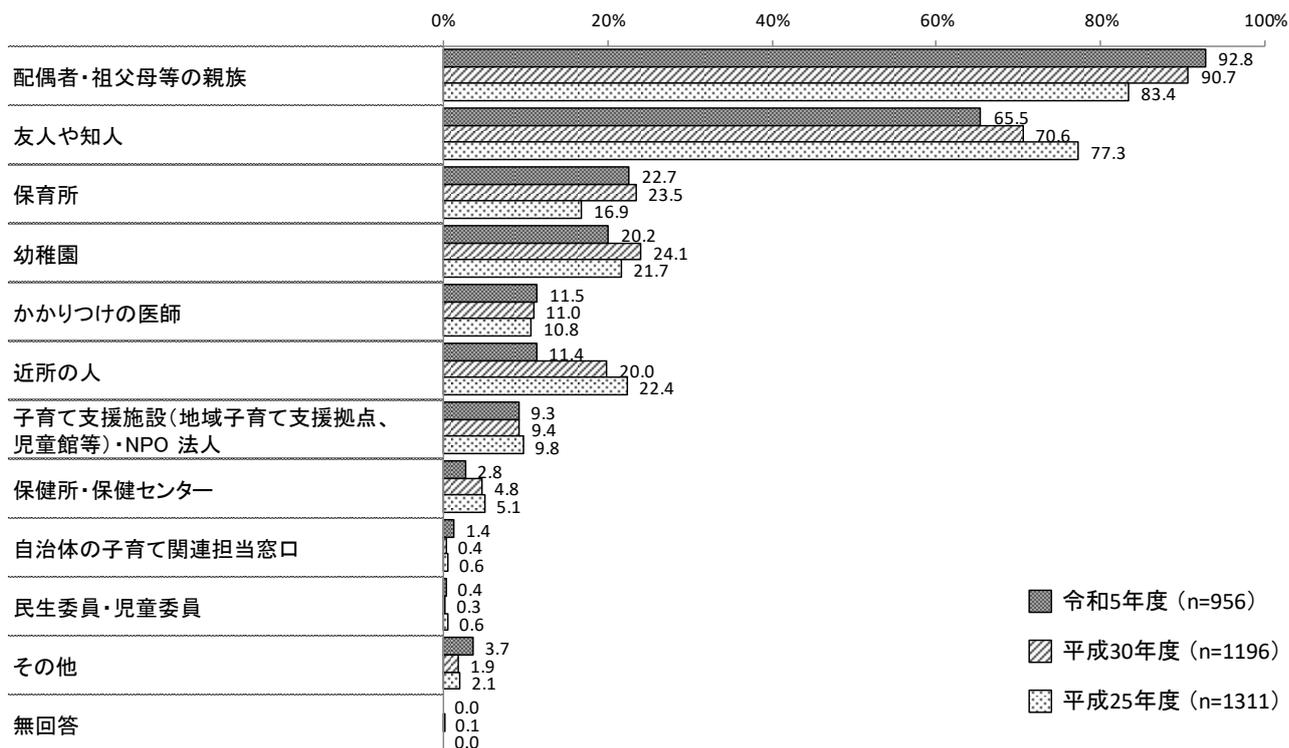
図表1-3-2-5 子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)の有無



(6) 子育てに関して、気軽に相談できる人(場所)

子育てに関して、気軽に相談できる人(場所)について複数回答で聞いたところ、「配偶者・祖父母等の親族」が92.8%と最も高く、次いで「友人や知人」が65.5%、「保育所」が22.7%となっています。

図表1-3-2-6 子育てに関して、気軽に相談できる人(場所)(複数回答)



(7) 子育てをする上で、周囲からあればいいと思うサポート

子育てをする上で、周囲からあればいいと思うサポートについて自由記述で聞いたところ、562人からご意見をいただきました。主な意見の件数は以下のとおりです。

図表 1-3-2-7 子育てをする上で、周囲からあればいいと思うサポート

項目	件数
送迎・預かり保育・代行に関すること	200件
相談・情報・仲間に関すること	162件
補助金に関すること	84件
支援施設・病院・インフラに関すること	71件
保育所・幼稚園に関すること	48件
就労等含め、親に対する支援	39件
遊び場・安全に関すること	37件
進学・学校・学童・習い事等に関すること	25件
健康診断に関すること	20件
その他	59件

回答件数の多かった「送迎・預かり保育・代行に関すること」「相談・情報・仲間に関すること」について、主な意見をいくつか以下に抜粋します。

「送迎・預かり保育・代行に関すること」

- ・もっと気軽にフットワーク軽く、ちょっとした時間（子どもがかぜをひいているが近くのコンビニにかいものだけ行きたい等）みてくれる方（自宅で）がいてくれたら嬉しい。
- ・買い物や上の子の送迎などの短時間でも子どもをみていてもらえる環境。
- ・親が病気の時に、子供を見てほしい。事前に登録していなくても、急な時はサポートが受けられるようになればいいなと思う。
- ・共働きなので習い事の送迎などしてもらえるサービスがあるといいなとも思います。ただ、知らない人だと犯罪に巻き込まれたりするのはと不安はあります。
- ・保育所への送迎にあたり、利用方法などがもっと簡単な制度があると助かると思う

「相談・情報・仲間に関すること」

- ・地域に看護師や保育士在籍の相談施設があるといい。
- ・ちょっとした悩みごとを気楽に話せる場がくれたらいい（面接・予約などは気楽に話がしにくい）。
- ・月に数回、一緒に遊びながら子育ての悩みや相談を聞いてくれるサービスがあれば利用したい。
- ・同じ子育てをしている人と交流ができる場があればいいなとも思います。また交流イベントなどがどこに記載されているか分かりやすい案内が欲しいです。
- ・気軽に電話相談できる事業があればちょっとした悩みでも相談できる相手がいると安心できる。現にそのような事業があるとすればその存在について情報を普及させてほしい。

3. 保護者の就労状況について

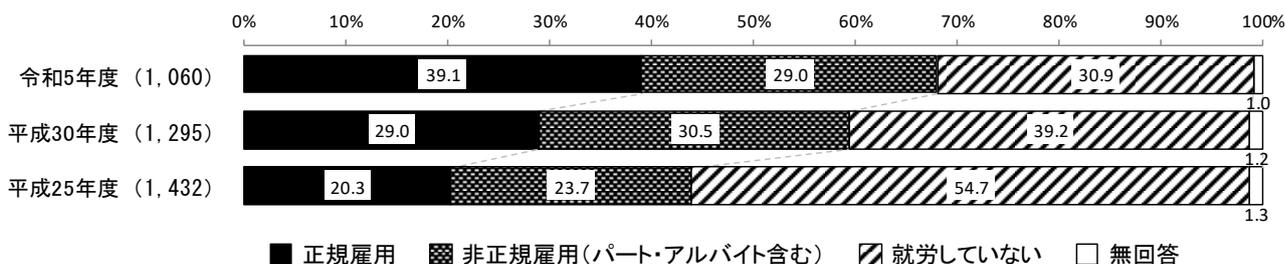
※保護者の就労状況については、母親、父親、及びその他（父母以外の方）について質問していますが「その他」と回答した方は2人しかいないため、本報告書では割愛しています。

(1) 保護者の就労形態

①母親

母親の就労形態は、「正規雇用」が39.1%と最も高く、次いで「就労していない」が30.9%、「非正規雇用」が29.0%となっています。

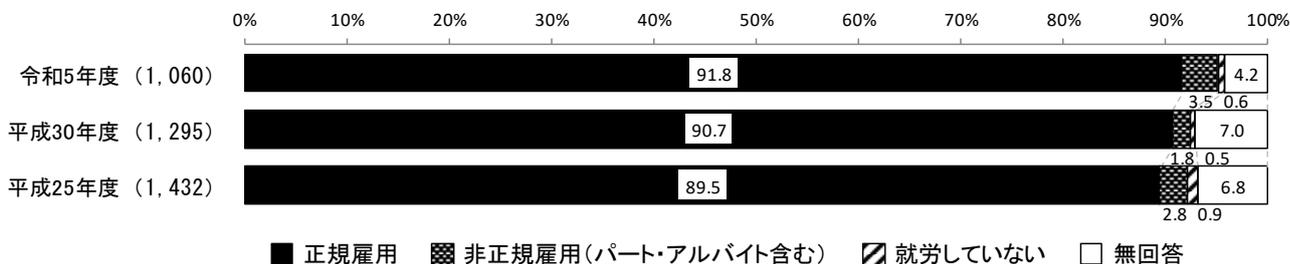
図表 1-3-3-1-1 母親の就労形態



②父親

父親の就労形態は、「正規雇用」が91.8%と最も高く、次いで「非正規雇用」が3.5%、「就労していない」が0.6%、となっています。

図表 1-3-3-1-2 父親の就労形態

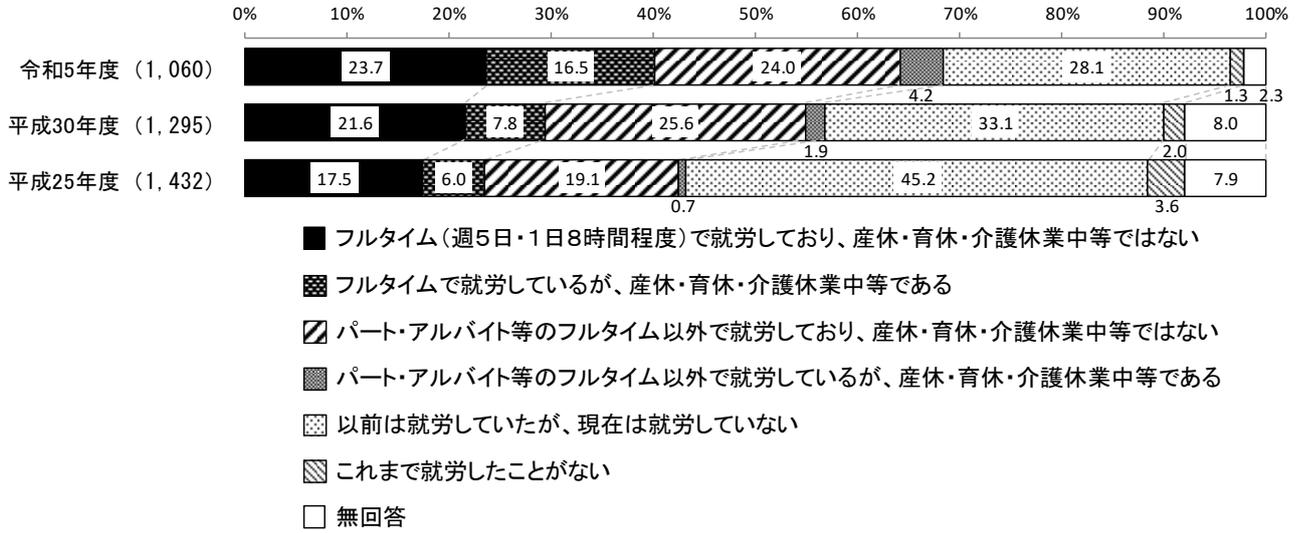


(2) 保護者の就労状況

①母親

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が28.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等のフルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中等ではない」が24.0%、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中等ではない」が23.7%となっています。

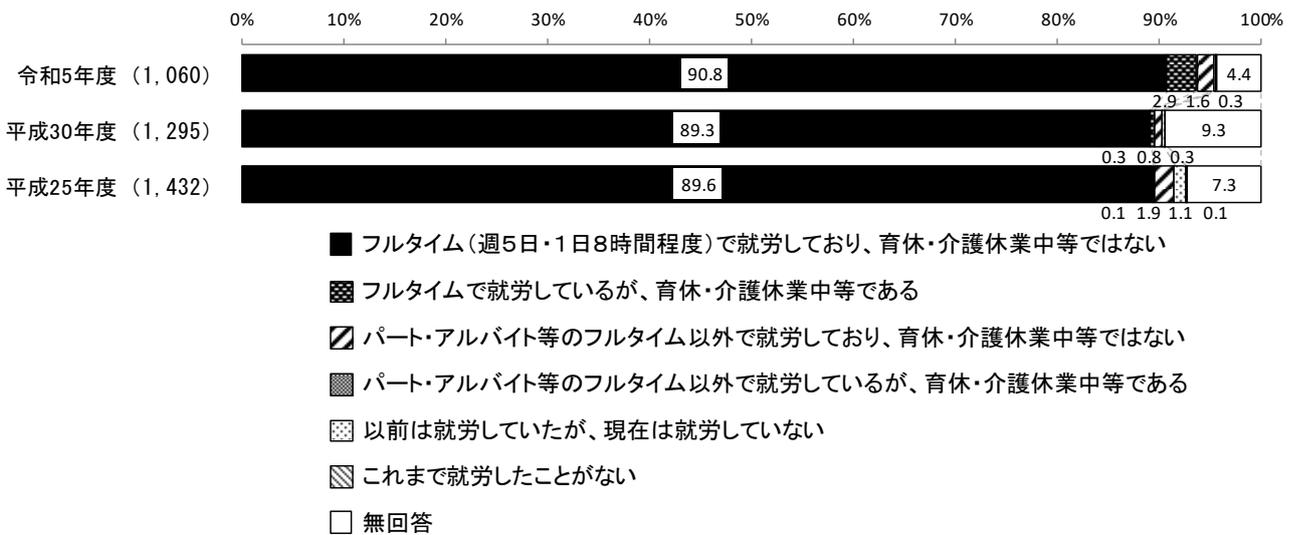
図表 1-3-3-2-1 母親の就労形態



②父親

父親の就労形態は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中等ではない」が90.8%と最も高くなっており、約9割の父親がフルタイムで就労しています。

図表 1-3-3-2-2 父親の就労形態

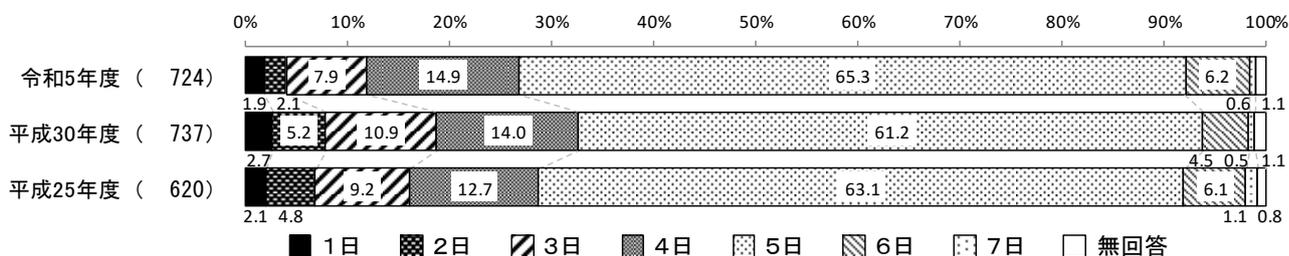


(3) 1週間当たりの就労日数、土日就労日数、1日当たりの就労時間

①母親

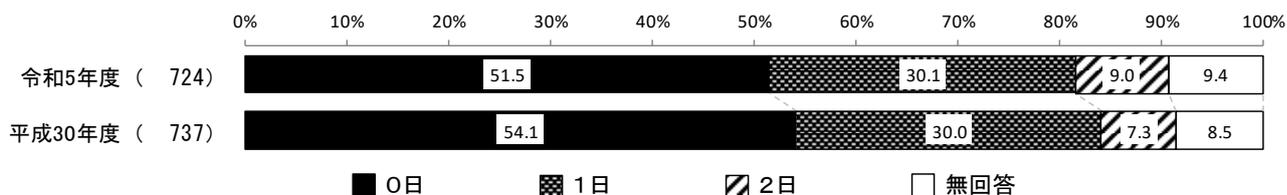
現在就労している母親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が65.3%と最も高く、次いで「4日」が14.9%、「3日」が7.9%となっています。

図表 1-3-3-3-1 母親の1週間当たりの就労日数



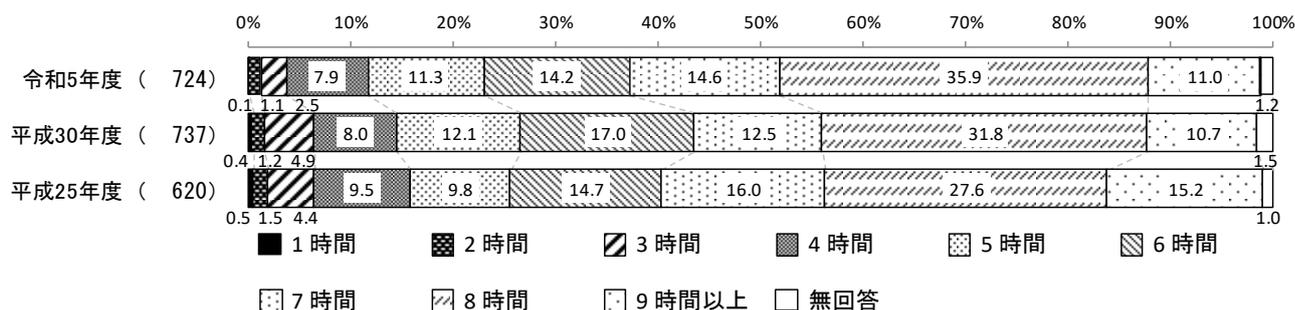
現在就労している母親の1週間当たりの土日就労日数は、「0日」が51.5%と最も高く、次いで「1日」が30.1%、「2日」が9.0%となっています。

図表 1-3-3-3-2 母親の1週間当たりの土日就労日数



現在就労している母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「8時間」が35.9%と最も高く、次いで「7時間」が14.6%、「6時間」が14.2%となっています。

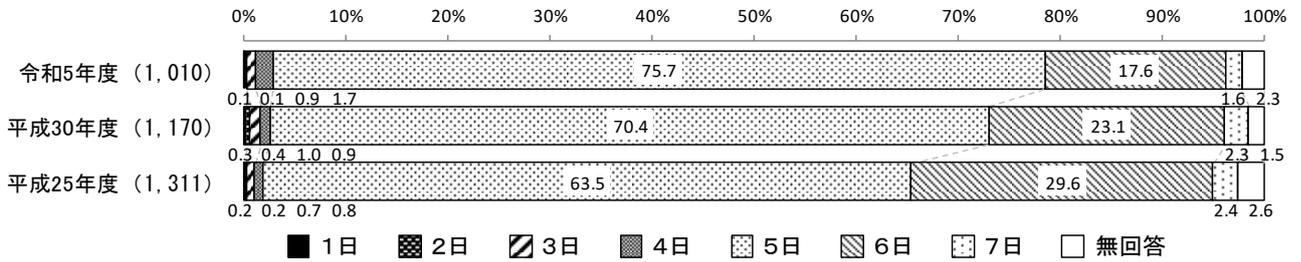
図表 1-3-3-3-3 母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）



②父親

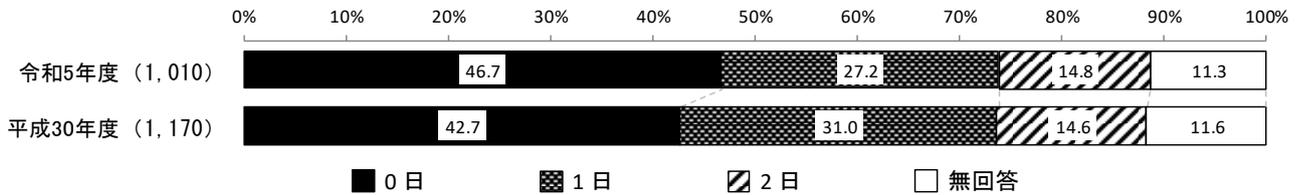
現在就労している父親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が75.7%と最も高く、次いで「6日」が17.6%となっています。

図表 1-3-3-3-4 父親の1週間当たりの就労日数



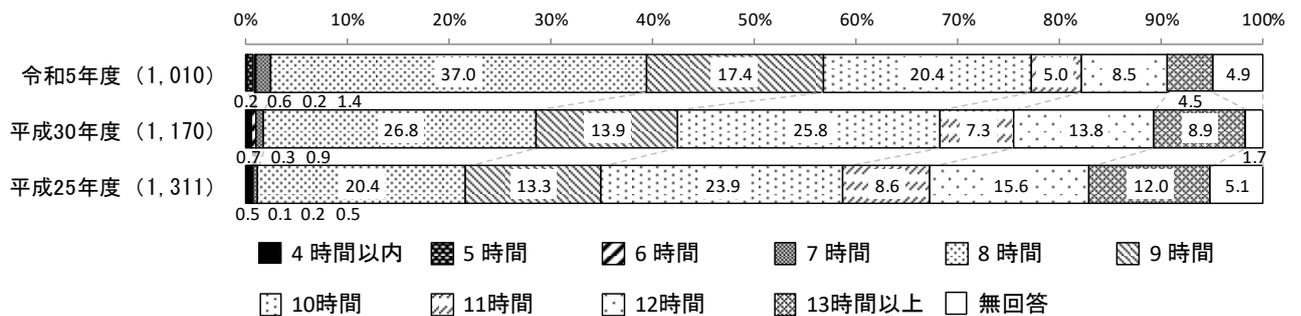
現在就労している父親の1週間当たりの土日就労日数は、「0日」が46.7%と最も高く、次いで「1日」が27.2%、「2日」が14.8%となっています。

図表 1-3-3-3-5 父親の1週間当たりの土日就労日数



現在就労している父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「8時間」が37.0%と最も高く、次いで「10時間」が20.4%、「9時間」が17.4%となっています。

図表 1-3-3-3-6 父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

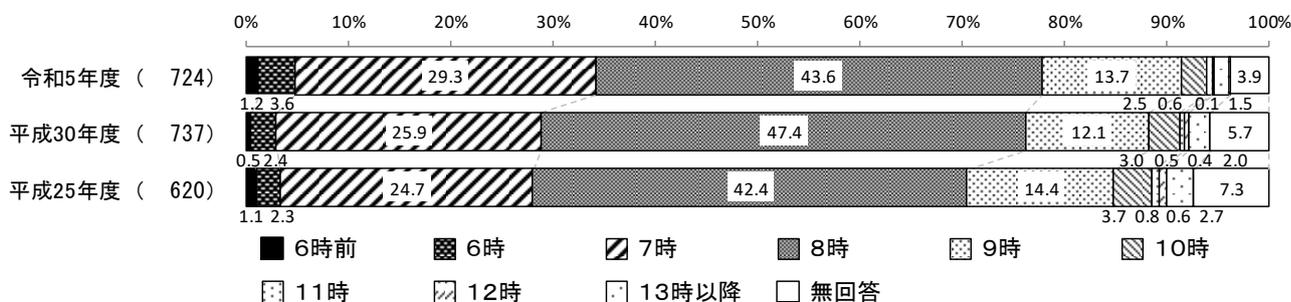


(4) 就労している保護者の家を出る時刻と帰宅時刻

①母親

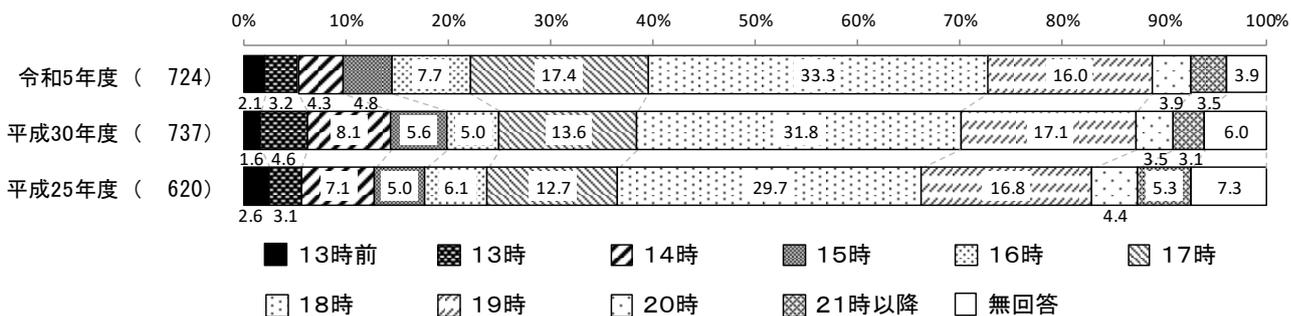
現在就労している母親の外出時刻は、「8時」が43.6%と最も高く、次いで「7時」が29.3%、「9時」が13.7%となっています。

図表 1-3-3-4-1 母親の外出時刻



現在就労している母親の帰宅時刻は、「18時」が33.3%と最も高く、次いで「17時」が17.4%、「19時」が16.0%となっています。

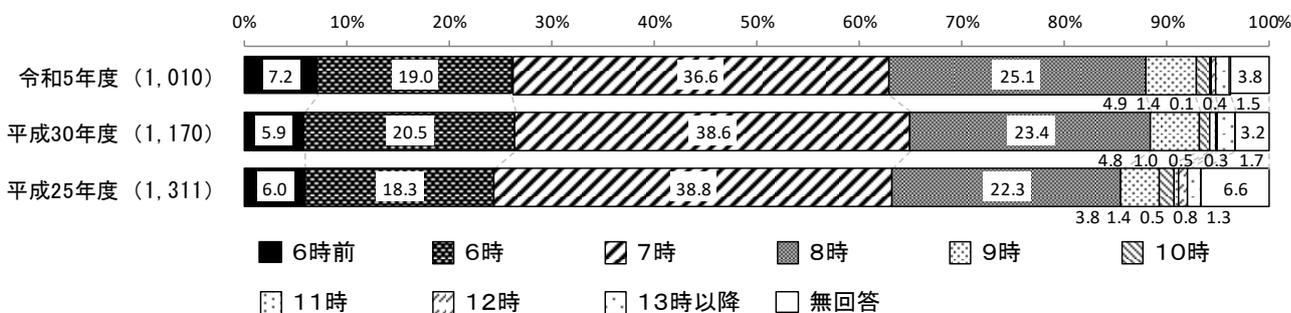
図表 1-3-3-4-2 母親の帰宅時刻



②父親

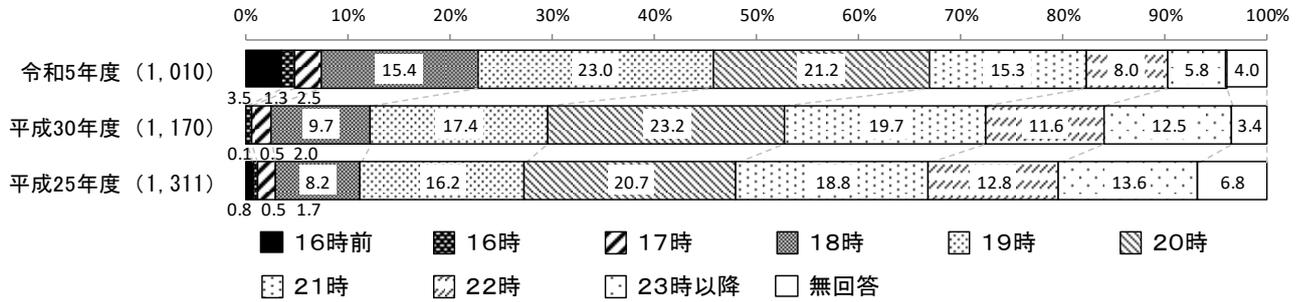
現在就労している父親の外出時刻は、「7時」が36.6%と最も高く、次いで「8時」が25.1%、「6時」が19.0%となっています。

図表 1-3-3-4-3 父親の外出時刻



現在就労している父親の帰宅時刻は、「19時」が23.0%と最も高く、次いで「20時」が21.2%、「18時」が15.4%、「21時」が15.3%となっています。

図表 1-3-3-4-4 父親の帰宅時刻

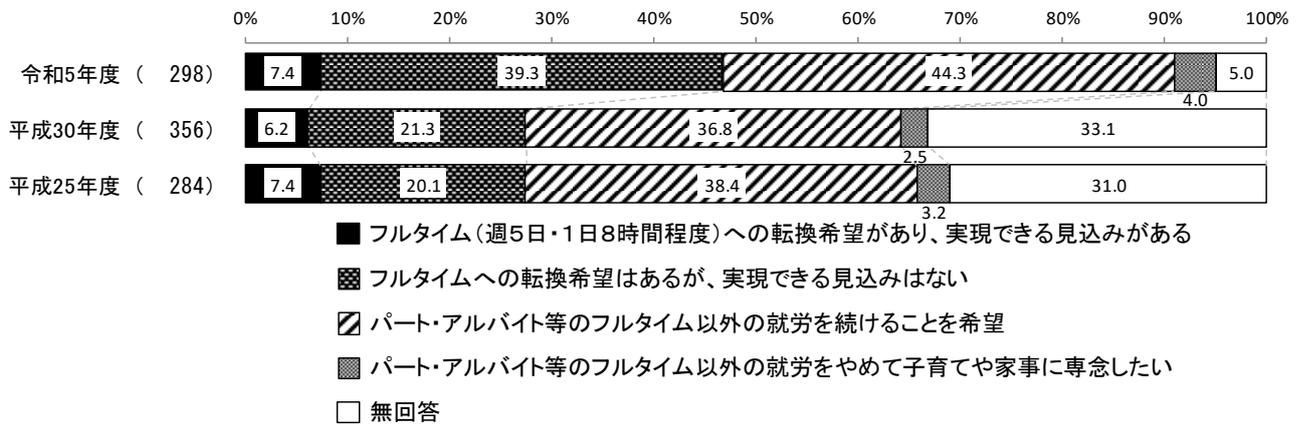


(5) フルタイムへの転換希望

①母親

フルタイム以外で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」が44.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が39.3%となっています。

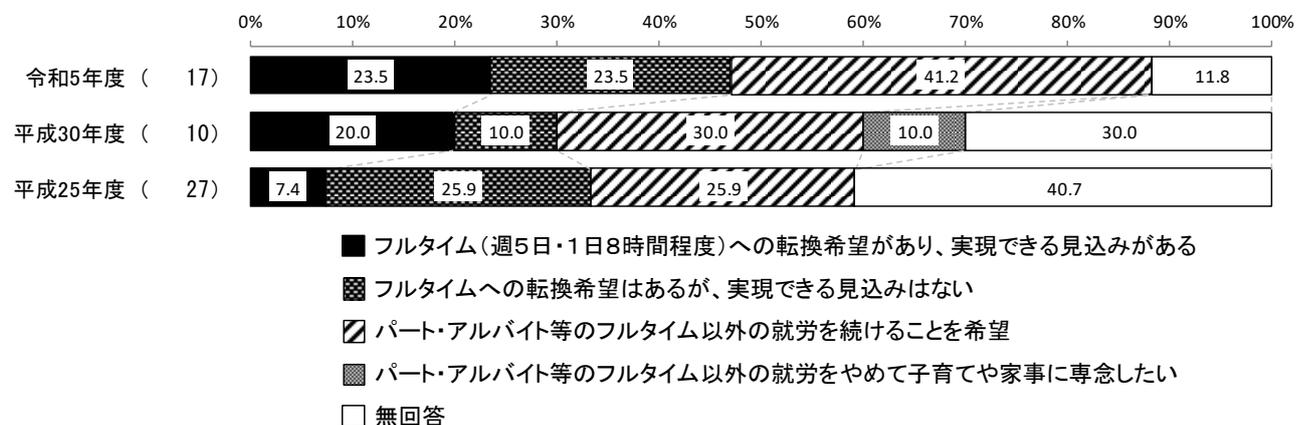
図表 1-3-3-5-1 母親のフルタイムへの転換希望



②父親

フルタイム以外で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、サンプル数は少ないものの「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」が41.2%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がともに23.5%となっています。

図表 1-3-3-5-2 父親のフルタイムへの転換希望

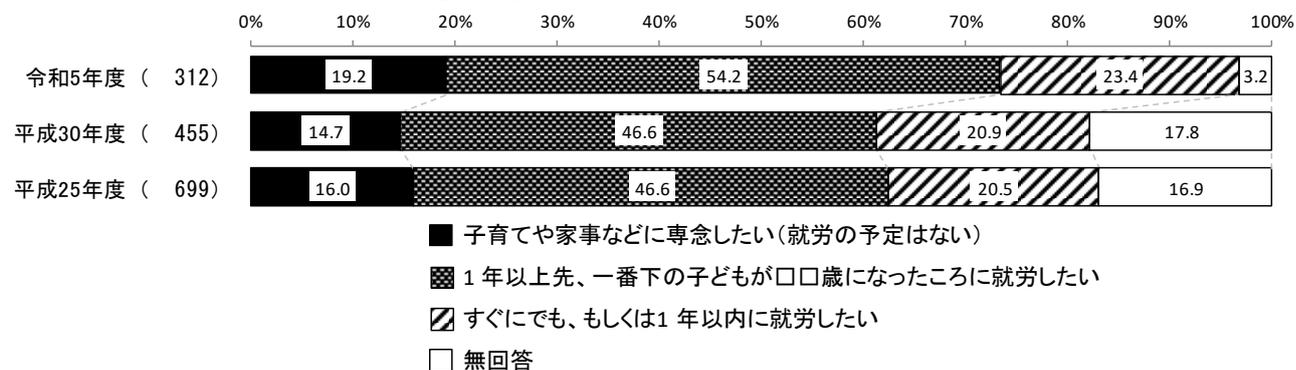


(6) 就労していない人の就労希望

①母親

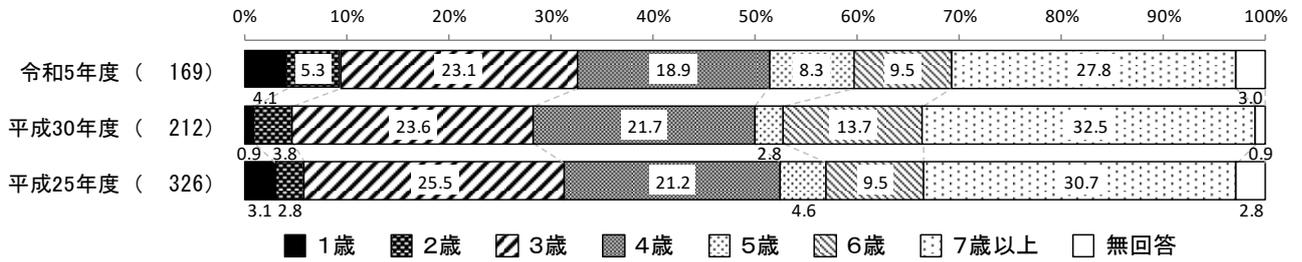
現在就労していない母親の就労希望は、「1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が54.2%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が19.2%となっています。

図表 1-3-3-6-1 就労していない母親の就労希望



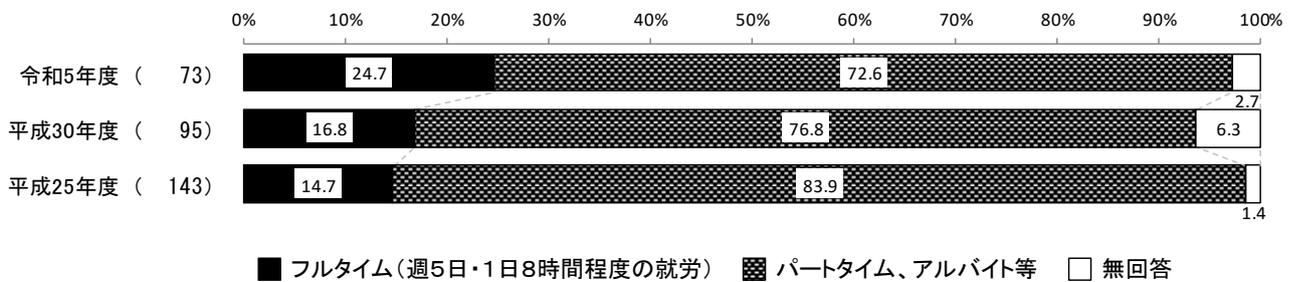
母親の就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「7歳以上」が27.8%と最も高く、次いで「3歳」が23.1%、「4歳」が18.9%となっています。

図表 1-3-3-6-2 母親の就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）



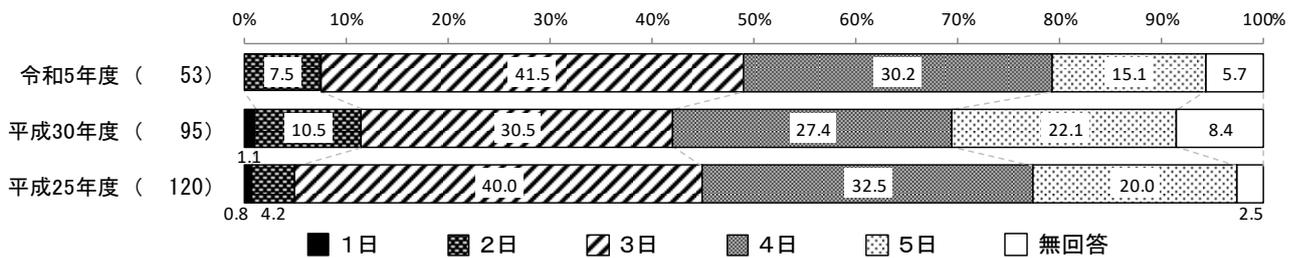
現在就労していない母親の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が72.6%で、「フルタイム」の24.7%を47.9ポイント上回っています。

図表 1-3-3-6-3 現在就労していない母親の今後希望する就労形態



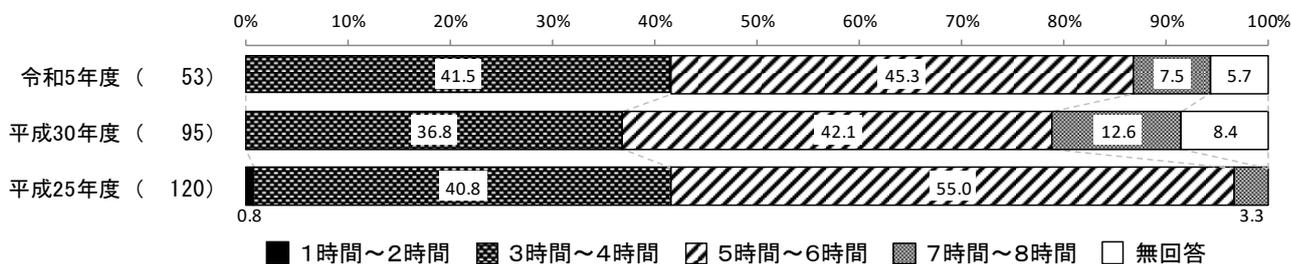
現在就労していない母親の今後希望する1週間当たりの就労日数は、「3日」が41.5%と最も高く、次いで「4日」が30.2%、「5日」が15.1%となっています。

図表 1-3-3-6-4 現在就労していない母親の今後希望する1週間当たりの就労日数



就労していない母親の今後希望する1日当たりの就労時間は、「5時間～6時間」が45.3%と最も高く、次いで「3時間～4時間」が41.5%、「7時間～8時間」が7.5%となっています。

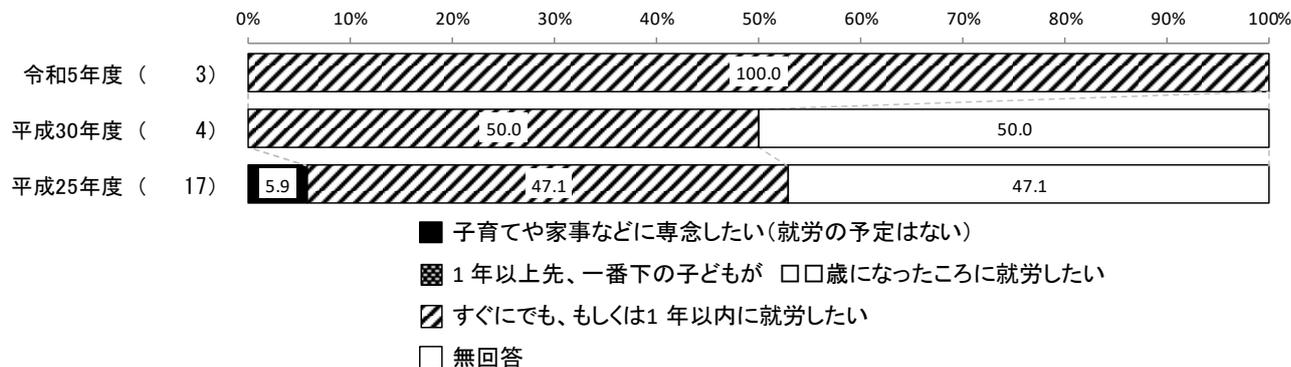
図表 1-3-3-6-5 就労していない母親の今後希望する1日当たりの就労時間



②父親

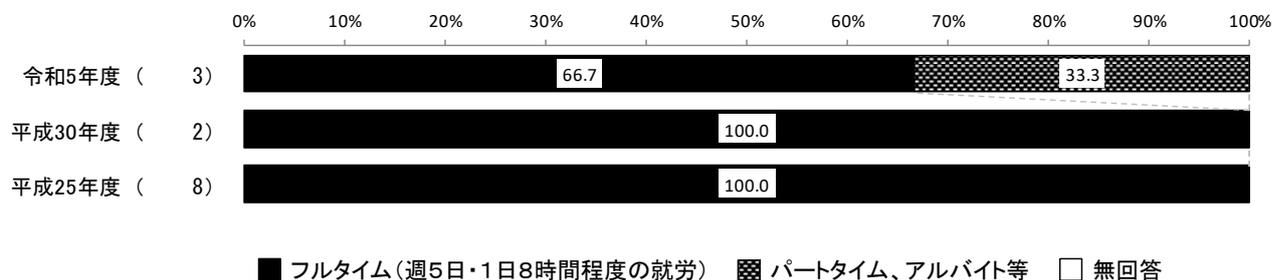
現在就労していない父親の就労希望は、サンプル数は少ないものの「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100.0%となっています。

図表 1-3-3-6-6 就労していない父親の就労希望



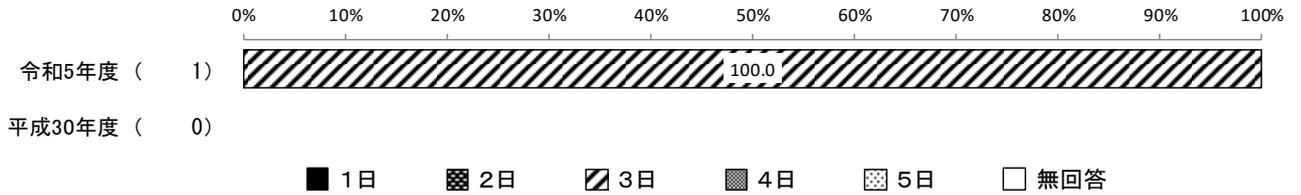
現在就労していない父親の今後希望する就労形態は、サンプル数は少ないものの「フルタイム」が66.7%、「パートタイム、アルバイト等」が33.3%となっています。

図表 1-3-3-6-8 現在就労していない父親の今後希望する就労形態



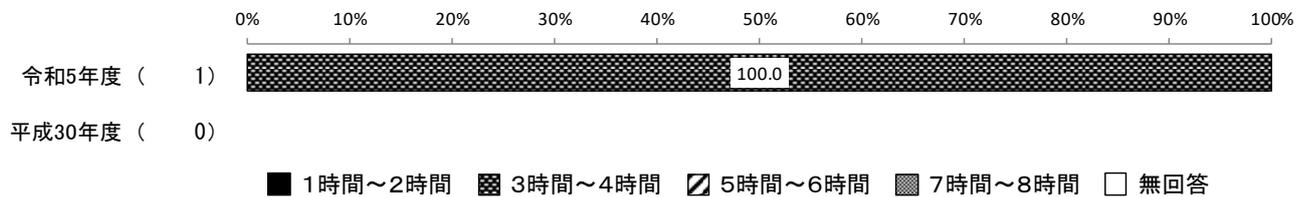
現在就労していない父親の今後希望する1週間当たりの就労日数は、サンプル数は少ないものの「3日」が100.0%となっています。

図表 1-3-3-6-9 現在就労していない父親の今後希望する1週間当たりの就労日数



就労していない父親の今後希望する1日当たりの就労時間は、サンプル数は少ないものの「3時間～4時間」が100.0%となっています。

図表 1-3-3-6-10 就労していない父親の今後希望する1日当たりの就労時間

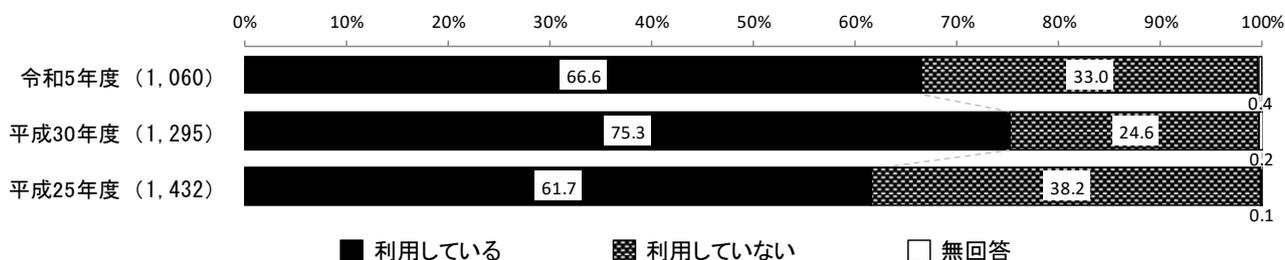


4. 日常的な教育・保育施設の利用状況について

(1) 幼稚園や保育所などの「日常的な教育・保育施設等」の利用状況

日常的な教育・保育施設等の利用状況は、「利用している」が66.6%、「利用していない」が33.0%となっています。

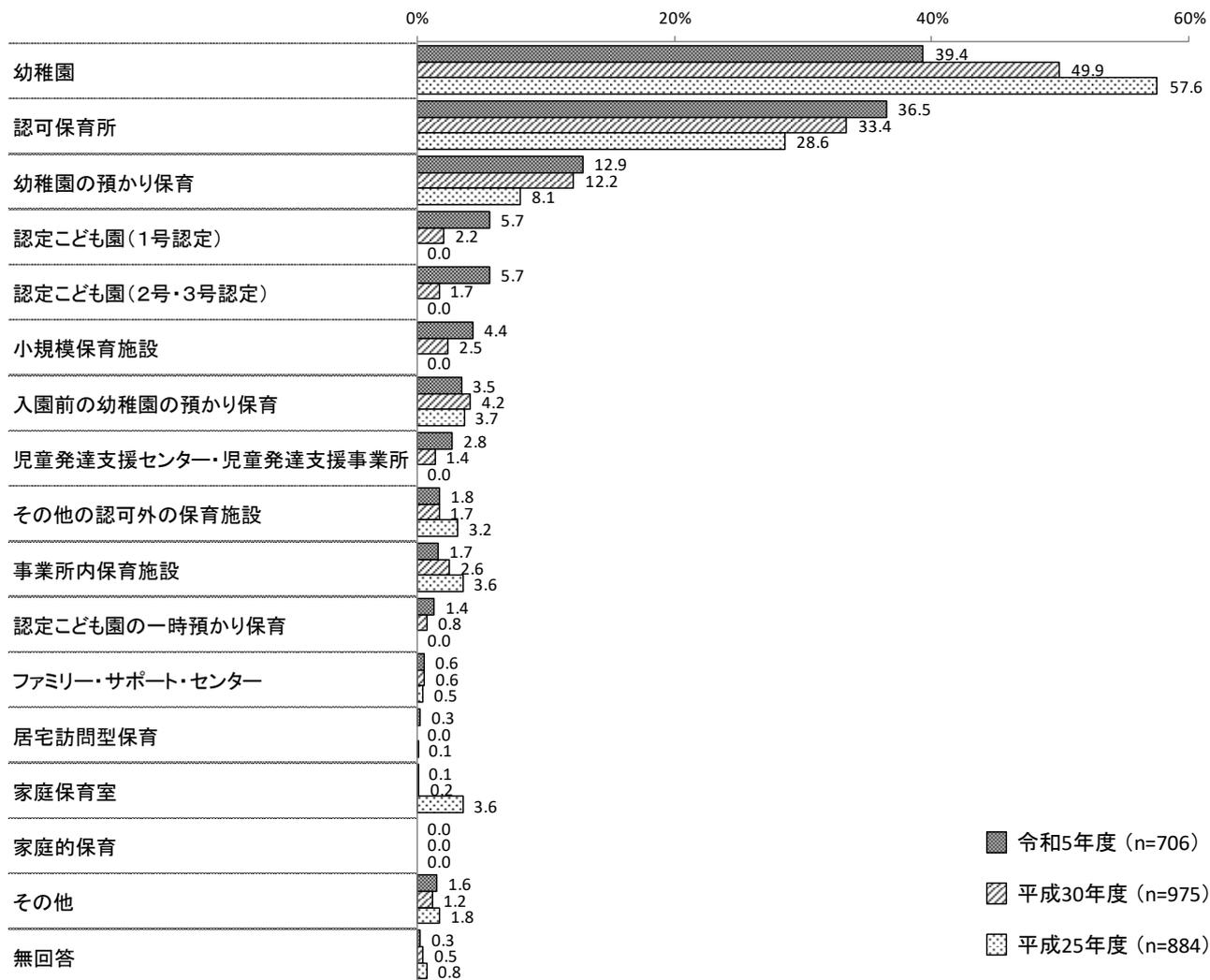
図表 1-3-4-1 幼稚園や保育所などの「日常的な教育・保育施設等」の利用状況



(2) 利用している教育・保育施設等

利用している教育・保育施設等について複数回答で聞いたところ、「幼稚園」が39.4%と最も高く、次いで「認可保育所」が36.5%、「幼稚園の預かり保育」が12.9%となっています。

図表 1-3-4-2 利用している教育・保育施設等 (複数回答)

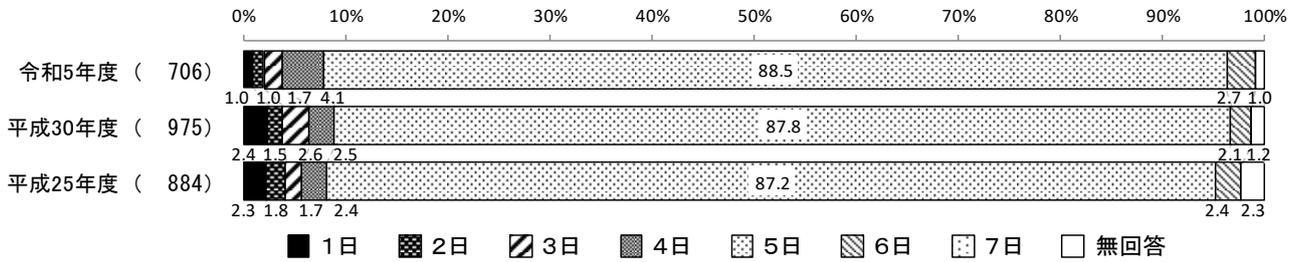


(3) 利用している教育・保育施設等の利用状況と利用希望

①現在の状況

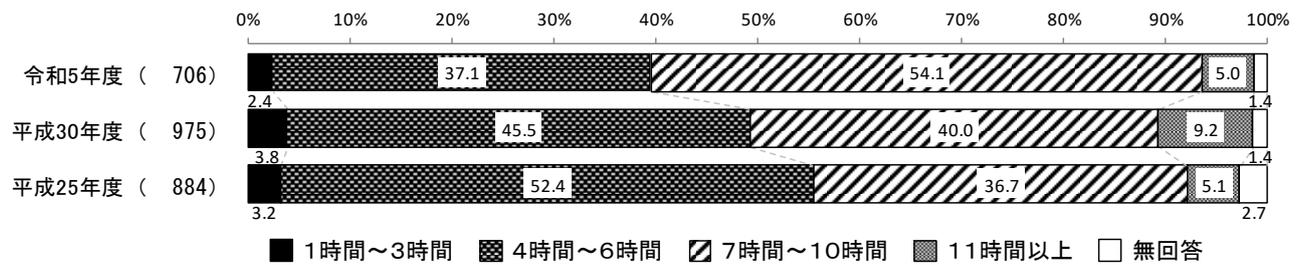
利用している教育・保育施設等の1週間当たりの利用日数は、「5日」が88.5%と最も高くなっています。

図表 1-3-4-3-1 利用している教育・保育施設等の1週間当たりの利用日数



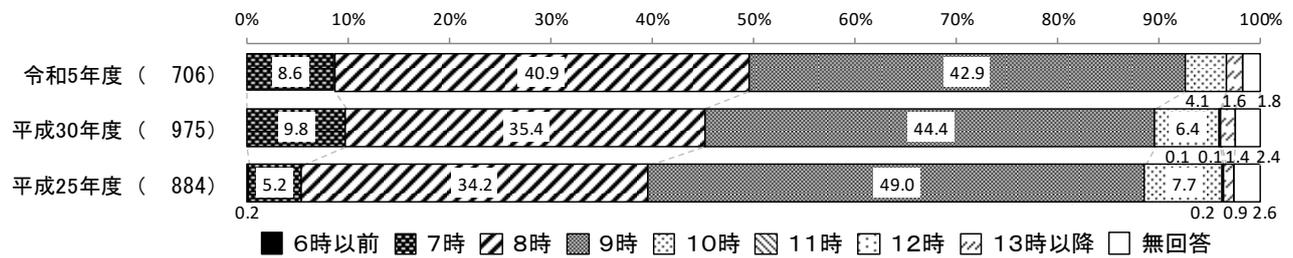
利用している教育・保育施設等の1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が54.1%と最も高く、次いで「4時間～6時間」が37.1%、「11時間以上」が5.0%となっています。

図表 1-3-4-3-2 利用している教育・保育施設等の1日当たりの利用時間



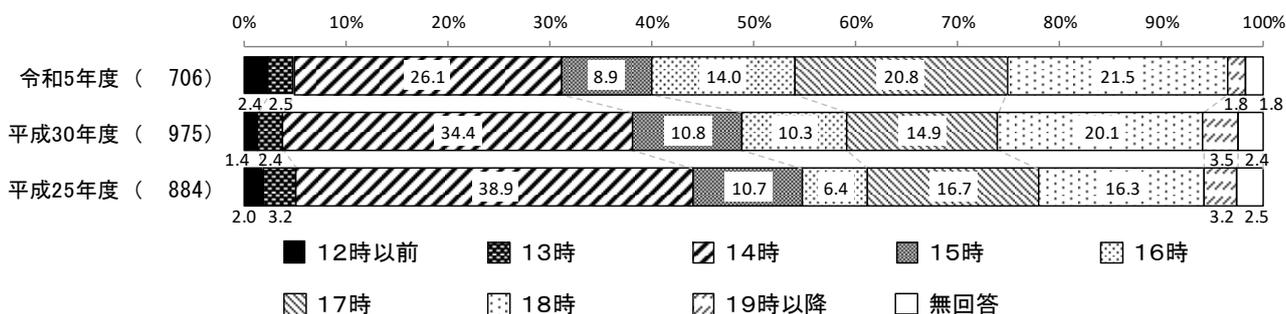
利用している教育・保育施設等の登園時刻は、「9時」が42.9%と最も高く、次いで「8時」が40.9%、「7時」が8.6%となっています。

図表 1-3-4-3-3 利用している教育・保育施設等の登園時刻



利用している教育・保育施設等の帰園時刻は、「14時」が26.1%と最も高く、次いで「18時」が21.5%、「17時」が20.8%となっています。

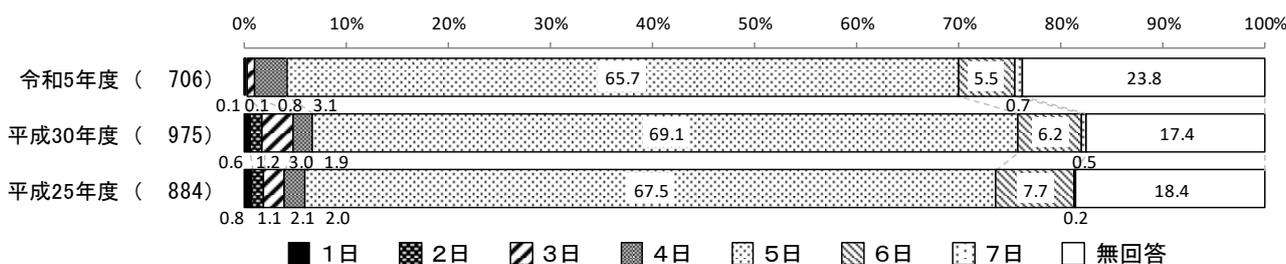
図表 1-3-4-3-4 利用している教育・保育施設等の帰園時刻



②利用希望

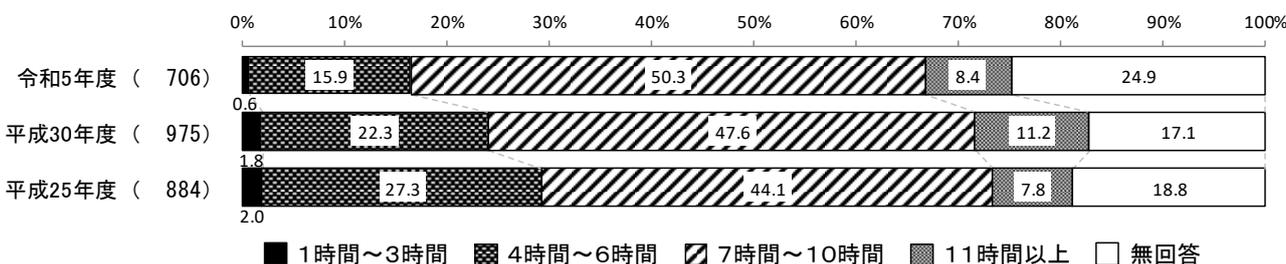
教育・保育施設等の1週間当たりの利用日数の希望は、「5日」が65.7%と最も高く、次いで「6日」が5.5%となっています。

図表 1-3-4-3-5 教育・保育施設等の1週間当たりの利用日数の希望



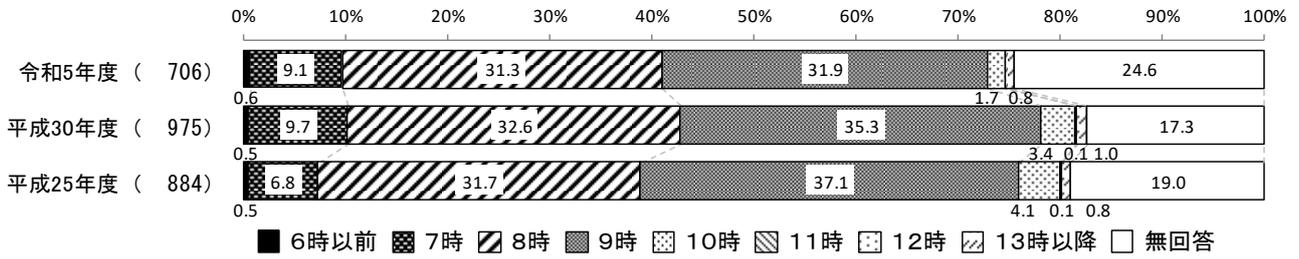
教育・保育施設等の1日当たりの利用時間の希望は、「7時間～10時間」が50.3%と最も高く、次いで「4時間～6時間」が15.9%、「11時間以上」が8.4%となっています。

図表 1-3-4-3-6 教育・保育施設等の1日当たりの利用時間の希望



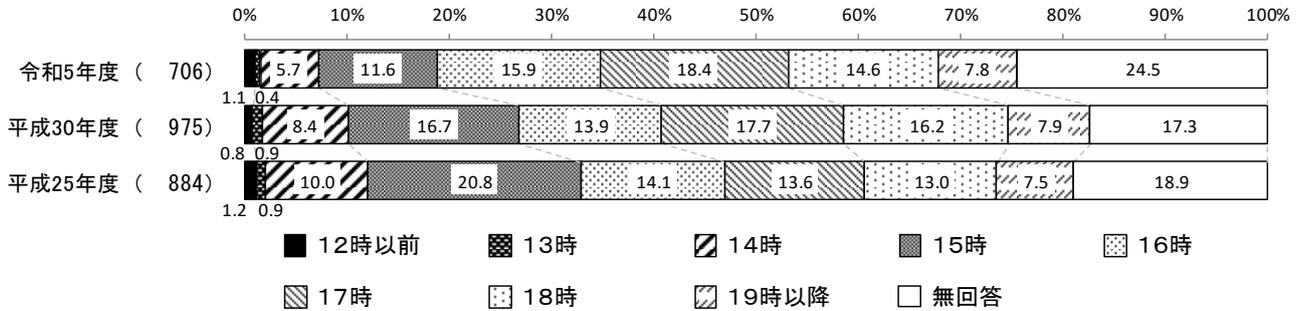
教育・保育施設等の登園時刻の希望は、「9時」が31.9%と最も高く、次いで「8時」が31.3%、「7時」が9.1%となっています。

図表 1-3-4-3-7 教育・保育施設等の登園時刻の希望



教育・保育施設等の帰園時刻の希望は、「17時」が18.4%と最も高く、次いで「16時」が15.9%、「18時」が14.6%となっています。

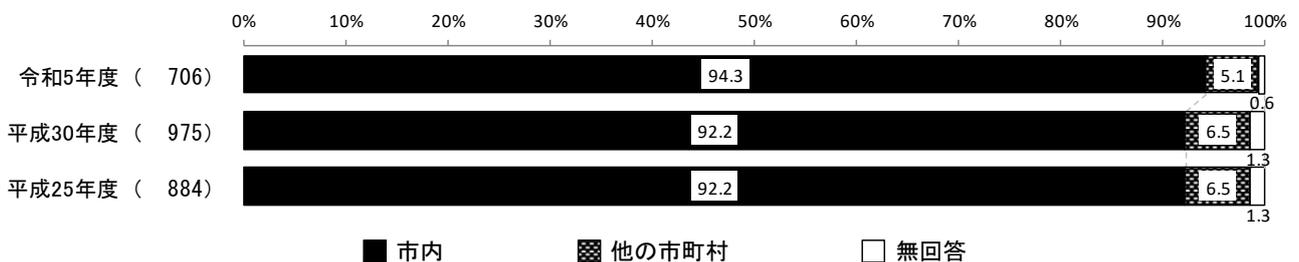
図表 1-3-4-3-8 教育・保育施設等の帰園時刻の希望



(4) 現在、利用している教育・保育施設等の利用場所

現在、利用している教育・保育施設等の利用場所は、「市内」が94.3%、「他の市町村」が5.1%となっています。

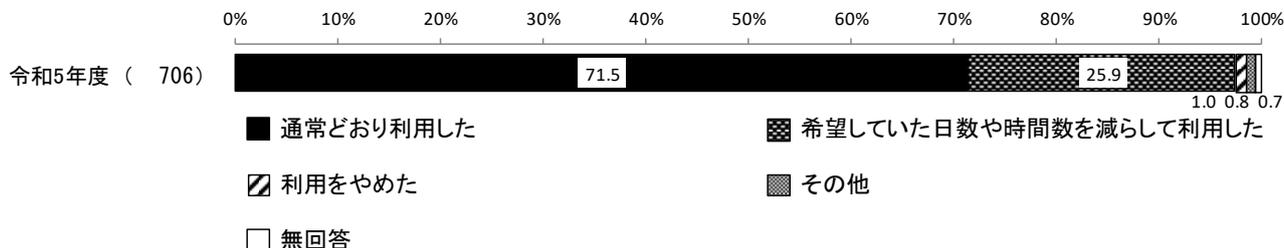
図表 1-3-4-4 現在、利用している教育・保育施設等の利用場所



(5) 教育・保育施設等を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響

教育・保育施設等を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響は、「通常どおり利用した」が71.5%と最も高く、次いで「希望していた日数や時間数を減らして利用した」が25.9%となっています。

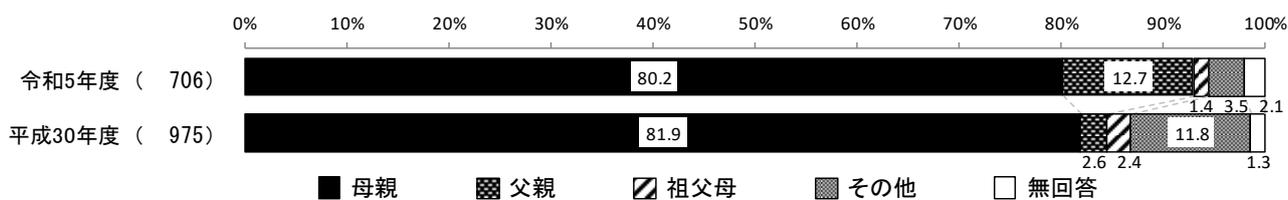
図表 1-3-4-5 教育・保育施設等を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響



(6) 利用している教育・保育施設等への主な送迎者と送迎にかかる時間

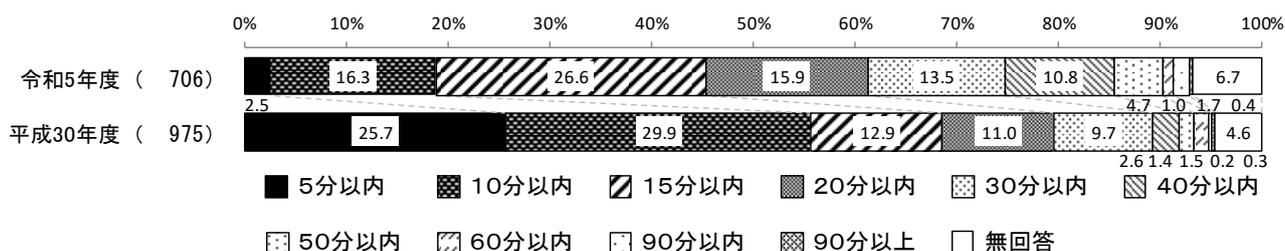
利用している教育・保育施設等への主な送迎者は、「母親」が80.2%と最も高く、次いで「父親」が12.7%となっています。

図表 1-3-4-6-1 利用している教育・保育施設等への主な送迎者



利用している教育・保育施設等への送迎にかかる時間は、「15分以内」が26.6%と最も高く、次いで「10分以内」が16.3%、「20分以内」が15.9%となっています。

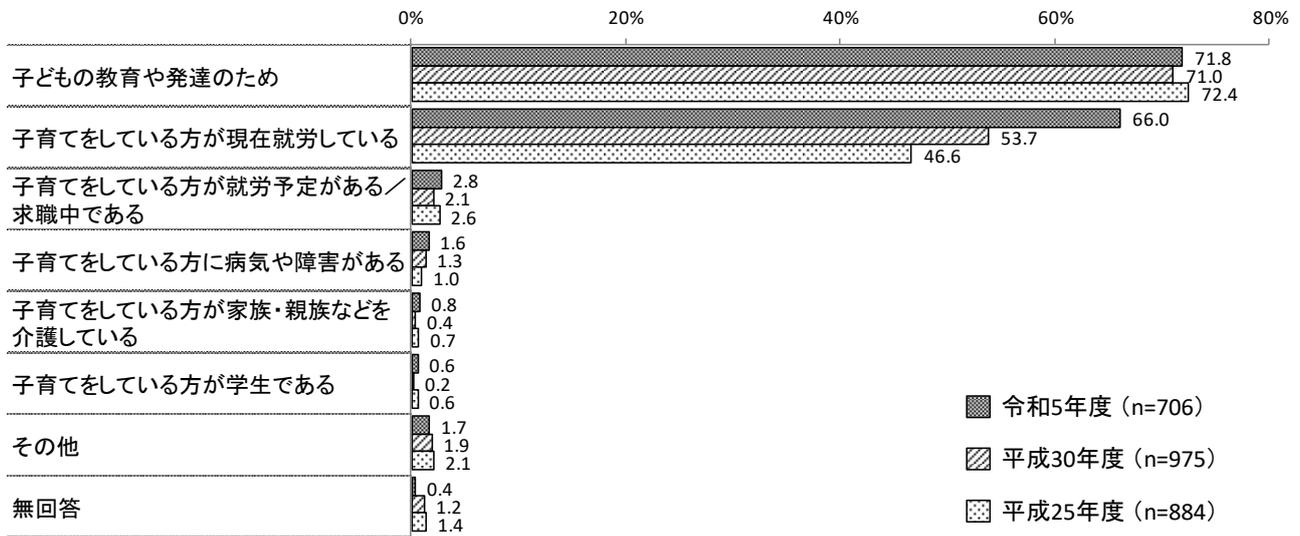
図表 1-3-4-6-2 利用している教育・保育施設等への送迎にかかる時間



(7) 教育・保育施設等を利用している理由

教育・保育施設等を利用している理由を複数回答で聞いたところ、「子どもの教育や発達のため」が71.8%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が66.0%となっています。

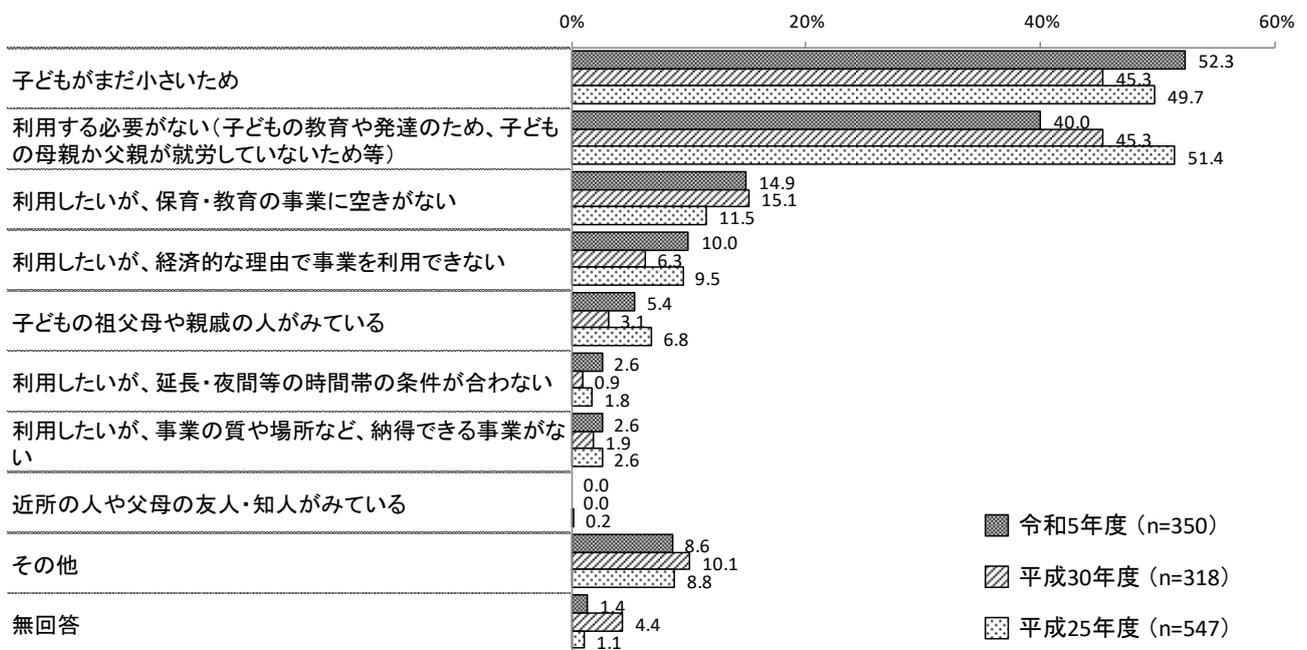
図表 1-3-4-7 教育・保育施設等を利用している理由（複数回答）



(8) 教育・保育施設等を利用していない理由

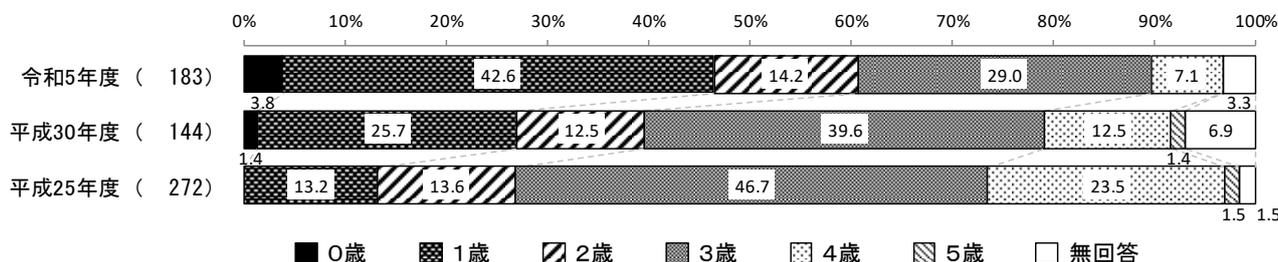
教育・保育施設等を利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「子どもがまだ小さいため」が52.3%と最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）」が40.0%となっています。

図表 1-3-4-8-1 教育・保育施設等を利用していない理由（複数回答）



子どもがまだ小さいためと答えた方に、子どもが何歳くらいになったら利用したいと考えているか聞いたところ、「1歳」が42.6%と最も高く、次いで「3歳」が29.0%、「2歳」が14.2%となっています。

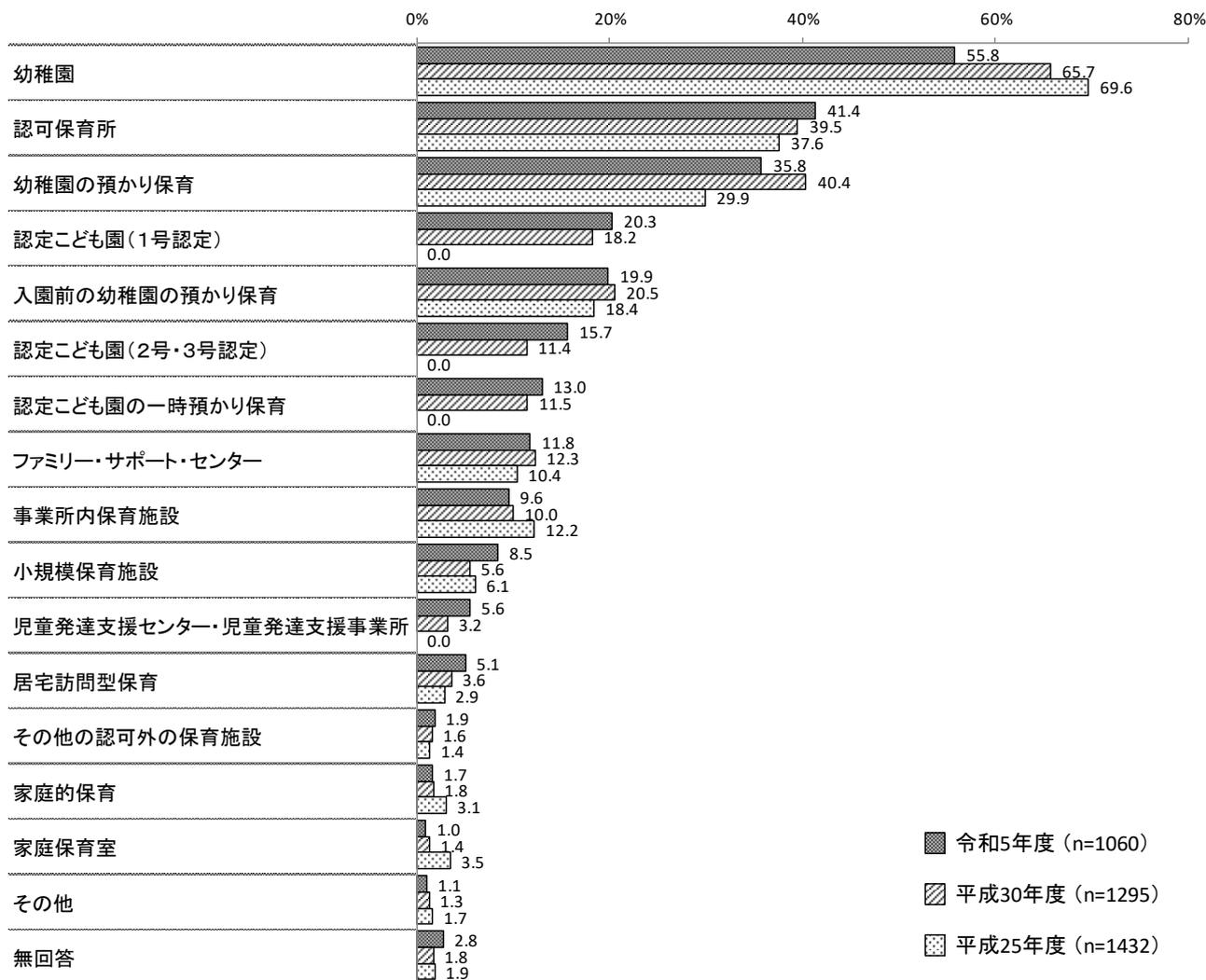
図表 1-3-4-8-2 利用したいと考える子どもの年齢



(9) 利用したいと考える教育・保育施設等

利用したいと考える教育・保育施設等について複数回答で聞いたところ、「幼稚園」が55.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が41.4%、「幼稚園の預かり保育」が35.8%となっています。

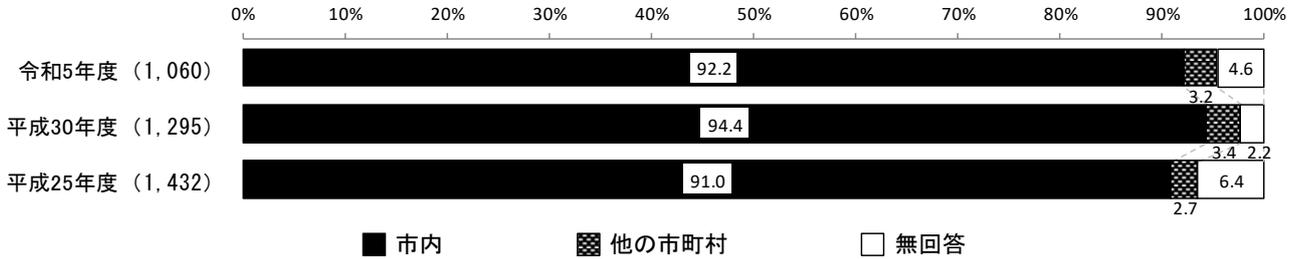
図表 1-3-4-9 利用したいと考える教育・保育施設等（複数回答）



(10) 利用したいと考える教育・保育施設等の場所

利用したいと考える教育・保育施設等の場所は、「市内」が92.2%、「他の市町村」が3.2%となっています。

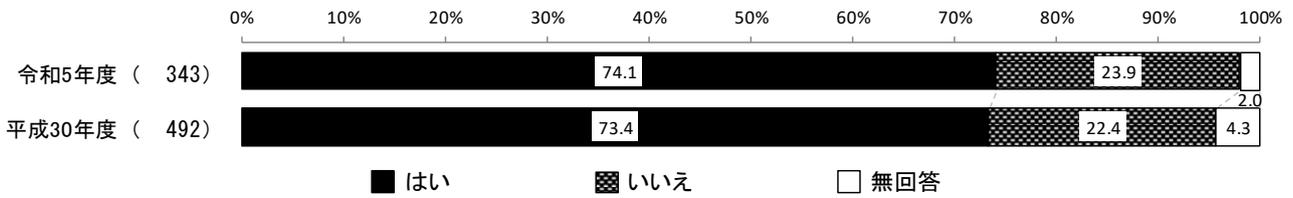
図表 1-3-4-10 利用したいと考える教育・保育施設等の場所



(11) 幼稚園の利用希望の有無

幼稚園の利用希望の有無は、「はい」が74.1%、「いいえ」が23.9%となっており、「はい」が「いいえ」を50.2ポイント上回っている。

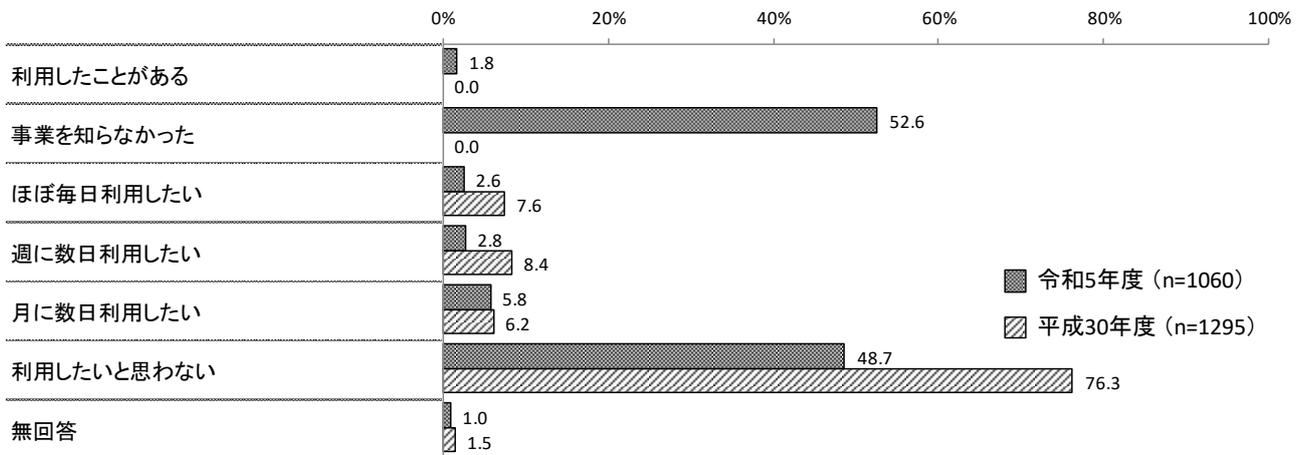
図表 1-3-4-11 幼稚園の利用希望の有無



(12) 保育ステーションの利用意向と時間帯

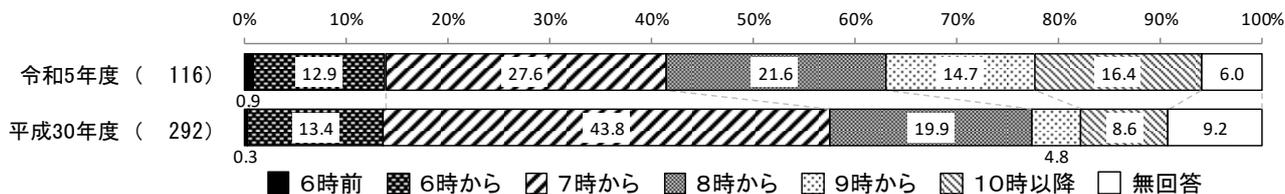
保育ステーションの利用意向は、「事業を知らなかった」が52.6%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が48.7%となっています。

図表 1-3-4-12-1 保育ステーションの利用意向（複数回答）



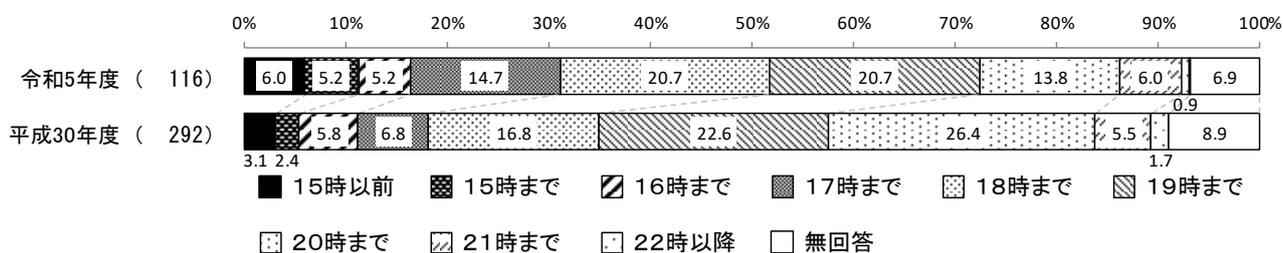
希望する保育ステーションの利用開始時刻は、「7時から」が27.6%と最も高く、次いで「8時から」が21.6%、「10時以降」が16.4%となっています。

図表 1-3-4-12-2 希望する保育ステーションの利用開始時刻



希望する保育ステーションの利用終了時刻は、「18時まで」と「19時まで」がともに20.7%と最も高く、次いで「17時まで」が14.7%、「20時まで」が13.8%となっています。

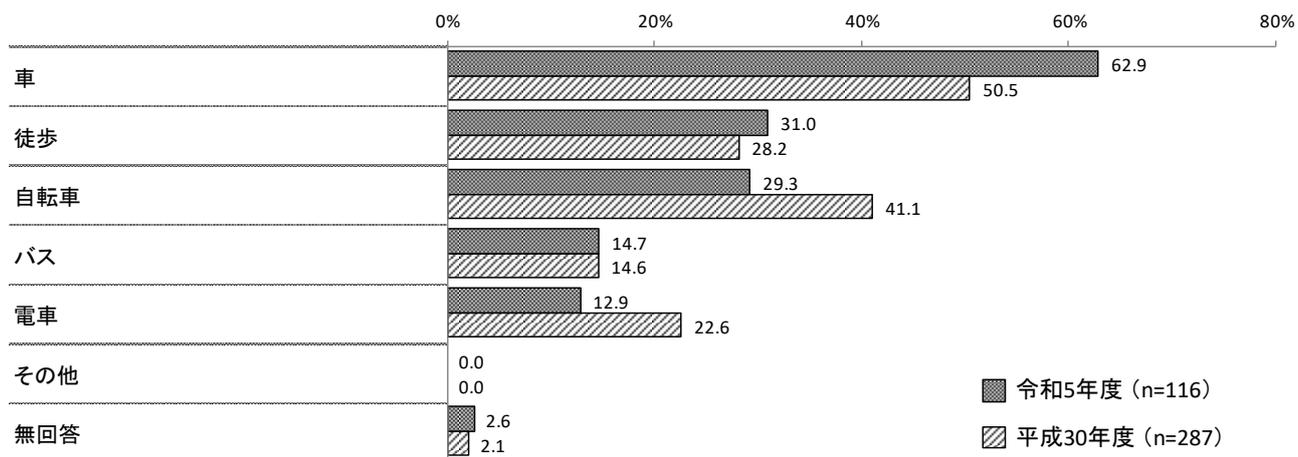
図表 1-3-4-12-3 希望する保育ステーションの利用終了時刻



(13) 保育ステーションへの送迎方法、保育ステーションから送迎する施設の種類の種類及び所在地

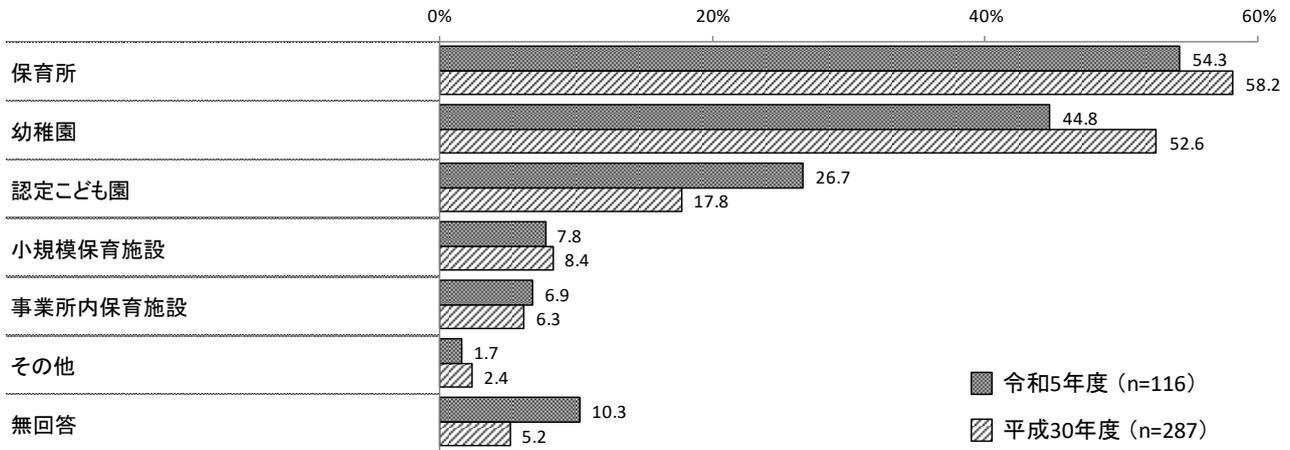
保育ステーションの利用を希望する方に、保育ステーションへの送迎方法について複数回答で聞いたところ、「車」が62.9%と最も高く、次いで「徒歩」が31.0%、「自転車」が29.3%となっています。

図表 1-3-4-13-1 保育ステーションへの送迎方法（複数回答）



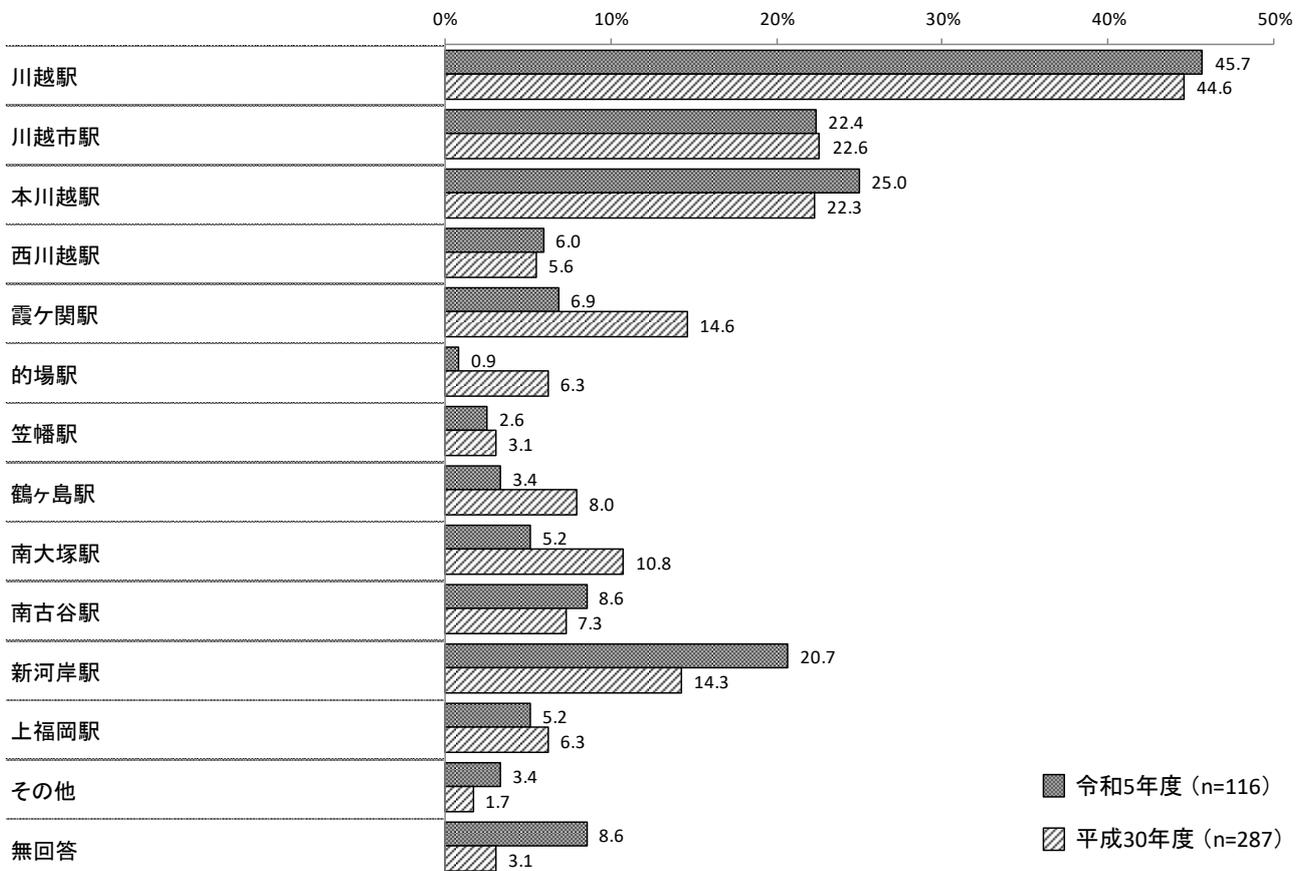
保育ステーションの利用を希望する方に、保育ステーションから送迎する施設の種類について複数回答で聞いたところ、「保育所」が54.3%と最も高く、次いで「幼稚園」が44.8%、「認定こども園」が26.7%となっています。

図表 1-3-4-13-2 保育ステーションから送迎する施設の種類（複数回答）



保育ステーションから送迎する施設の所在地（最寄り駅）について複数回答で聞いたところ、「川越駅」が45.7%と最も高く、次いで「本川越駅」が25.0%、「川越市駅」が22.4%、「新河岸駅」が20.7%となっています。

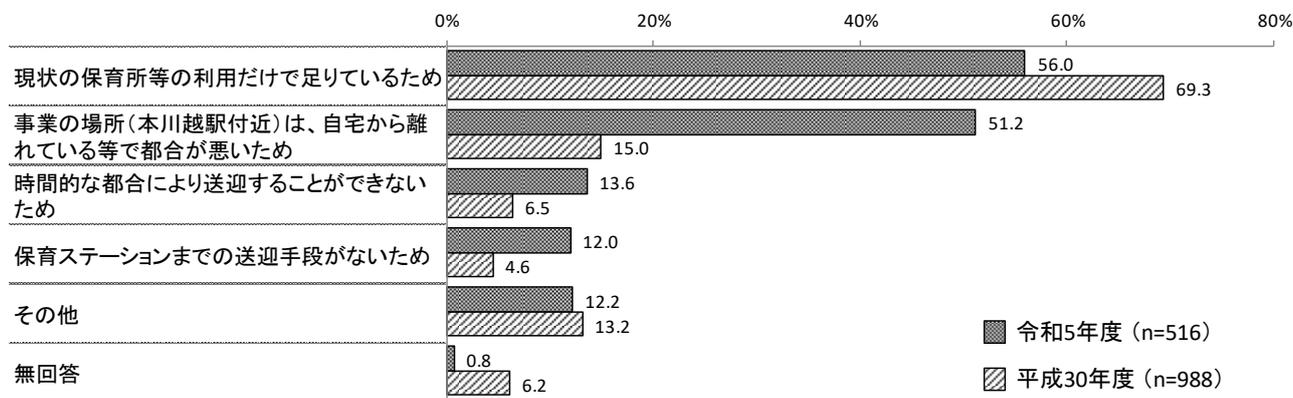
図表 1-3-4-13-3 保育ステーションから送迎する施設の所在地（最寄り駅）（複数回答）



(14) 保育ステーションを利用したいと思わない理由

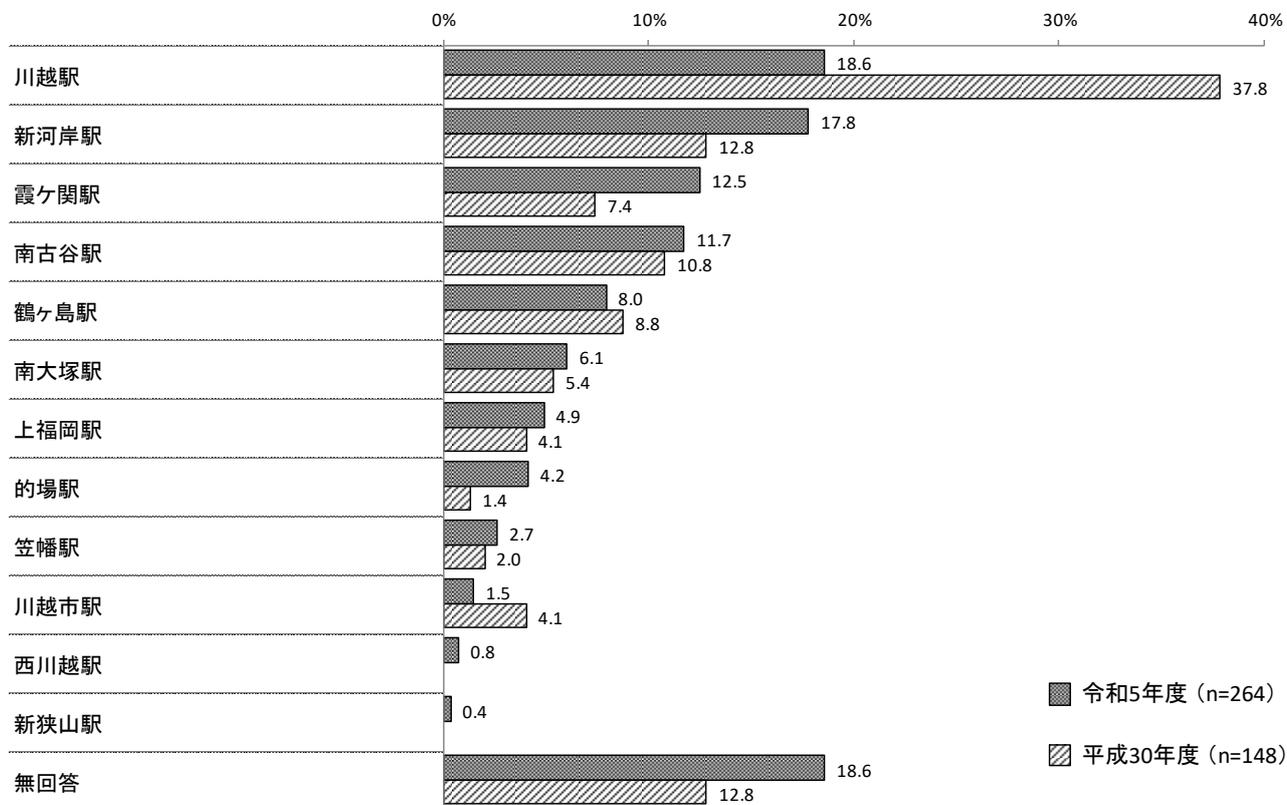
保育ステーションを利用したいと思わない理由について複数回答で聞いたところ、「現状の保育所等の利用だけで足りているため」が56.0%と最も高く、次いで「事業の場所（本川越駅付近）は、自宅から離れている等で都合が悪いため」が51.2%、「時間的な都合により送迎することができないため」が13.6%となっています。

図表 1-3-4-14-1 保育ステーションを利用したいと思わない理由（複数回答）



事業の場所（本川越駅付近）は、自宅から離れている等で都合が悪いためと回答した方にどの駅の方が都合がよいか複数回答で聞いたところ、「川越駅」が18.6%と最も高く、次いで「新河岸駅」が17.8%、「霞ヶ関駅」が12.5%となっています。

図表 1-3-4-14-2 都合が良いと思う駅（複数回答）

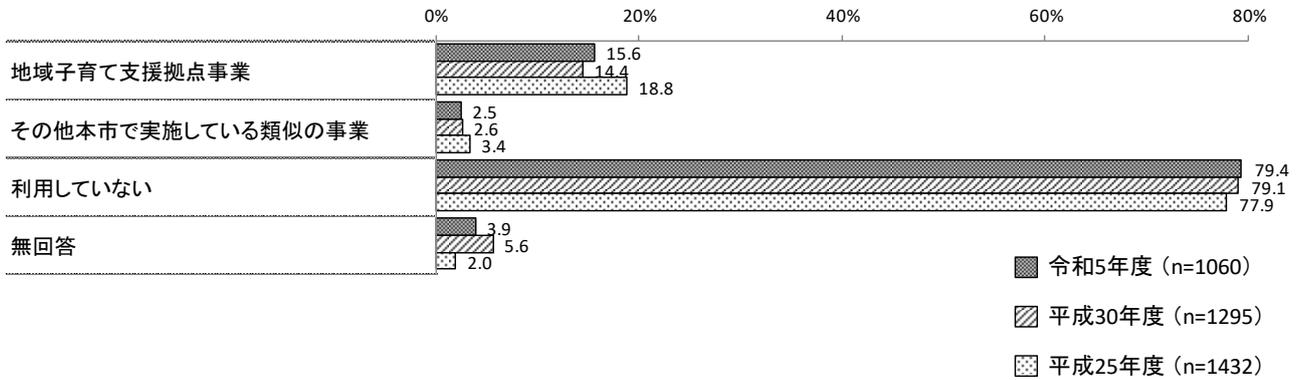


5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

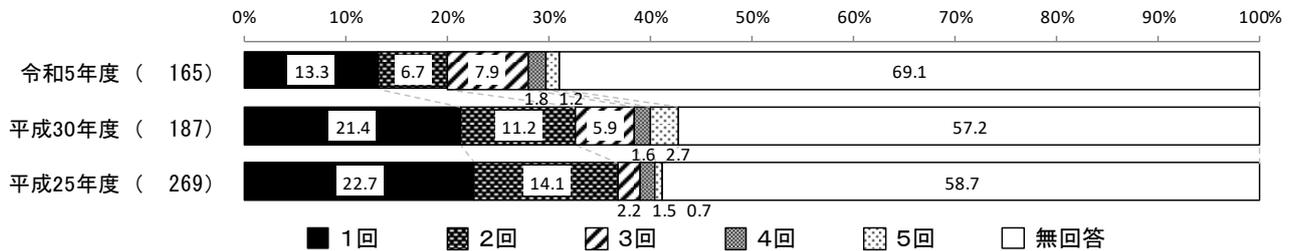
地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「地域子育て支援拠点事業」が15.6%、「その他本市で実施している類似の事業」が2.5%となっています。一方、「利用していない」は79.4%となっています。

図表 1-3-5-1-1 地域子育て支援拠点事業の利用状況



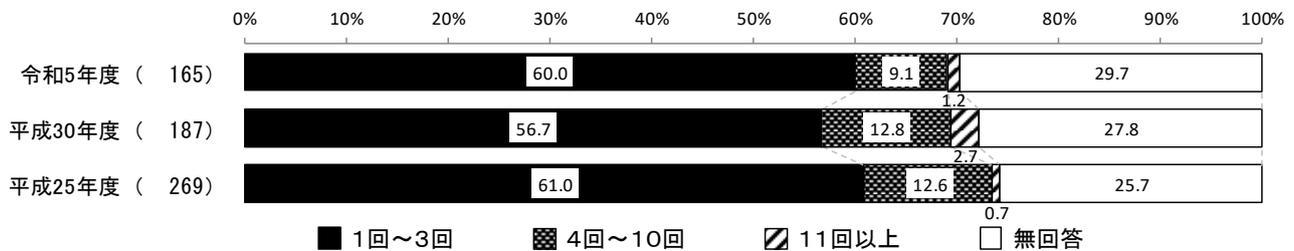
地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用回数は、「1回」が13.3%と最も高く、次いで「3回」が7.9%、「2回」が6.7%となっています。

図表 1-3-5-1-2 地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用回数



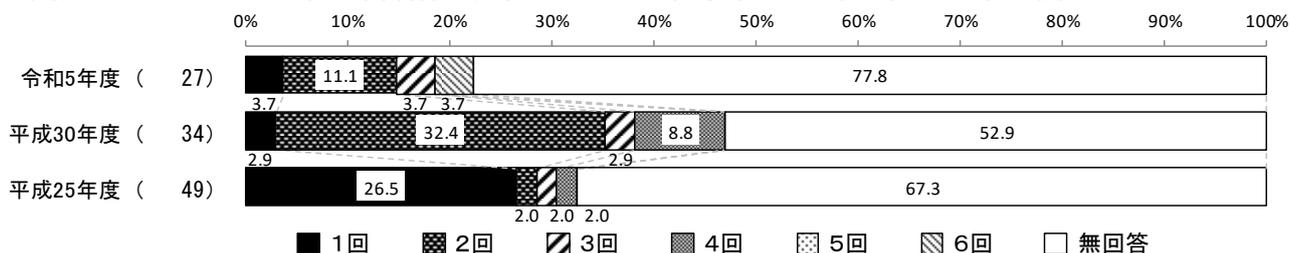
地域子育て支援拠点事業の1か月当たりの利用回数は、「1～3回」が60.0%と最も高く、次いで「4～10回」が9.1%、「11回以上」が1.2%となっています。

図表 1-3-5-1-3 地域子育て支援拠点事業の1か月当たりの利用回数



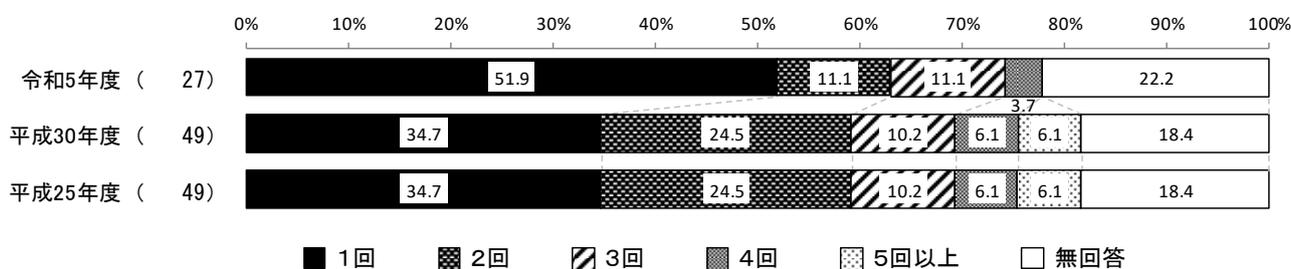
その他の自治体で実施している類似事業の1週間当たりの利用回数は、「2回」が11.1%と最も高く、次いで「1回」「3回」「6回」がいずれも3.7%となっています。

図表 1-3-5-1-4 その他の自治体で実施している類似事業の1週間当たりの利用回数



その他の自治体で実施している類似事業の1か月当たりの利用回数は、「1回」が51.9%と最も高く、次いで「2回」と「3回」がともに11.1%となっています。

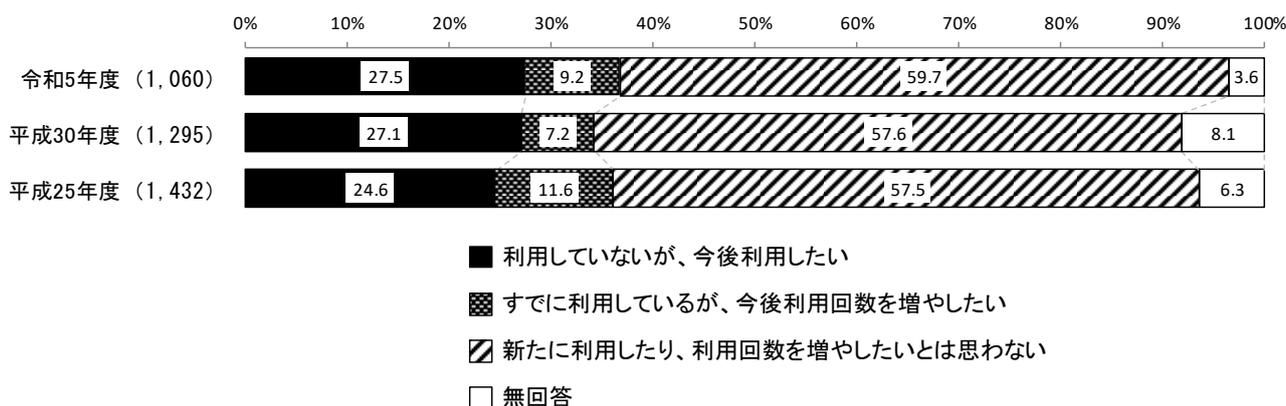
図表 1-3-5-1-5 その他の自治体で実施している類似事業の1か月当たりの利用回数



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

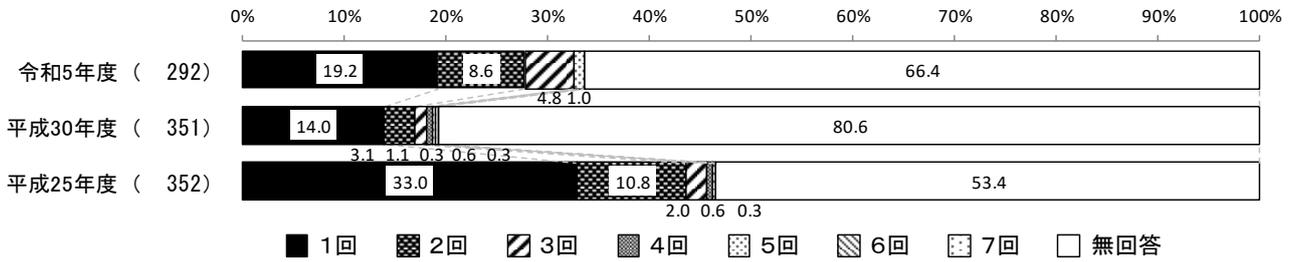
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」が59.7%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が27.5%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が9.2%となっています。

図表 1-3-5-2-1 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



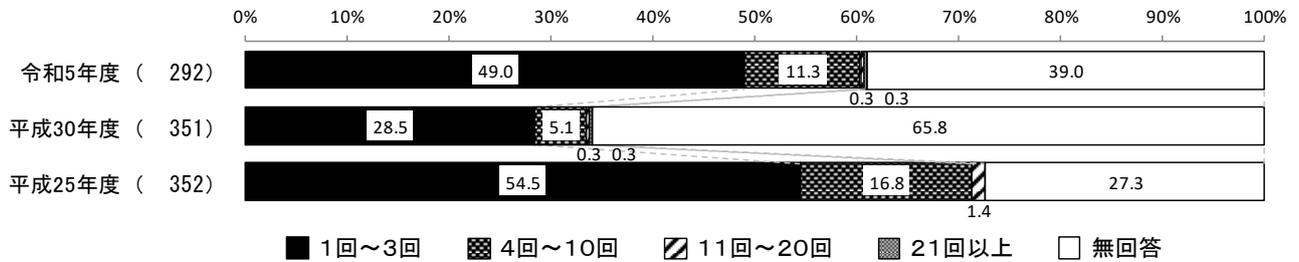
利用していないが、今後利用したいと回答した方の希望する1週間当たりの利用回数は、「1回」が19.2%と最も高く、次いで「2回」が8.6%、「3回」が4.8%となっています。

図表 1-3-5-2-2 希望する1週間当たりの利用回数



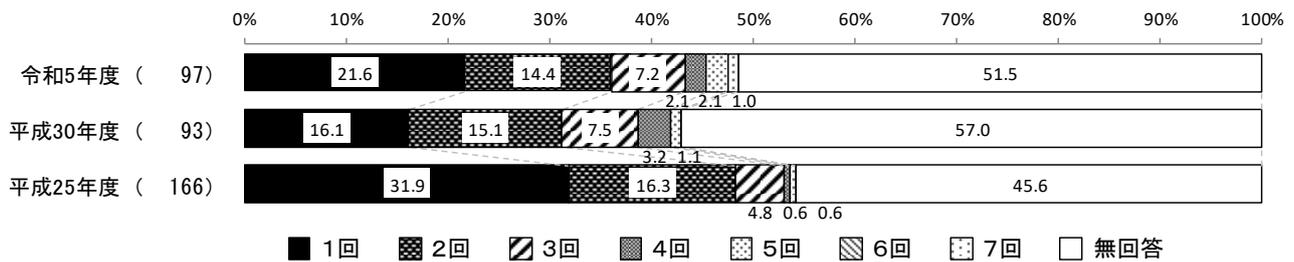
利用していないが、今後利用したいと回答した方の希望する1か月当たりの利用回数は、「1～3回」が49.0%と最も高く、次いで「4～10回」が11.3%となっています。

図表 1-3-5-2-3 希望する1か月当たりの利用回数



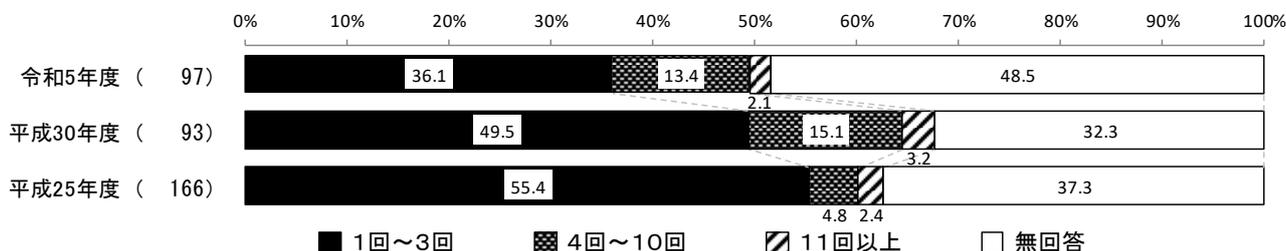
すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたいと回答した方の増やしたい1週間当たりの利用回数は、「1回」が21.6%と最も高く、次いで「2回」が14.4%、「3回」が7.2%となっています。

図表 1-3-5-2-4 増やしたい1週間当たりの利用回数



すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたいと回答した方の増やしたい1か月当たりの利用回数は、「1～3回」が36.1%と最も高く、次いで「4～6回」が13.4%、「11回以上」が2.1%となっています。

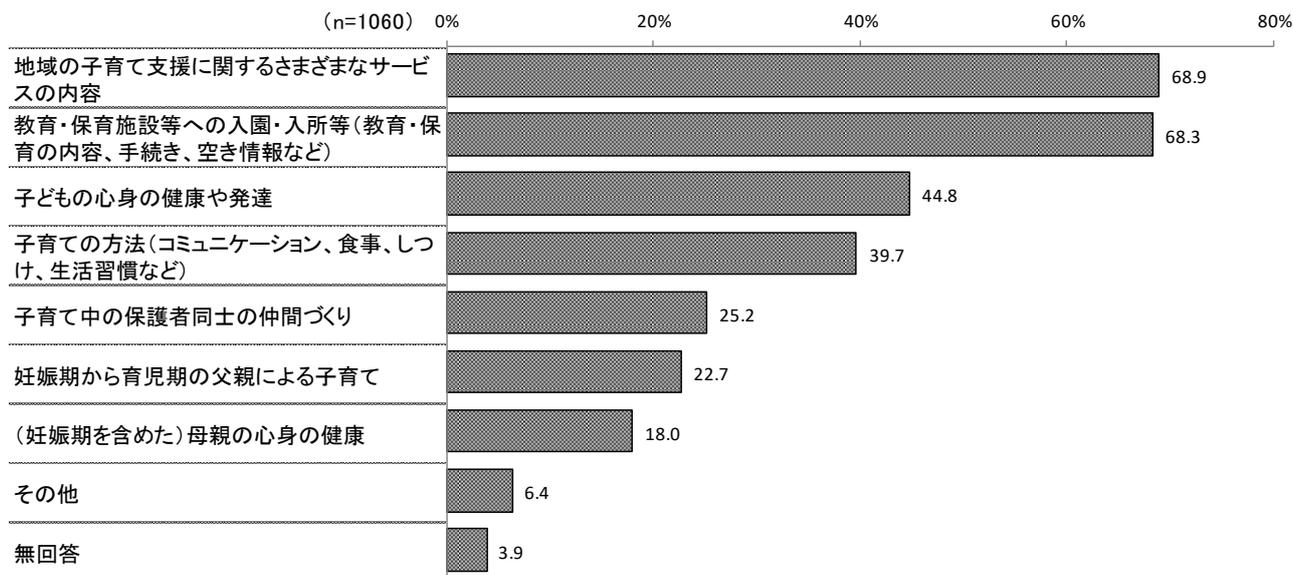
図表 1-3-5-2-5 増やしたい1か月当たりの利用回数



(3) 川越市から受けたい情報提供や相談・支援の内容

川越市から受けたい情報提供や相談・支援の内容を複数回答で聞いたところ、「地域の子育て支援に関するさまざまなサービスの内容」が68.9%と最も高く、次いで「教育・保育施設等への入園・入所等（教育・保育の内容、手続き、空き情報など）」が68.3%、「子どもの心身の健康や発達」が44.8%となっています。

図表 1-3-5-3 川越市から受けたい情報提供や相談・支援の内容

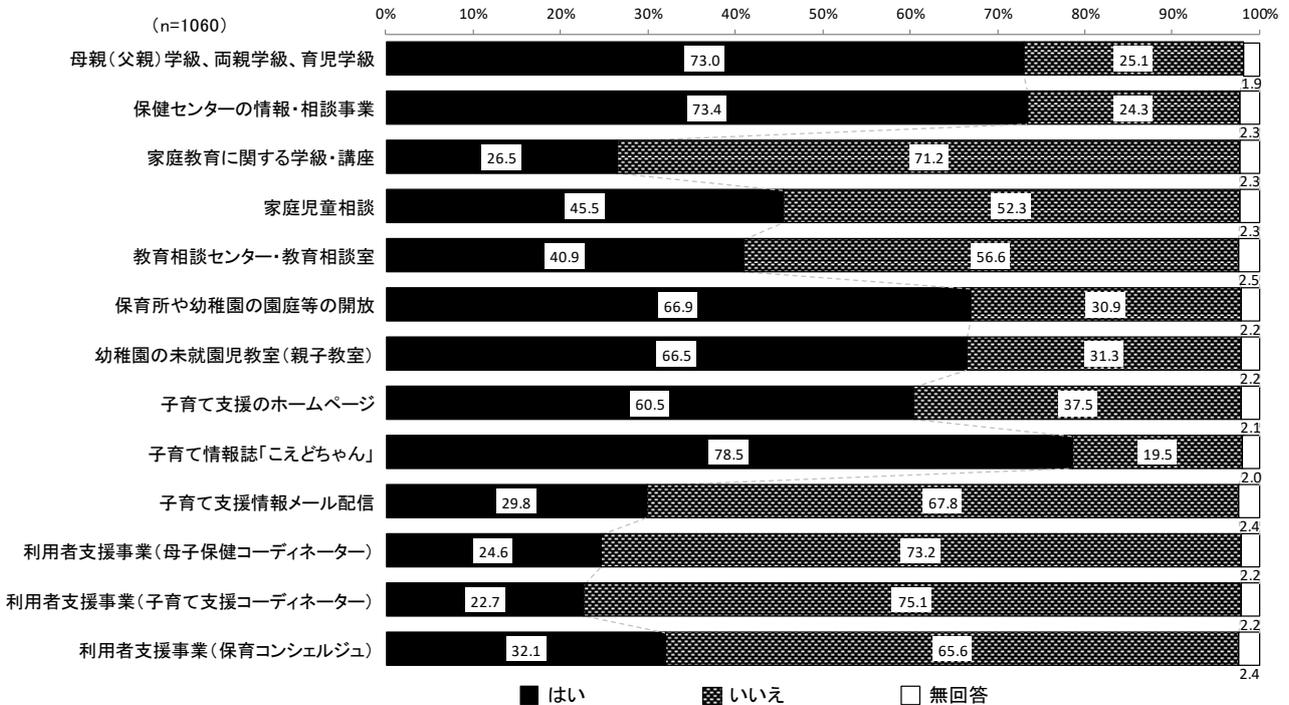


(4) 市で実施している事業の認知度、利用経験、利用希望

①認知度

認知度については、「子育て情報誌『こえどちゃん』」(78.5%)、「保健センターの情報・相談事業」(73.4%)、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(73.0%)でいずれも7割を超えて高くなっています。

図表 1-3-5-4-1 市で実施している事業の認知度



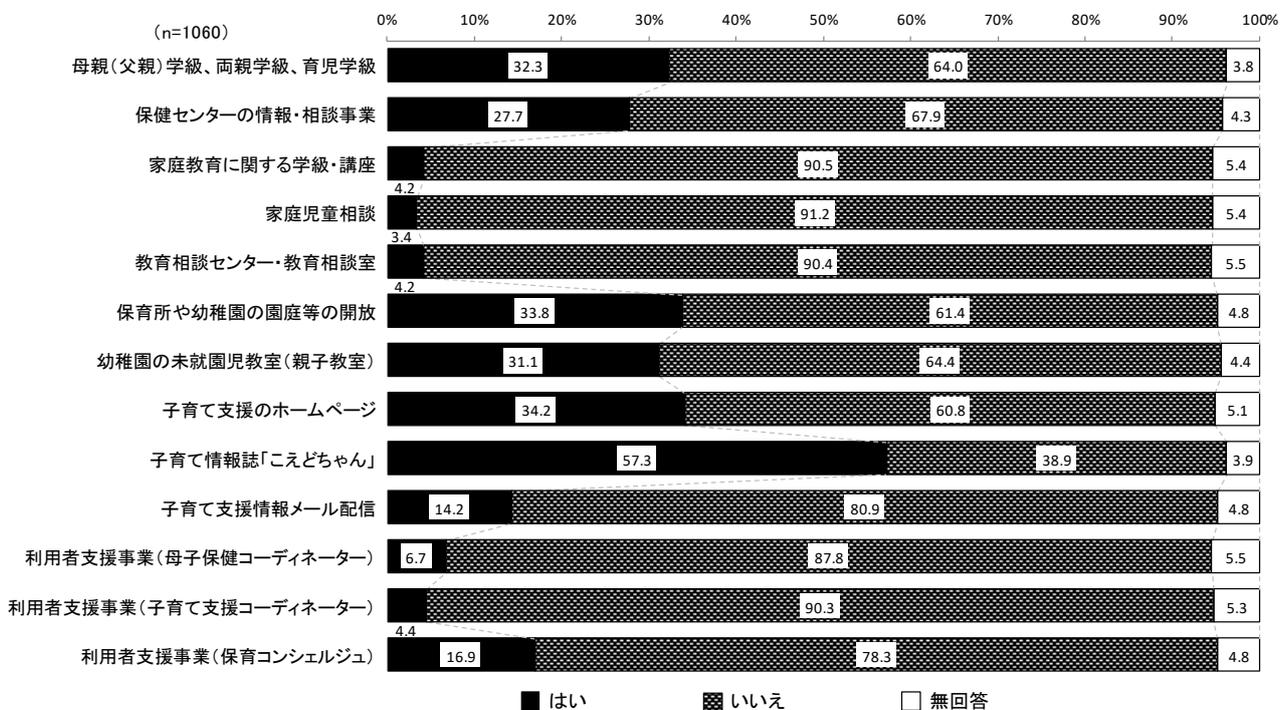
(上段:実数、下段:%)

項目	平成30年度(n=1295)			平成25年度(n=1432)		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
母親(父親)学級、両親学級、育児学級	951	251	93	1026	324	82
	73.4	19.4	7.2	71.6	22.6	5.7
保健センターの情報・相談事業	981	222	92	1075	275	82
	75.8	17.1	7.1	75.1	19.2	5.7
家庭教育に関する学級・講座	459	744	92	520	830	82
	35.4	57.5	7.1	36.3	58.0	5.7
家庭児童相談	605	605	85	669	689	74
	46.7	46.7	6.6	46.7	48.1	5.2
教育相談センター・教育相談室	583	612	100	621	733	78
	45.0	47.3	7.7	43.4	51.2	5.4
保育所や幼稚園の園庭等の開放	889	310	96	955	390	87
	68.6	23.9	7.4	66.7	27.2	6.1
幼稚園の未就園児教室(親子教室)	886	304	105	1003	344	85
	68.4	23.5	8.1	70.0	24.0	5.9
子育て支援のホームページ	791	406	98	733	627	72
	61.1	31.4	7.6	51.2	43.8	5.0
子育て情報誌「こえどちゃん」	922	268	105	852	509	71
	71.2	20.7	8.1	59.5	35.5	5.0
子育て支援情報メール配信	346	853	96	436	925	71
	26.7	65.9	7.4	30.4	64.6	5.0
利用者支援事業(母子保健コーディネーター)	197	1008	90	-	-	-
	15.2	77.8	6.9	-	-	-
利用者支援事業(子育て支援コーディネーター)	200	1005	90	-	-	-
	15.4	77.6	6.9	-	-	-
利用者支援事業(保育コンシェルジュ)	242	958	95	-	-	-
	18.7	74.0	7.3	-	-	-

②利用経験

利用経験については、「子育て情報誌『こえどちゃん』」が57.3%と最も高くなっています。また、「子育て支援のホームページ」（34.2%）、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（33.8%）、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（32.3%）、「幼稚園の未就園児教室（親子教室）」（31.1%）の4項目でいずれも3割を超えて比較的高くなっています。

図表 1-3-5-4-2 市で実施している事業の利用経験

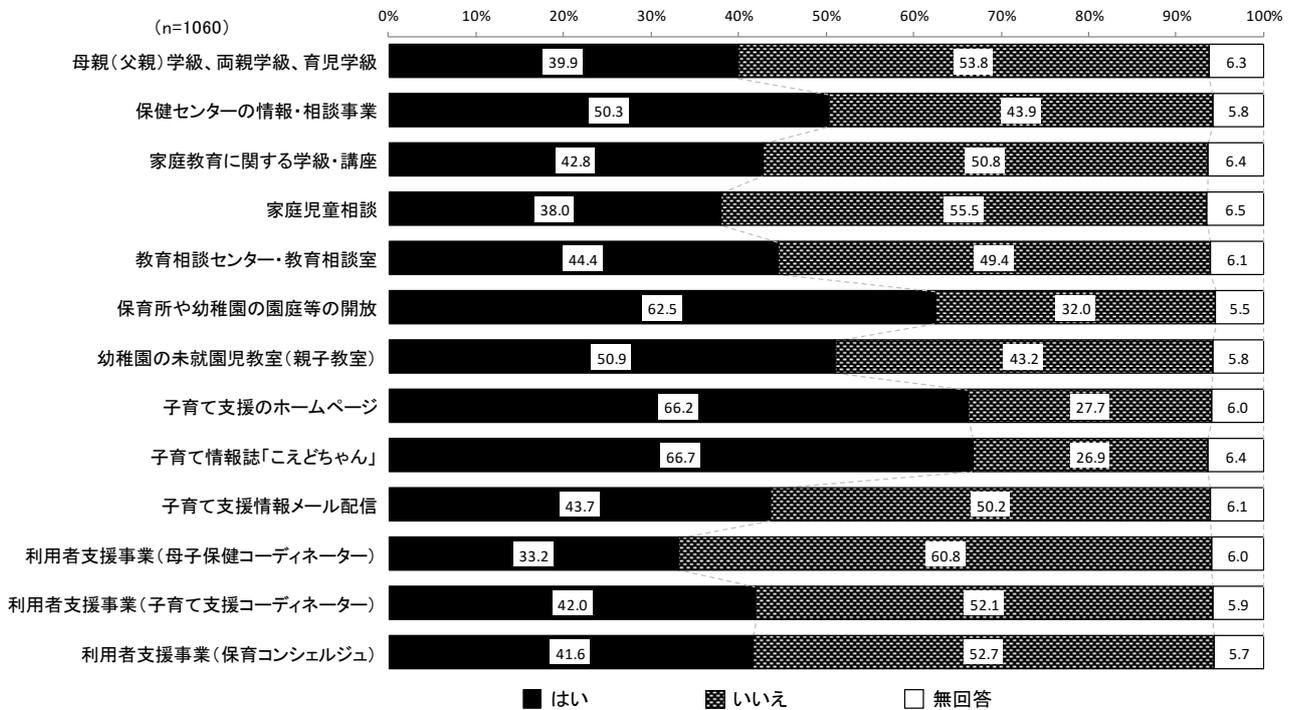


項目	平成30年度(n=1295)			平成25年度(n=1432)		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
母親(父親)学級、両親学級、育児学級	423	724	148	493	812	127
	32.7	55.9	11.4	34.4	56.7	8.9
保健センターの情報・相談事業	364	769	162	431	861	140
	28.1	59.4	12.5	30.1	60.1	9.8
家庭教育に関する学級・講座	76	1031	188	104	1148	180
	5.9	79.6	14.5	7.3	80.2	12.6
家庭児童相談	45	1060	190	34	1212	186
	3.5	81.9	14.7	2.4	84.6	13.0
教育相談センター・教育相談室	55	1029	211	47	1198	187
	4.2	79.5	16.3	3.3	83.7	13.1
保育所や幼稚園の園庭等の開放	457	690	148	477	824	131
	35.3	53.3	11.4	33.3	57.5	9.1
幼稚園の未就園児教室(親子教室)	444	713	138	474	827	131
	34.3	55.1	10.7	33.1	57.8	9.1
子育て支援のホームページ	409	732	154	304	964	164
	31.6	56.5	11.9	21.2	67.3	11.5
子育て情報誌「こえどちゃん」	668	483	144	577	708	147
	51.6	37.3	11.1	40.3	49.4	10.3
子育て支援情報メール配信	163	958	174	162	1094	176
	12.6	74.0	13.4	11.3	76.4	12.3
利用者支援事業(母子保健コーディネーター)	27	1077	191	-	-	-
	2.1	83.2	14.7	-	-	-
利用者支援事業(子育て支援コーディネーター)	21	1086	188	-	-	-
	1.6	83.9	14.5	-	-	-
利用者支援事業(保育コンシェルジュ)	51	1053	191	-	-	-
	3.9	81.3	14.7	-	-	-

③利用意向

利用意向については、「子育て情報誌『こえどちゃん』」(66.7%)、「子育て支援のホームページ」(66.2%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(62.5%)でいずれも6割を超えて高くなっています。

図表 1-3-5-4-3 市で実施している事業の利用意向



(上段:実数、下段:%)

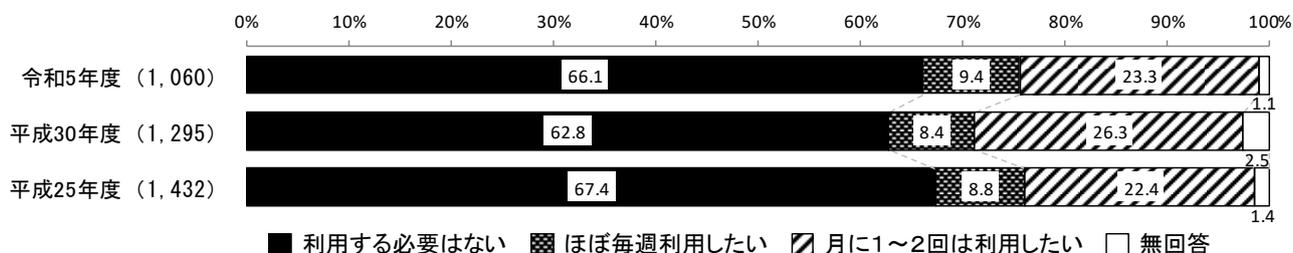
項目	平成30年度(n=1295)			平成25年度(n=1432)		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
母親(父親)学級、両親学級、育児学級	369	739	187	437	782	213
	28.5	57.1	14.4	30.5	54.6	14.9
保健センターの情報・相談事業	511	595	189	647	581	204
	39.5	45.9	14.6	45.2	40.6	14.2
家庭教育に関する学級・講座	414	693	188	512	720	200
	32.0	53.5	14.5	35.8	50.3	14.0
家庭児童相談	341	769	185	417	807	208
	26.3	59.4	14.3	29.1	56.4	14.5
教育相談センター・教育相談室	410	681	204	491	727	214
	31.7	52.6	15.8	34.3	50.8	14.9
保育所や幼稚園の園庭等の開放	640	481	174	826	423	183
	49.4	37.1	13.4	57.7	29.5	12.8
幼稚園の未就園児教室(親子教室)	511	599	185	664	584	184
	39.5	46.3	14.3	46.4	40.8	12.8
子育て支援のホームページ	663	440	192	734	495	203
	51.2	34.0	14.8	51.3	34.6	14.2
子育て情報誌「こえどちゃん」	705	396	194	768	472	192
	54.4	30.6	15.0	53.6	33.0	13.4
子育て支援情報メール配信	458	657	180	548	683	201
	35.4	50.7	13.9	38.3	47.7	14.0
利用者支援事業(母子保健コーディネーター)	305	794	196	-	-	-
	23.6	61.3	15.1	-	-	-
利用者支援事業(子育て支援コーディネーター)	334	769	192	-	-	-
	25.8	59.4	14.8	-	-	-
利用者支援事業(保育コンシェルジュ)	341	758	196	-	-	-
	26.3	58.5	15.1	-	-	-

6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望について

(1) 土曜日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望

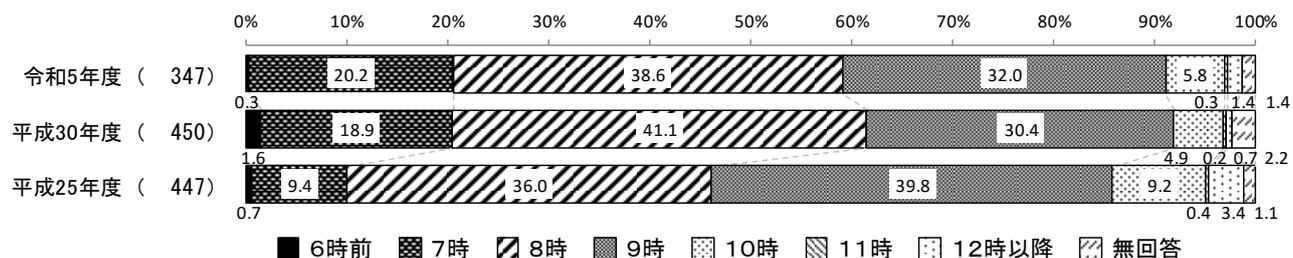
土曜日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望は、「利用する必要はない」が66.1%、「ほぼ毎週利用したい」(9.4%)と「月に1~2回は利用したい」(23.3%)を合わせた『利用したい』は32.7%となっています。

図表 1-3-6-1-1 土曜日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望



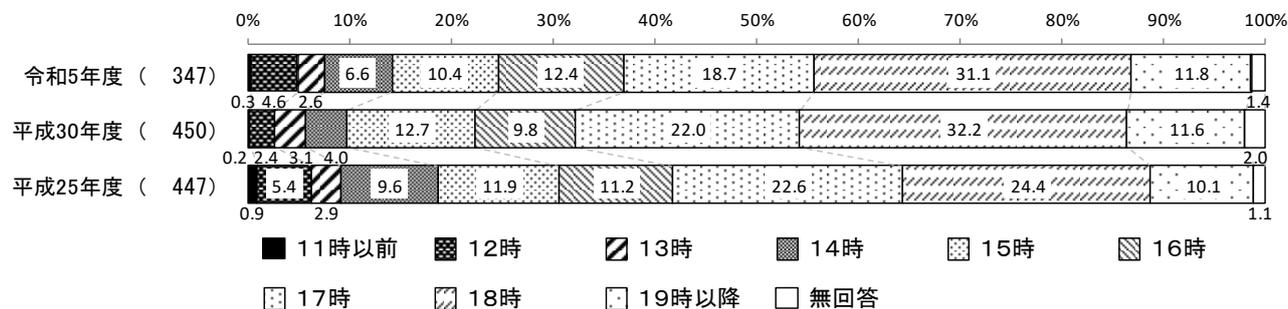
土曜日に希望する登園時刻は、「8時」が38.6%と最も高く、次いで「9時」が32.0%、「7時」が20.2%となっています。

図表 1-3-6-1-2 土曜日に希望する登園時刻



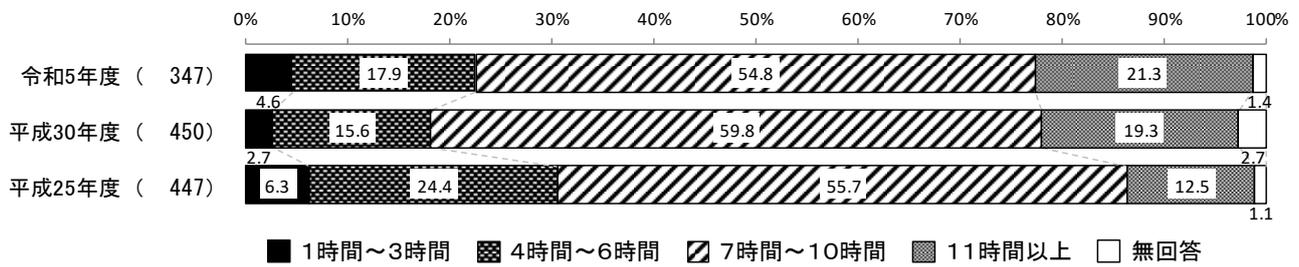
土曜日に希望する帰園時刻は、「18時」が31.1%と最も高く、次いで「17時」が18.7%、「16時」が12.4%となっています。

図表 1-3-6-1-3 土曜日に希望する帰園時刻



土曜日に希望する1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が54.8%と最も高く、次いで「11時間以上」が21.3%、「4時間～6時間」が17.9%となっています。

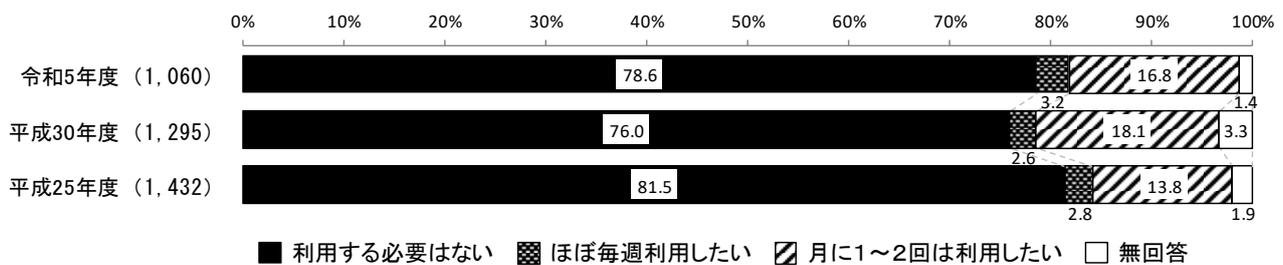
図表 1-3-6-1-4 土曜日に希望する1日当たりの利用時間



(2) 日曜日・休日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望

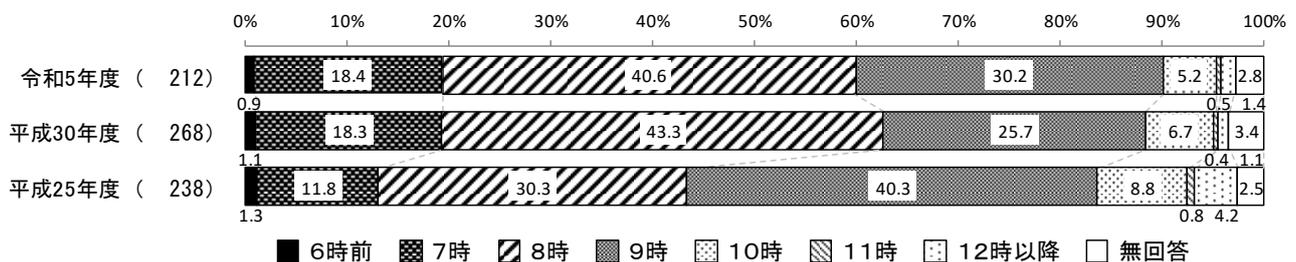
日曜日・休日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望は、「利用する必要はない」が78.6%、「ほぼ毎週利用したい」(3.2%)と「月に1～2回は利用したい」(16.8%)を合わせた『利用したい』は20.0%となっています。

図表 1-3-6-2-1 日曜日・休日の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望



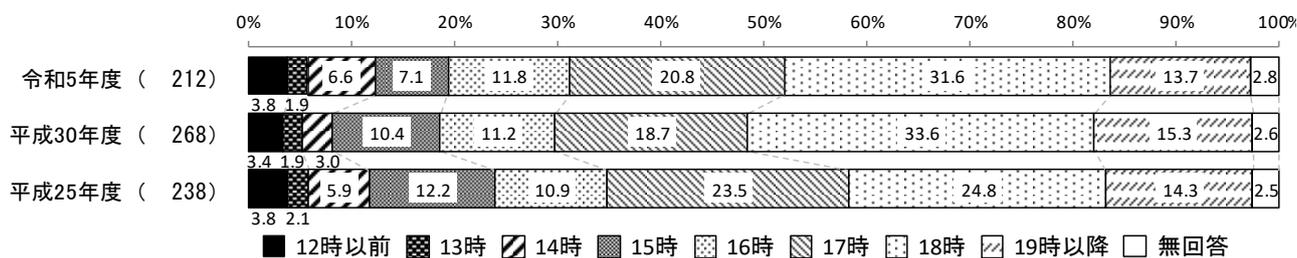
日曜日・休日に希望する登園時刻は、「8時」が40.6%と最も高く、次いで「9時」が30.2%、「7時」が18.4%となっています。

図表 1-3-6-2-2 日曜日・休日に希望する登園時刻



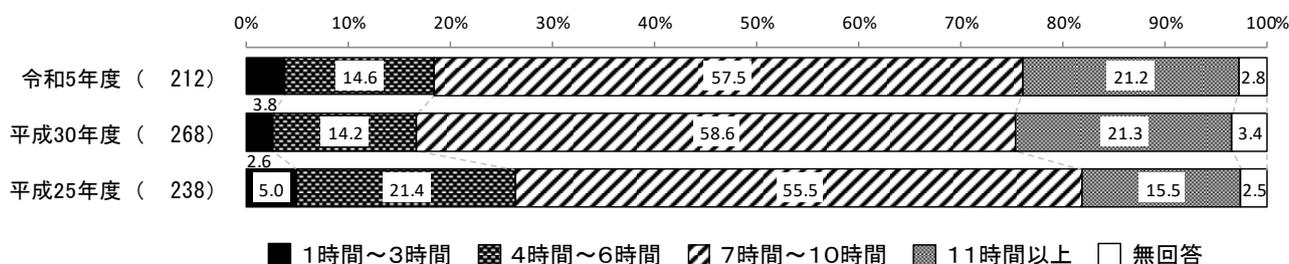
日曜日・休日に希望する帰園時刻は、「18時」が31.6%と最も高く、次いで「17時」が20.8%、「19時以降」が13.7%となっています。

図表 1-3-6-2-3 日曜日・休日に希望する帰園時刻



日曜日・休日に希望する1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が57.5%と最も高く、次いで「11時間以上」が21.2%、「4時間～6時間」が14.6%となっています。

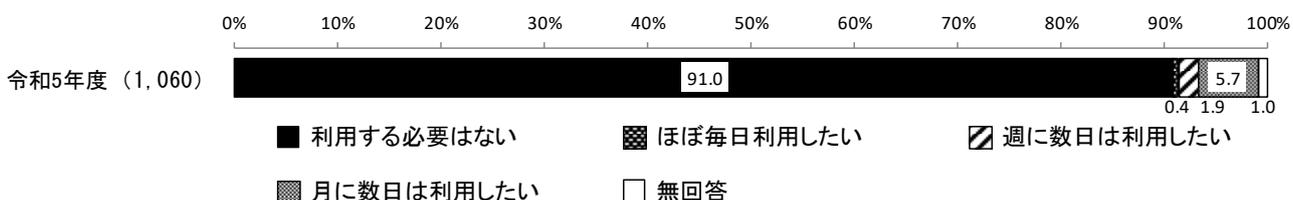
図表 1-3-6-2-4 日曜日・休日に希望する1日当たりの利用時間



(3) 夜間保育事業の利用希望

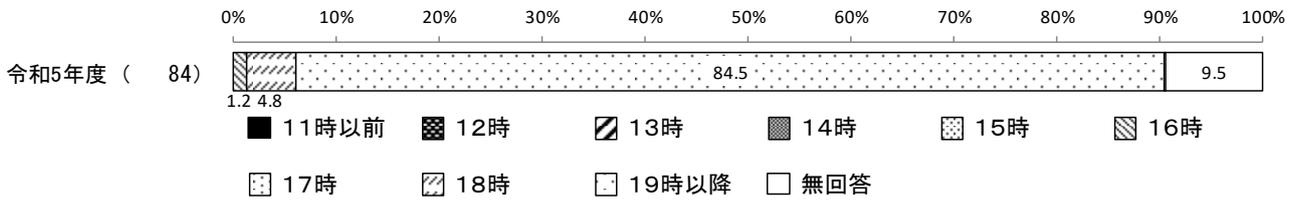
夜間保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が91.0%、「ほぼ毎日利用したい」(0.4%)と「週に数日は利用したい」(1.9%)と「月に数日は利用したい」(5.7%)を合わせた『利用したい』は8.0%となっています。

図表 1-3-6-3-1 夜間保育事業の利用希望



夜間保育事業で希望する利用終了時刻は、「19時以降」が84.5%と最も高く、次いで「18時」が4.8%、「16時」が1.2%となっています。

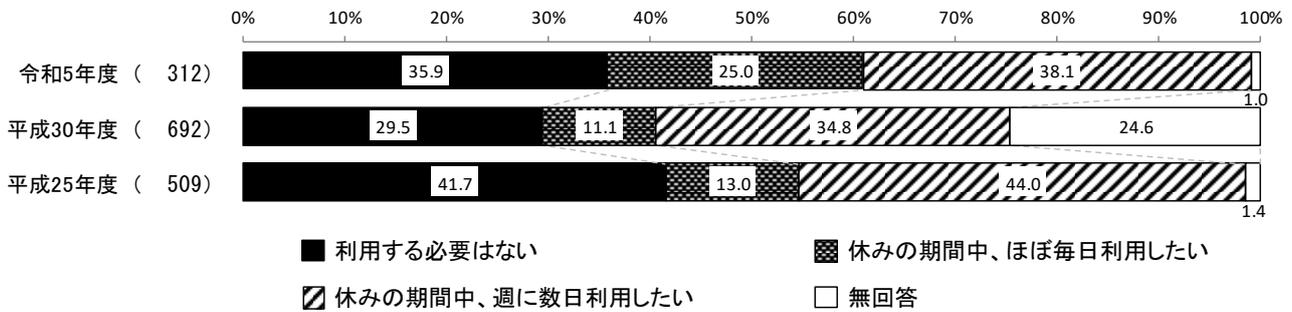
図表 1-3-6-3-2 夜間保育事業で希望する利用終了時刻



(4) 長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望

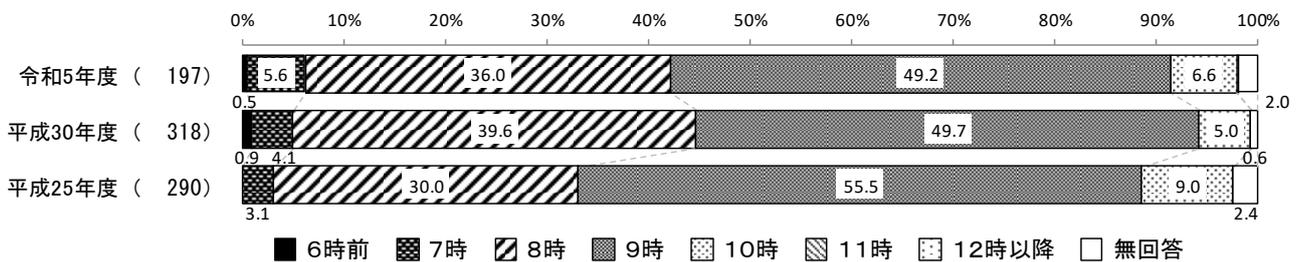
長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望は、「利用する必要はない」が35.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(25.0%)と「休みの期間中、週に数日利用したい」(38.1%)を合わせた『利用したい』は63.1%となっています。

図表 1-3-6-4-1 長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用希望



長期休暇中に希望する登園時刻は、「9時」が49.2%と最も高く、次いで「8時」が36.0%、「10時」が6.6%となっています。

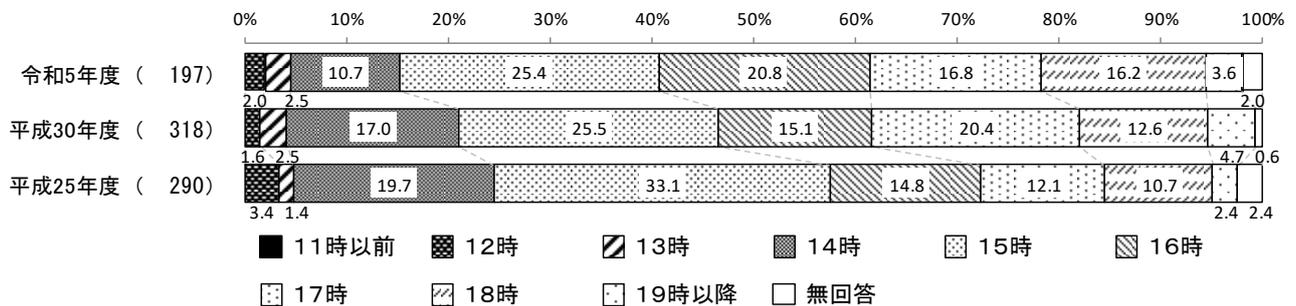
図表 1-3-6-4-2 長期休暇中に希望する登園時刻



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

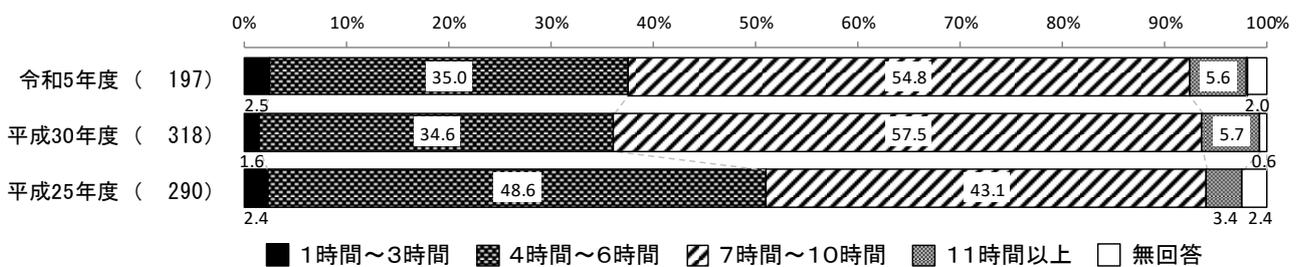
長期休暇中に希望する帰園時刻は、「15時」が25.4%と最も高く、次いで「16時」が20.8%、「17時」が16.8%、「18時」が16.2%となっています。

図表 1-3-6-4-3 長期休暇中に希望する帰園時刻



長期休暇中に希望する1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が54.8%と最も高く、次いで「4時間～6時間」が35.0%、「11時間以上」が5.6%となっています。

図表 1-3-6-4-4 長期休暇中に希望する1日当たりの利用時間

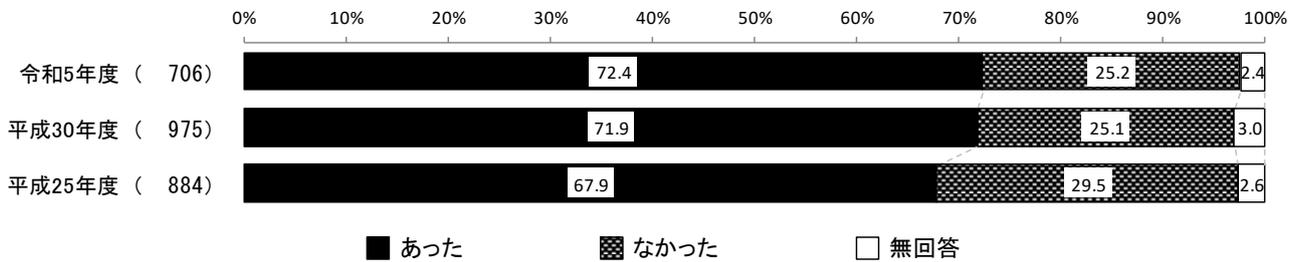


7. 子どもの病気やケガの際の対応について

(1) 病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかった経験の有無

病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかった経験の有無は、「あった」が72.4%、「なかった」が25.2%となっており、「あった」が「なかった」を47.2ポイント上回っています。

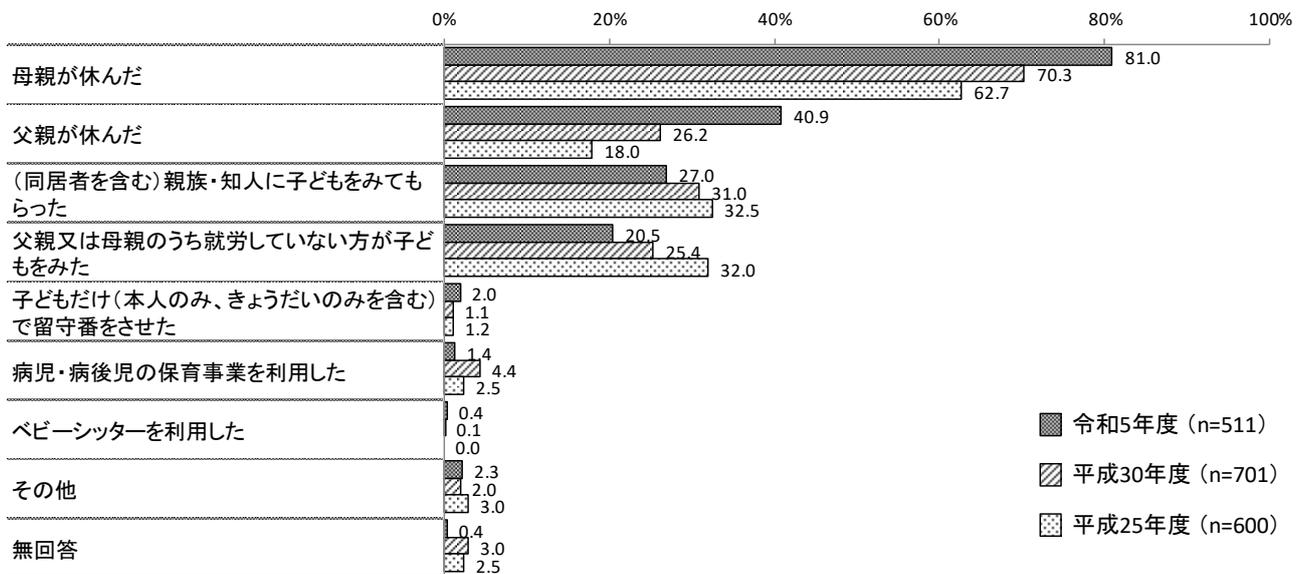
図表 1-3-7-1 病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかった経験の有無



(2) 事業を利用できなかった場合の対処方法と日数

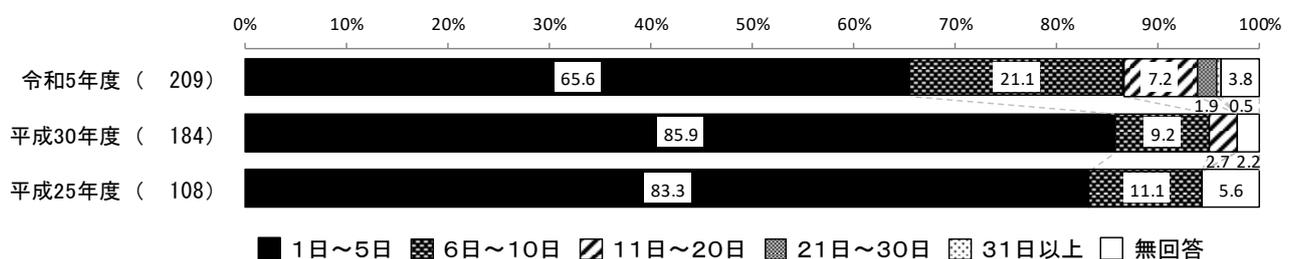
事業を利用できなかった場合の対処方法を複数回答で聞いたところ、「母親が休んだ」が81.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が40.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が27.0%となっています。

図表 1-3-7-2-1 事業を利用できなかった場合の対処方法 (複数回答)



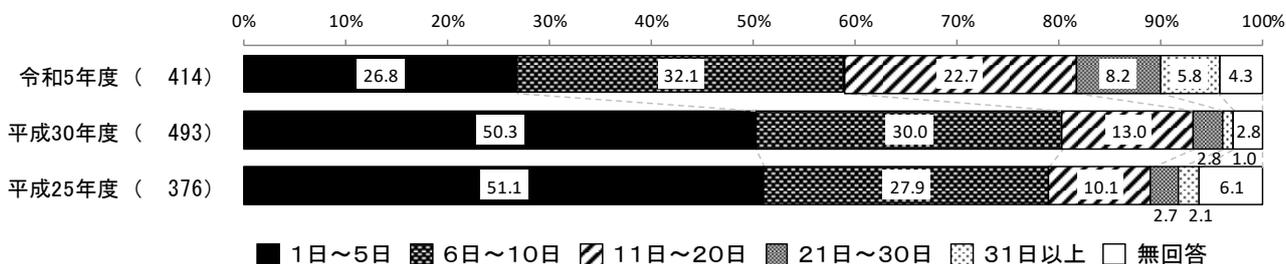
父親が休んで対処した日数は、「1日～5日」が65.6%と最も高く、次いで「6日～10日」が21.1%、「11日～20日」が7.2%となっています。

図表 1-3-7-2-2 年間対処日数 (父親が休んだ)



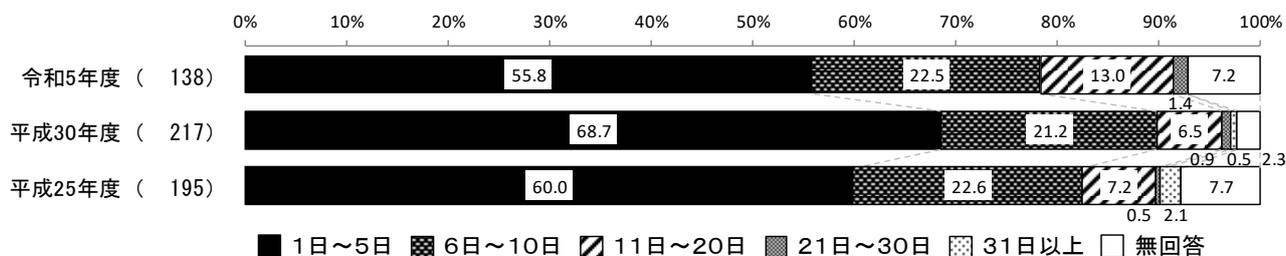
母親が休んで対処した日数は、「6日～10日」が32.1%と最も高く、次いで「1日～5日」が26.8%、「11日～20日」が22.7%となっています。

図表 1-3-7-2-3 年間対処日数（母親が休んだ）



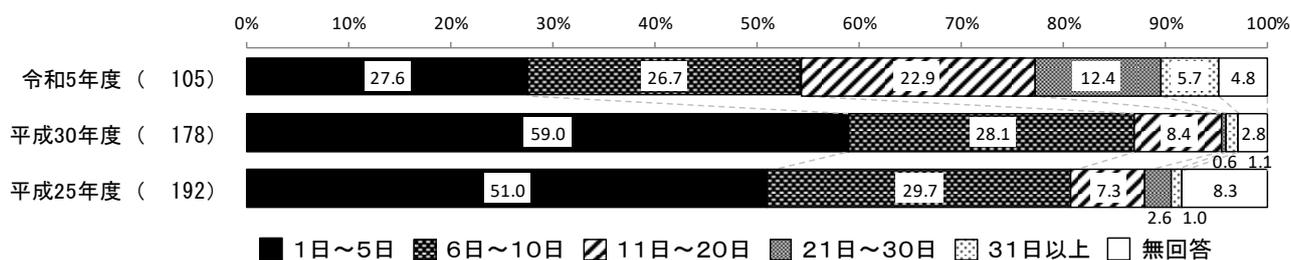
親族・知人に子どもをみてもらって対処した日数は、「1日～5日」が55.8%と最も高く、次いで「6日～10日」が22.5%、「11日～20日」が13.0%となっています。

図表 1-3-7-2-3 年間対処日数（親族・知人に子どもをみてもらった）



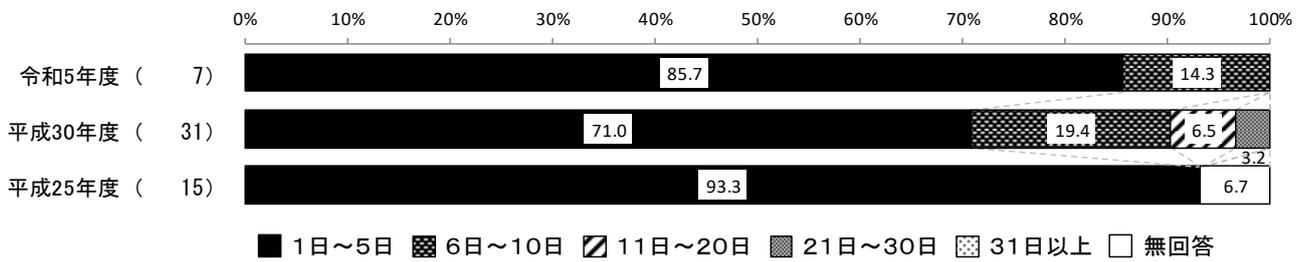
就労していない保護者が対処した日数は、「1日～5日」が27.6%と最も高く、次いで「6日～10日」が26.7%、「11日～20日」が22.9%となっています。

図表 1-3-7-2-4 年間対処日数（就労していない保護者が対処した）



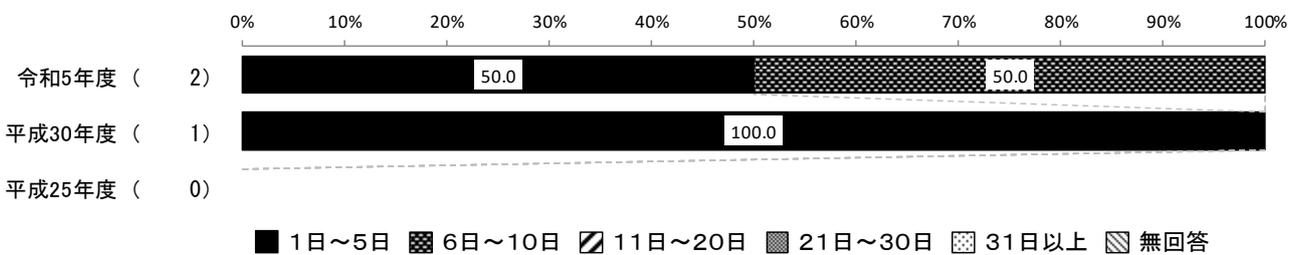
病児・病後児保育を利用して対処した日数は、「1日～5日」が85.7%と最も高く、次いで「6日～10日」が14.3%となっています。

図表 1-3-7-2-5 年間対処日数（病児・病後児保育を利用）



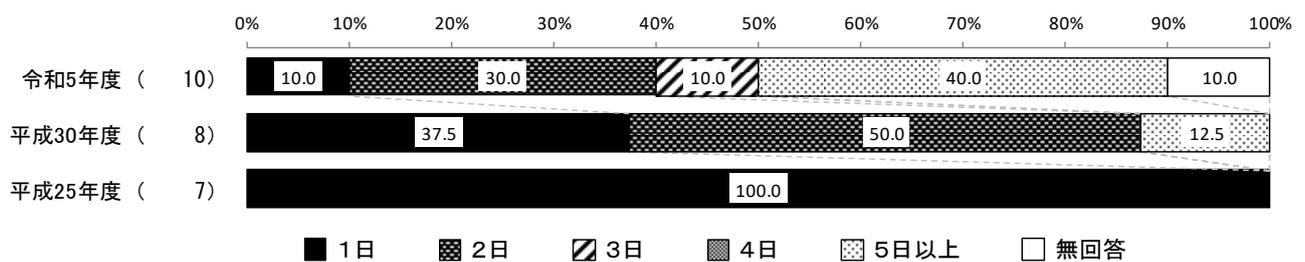
ベビーシッターを利用して対処した日数は、「1日～5日」が50.0%と最も高く、次いで「6日～10日」が50.0%となっています。

図表 1-3-7-2-6 年間対処日数（ベビーシッターを利用）



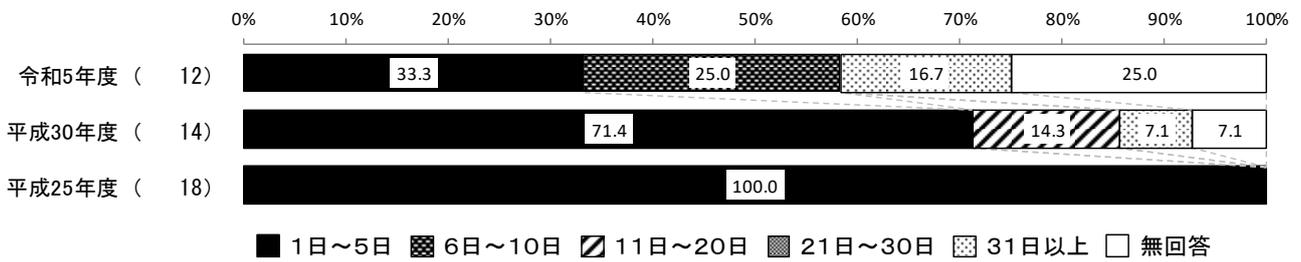
子どもだけで留守番をさせて対処した日数は、「5日以上」が40.0%と最も高く、次いで「2日」が30.0%、「1日」と「3日」がともに10.0%となっています。

図表 1-3-7-2-7 年間対処日数（子どもだけで留守番）



その他の手段で対処した日数は、「1日～5日」が33.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が25.0%、「31日以上」が16.7%となっています。

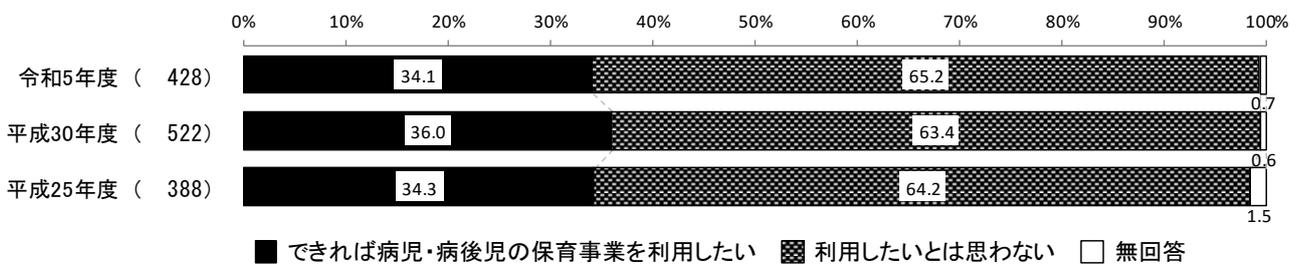
図表 1-3-7-2-8 年間対処日数（その他）



(3) 病児・病後児の保育事業の利用希望

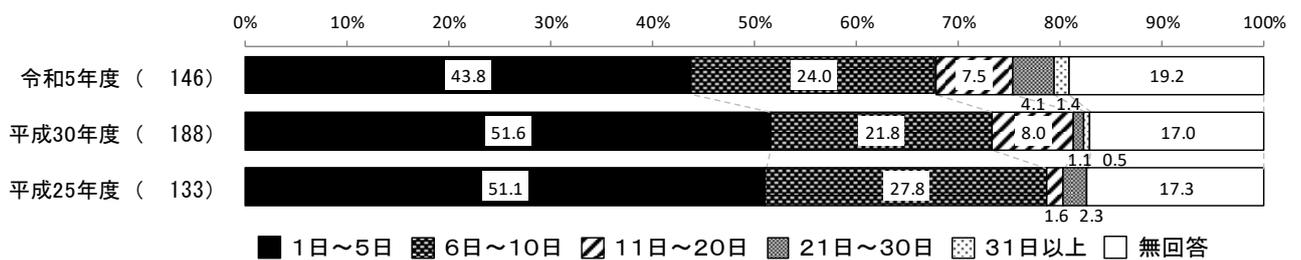
病児・病後児の保育事業の利用希望は、「できれば病児・病児後の保育事業を利用したい」が34.1%、「利用したいとは思わない」が65.2%となっています。

図表 1-3-7-3-1 病児・病後児の保育事業の利用希望



病児・病後児の保育事業の利用希望日数は、「1日～5日」が43.8%と最も高く、次いで「6日～10日」が24.0%、「11日～20日」が7.5%となっています。

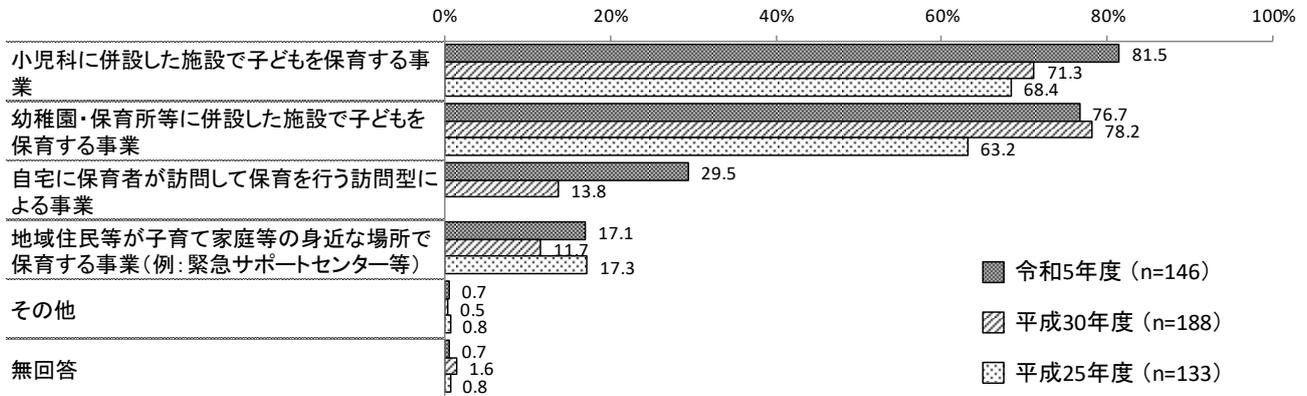
図表 1-3-7-3-2 病児・病後児の保育事業の利用希望日数



(4) 病児・病後児を預ける場合の望ましい事業形態

病児・病後児を預ける場合の望ましい事業形態を複数回答で聞いたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.5%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が76.7%となっています。

図表 1-3-7-4 病児・病後児を預ける場合の望ましい事業形態（複数回答）

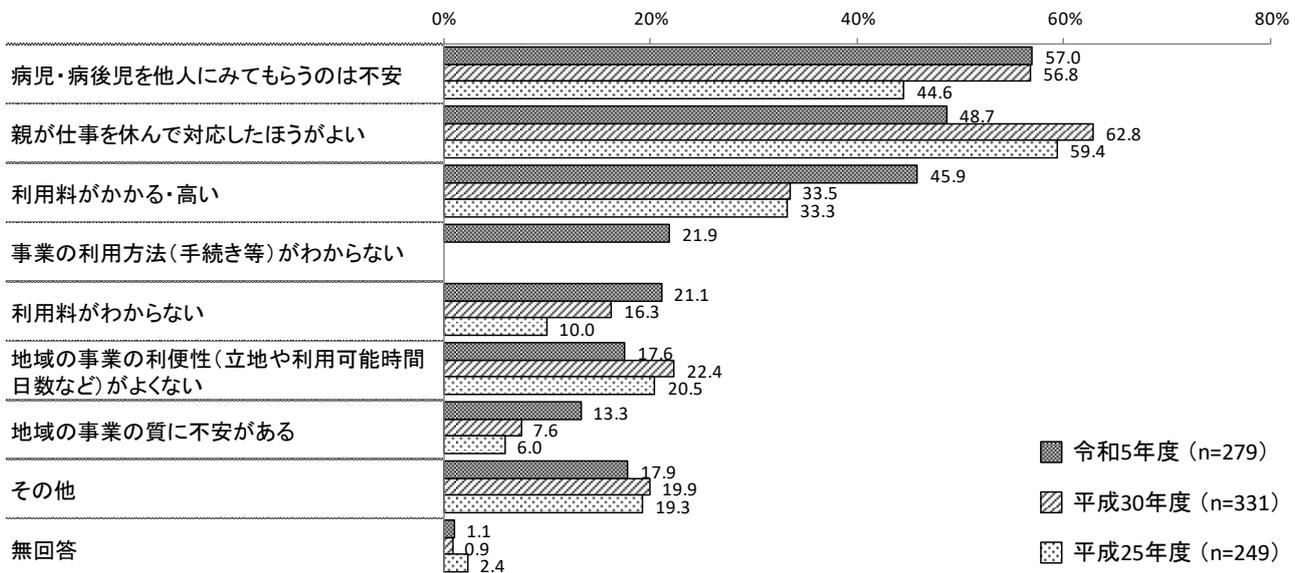


(5) 病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由

病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由を複数回答で聞いたところ、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が57.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応したほうがよい」が48.7%、「利用料がかかる・高い」が45.9%となっています。

その他の具体的な意見として、「子供にストレスになってしまいそう」「他の病気をもらってくるのが怖い」「有給があるならば極力自分が見るべきだと思う」などが挙げられました。

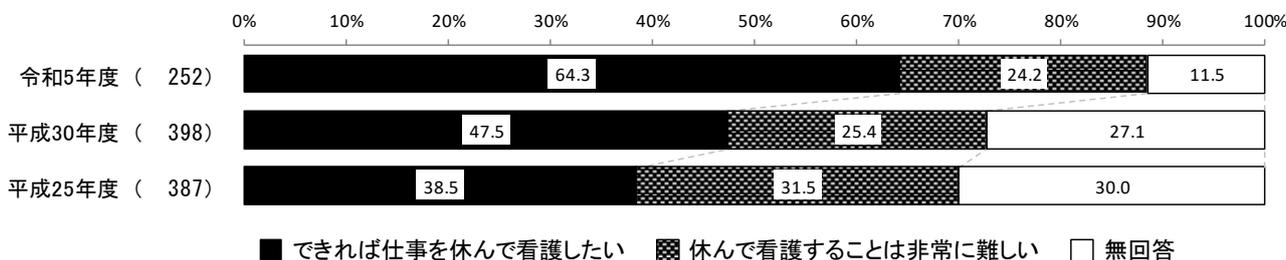
図表 1-3-7-5 病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由（複数回答）



(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったか

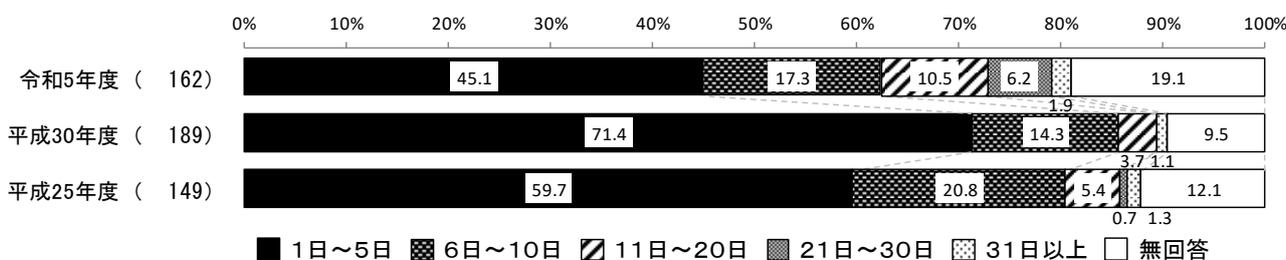
父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看護したい」が64.3%、「休んで看護することは非常に難しい」が24.2%となっています。

図表 1-3-7-6-1 父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったか



父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看護したい日数は、「1日～5日」が45.1%と最も高く、次いで「6日～10日」が17.3%、「11日～20日」が10.5%となっています。

図表 1-3-7-6-2 仕事を休んで子どもを看護したい日数

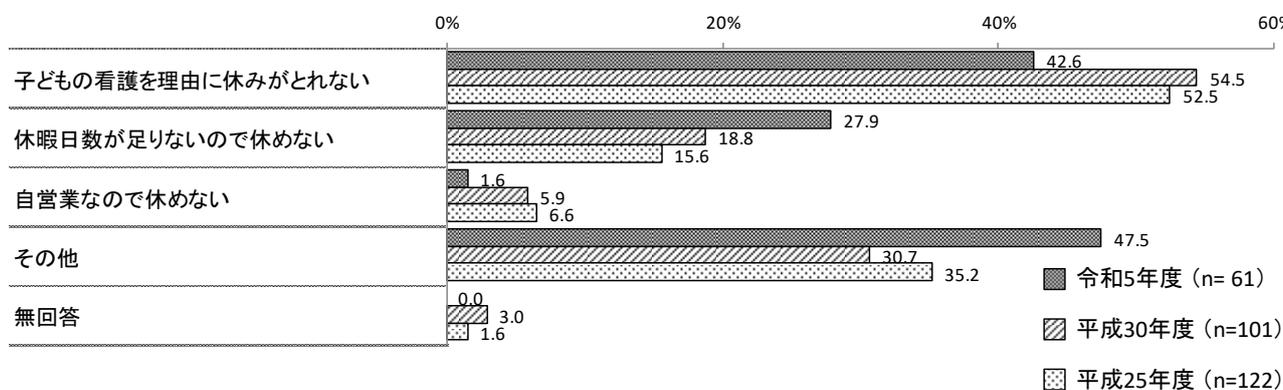


(7) 休んで看護することが非常に難しい理由

休んで看護することが非常に難しい理由を複数回答で聞いたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が42.6%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が27.9%、「自営業なので休めない」が1.6%となっています。

その他の具体的な意見として、「職場の人数が足りなくて休みづらい」「連日休むのは気が引ける」「休んだ分、収入が減る為」などが挙げられました。

図表 1-3-7-7 休んで看護することが非常に難しい理由 (複数回答)

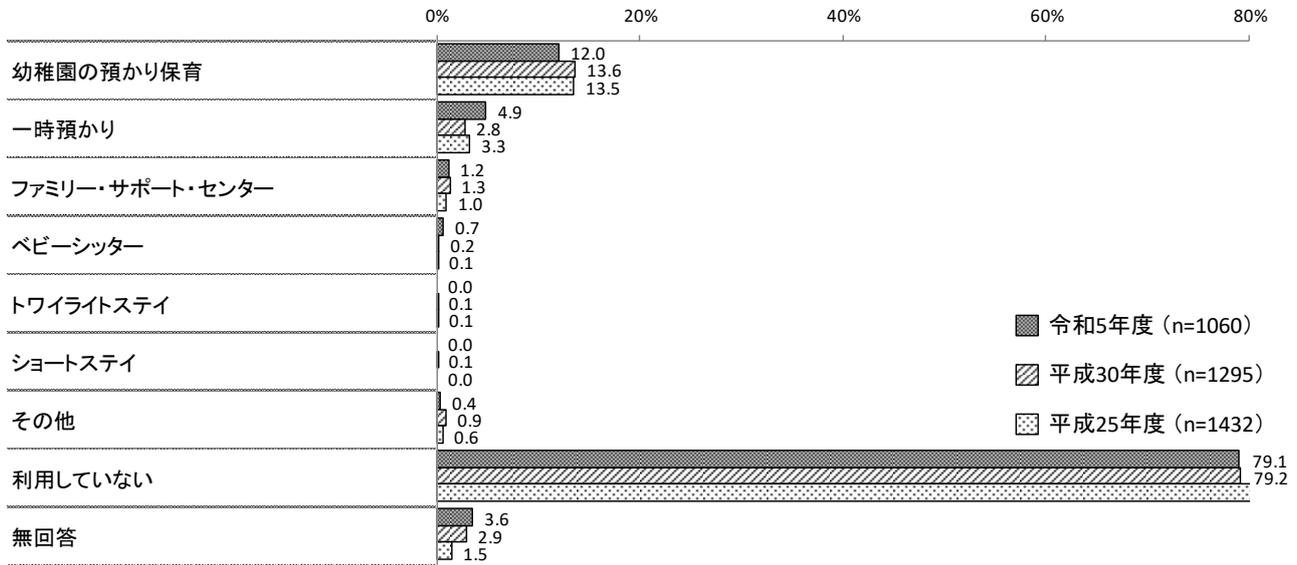


8. 不定期の幼稚園・保育施設や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している事業と年間利用日数

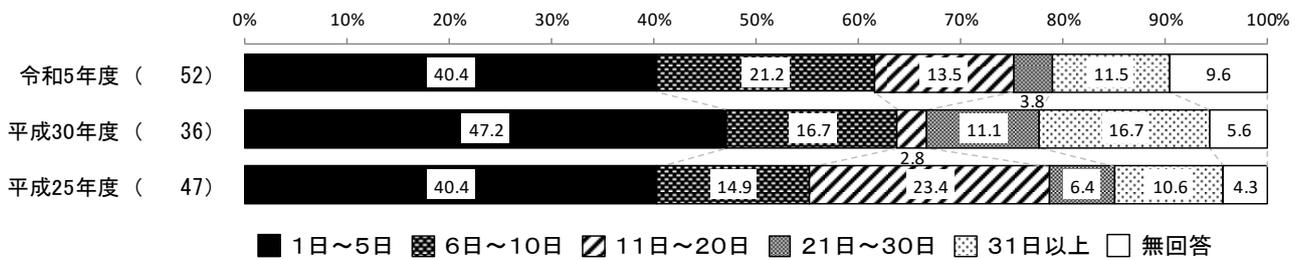
日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、突発的な就労等の目的で不定期に利用している事業を複数回答で聞いたところ、「幼稚園の預かり保育」が12.0%と最も高くなっており、「利用していない」が79.1%となっています。

図表 1-3-8-1-1 不定期に利用している事業（複数回答）



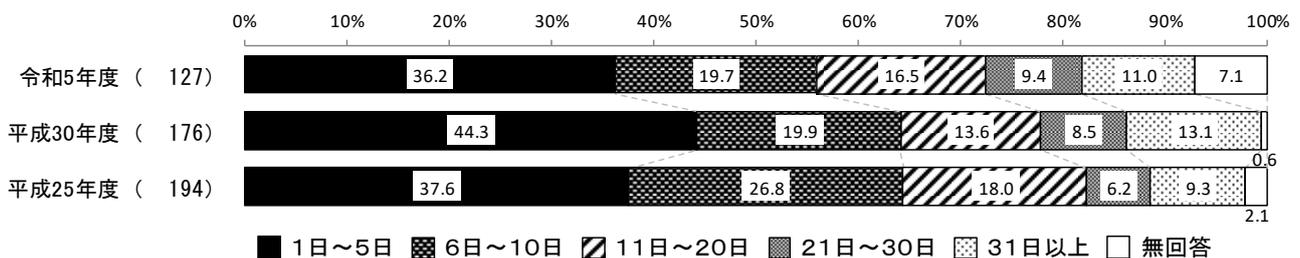
一時預かりの年間利用日数は、「1日～5日」が40.4%と最も高く、次いで「6日～10日」が21.2%、「11日～20日」が13.5%となっています。

図表 1-3-8-1-2 年間利用日数（一時預かり）



幼稚園の預かり保育の年間利用日数は、「1日～5日」が36.2%と最も高く、次いで「6日～10日」が19.7%、「11日～20日」が16.5%となっています。

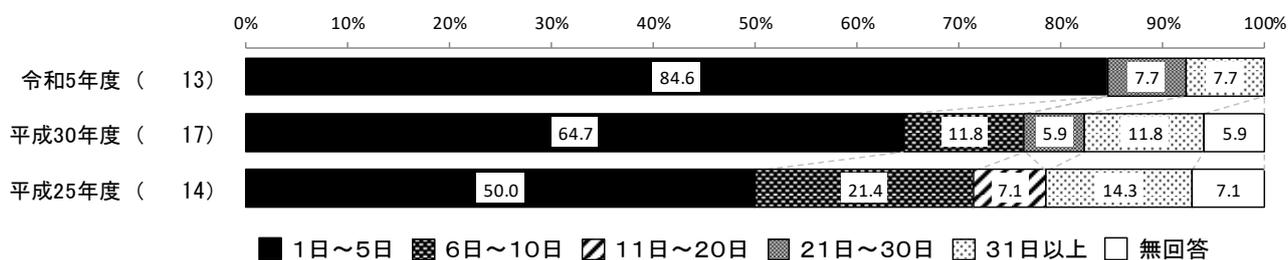
図表 1-3-8-1-3 年間利用日数（幼稚園の預かり保育）



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

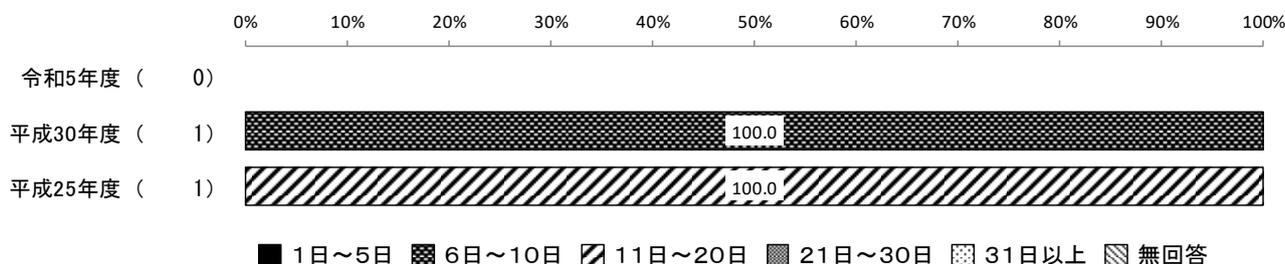
ファミリー・サポート・センターの年間利用日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が84.6%と最も高く、次いで「21日～30日」と「31日以上」がともに7.7%となっています。

図表 1-3-8-1-4 年間利用日数（ファミリー・サポート・センター）



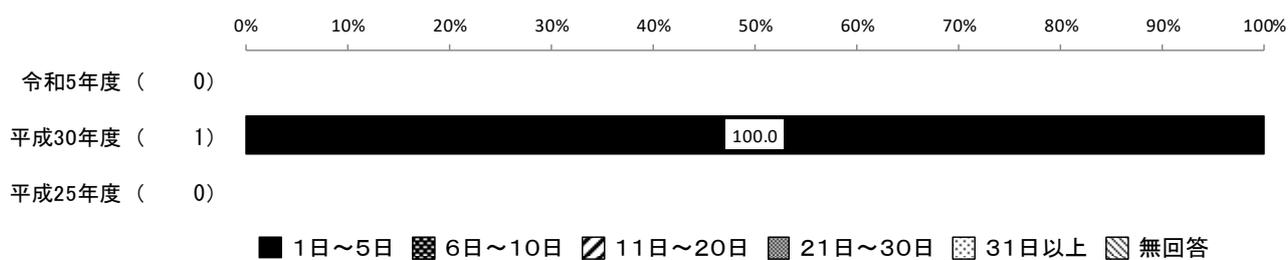
トワイライトステイを利用していると回答した人はいませんでした。

図表 1-3-8-1-5 年間利用日数（トワイライトステイ）



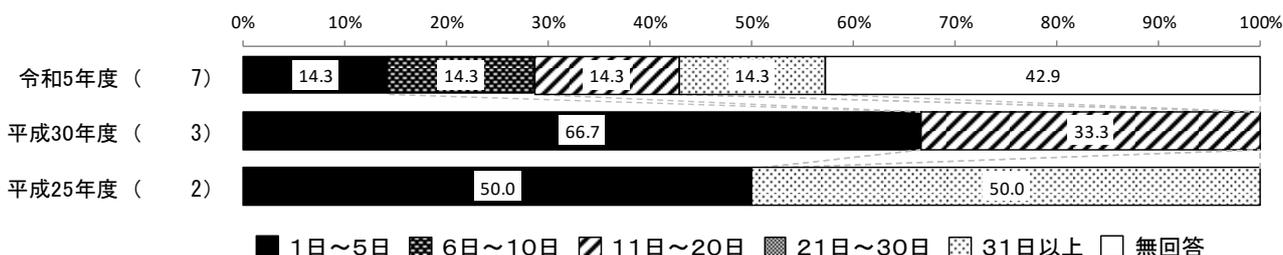
ショートステイを利用していると回答した人はいませんでした。

図表 1-3-8-1-6 年間利用日数（ショートステイ）



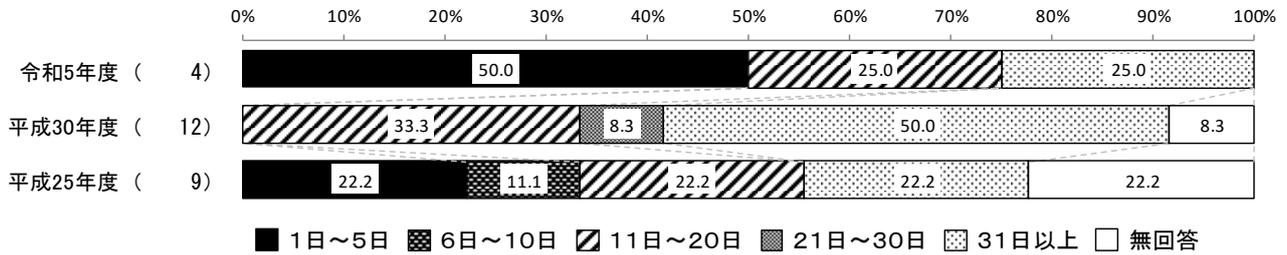
ベビーシッターの年間利用日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」「6日～10日」「11日～20日」「31日以上」がいずれも14.3%となっています。

図表 1-3-8-1-7 年間利用日数（ベビーシッター）



その他の事業の年間利用日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が50.0%と最も高く、次いで「11日～20日」「31日以上」がともに25.0%となっています。

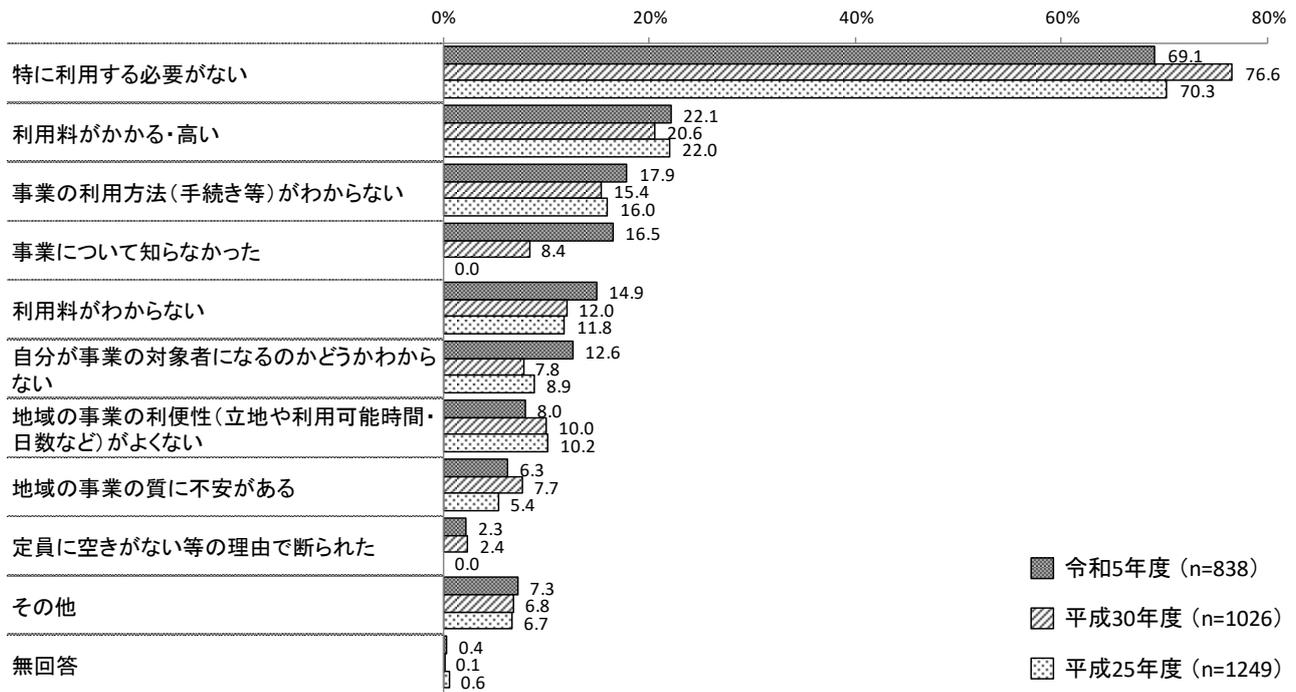
図表 1-3-8-1-2 年間利用日数（その他）



(2) 現在利用していない理由

不定期の幼稚園・保育施設や宿泊を伴う一時預かり等を現在利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「特に利用する必要がない」が69.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が22.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が17.9%となっています。

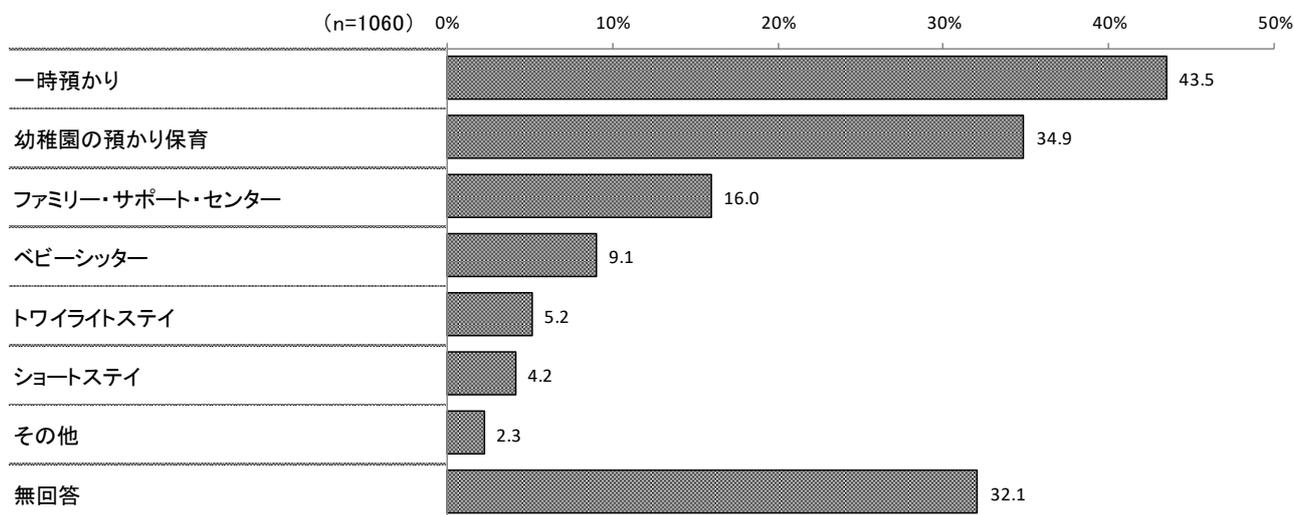
図表 1-3-8-2 現在利用していない理由（複数回答）



(3) 不定期に利用したい施設・サービスと年間利用希望日数

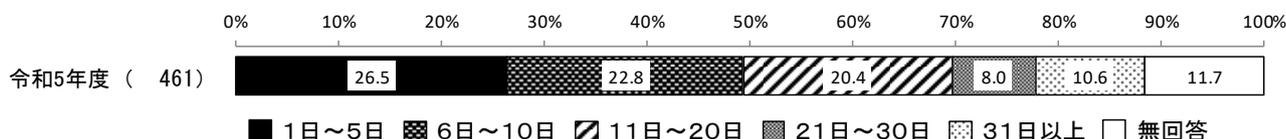
日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、突発的な就労等の目的で不定期に利用したい施設・サービスを複数回答で聞いたところ、「一時預かり」が43.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が34.9%、「ファミリー・サポート・センター」が16.0%となっています。

図表 1-3-8-3-1 不定期に利用したい施設・サービス（複数回答）



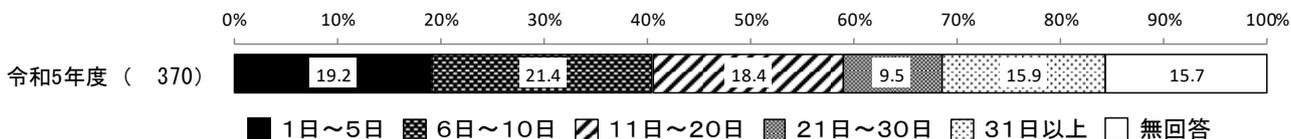
一時預かりの年間利用希望日数は、「1日～5日」が26.5%と最も高く、次いで「6日～10日」が22.8%、「11日～20日」が20.4%となっています。

図表 1-3-8-3-2 年間利用希望日数（一時預かり）



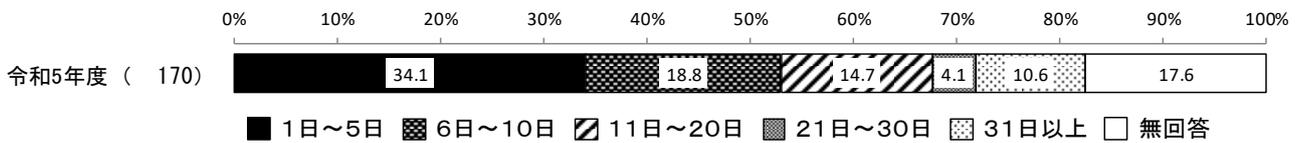
幼稚園の預かり保育の年間利用希望日数は、「6日～10日」が21.4%と最も高く、次いで「1日～5日」が19.2%、「11日～20日」が18.4%となっています。

図表 1-3-8-3-3 年間利用希望日数（幼稚園の預かり保育）



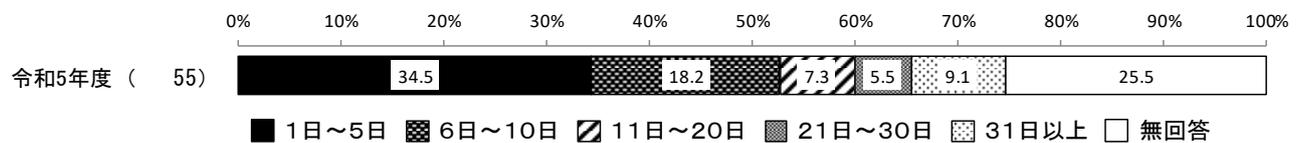
ファミリー・サポート・センターの年間利用希望日数は、「1日～5日」が34.1%と最も高く、次いで「6日～10日」が18.8%、「11日～20日」が14.7%となっています。

図表 1-3-8-3-4 年間利用希望日数（ファミリー・サポート・センター）



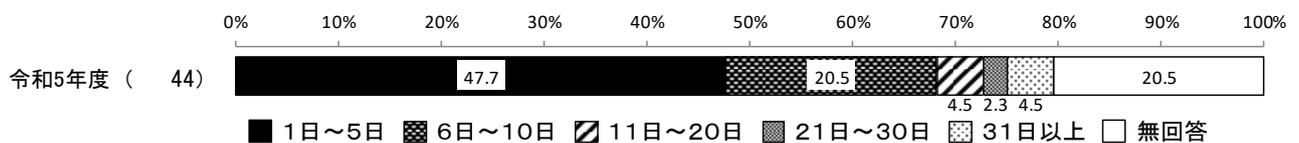
トワイライトステイの年間利用希望日数は、「1日～5日」が34.5%と最も高く、次いで「6日～10日」が18.2%、「31日以上」が9.1%となっています。

図表 1-3-8-3-5 年間利用希望日数（トワイライトステイ）



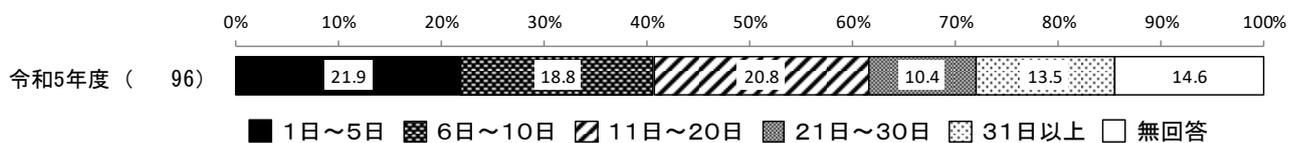
ショートステイの年間利用希望日数は、「1日～5日」が47.7%と最も高く、次いで「6日～10日」が20.5%となっています。

図表 1-3-8-3-6 年間利用希望日数（ショートステイ）



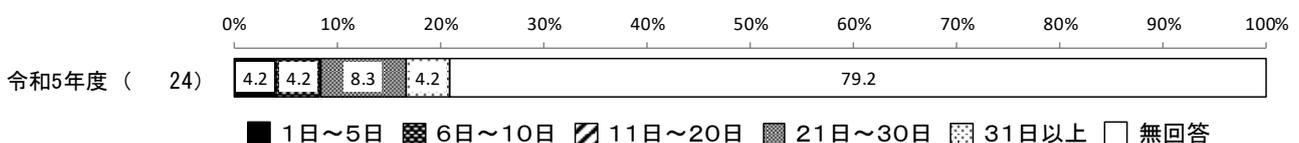
ベビーシッターの年間利用希望日数は、「1日～5日」が21.9%と最も高く、次いで「11日～20日」が20.8%、「6日～10日」が18.8%となっています。

図表 1-3-8-3-7 年間利用希望日数（ベビーシッター）



その他の事業の年間利用希望日数は、サンプル数は少ないものの「21日～30日」が8.3%と最も高くなっています。

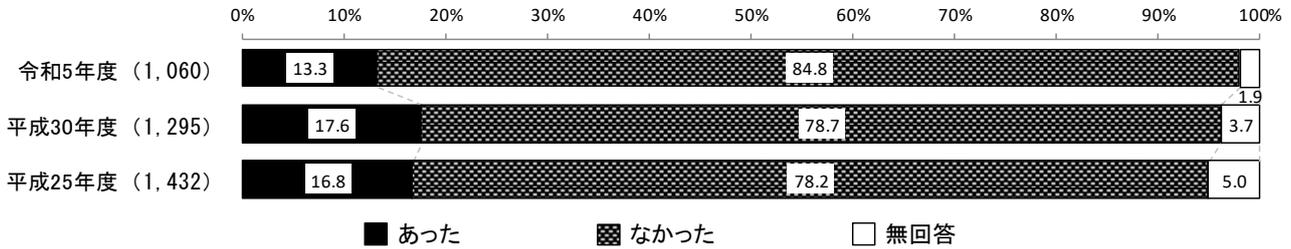
図表 1-3-8-3-2 年間利用希望日数（その他）



(4) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかどうかについて、「あった」が13.3%、「なかった」が84.8%となっています。

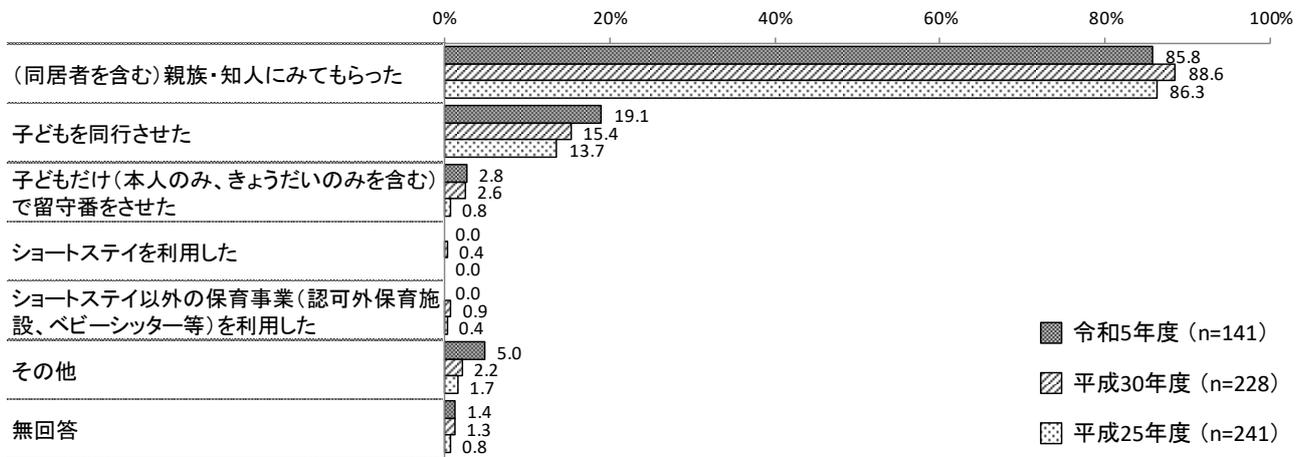
図表 1-3-8-4 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか



(5) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法と年間対処日数(複数回答)

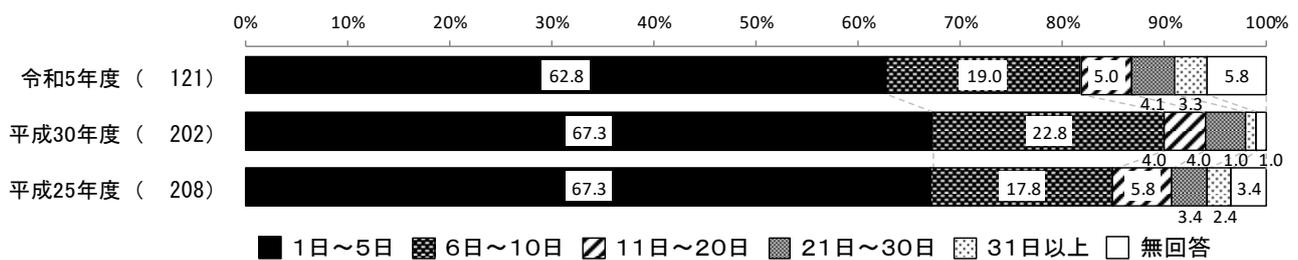
子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法を複数回答で聞いたところ、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が85.8%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」が19.1%、「子どもだけ(本人のみ、きょうだいのみを含む)で留守番をさせた」が2.8%となっています。

図表 1-3-8-5-1 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法(複数回答)



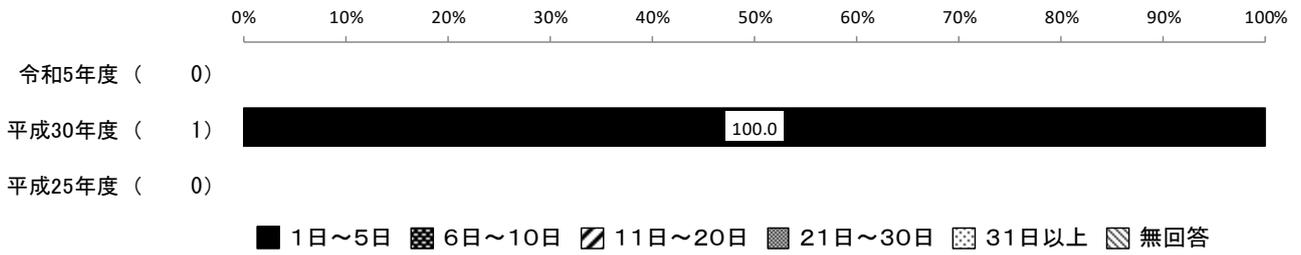
親族・知人にみてもらった年間日数は、「1日～5日」が62.8%と最も高く、次いで「6日～10日」が19.0%、「11日～20日」が5.0%となっています。

図表 1-3-8-5-2 年間対処日数(親族・知人にみてもらった)



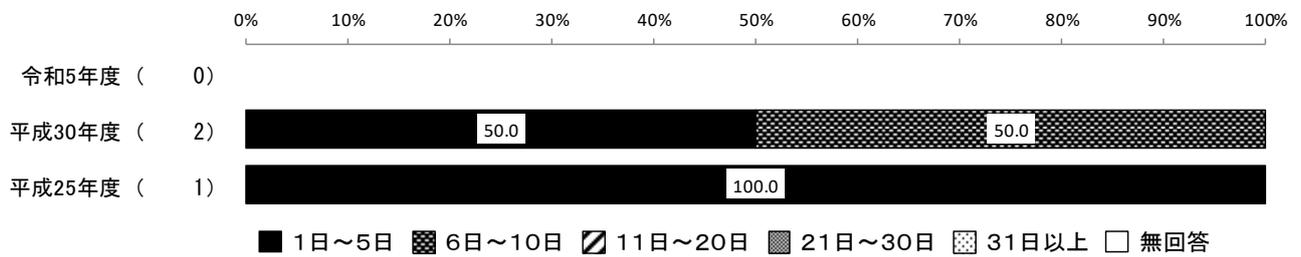
ショートステイを利用したと回答した人はいませんでした。

図表 1-3-8-5-3 年間対処日数（ショートステイを利用した）



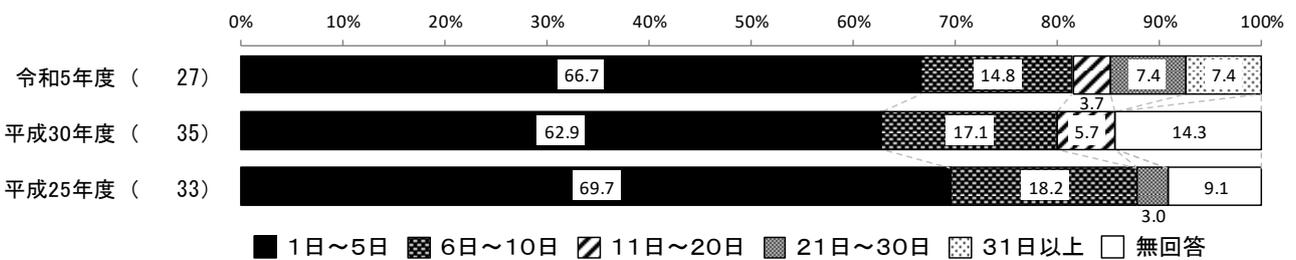
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用したと回答した人はいませんでした。

図表 1-3-8-5-4 年間対処日数（認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した）



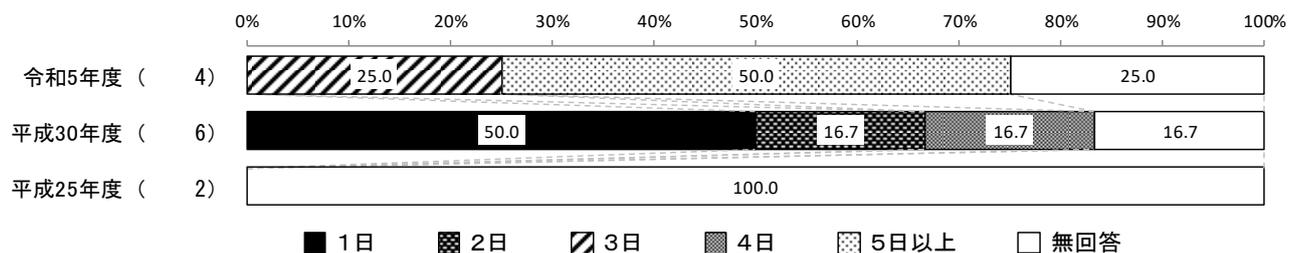
子どもを同行させた年間日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が 66.7%と最も高く、次いで「6日～10日」が 14.8%、「21日～30日」と「31日以上」がともに 7.4%となっています。

図表 1-3-8-5-5 年間対処日数（子どもを同行させた）



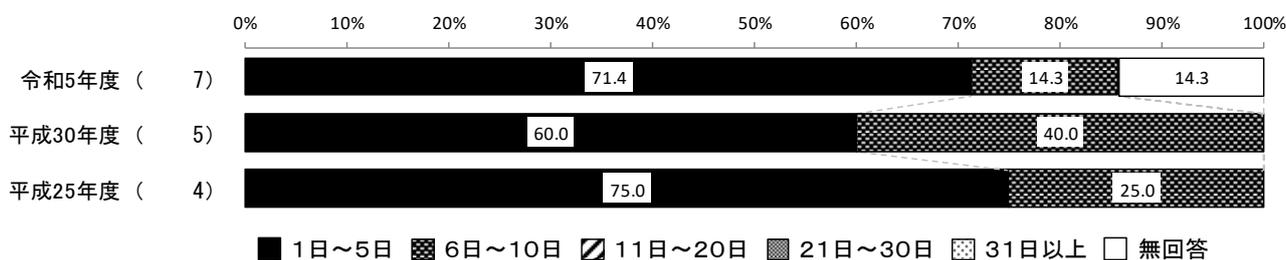
子どもだけで留守番させた年間日数は、サンプル数は少ないものの「5日以上」が 50.0%と最も高く、次いで「3日」が 25.0%となっています。

図表 1-3-8-5-6 年間対処日数（子どもだけで留守番させた）



その他の方法で対処した年間日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が71.4%と最も高く、次いで「6日～10日」が14.3%となっています。

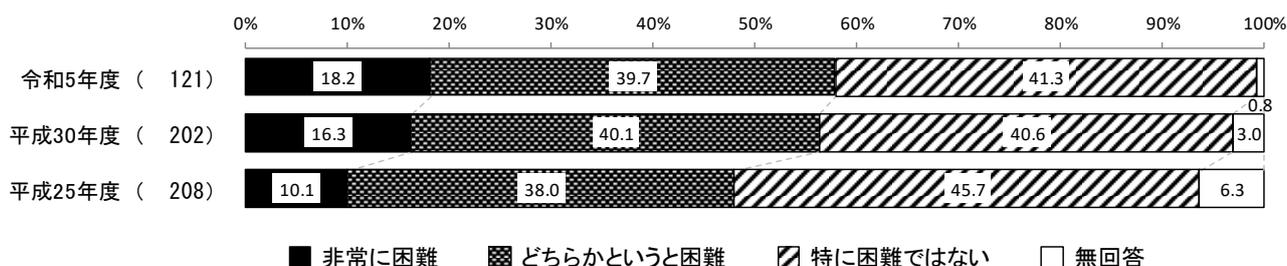
図表 1-3-8-5-7 年間対処日数（その他）



(6) 子どもを泊りがけで親族・知人にみてもらった際の困難度

子どもを泊りがけで親族・知人にみてもらった際の困難度は、「非常に困難」(18.2%)と「どちらかというと困難」(39.7%)を合わせた『困難』が57.9%、「特に困難ではない」が41.3%となっています。

図表 1-3-8-6-1 子どもを泊りがけで親族・知人にみてもらった際の困難度

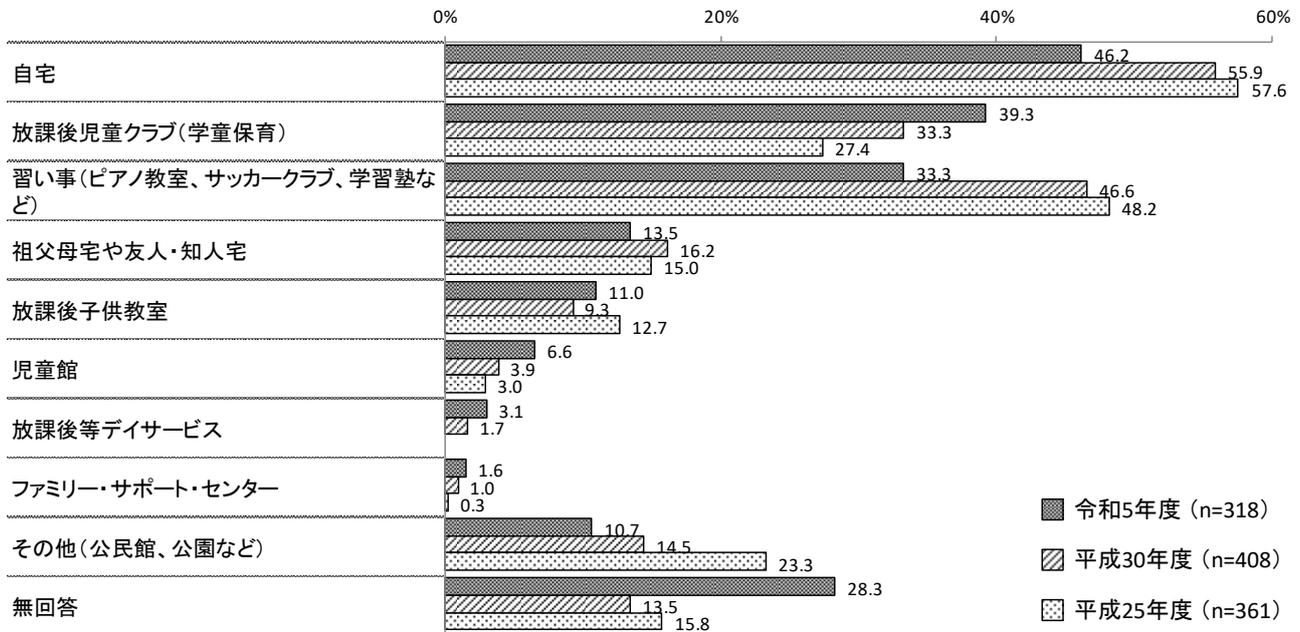


9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方（低学年）と1週間当たりの日数等

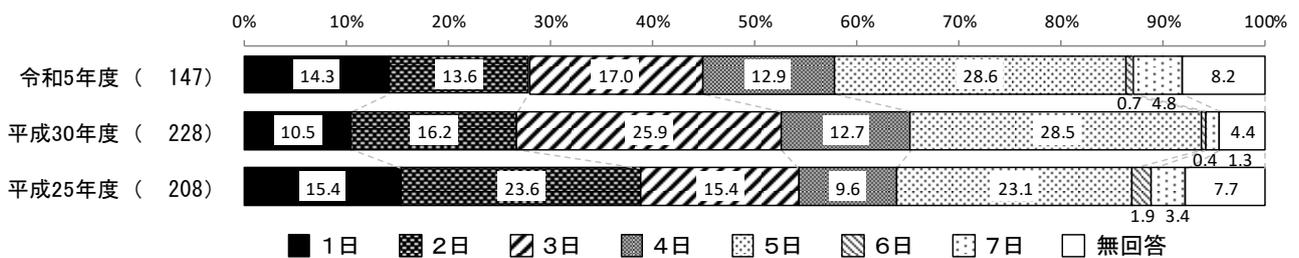
低学年の間、放課後を過ごしてほしいと思う場所を複数回答で聞いたところ、「自宅」が46.2%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が39.3%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が33.3%となっています。

図表 1-3-9-1-1 放課後の過ごし方（低学年）（複数回答）



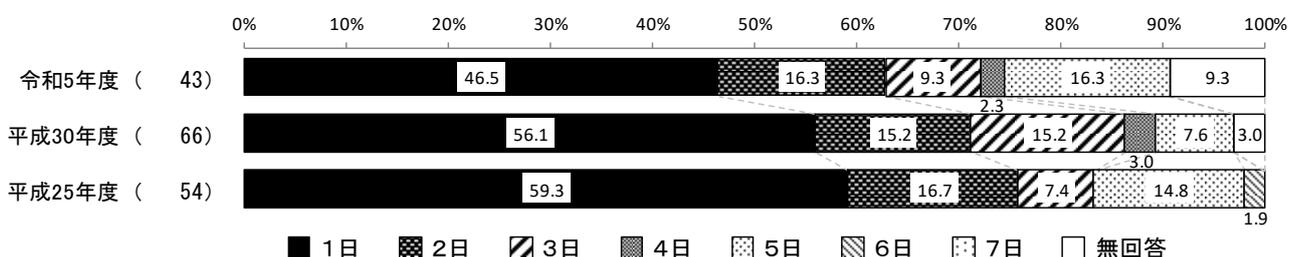
自宅で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「5日」が28.6%と最も高く、次いで「3日」が17.0%、「1日」が14.3%となっています。

図表 1-3-9-1-2 1週間当たりの希望日数（自宅）



祖父母宅や友人・知人宅で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が46.5%と最も高く、次いで「2日」と「5日」がともに16.3%となっています。

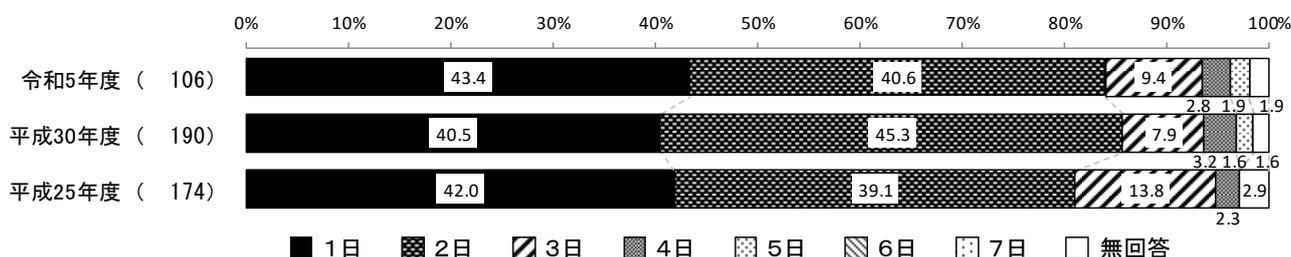
図表 1-3-9-1-3 1週間当たりの希望日数（祖父母宅や友人・知人宅）



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

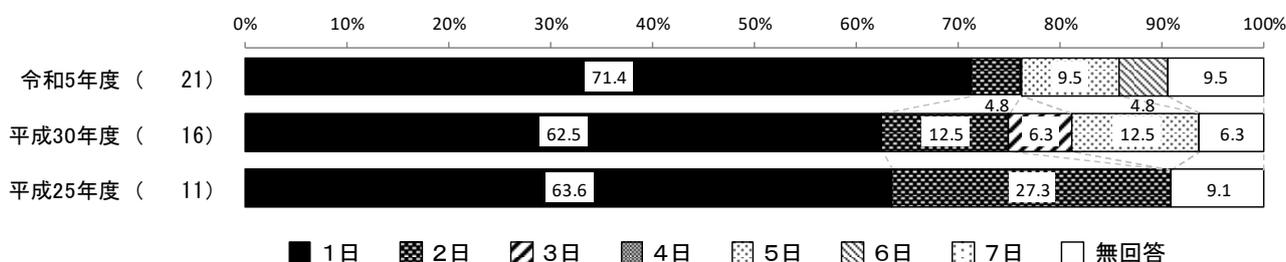
習いごとで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が43.4%と最も高く、次いで「2日」が40.6%、「3日」が9.4%となっています。

図表 1-3-9-1-4 1週間当たりの希望日数（習いごと）



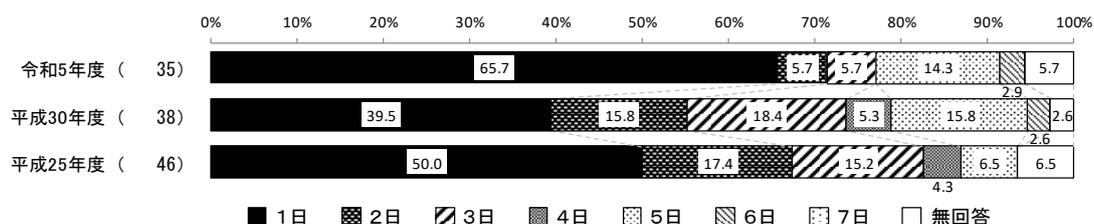
児童館で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「1日」が71.4%と最も高く、次いで「5日」が9.5%となっています。

図表 1-3-9-1-5 1週間当たりの希望日数（児童館）



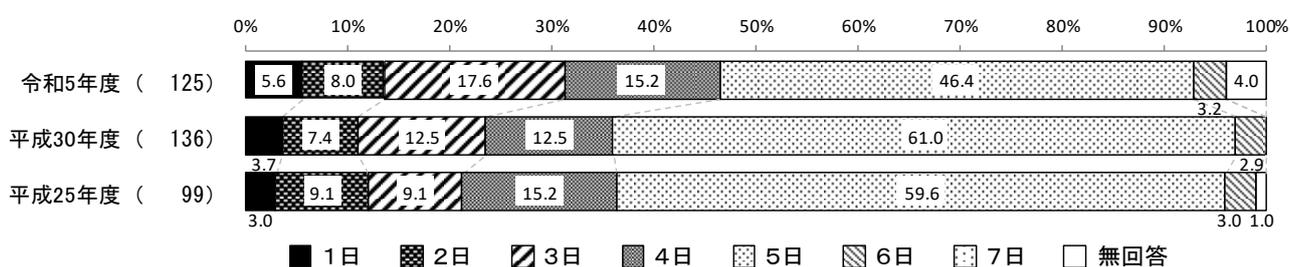
放課後子供教室で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が65.7%と最も高く、次いで「5日」が14.3%、「2日」と「3日」がともに5.7%となっています。

図表 1-3-9-1-6 1週間当たりの希望日数（放課後子供教室）



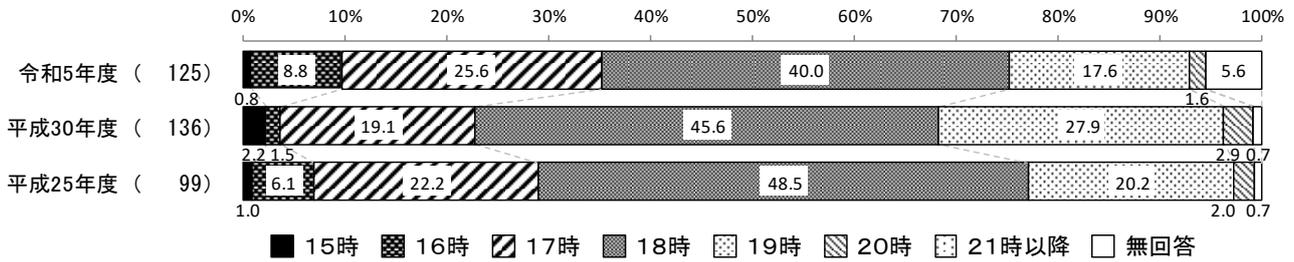
放課後児童クラブ（学童保育）で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「5日」が46.4%と最も高く、次いで「3日」が17.6%、「4日」が15.2%となっています。

図表 1-3-9-1-7 1週間当たりの希望日数（放課後児童クラブ（学童保育））



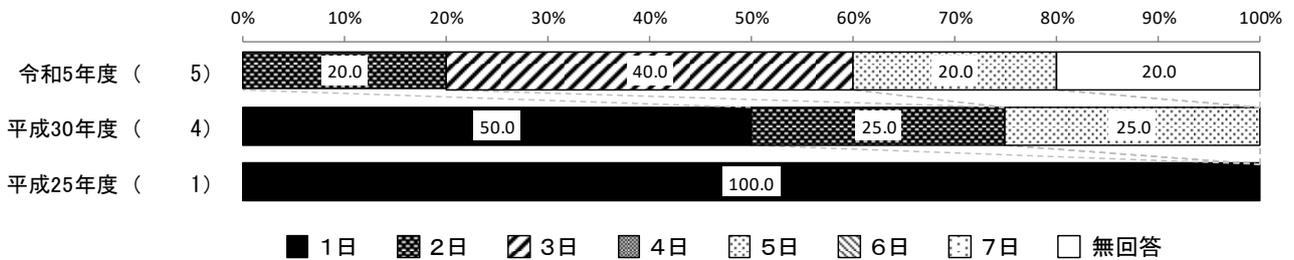
放課後児童クラブ（学童保育）で何時まで過ごしてほしいかは、「18時」が40.0%と最も高く、次いで「17時」が25.6%、「19時」が17.6%となっています。

図表 1-3-9-1-8 利用時刻（放課後児童クラブ（学童保育））



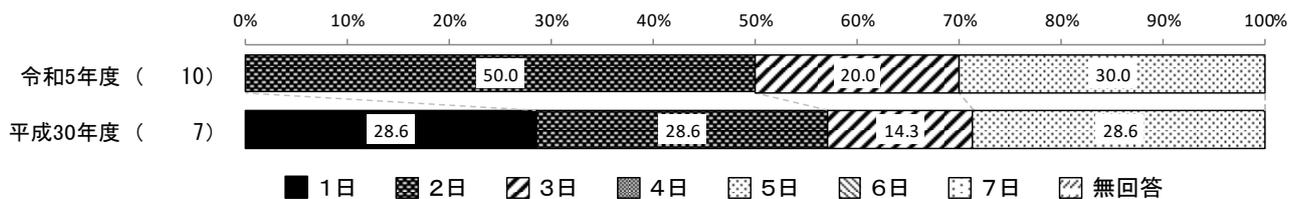
ファミリー・サポート・センターで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「3日」が40.0%と最も高く、次いで「1日」と「5日」が20.0%となっています。

図表 1-3-9-1-9 1週間当たりの希望日数（ファミリー・サポート・センター）



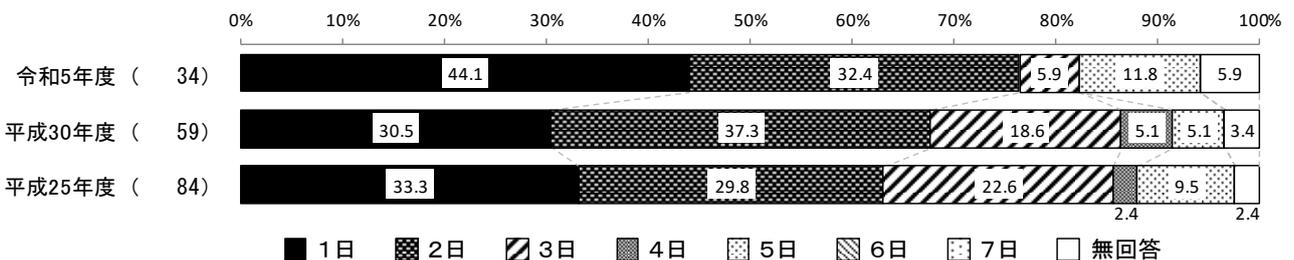
放課後デイサービスで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「2日」が50.0%と最も高く、次いで「5日」が30.0%、「3日」が20.0%となっています。

図表 1-3-9-1-10 1週間当たりの希望日数（放課後デイサービス）



公民館、公園などで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が44.1%と最も高く、次いで「2日」が32.4%、「5日」が11.8%となっています。

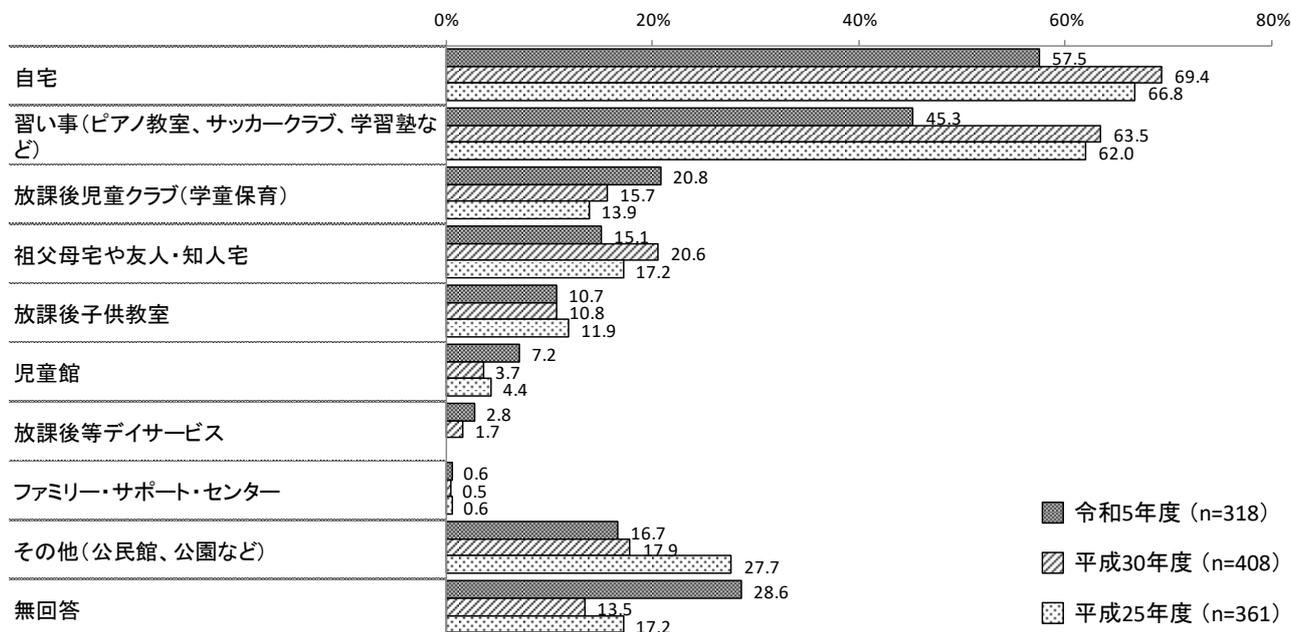
図表 1-3-9-1-11 1週間当たりの希望日数（公民館、公園など）



(2) 放課後の過ごし方（高学年）と1週間当たりの日数等

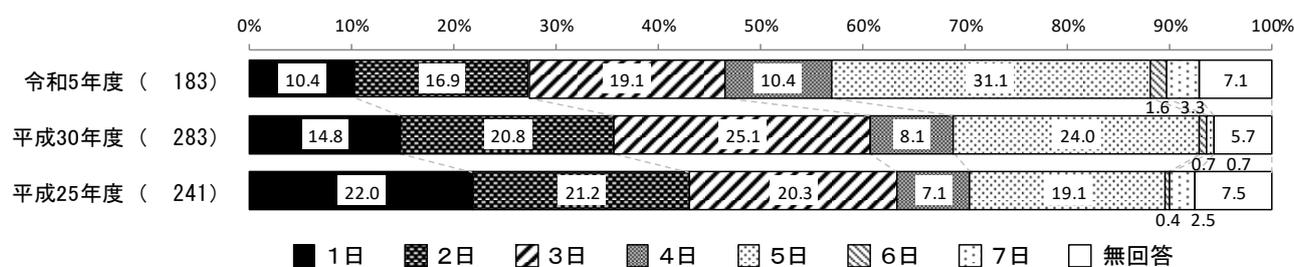
高学年の間、放課後を過ごしてほしいと思う場所を複数回答で聞いたところ、「自宅」が57.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が20.8%となっています。

図表 1-3-9-2-1 放課後の過ごし方（高学年）（複数回答）



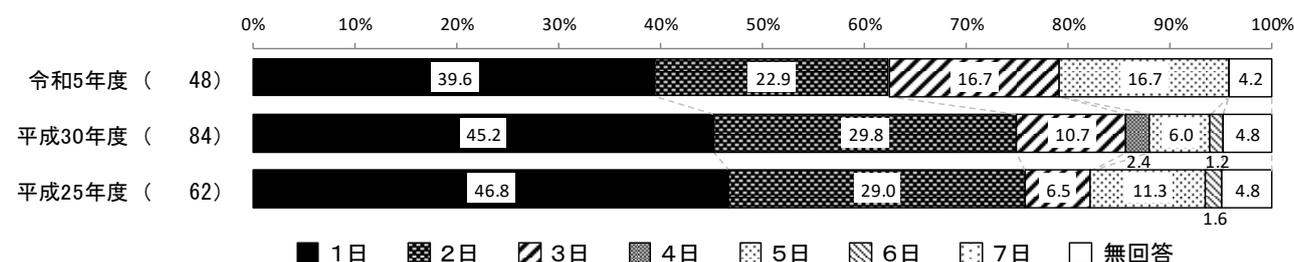
自宅を過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「5日」が31.1%と最も高く、次いで「3日」が19.1%、「2日」が16.9%となっています。

図表 1-3-9-2-2 1週間当たりの希望日数（自宅）



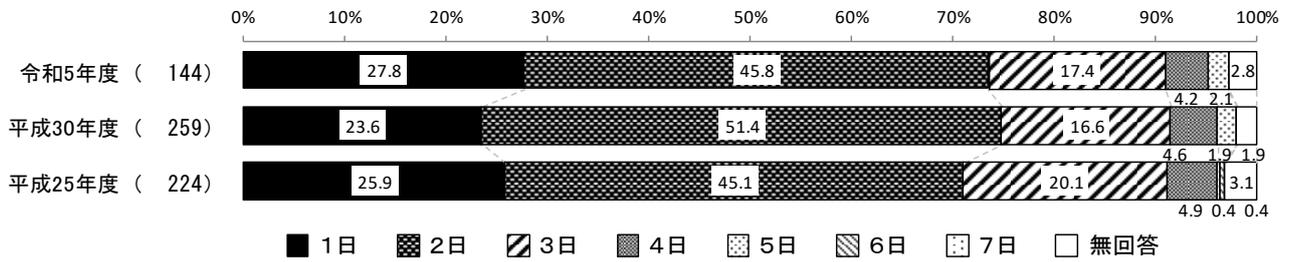
祖父母宅や友人・知人宅を過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が39.6%と最も高く、次いで「2日」が22.9%、「3日」と「5日」がともに16.7%となっています。

図表 1-3-9-2-3 1週間当たりの希望日数（祖父母宅や友人・知人宅）



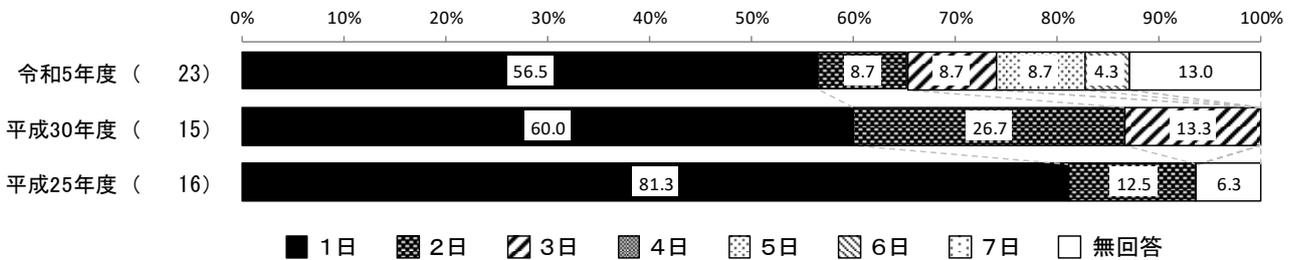
習いごとで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「2日」が45.8%と最も高く、次いで「1日」が27.8%、「3日」が17.4%となっています。

図表 1-3-9-2-4 1週間当たりの希望日数（習いごと）



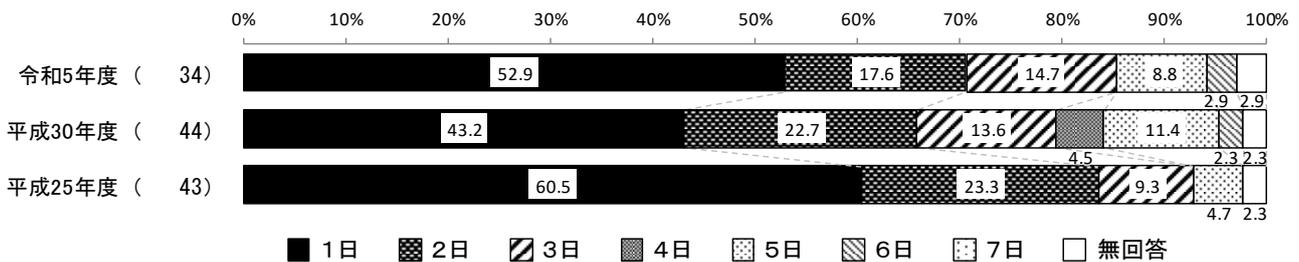
児童館で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「1日」が56.5%と最も高く、次いで「2日」「3日」「5日」がいずれも8.7%となっています。

図表 1-3-9-2-5 1週間当たりの希望日数（児童館）



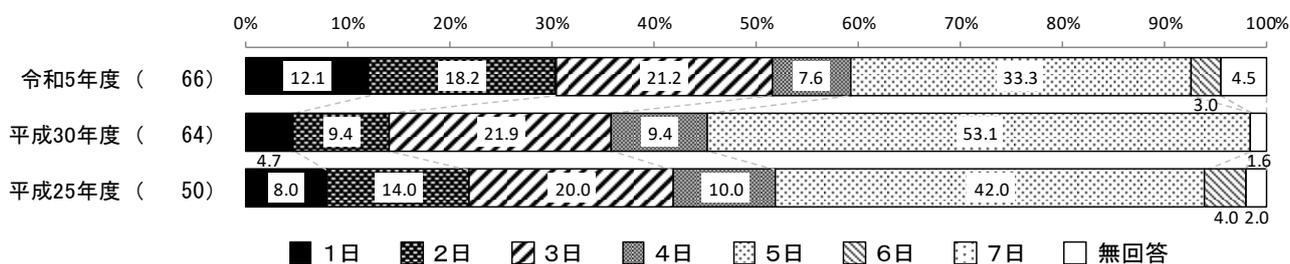
放課後子供教室で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が52.9%と最も高く、次いで「2日」が17.6%、「3日」が14.7%となっています。

図表 1-3-9-2-6 1週間当たりの希望日数（放課後子供教室）



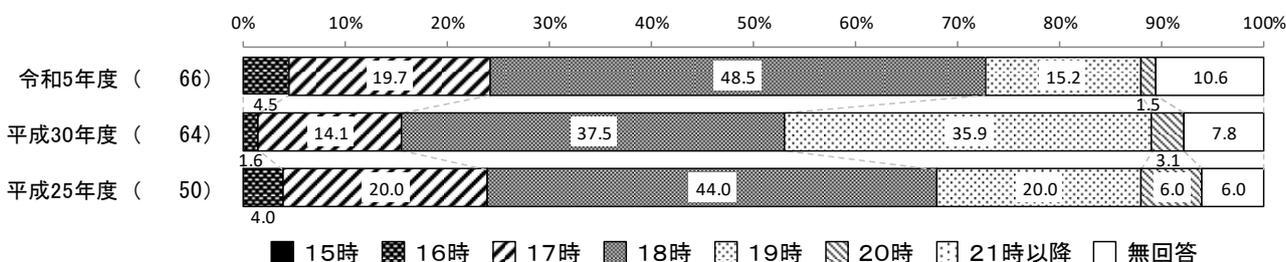
放課後児童クラブ（学童保育）で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「5日」が33.3%と最も高く、次いで「3日」が21.2%、「2日」が18.2%となっています。

図表 1-3-9-2-7 1週間当たりの希望日数（放課後児童クラブ（学童保育））



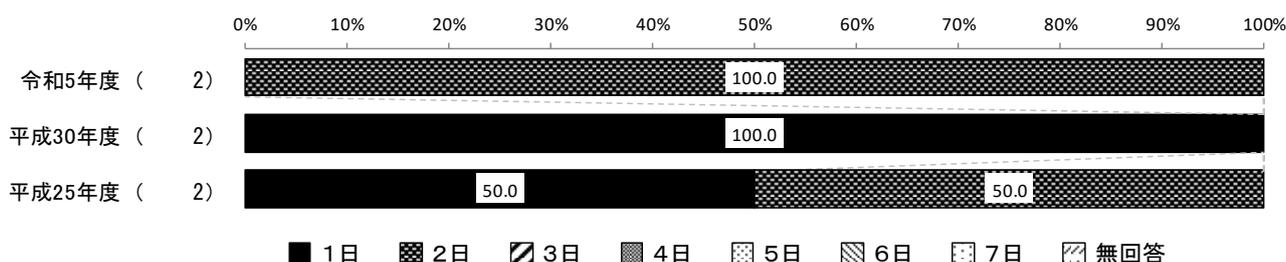
放課後児童クラブ（学童保育）で何時まで過ごしてほしいかは、「18時」が48.5%と最も高く、次いで「17時」が19.7%、「19時」が15.2%となっています。

図表 1-3-9-2-8 利用時刻（放課後児童クラブ（学童保育））



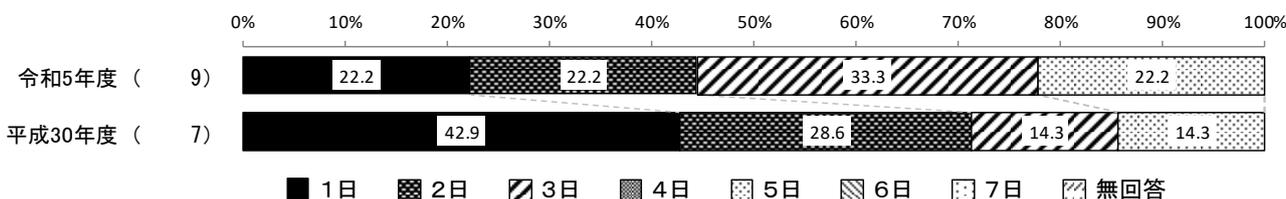
ファミリー・サポート・センターで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「2日」が100.0%となっています。

図表 1-3-9-2-9 1週間当たりの希望日数（ファミリー・サポート・センター）



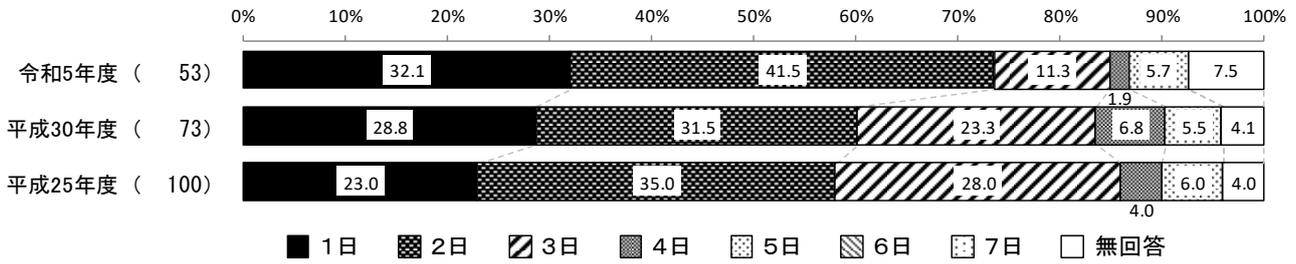
放課後デイサービスで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「3日」が33.3%と最も高く、次いで「1日」「2日」「5日」がいずれも22.2%となっています。

図表 1-3-9-2-10 1週間当たりの希望日数（放課後デイサービス）



公民館、公園などで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「2日」が41.5%と最も高く、次いで「1日」が32.1%、「3日」が11.3%となっています。

図表 1-3-9-2-11 1週間当たりの希望日数（公民館、公園など）

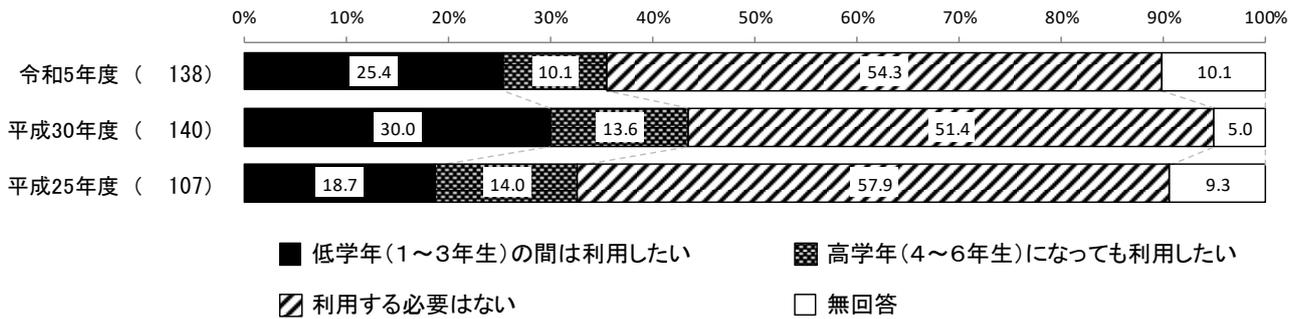


(3) 土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

①土曜日

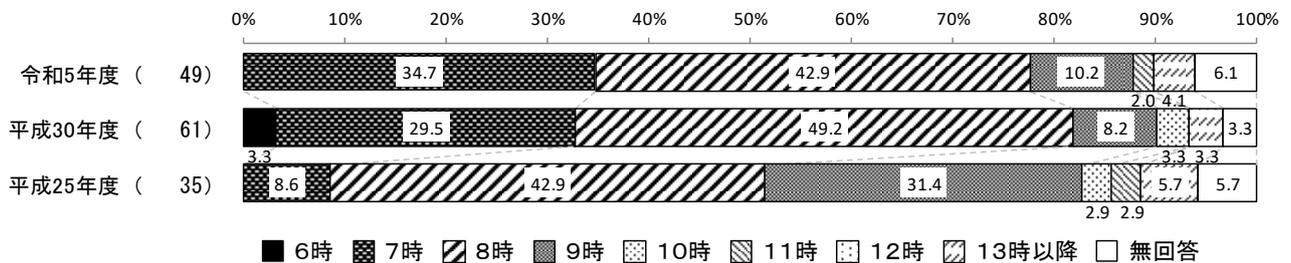
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.1%となっています。一方、「利用する必要はない」は54.3%と最も高くなっています。

図表 1-3-9-3-1 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望



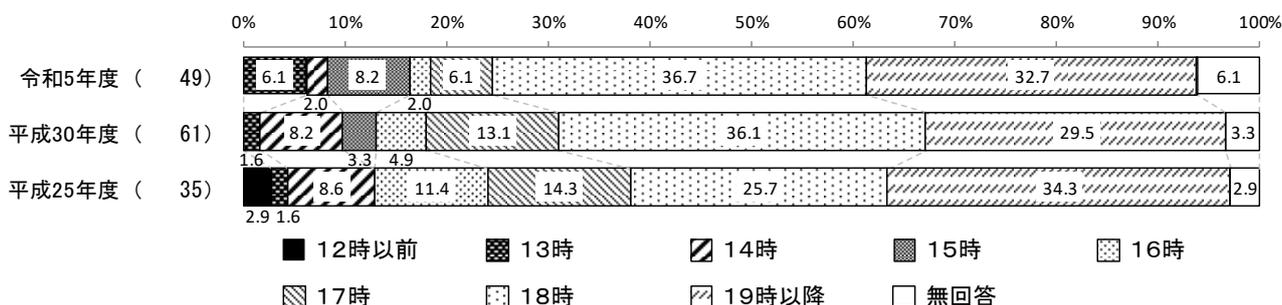
土曜日の希望登室時刻は、「8時」が42.9%と最も高く、次いで「7時」が34.7%、「9時」が10.2%となっています。

図表 1-3-9-3-2 土曜日の希望登室時刻



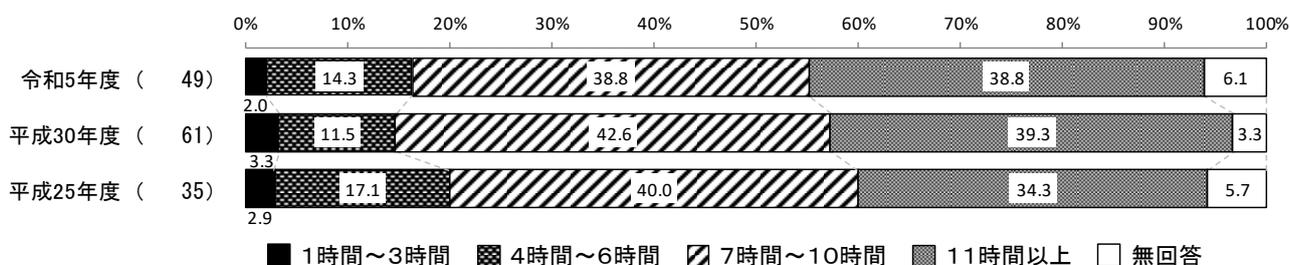
土曜日の希望降室時刻は、「18時」が36.7%と最も高く、次いで「19時以降」が32.7%、「15時」が8.2%となっています。

図表 1-3-9-3-3 土曜日の希望降室時刻



土曜日の1日当たりの希望利用時間は、「7時間～10時間」と「11時間以上」がともに38.8%と最も高く、次いで「4時間～6時間」が14.3%、「1時間～3時間」が2.0%となっています。

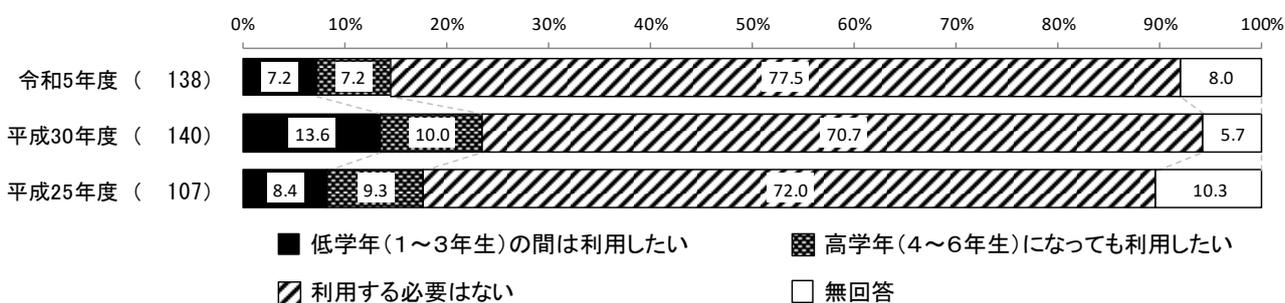
図表 1-3-9-3-4 土曜日の1日当たりの希望利用時間



②日曜日・祝日

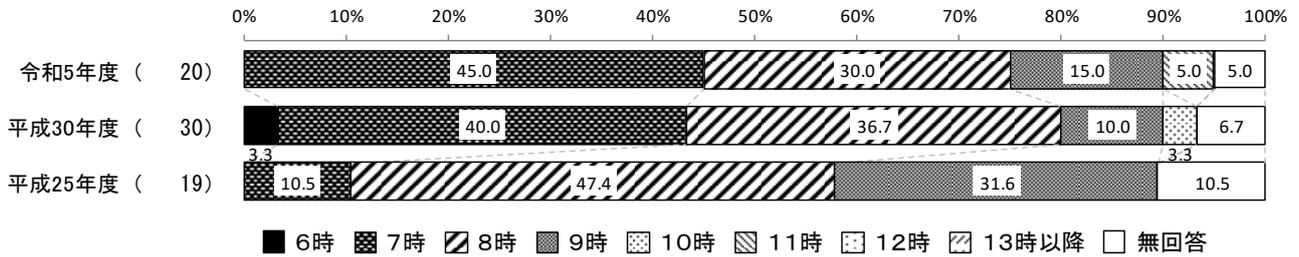
日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が7.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.2%となっています。一方、「利用する必要はない」は77.5%と最も高くなっています。

図表 1-3-9-3-5 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望



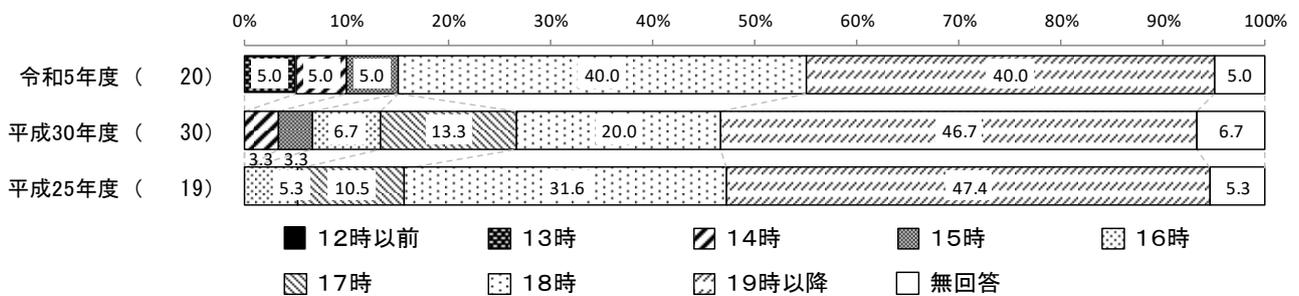
日曜日・祝日の希望登室時刻は、サンプル数は少ないものの「7時」が45.0%と最も高く、次いで「8時」が30.0%、「9時」が15.0%となっています。

図表 1-3-9-3-6 日曜日・祝日の希望登室時刻



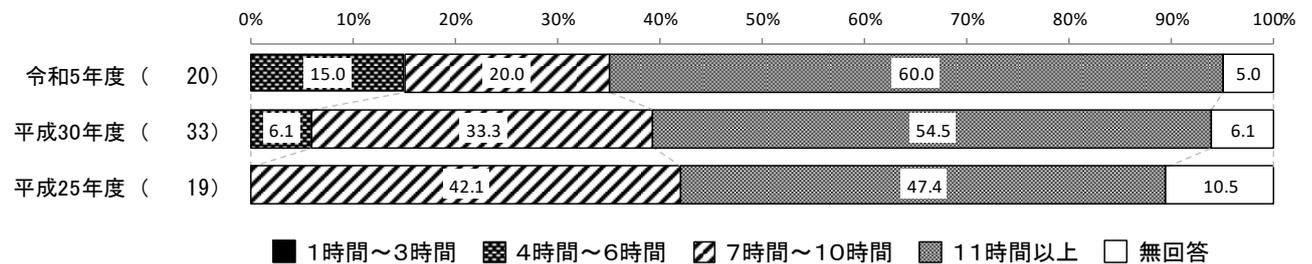
日曜日・祝日の希望降室時刻は、サンプル数は少ないものの「18時」と「19時以降」がともに40.0%と最も高く、次いで「13時」「14時」「15時」がいずれも5.0%となっています。

図表 1-3-9-3-7 日曜日・祝日の希望降室時刻



日曜日・祝日の1日当たりの希望利用時間は、サンプル数は少ないものの「11時間以上」が60.0%と最も高く、次いで「7時間～10時間」が20.0%、「4時間～6時間」が15.0%となっています。

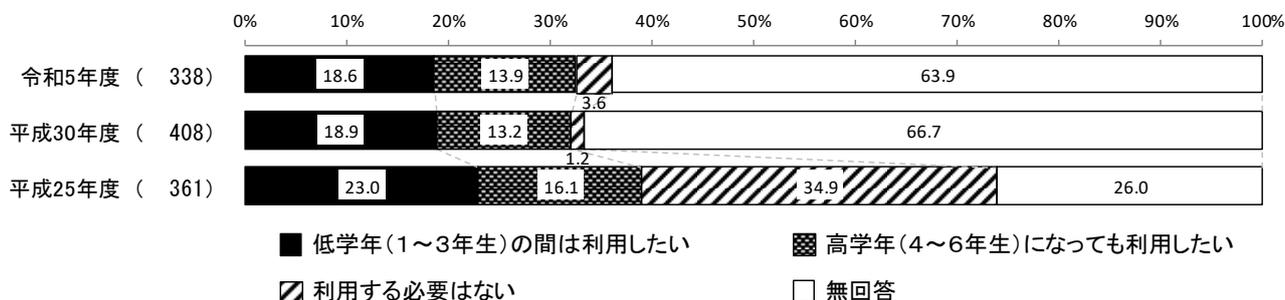
図表 1-3-9-3-8 日曜日・祝日の1日当たりの希望利用時間



(4) 長期休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

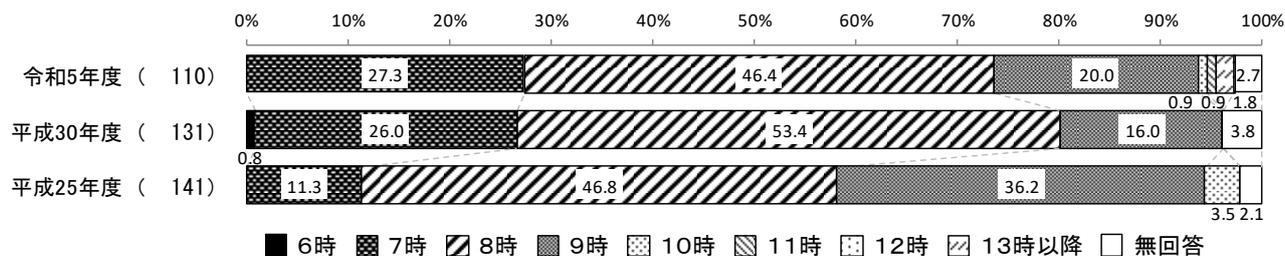
長期休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が18.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が13.9%となっています。

図表 1-3-9-4-1 長期休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望



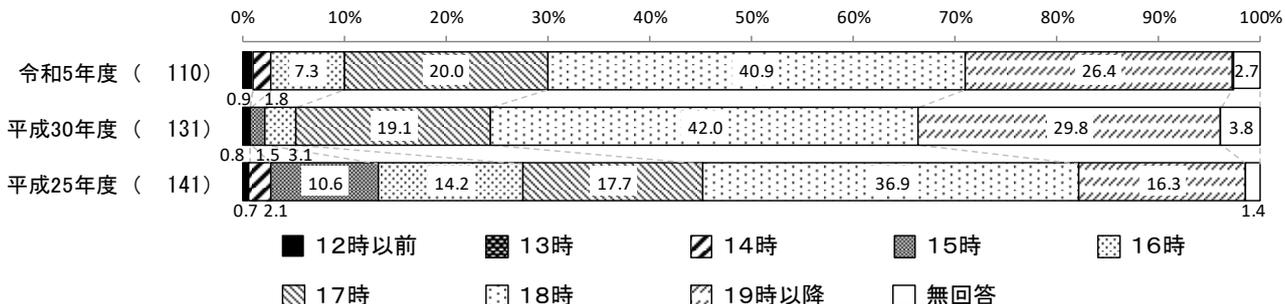
長期休業期間中の希望登室時刻は、「8時」が46.4%と最も高く、次いで「7時」が27.3%、「9時」が20.0%となっています。

図表 1-3-9-4-2 長期休業期間中の希望登室時刻



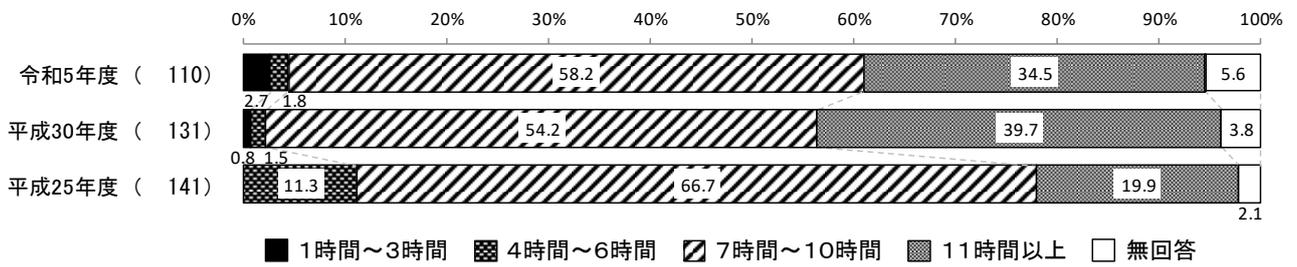
長期休業期間中の希望降室時刻は、「18時」が40.9%と最も高く、次いで「19時以降」が26.4%、「17時」が20.0%となっています。

図表 1-3-9-4-3 長期休業期間中の希望降室時刻



長期休業期間中の1日当たりの希望利用時間は、「7時間～10時間」が58.2%と最も高く、次いで「11時間以上」が34.5%となっています。

図表 1-3-9-4-4 長期休業期間中の1日当たりの希望利用時間



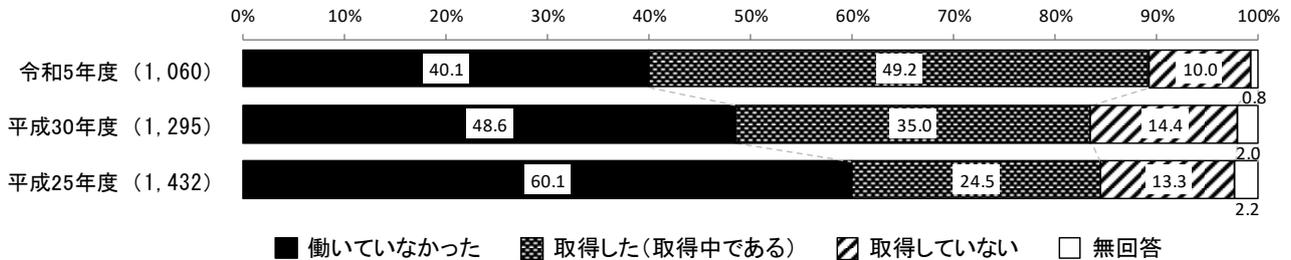
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 子どもが生まれた時の育児休業の取得状況

①母親

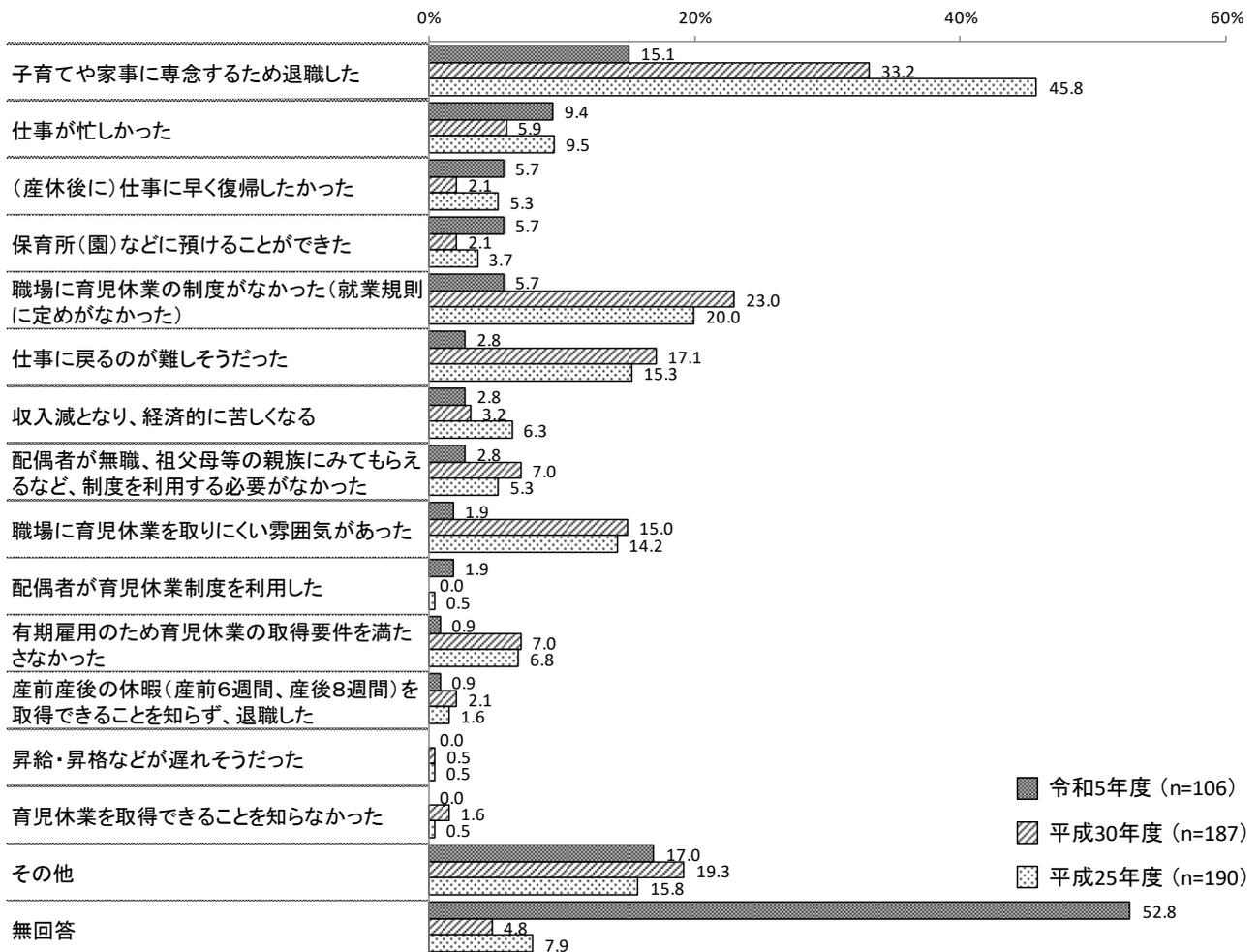
子どもが生まれた時の母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が40.1%、「取得した(取得中である)」が49.2%、「取得していない」が10.0%となっています。

図表 1-3-10-1-1 子どもが生まれた時の母親の育児休業の取得状況



子どもが生まれた時に母親が育児休業を取得しなかった理由を複数回答で聞いたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」が15.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が9.4%、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」が5.7%となっています。

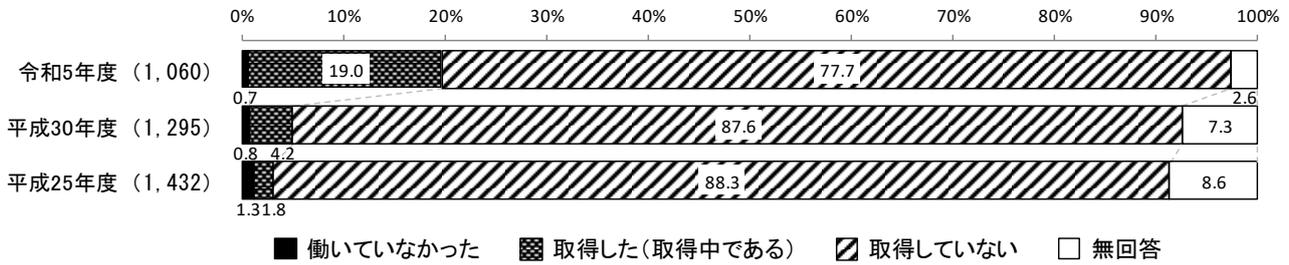
図表 1-3-10-1-2 子どもが生まれた時に母親が育児休業を取得しなかった理由(複数回答)



②父親

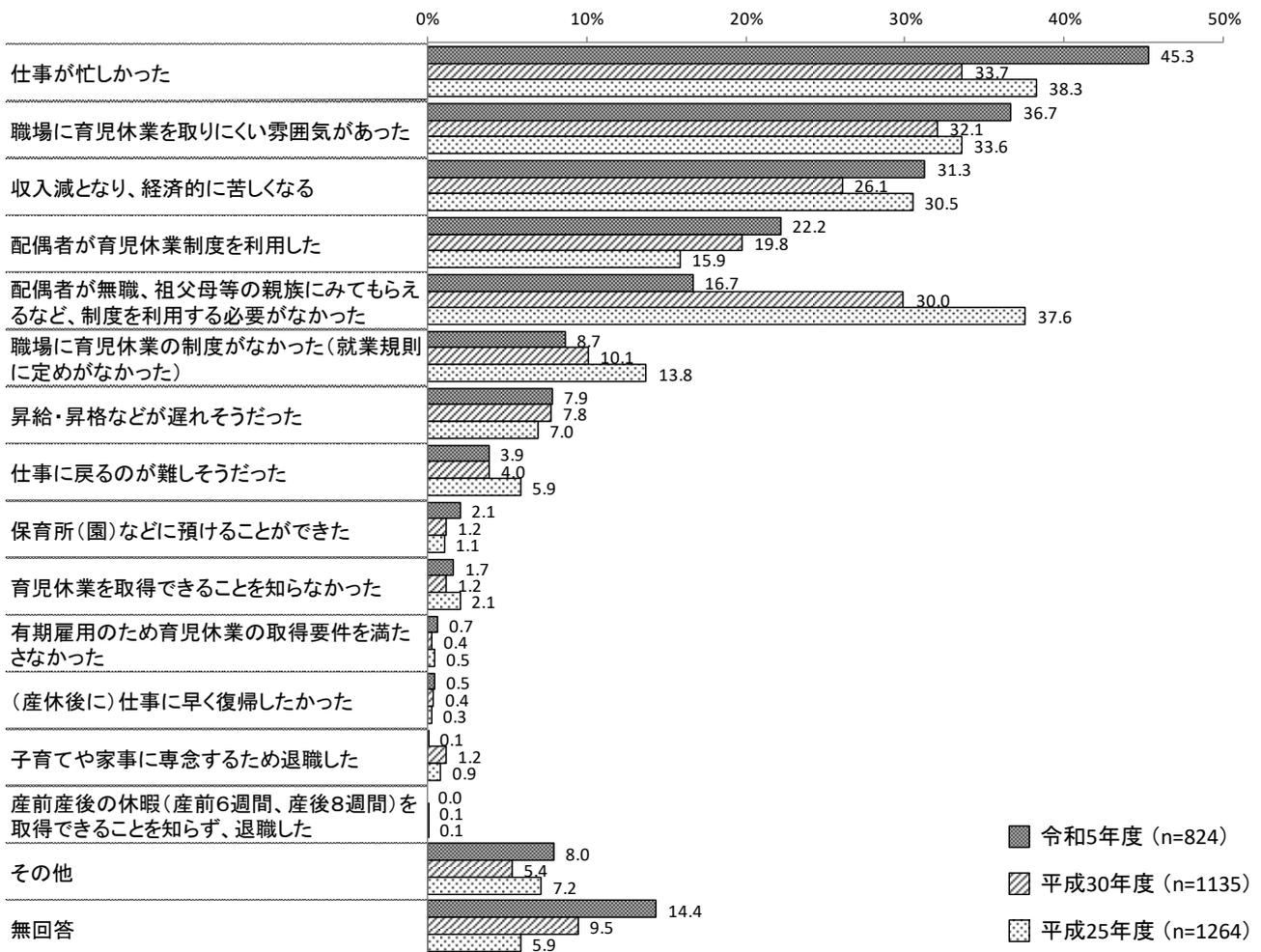
子どもが生まれた時の父親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が0.7%、「取得した（取得中である）」が19.0%、「取得していない」が77.7%となっています。

図表 1-3-10-1-3 子どもが生まれた時の父親の育児休業の取得状況



子どもが生まれた時に父親が育児休業を取得しなかった理由を複数回答で聞いたところ、「仕事が忙しかった」が45.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が31.3%となっています。

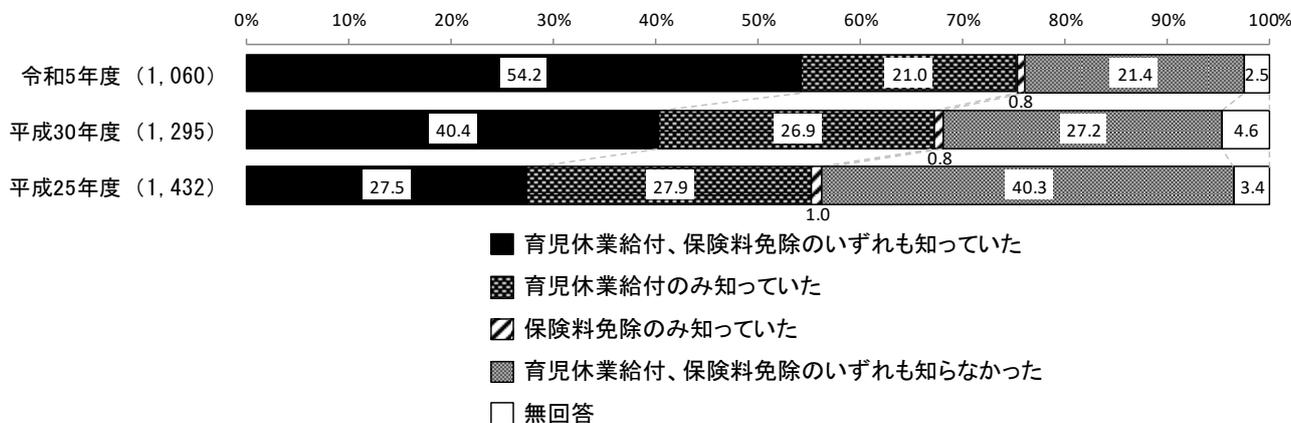
図表 1-3-10-1-4 子どもが生まれた時に父親が育児休業を取得しなかった理由（複数回答）



(2) 育児休業給付と保険料免除の認知度

育児休業給付と保険料免除の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が54.2%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が21.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が21.0%となっています。

図表 1-3-10-2-1 育児休業給付と保険料免除の認知度

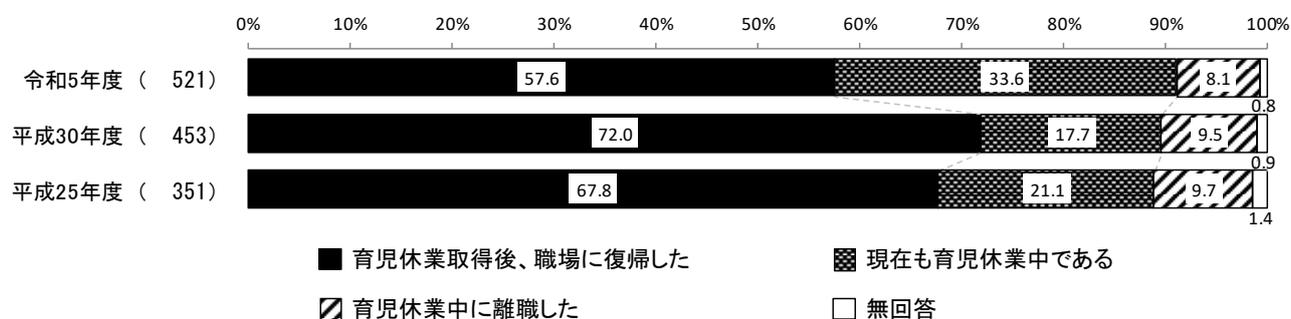


(3) 育児休業取得後の職場への復帰状況

① 母親

母親の育児休業取得後の職場への復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が57.6%、「現在も育児休業中である」が33.6%、「育児休業中に離職した」が8.1%となっています。

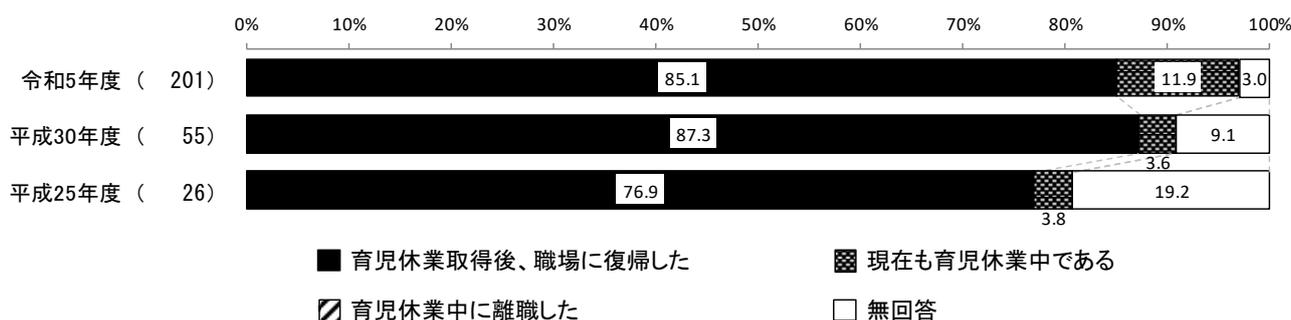
図表 1-3-10-3-1 母親の育児休業取得後の職場への復帰状況



② 父親

父親の育児休業取得後の職場への復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が85.1%、「現在も育児休業中である」が11.9%となっています。

図表 1-3-10-3-2 父親の育児休業取得後の職場への復帰状況

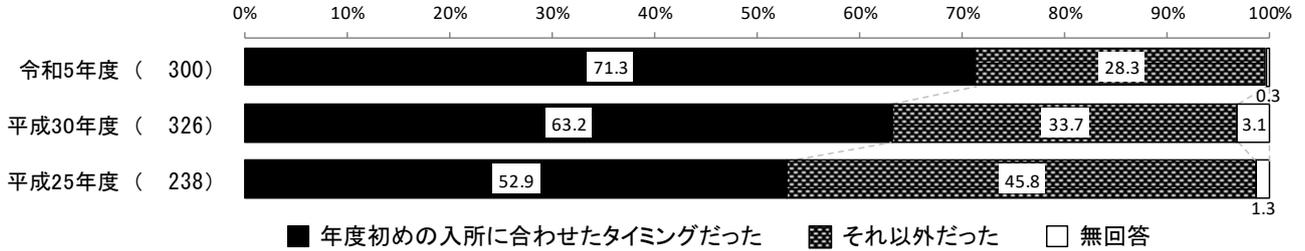


(4) 育児休業から職場に復帰したタイミング

①母親

母親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が71.3%、「それ以外だった」が28.3%となっています。

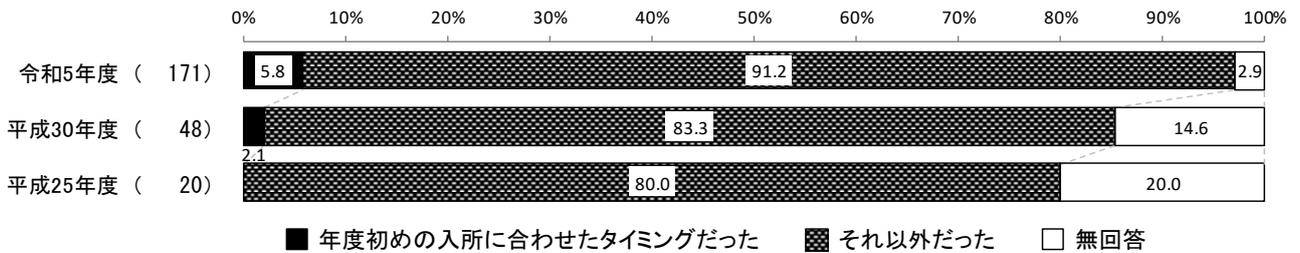
図表 1-3-10-4-1 母親が育児休業から職場に復帰したタイミング



②父親

父親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が5.8%、「それ以外だった」が91.2%となっています。

図表 1-3-10-4-2 父親が育児休業から職場に復帰したタイミング

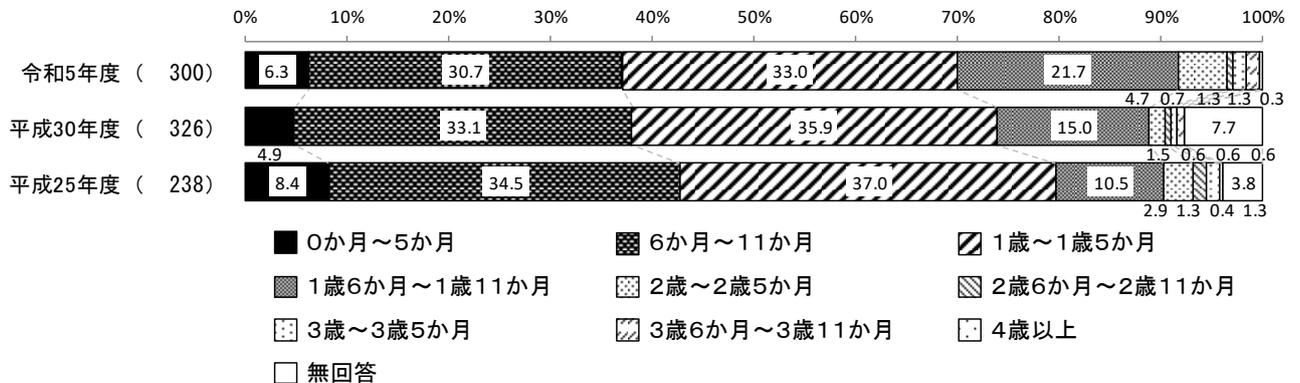


(5) 育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢

①母親

母親が育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢は、「1歳～1歳5か月」が33.0%と最も高く、次いで「6か月～11か月」が30.7%、「1歳6か月～1歳11か月」が21.7%となっています。

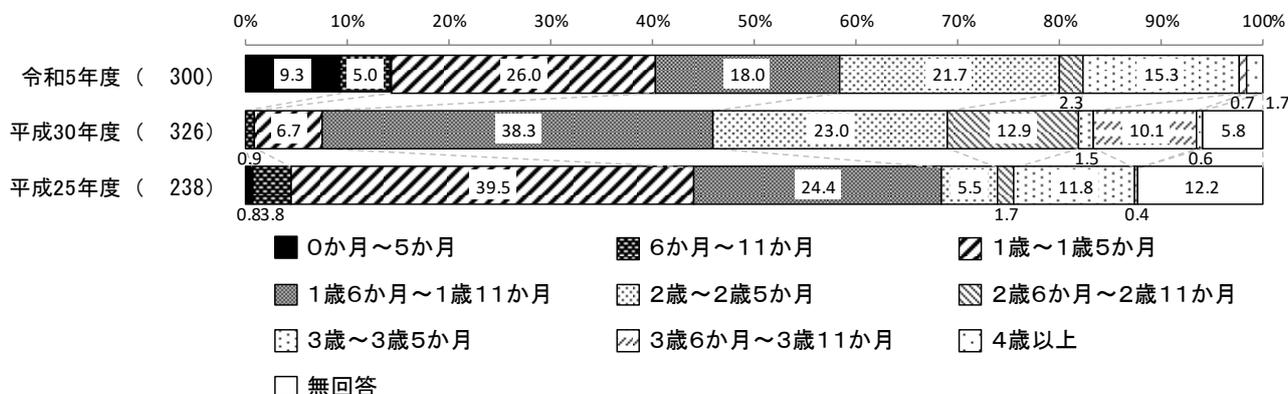
図表 1-3-10-5-1 育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢



②父親

父親が育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢は、「1歳～1歳5か月」が26.0%と最も高く、次いで「2歳～2歳5か月」が21.7%、「1歳6か月～1歳11か月」が18.0%となっています。

図表 1-3-10-5-2 父親が育児休業から職場に復帰したタイミング

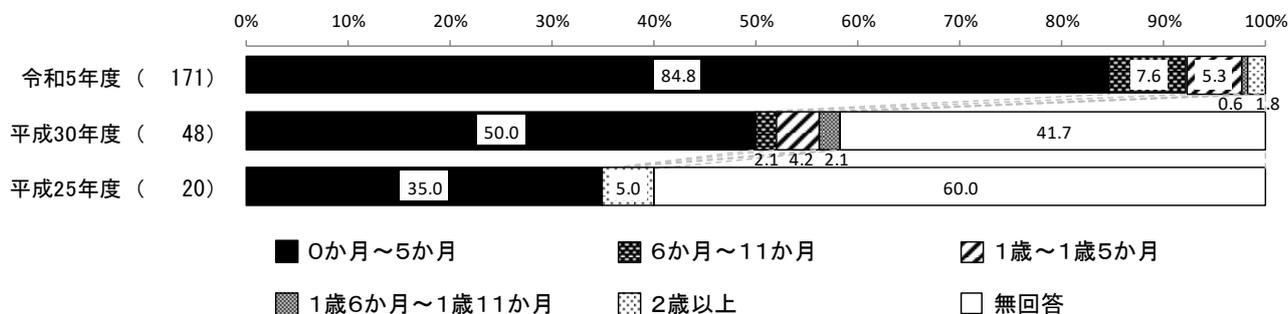


(6) 育児休業から職場復帰する際に希望する子どもの年齢

①母親

母親の育児休業から職場復帰する際に希望する子どもの年齢は、「0か月～5か月」が84.8%と最も高くなっています。

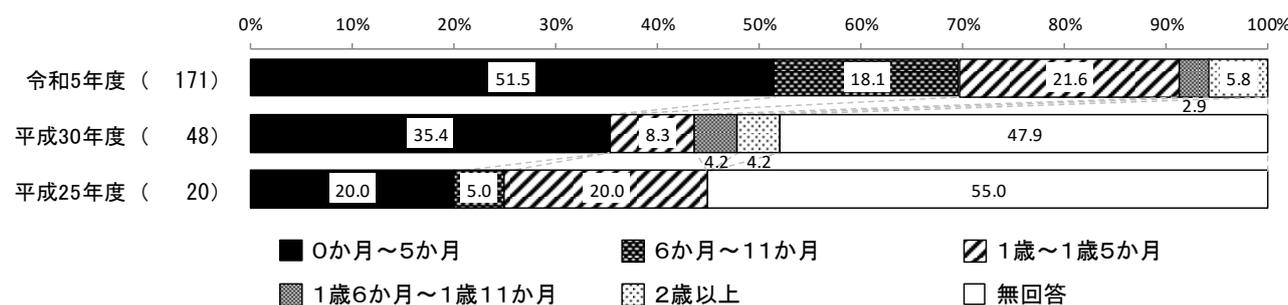
図表 1-3-10-6-1 母親の育児休業から職場復帰する際に希望する子どもの年齢



②父親

父親の育児休業から職場復帰する際に希望する子どもの年齢は、「0か月～5か月」が51.5%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」が21.6%、「6か月～11か月」が18.1%となっています。

図表 1-3-10-6-2 父親の育児休業から職場復帰する際に希望する子どもの年齢

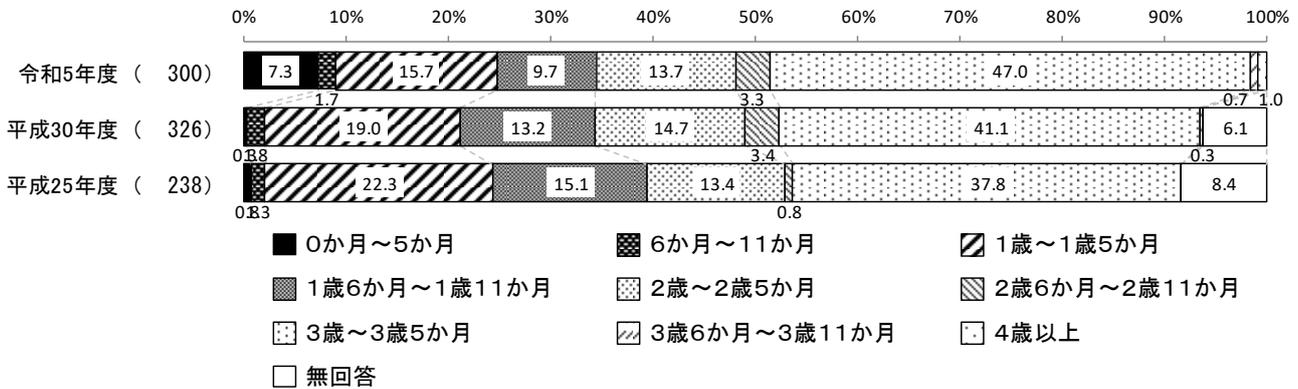


(7) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間

①母親

母親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間は、「3歳～3歳5か月」が47.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」が15.7%、「2歳～2歳5か月」が13.7%となっています。

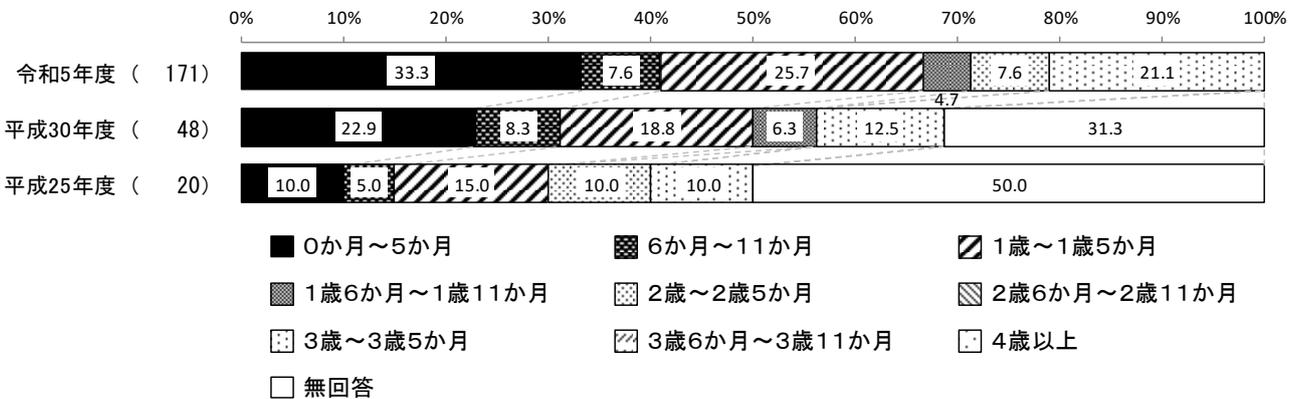
図表 1-3-10-7-1 母親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間



②父親

父親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間は、「0か月～5か月」が33.3%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」が25.7%、「3歳～3歳5か月」が21.1%となっています。

図表 1-3-10-7-2 父親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望期間



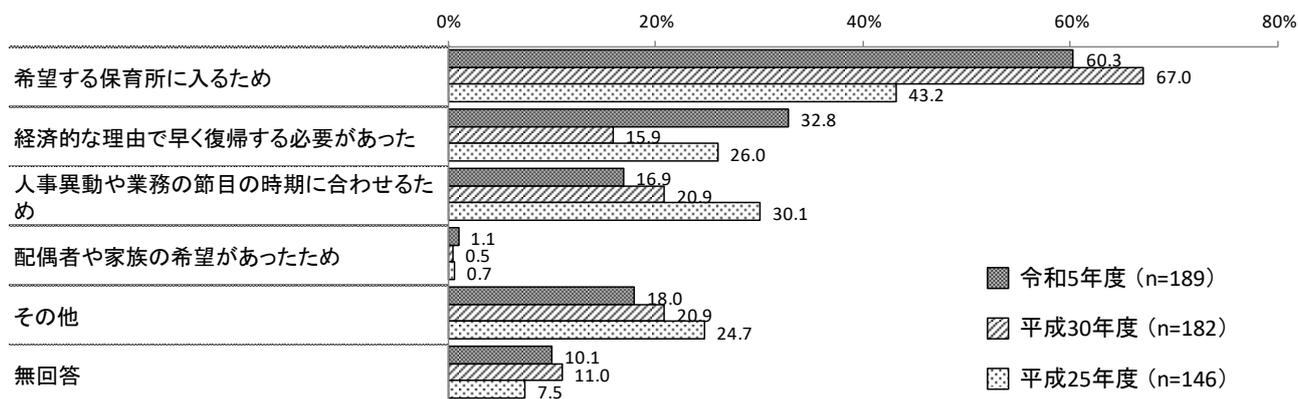
(8) 希望より早く職場復帰した理由

①母親

母親が希望より早く職場復帰した理由を複数回答で聞いたところ、「希望する保育所に入るため」が60.3%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が32.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.9%となっています。

その他の具体的な意見として、「1年で復帰する風潮があるため」「職場の雰囲気」「保育所へ入れるか不安だったため」などが挙げられました。

図表 1-3-10-8-1 母親が希望より早く職場復帰した理由（複数回答）

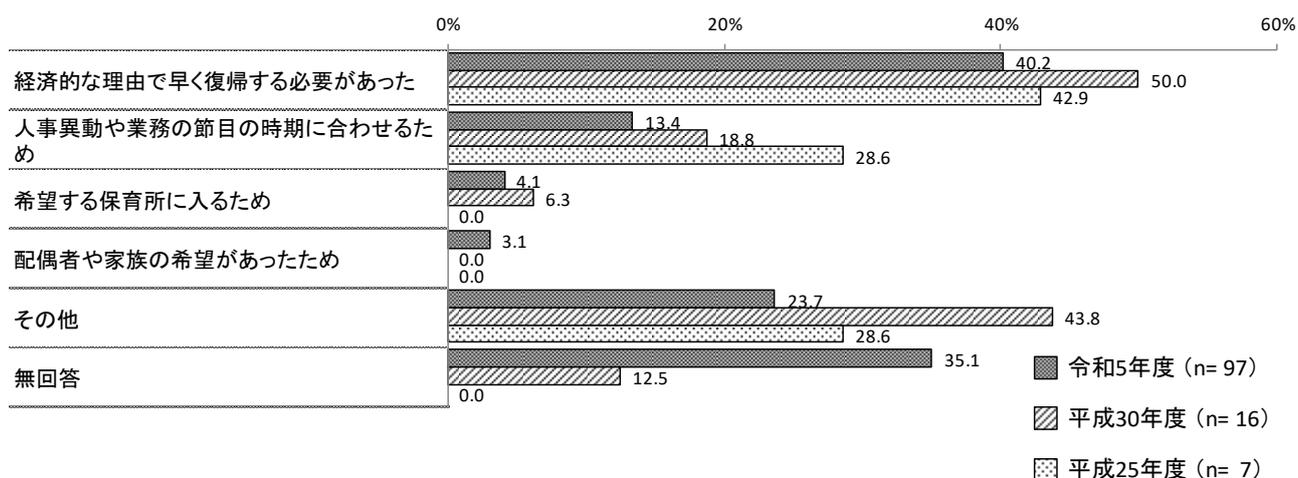


②父親

父親が希望より早く職場復帰した理由を複数回答で聞いたところ、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が40.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が13.4%、「希望する保育所に入るため」が4.1%となっています。

その他の具体的な意見として、「会社で難色を示されたから」「仕事が多忙のため」「職場復帰がしづらくなるため」などが挙げられました。

図表 1-3-10-8-2 父親が希望より早く職場復帰した理由（複数回答）

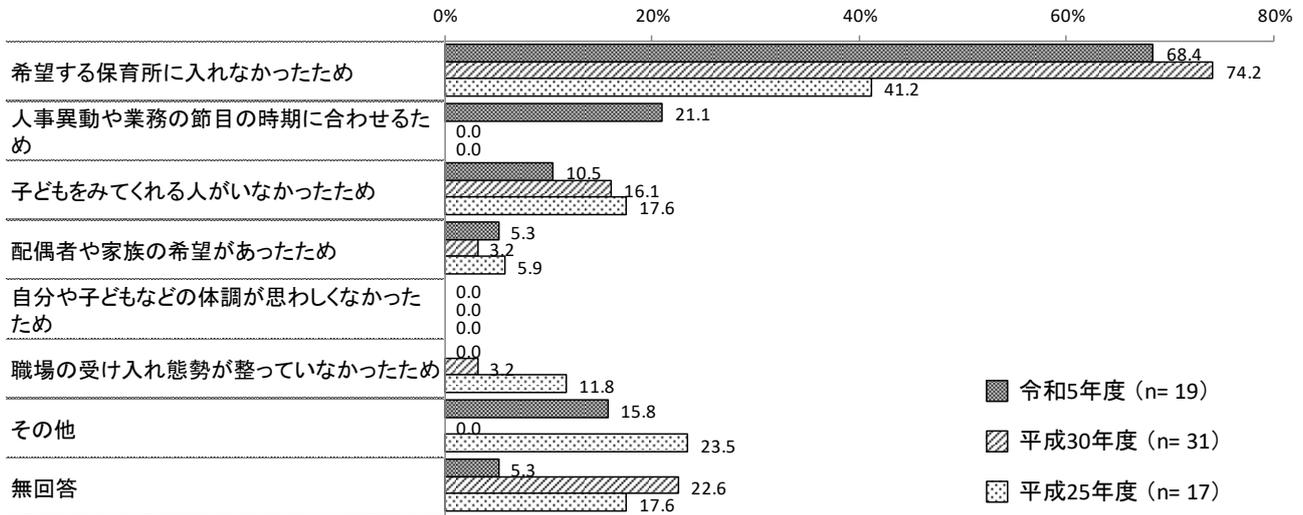


(9) 希望より遅く職場復帰した理由

①母親

母親が希望より遅く職場復帰した理由を複数回答で聞いたところ、サンプル数は少ないものの「希望する保育所に入らなかったため」が68.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が21.1%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が10.5%となっています。

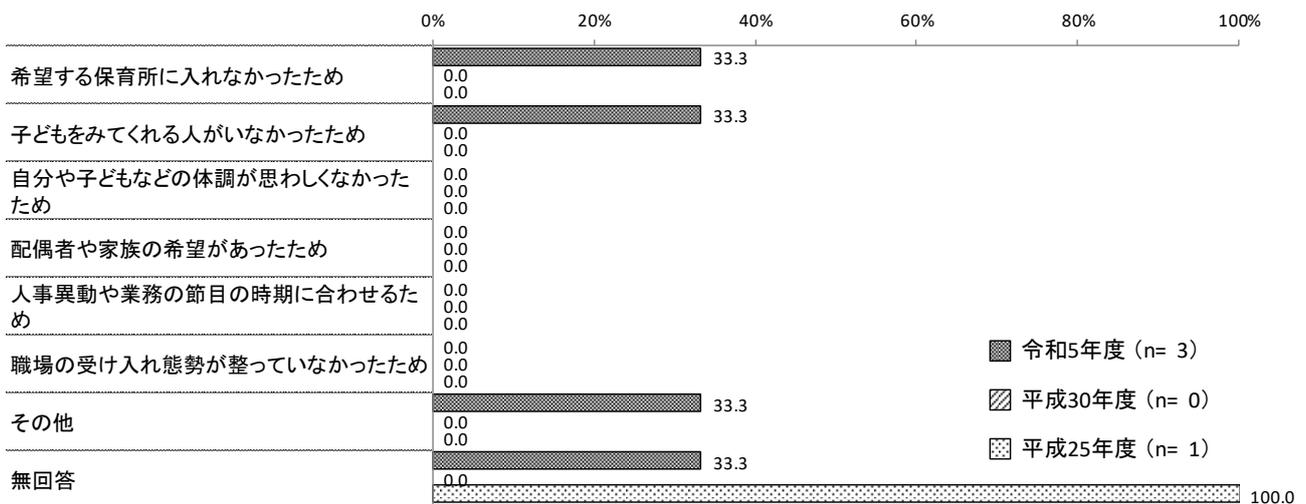
図表 1-3-10-9-1 母親が希望より遅く職場復帰した理由（複数回答）



②父親

父親が希望より遅く職場復帰した理由を複数回答で聞いたところ、サンプル数は少ないものの「希望する保育所に入るため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」「その他」がいずれも33.3%となっています。

図表 1-3-10-9-2 父親が希望より遅く職場復帰した理由（複数回答）

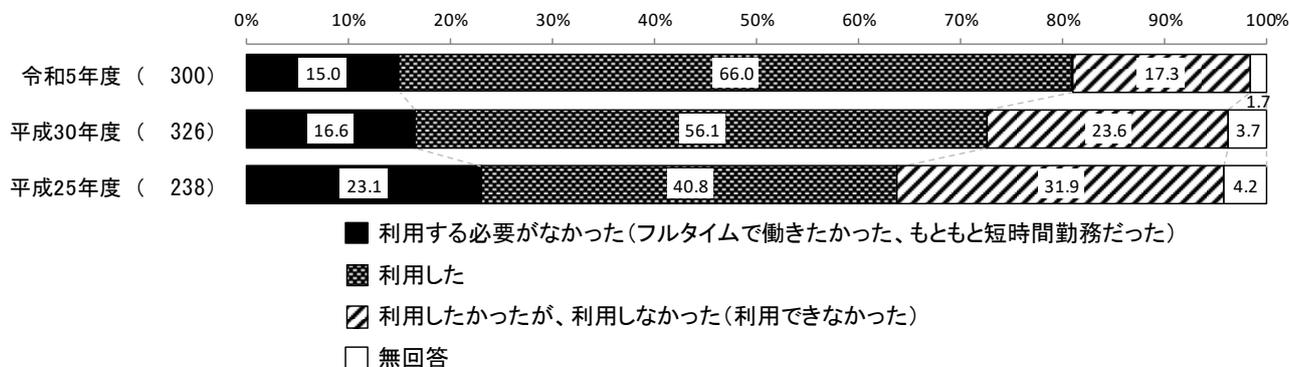


(10) 短時間勤務制度の利用状況

①母親

母親の短時間勤務制度の利用状況は、「利用した」が66.0%、「利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」が17.3%となっており、利用した割合が48.7ポイント上回っています。

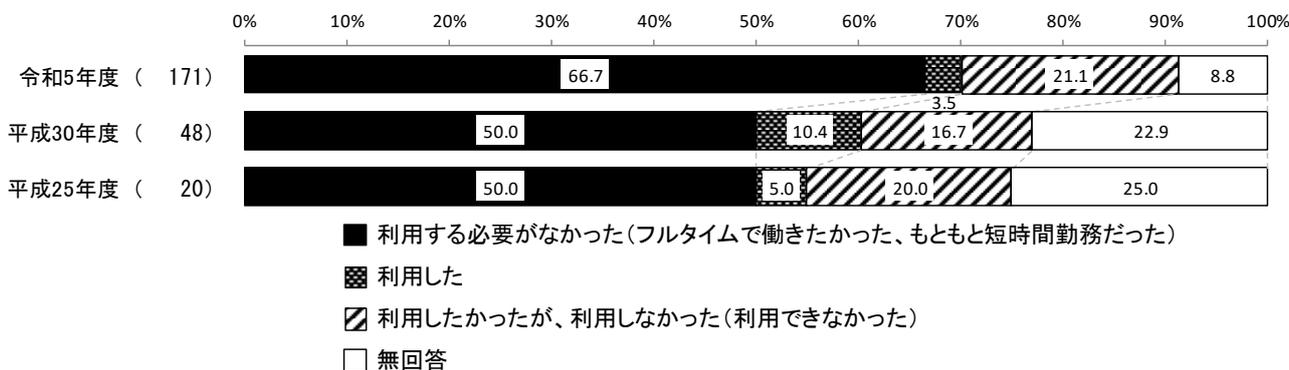
図表 1-3-10-10-1 母親の短時間勤務制度の利用状況



②父親

父親の短時間勤務制度の利用状況は、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が66.7%と高くなっています。

図表 1-3-10-10-2 父親の短時間勤務制度の利用状況

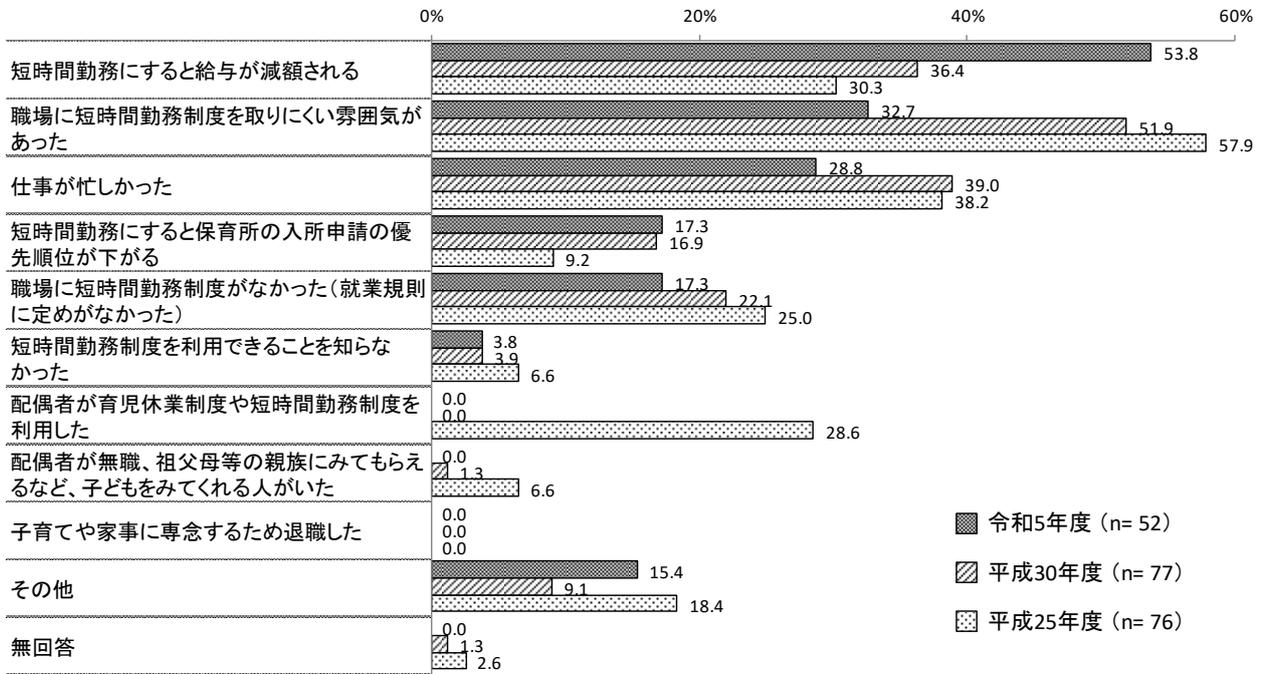


(11) 短時間勤務制度を利用していない理由

①母親

母親の短時間勤務制度を利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「短時間勤務にすると給与が減額される」が53.8%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が32.7%、「仕事が忙しかった」が28.8%となっています。

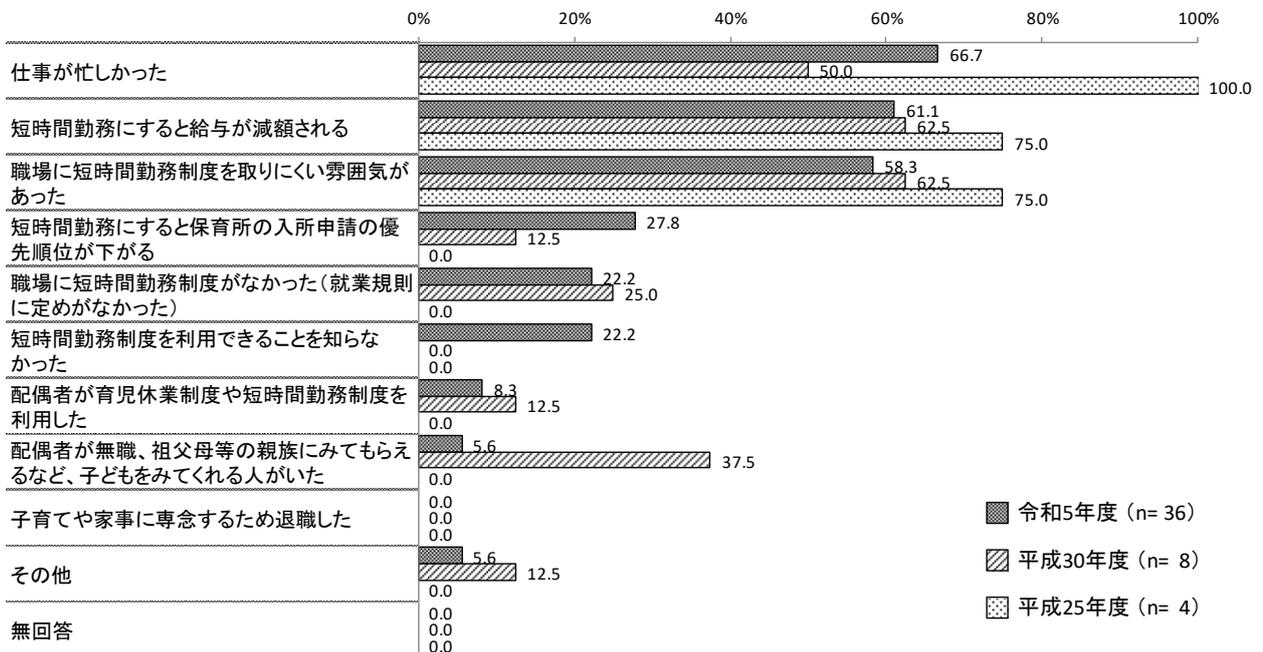
図表 1-3-10-11-1 母親の短時間勤務制度を利用していない理由



②父親

父親の短時間勤務制度を利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「仕事が忙しかった」が66.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が61.1%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が58.3%となっています。

図表 1-3-10-11-2 父親の短時間勤務制度を利用していない理由

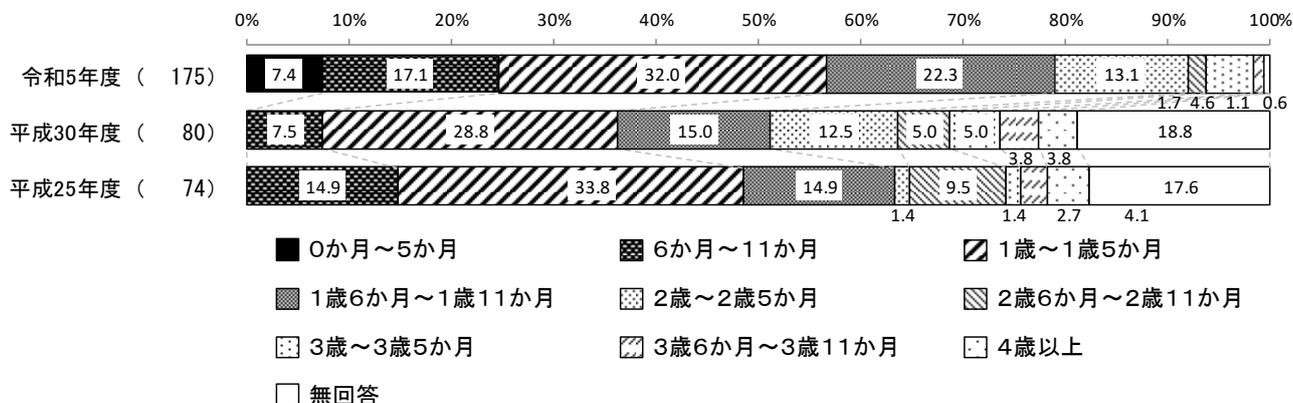


(12) 現在、育児休業中の方について、子どもが何歳何か月まで育児休業を取得するか

①母親

母親の育児休業の取得希望は、「1歳～1歳5か月」が32.0%と最も高く、次いで「1歳6か月～1歳11か月」が22.3%、「6か月～11か月」が17.1%となっています。

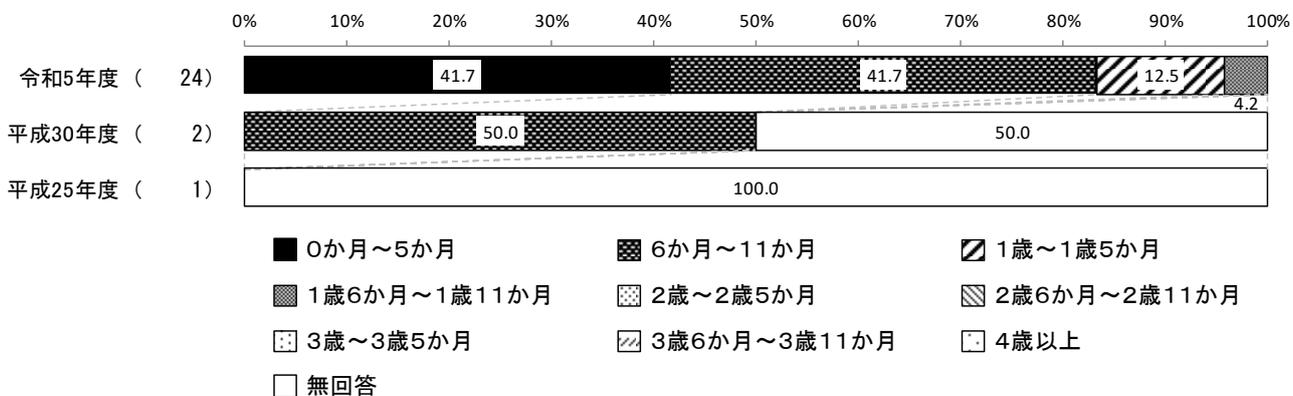
図表 1-3-10-12-1 母親の育児休業の取得希望



②父親

父親の育児休業の取得希望は、サンプル数は少ないものの「0歳～5か月」「6か月～11か月」がともに41.7%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」が12.5%、「1歳6か月～1歳11か月」が4.2%となっています。

図表 1-3-10-12-2 父親の育児休業の取得希望

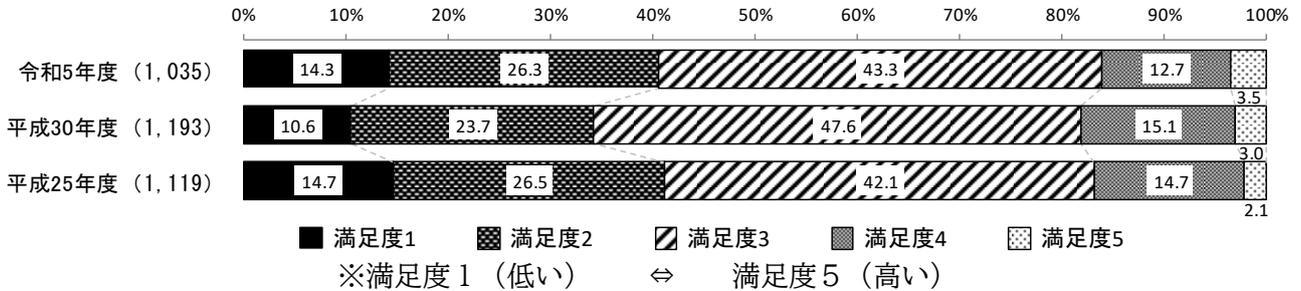


11. 子育て全般・市の施策について

(1) 川越市の子育てへの環境や支援への満足度

川越市の子育てへの環境や支援への満足度は、「満足度1」(14.3%)、「満足度2」(26.3%)の合計が40.6%に対し、「満足度4」(12.7%)、「満足度5」(3.5%)の合計は16.2%となっています。

図表 1-3-11-1-1 川越市の子育てへの環境や支援への満足度



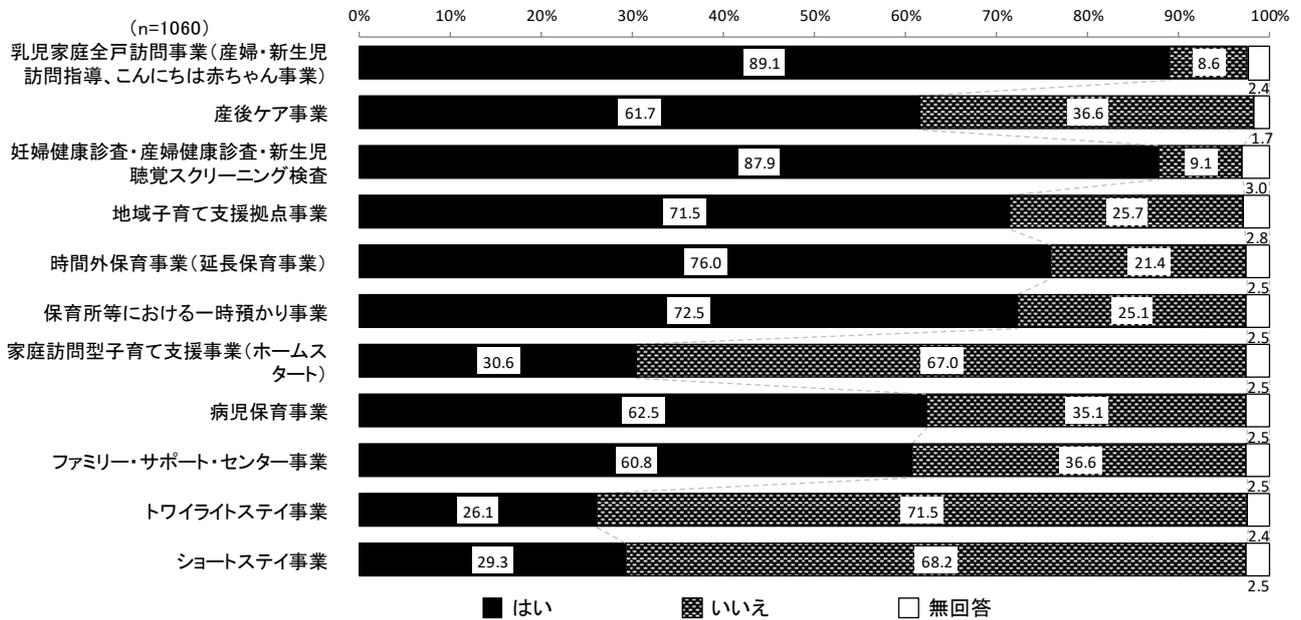
※無回答を除いています。

(2) 市で実施している事業の認知度、利用経験、利用希望

① 認知度

認知度については、「乳児家庭全戸訪問事業(産婦・新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業)」(89.1%)と「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」(87.9%)が8割を超えて高くなっています。

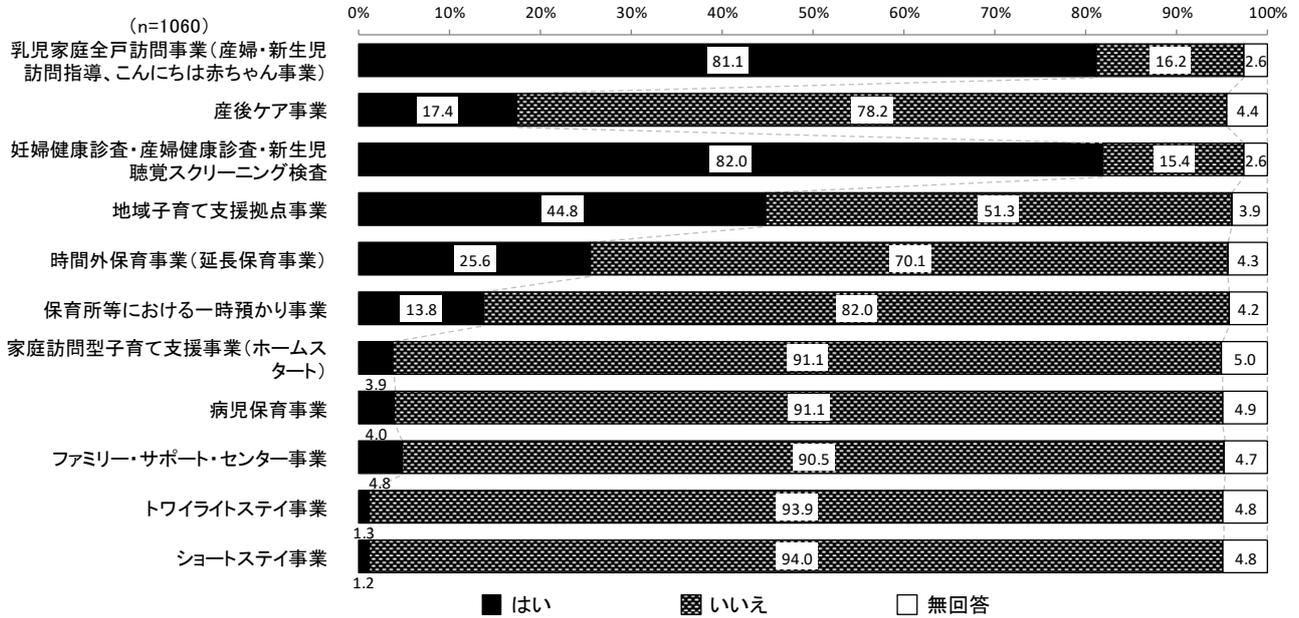
図表 1-3-11-2-1 市で実施している事業の認知度



②利用経験

利用経験については、「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」(82.0%)と「乳児家庭全戸訪問事業(産婦・新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業)」(81.1%)が8割を超えて高くなっています。

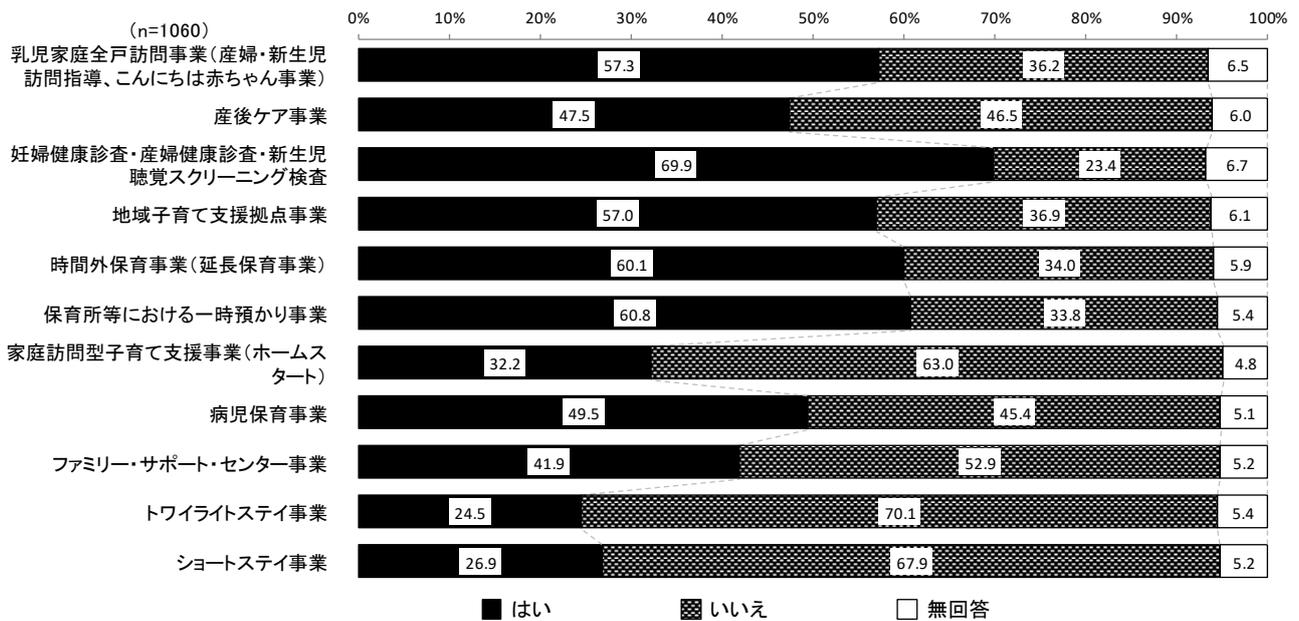
図表 1-3-11-2-2 市で実施している事業の利用経験



③利用希望

利用希望については、「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」(69.9%)、「保育所等における一時預かり事業」(60.8%)、「時間外保育事業(延長保育事業)」(60.1%)が6割を超えて高くなっています。

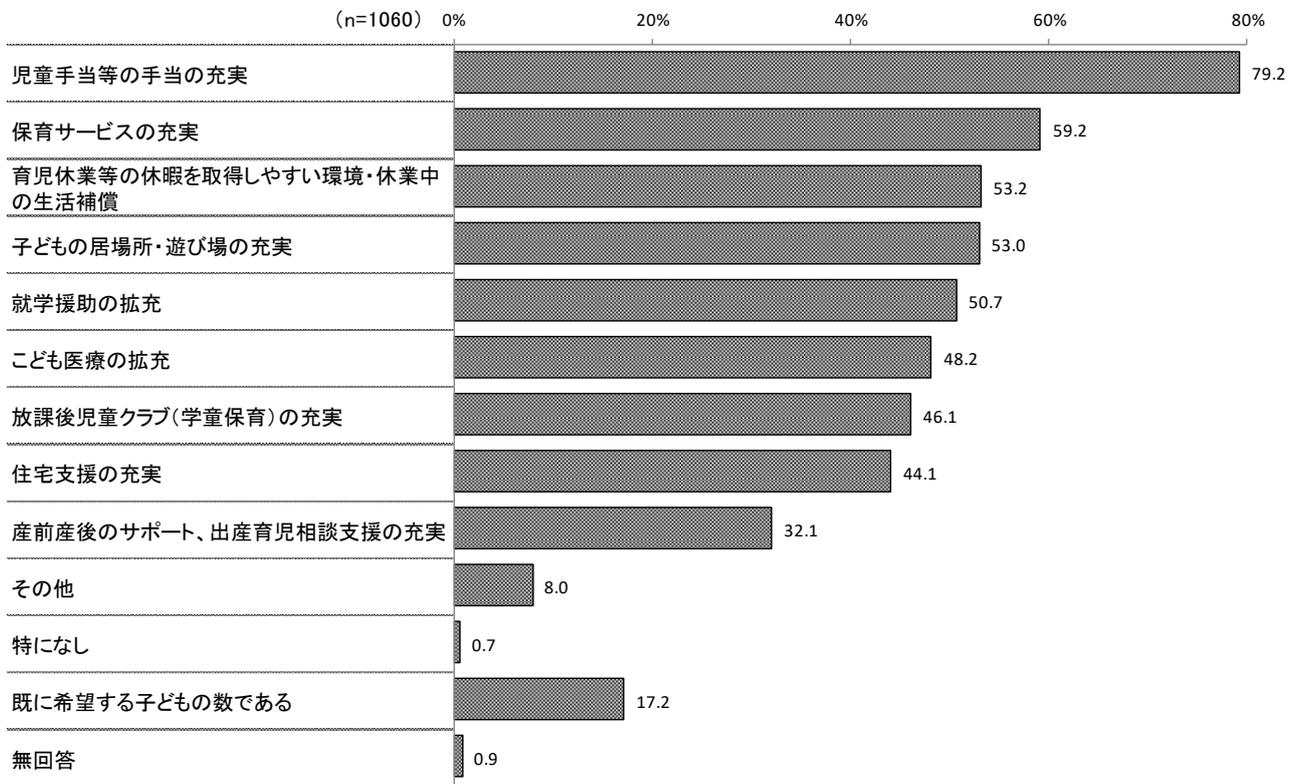
図表 1-3-11-2-3 市で実施している事業の利用希望



(3) 希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援

希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援について複数回答で聞いたところ、「児童手当等の手当の充実」が79.2%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」が59.2%、「育児休業等の休暇を取得しやすい環境・休業中の生活補償」が53.2%となっています。

図表 1-3-11-3 希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援（複数回答）



(4) 教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関する意見

教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援について自由記述で聞いたところ、569人からご意見をいただきました。主な意見の件数は以下のとおりです。

図表 1-3-11-4 教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関する意見

項目	件数
金銭的な援助に関すること	181件
保育所・幼稚園の質・量に関すること	175件
インフラ整備に関すること	169件
行政サービス（事業・相談等）に関すること	89件
小学校入学後に関すること	80件
緊急時の送迎・預かり・代行に関すること	54件
会社や社会環境に関すること	54件
健診・医療に関すること	34件
コロナ禍関連	7件
その他	76件

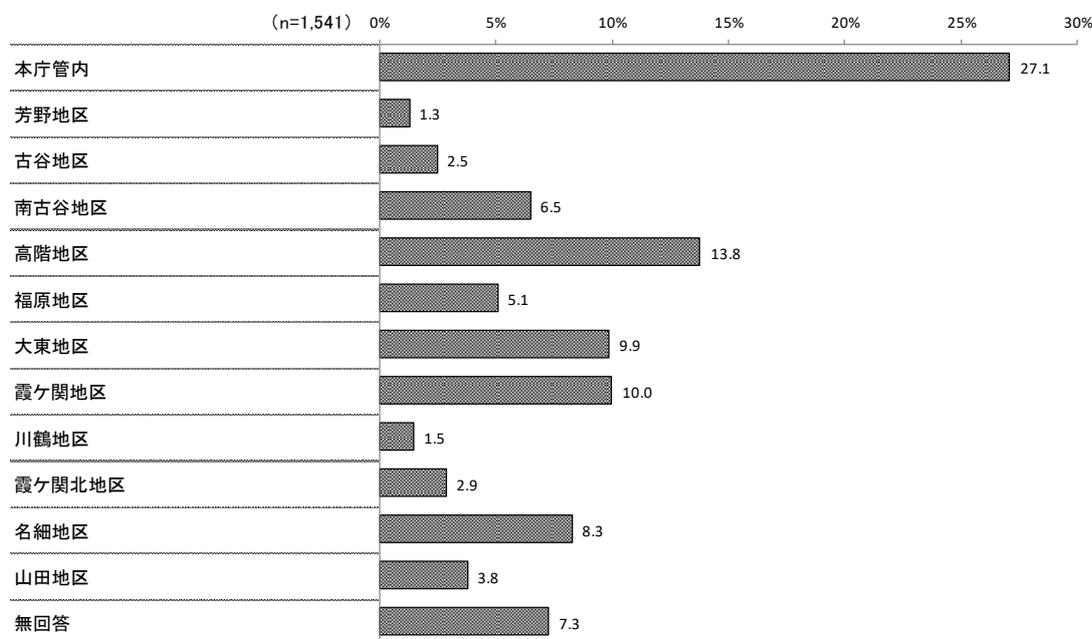
第4章 放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者用アンケートの結果

1. 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもと家族の状況について

(1) 居住地区と学童保育室名

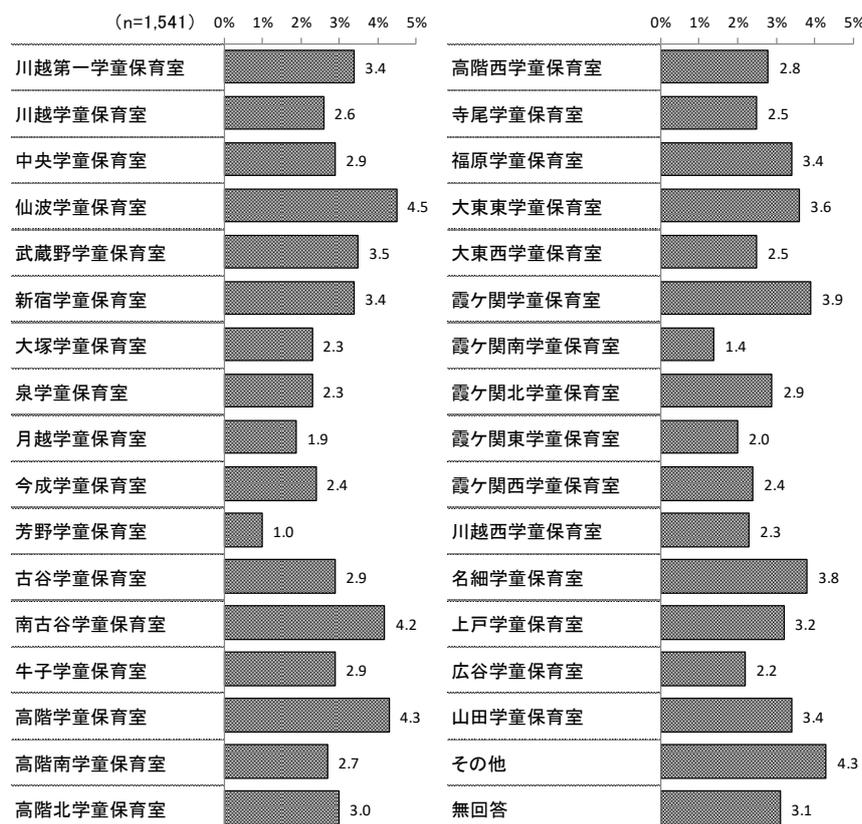
居住地区は「本庁管内」が27.1%と最も高く、次いで「高階地区」が13.8%、「霞ヶ関地区」が10.0%となっています。

図表 1-4-1-1-1 居住地区



学童保育室は「仙波学童保育室」が4.5%と最も高く、次いで「高階学童保育室」が4.3%となっています。

図表 1-4-1-1-2 放課後児童クラブ（学童保育室）名



その他内訳	
芳野キッズ	0.7
山手ジュニア	3.5
上記以外	0.1

(2) 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもの年齢と人数

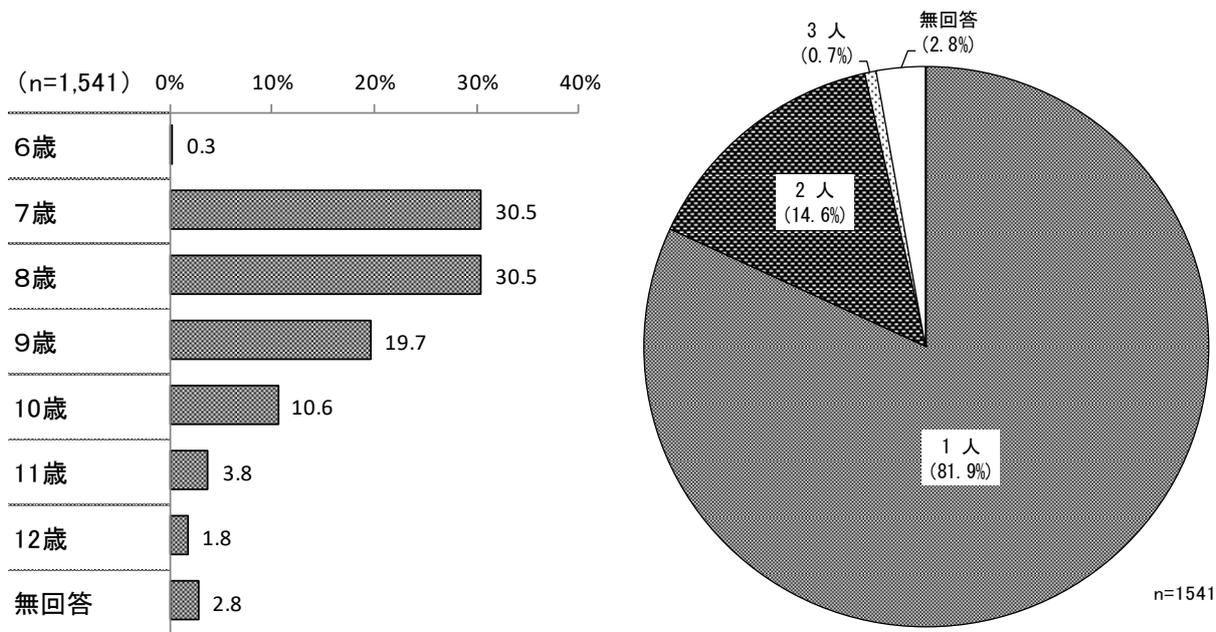
放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもの年齢は「7歳」と「8歳」が30.5%と最も高くなっています。

また、放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもの人数は「1人」が81.9%と最も高くなっています。

図表1-4-1-2 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもの年齢・人数

【子どもの年齢】

【子どもの人数】



(3) 子どもの人数と末子の年齢

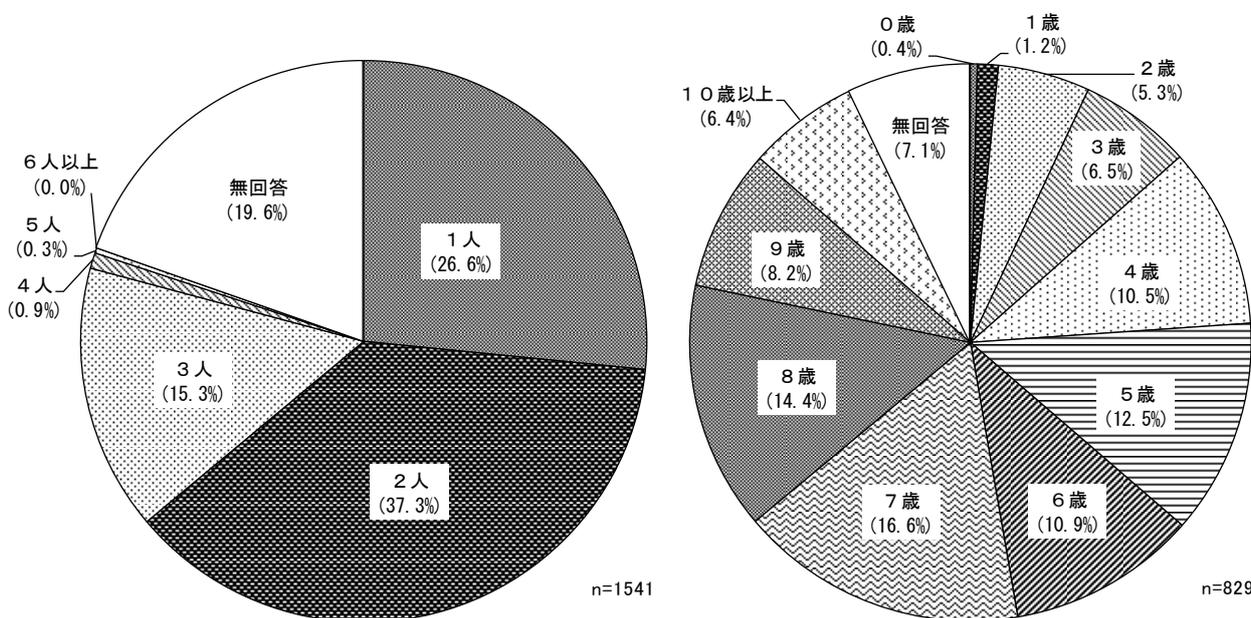
1世帯当たりの子どもの人数は、「2人」が37.3%と最も高く、次いで「1人」が26.6%、「3人」が15.3%となっています。

また、2人以上の子どものいる世帯の末子の年齢は、「7歳」が16.6%と最も高くなっています。

図表1-4-1-3 子どもの人数と末子の年齢

【子どもの人数】

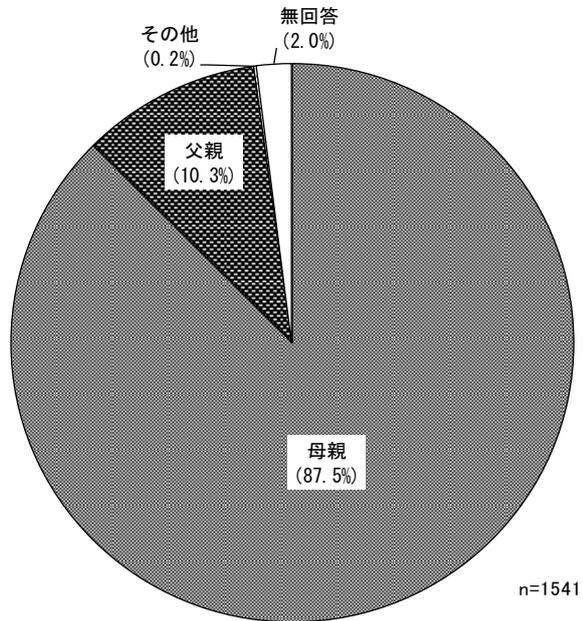
【末子の年齢】



(4) この調査票に回答する人

調査票の回答者は、「母親」が 87.5%に対し、「父親」が 10.3%と「母親」の割合が大きく上回っています。

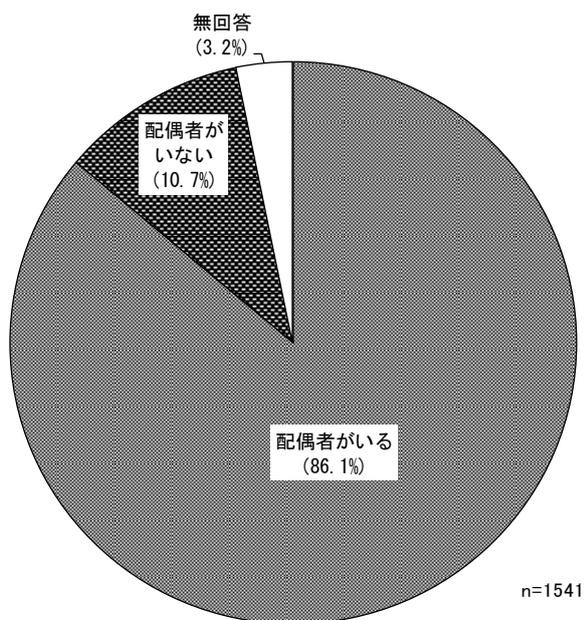
図表 1-4-1-4 この調査票に回答する人



(5) 配偶関係について

調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 86.1%、「配偶者がいない」が 10.7%となっています。

図表 1-4-1-5 配偶関係



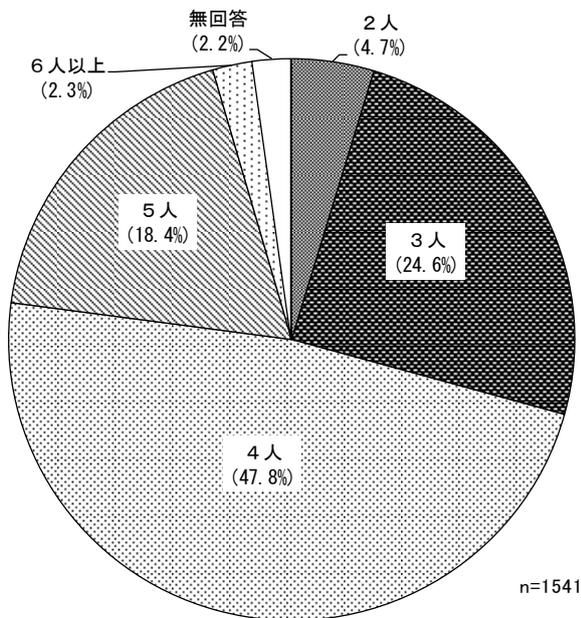
(6) 世帯人数と18歳未満の子どもの人数

1世帯当たりの世帯人数は、「4人」が47.8%と最も高く、次いで「3人」が24.6%となっています。

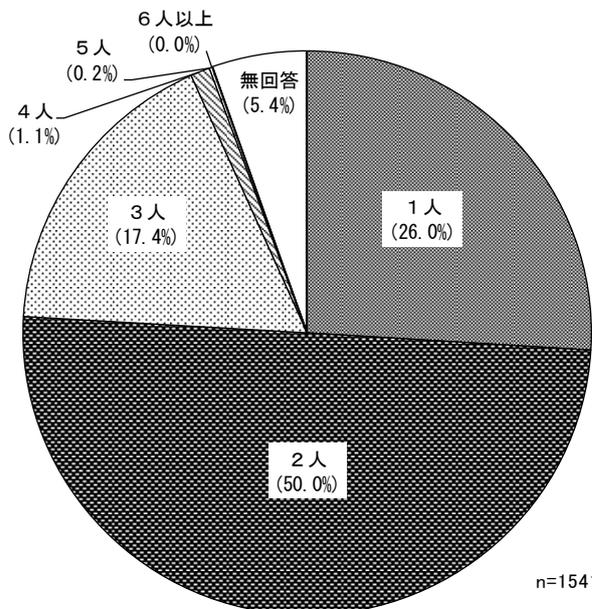
また、18歳未満の子どもの人数は、「2人」が50.0%と最も高く、次いで「1人」が26.0%、「3人」が17.4%となっています。

図表 1-4-1-6 世帯人数と18歳未満の子どもの人数

【世帯人数】



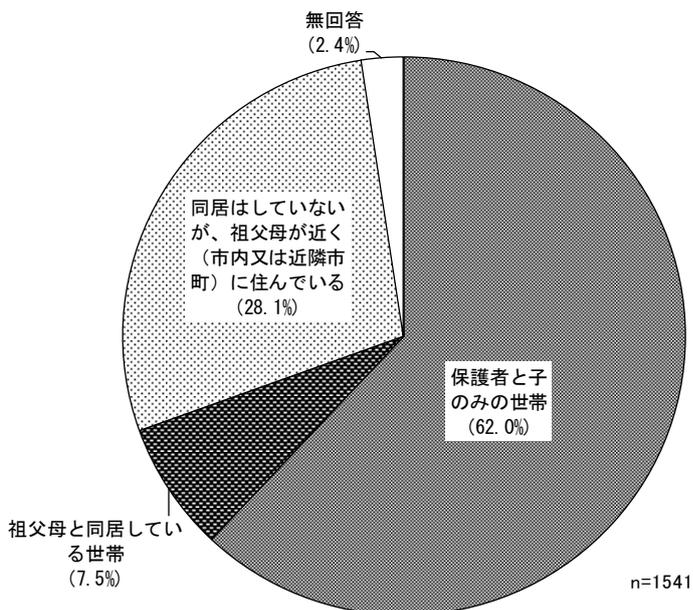
【18歳未満の子どもの人数】



(7) 世帯の状況

世帯の状況は、「保護者と子のみの世帯」が62.0%と最も高く、次いで「同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる」が28.1%、「祖父母と同居している世帯」が7.5%となっています。

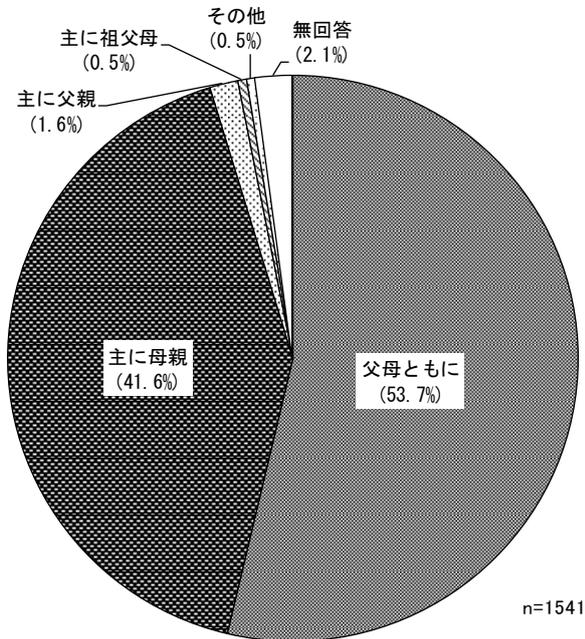
図表 1-4-1-7 世帯の状況



(8) 子育てを主に行っている人

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が53.7%と最も高く、次いで「主に母親」が41.6%となっています。

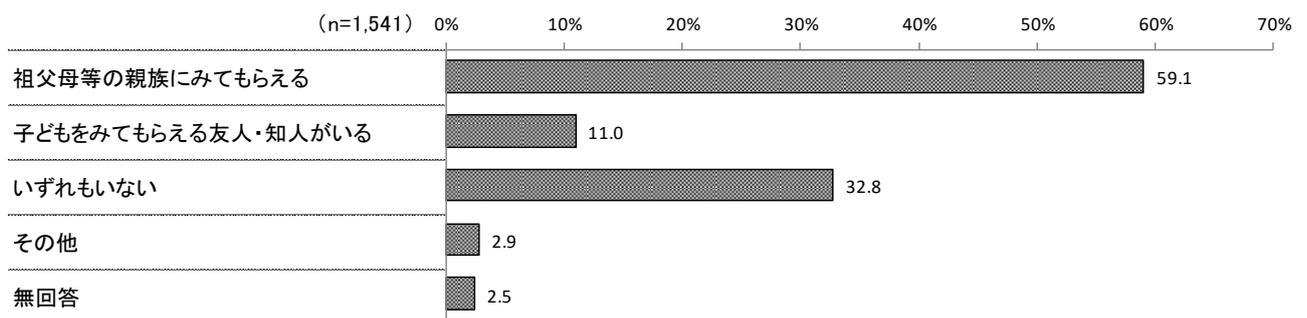
図表1-4-1-8 子育てを主に行っている人



(9) 子どもをみてもらえる親族・知人

子どもをみてもらえる親族・知人について複数回答で聞いたところ、「祖父母等の親族にみてもらえる」が59.1%と最も高く、次いで「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.0%となっています。一方、「いずれもない」と回答したのは32.8%でした。

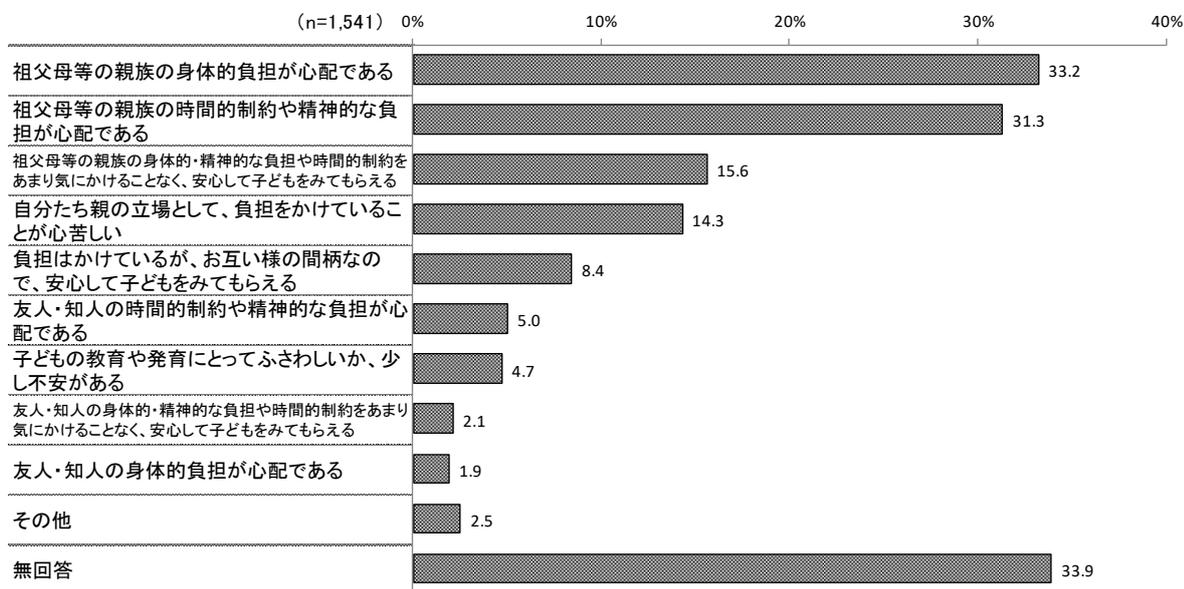
図表1-4-1-9 子どもをみてもらえる親族・知人（複数回答）



(10) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について複数回答で聞いたところ、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が33.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である」が31.3%となっています。

図表 1-4-1-10 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況（複数回答）

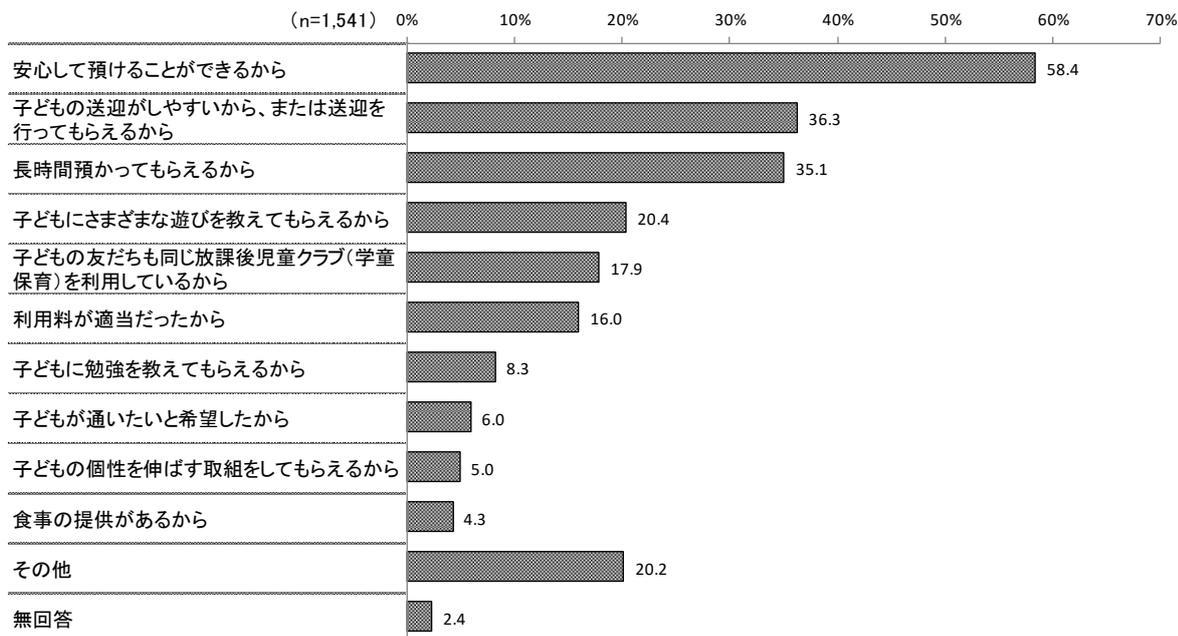


(11) 現在の放課後児童クラブ（学童保育）を利用する理由

現在の放課後児童クラブ（学童保育）を利用する理由について複数回答で聞いたところ、「安心して預けることができるから」が58.4%と最も高く、次いで「子どもの送迎がしやすいから、または送迎を行ってもらえるから」が36.3%、「長時間預かってもらえるから」が35.1%となっています。

その他の具体的な意見として、「1人で長時間留守番させるのが心配な為」「学校に併設されているから」「共働きで家にいないため」などが挙げられました。

図表 1-4-1-11 現在の放課後児童クラブ（学童保育）を利用する理由（複数回答）



2. 保護者の就労状況について

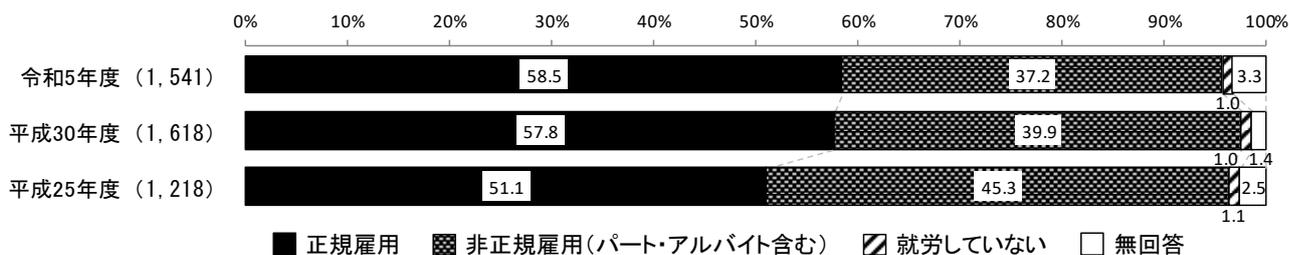
※保護者の就労状況については、母親、父親、及びその他（父母以外の方）について質問していますが、「その他」と回答した方は3人しかいないため、本報告書では割愛しています。

(1) 保護者の就労形態

①母親

母親の就労形態は、「正規雇用」が58.5%と最も高く、次いで「非正規雇用」が37.2%、「就労していない」が1.0%となっています。

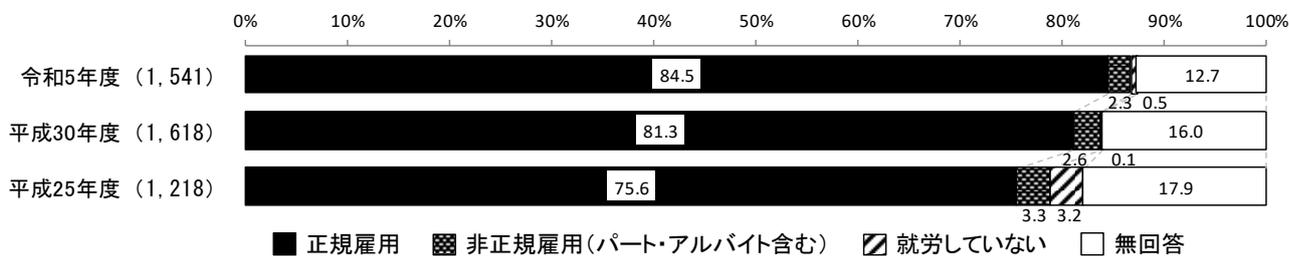
図表 1-4-2-1-1 母親の就労形態



②父親

父親の就労形態は、「正規雇用」が84.5%と最も高く、次いで「非正規雇用」が2.3%、「就労していない」が0.5%、となっています。

図表 1-4-2-1-2 父親の就労形態

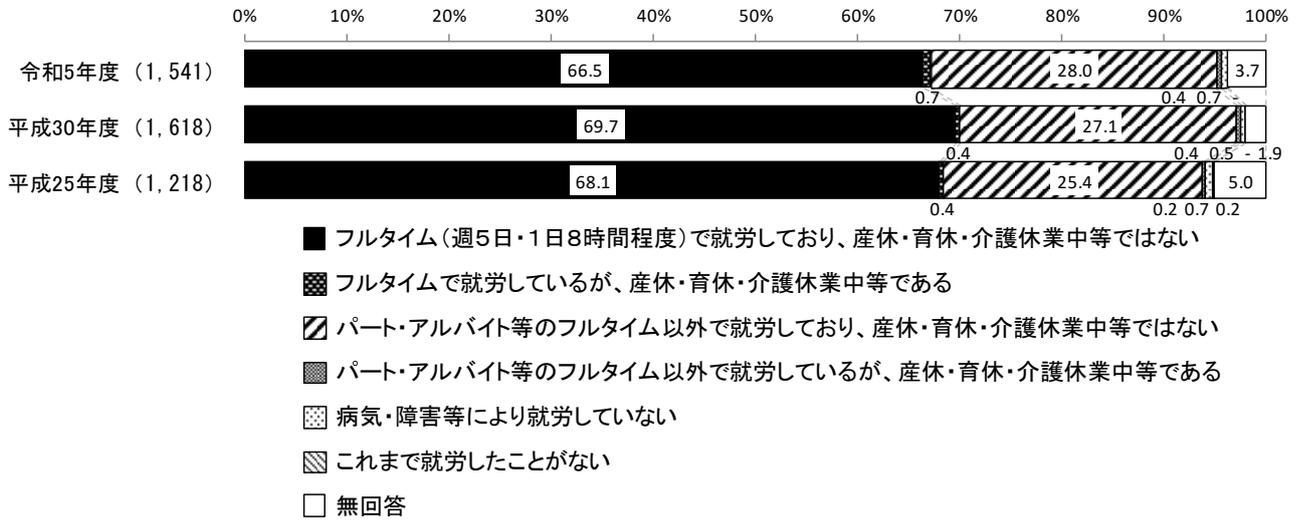


(2) 保護者の就労状況

①母親

母親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中等ではない」が66.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等のフルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中等ではない」が28.0%となっています。

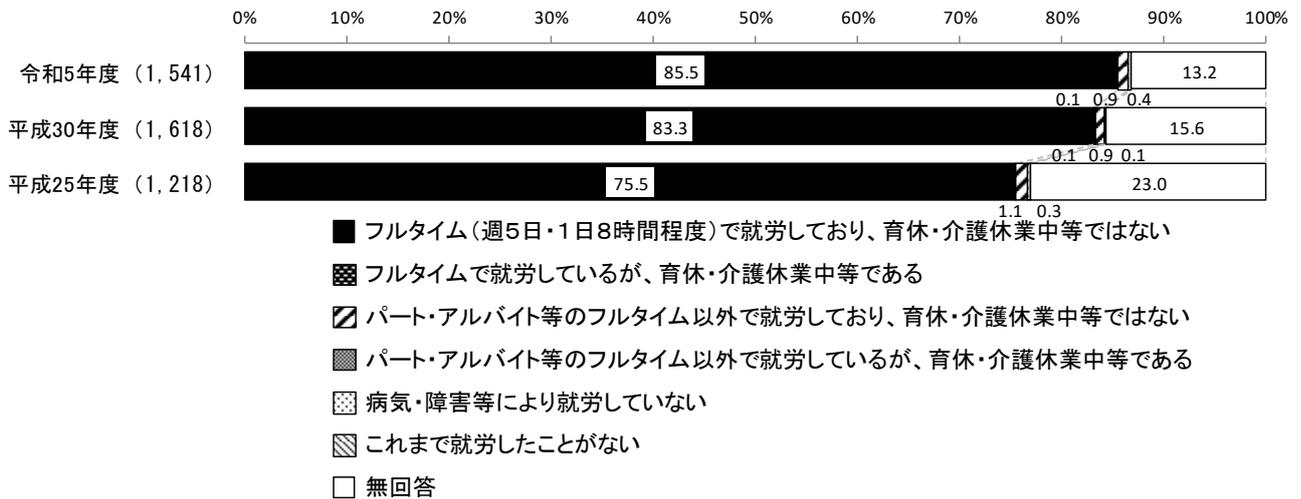
図表 1-4-2-2-1 母親の就労形態



②父親

父親の就労形態は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中等ではない」が85.5%と最も高くなっています。

図表 1-4-2-2-2 父親の就労形態

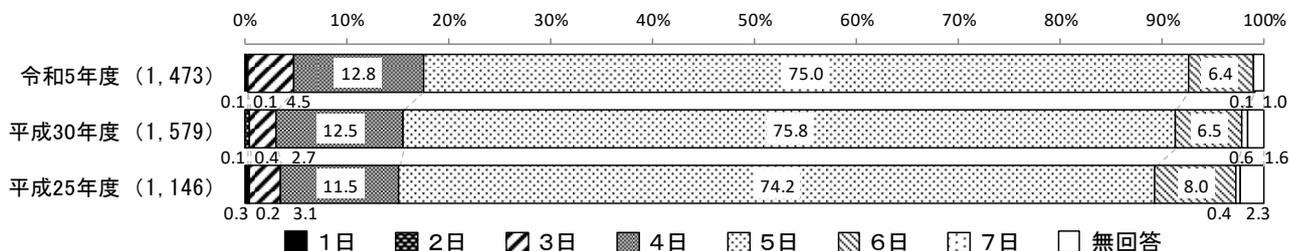


(3) 1週間当たりの就労日数、土日就労日数、1日当たりの就労時間

①母親

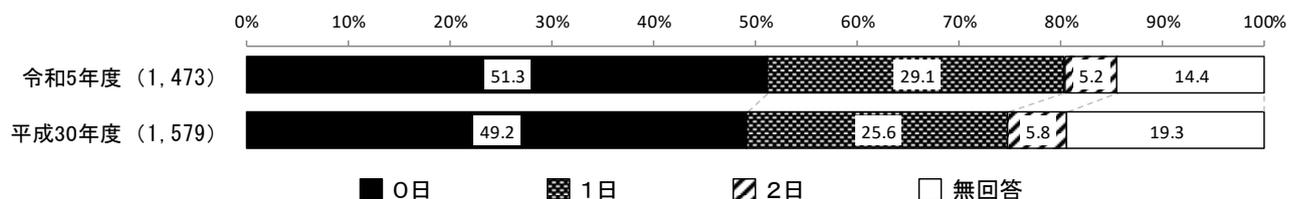
現在就労している母親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が75.0%と最も高く、次いで「4日」が12.8%、「6日」が6.4%となっています。

図表 1-4-2-3-1 母親の1週間当たりの就労日数



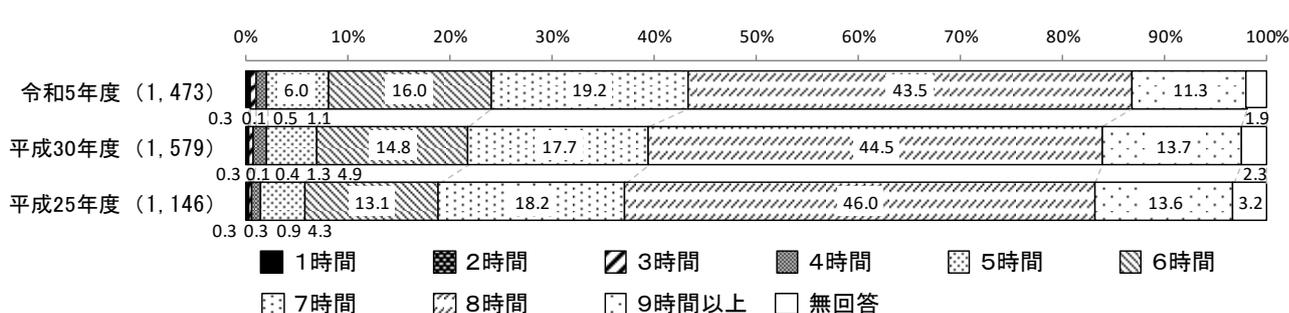
現在就労している母親の1週間当たりの土日就労日数は、「0日」が51.3%と最も高く、「1日」が29.1%、「2日」が5.2%となっています。

図表 1-4-2-3-2 母親の1週間当たりの土日就労日数



現在就労している母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「8時間」が43.5%と最も高く、次いで「7時間」が19.2%、「6時間」が16.0%となっています。

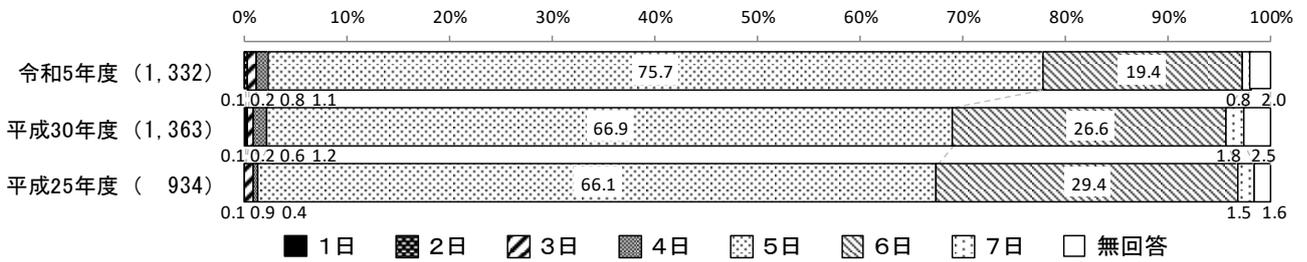
図表 1-4-2-3-3 母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）



②父親

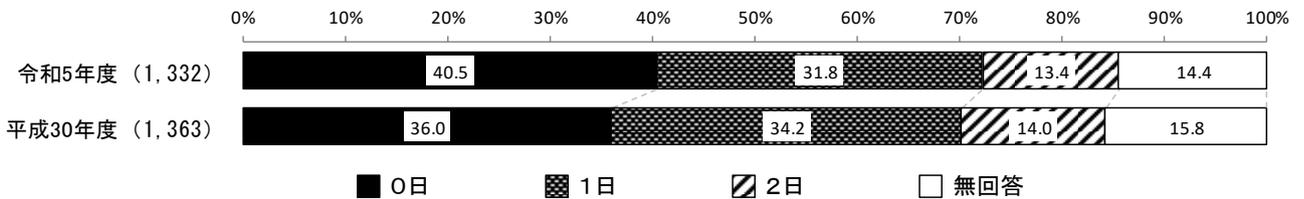
現在就労している父親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が75.7%と最も高く、次いで「6日」が19.4%となっています。

図表 1-4-2-3-4 父親の1週間当たりの就労日数



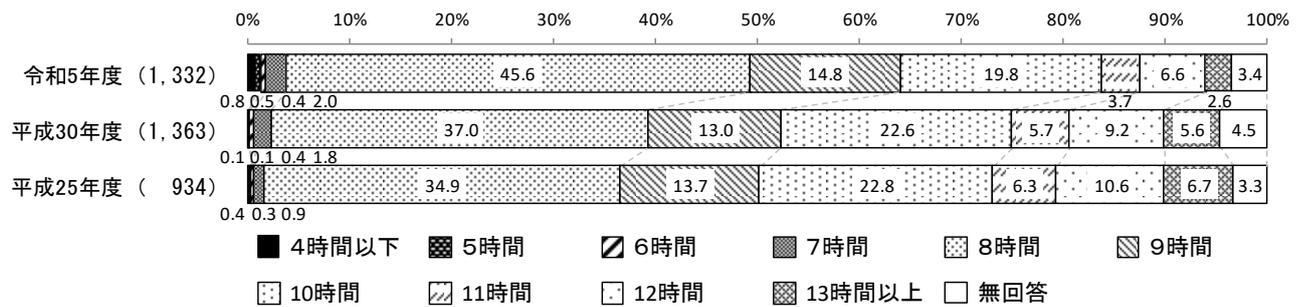
現在就労している父親の1週間当たりの土日就労日数は、「0日」が40.5%と最も高く、次いで「1日」が31.8%、「2日」が13.4%となっています。

図表 1-4-2-3-5 父親の1週間当たりの土日就労日数



現在就労している父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「8時間」が45.6%と最も高く、次いで「10時間」が19.8%、「9時間」が14.8%となっています。

図表 1-4-2-3-6 父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

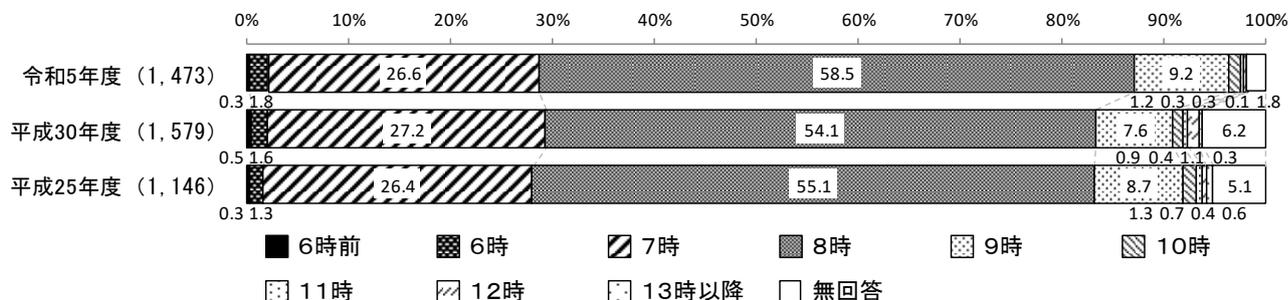


(4) 就労している保護者の家を出る時刻と帰宅時刻

①母親

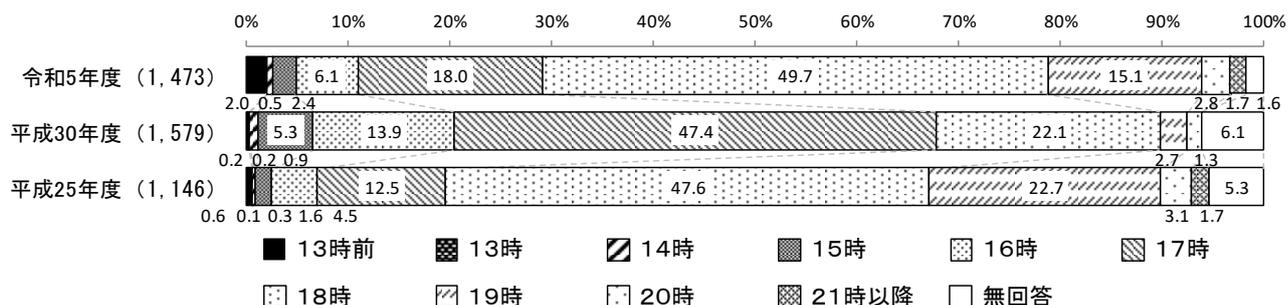
現在就労している母親の家を出る時刻は、「8時」が58.5%と最も高く、次いで「7時」が26.6%、「9時」が9.2%となっています。

図表 1-4-2-4-1 母親の家を出る時刻



現在就労している母親の帰宅時刻は、「18時」が49.7%と最も高く、次いで「17時」が18.0%、「19時」が15.1%となっています。

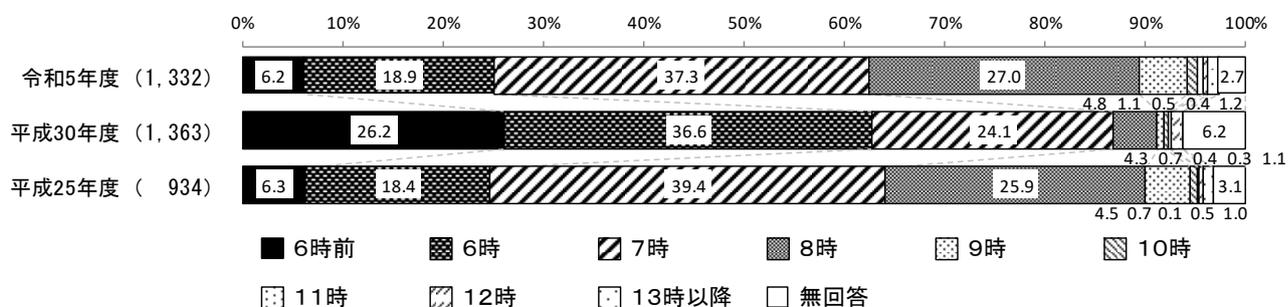
図表 1-4-2-4-2 母親の帰宅時刻



②父親

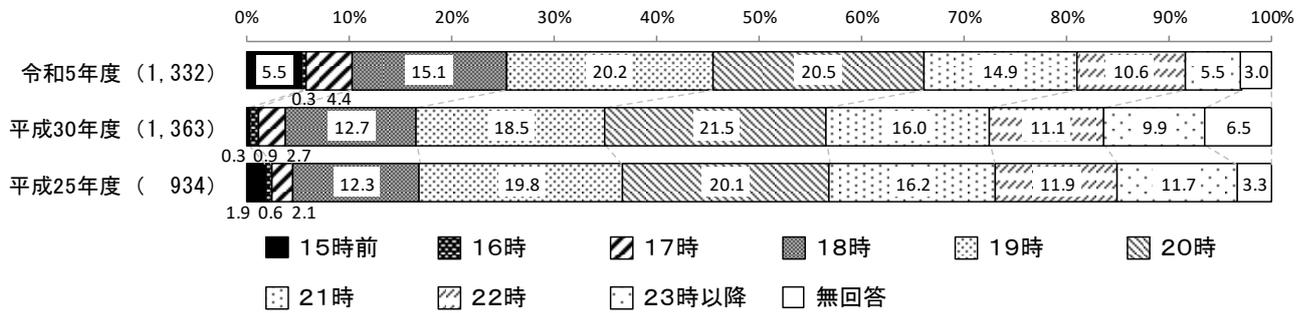
現在就労している父親の家を出る時刻は、「7時」が37.3%と最も高く、次いで「8時」が27.0%、「6時」が18.9%となっています。

図表 1-4-2-4-3 父親の家を出る時刻



現在就労している父親の帰宅時刻は、「20時」が20.5%と最も高く、次いで「19時」が20.2%、「18時」が15.1%、「21時」が14.9%となっています。

図表 1-4-2-4-4 父親の帰宅時刻

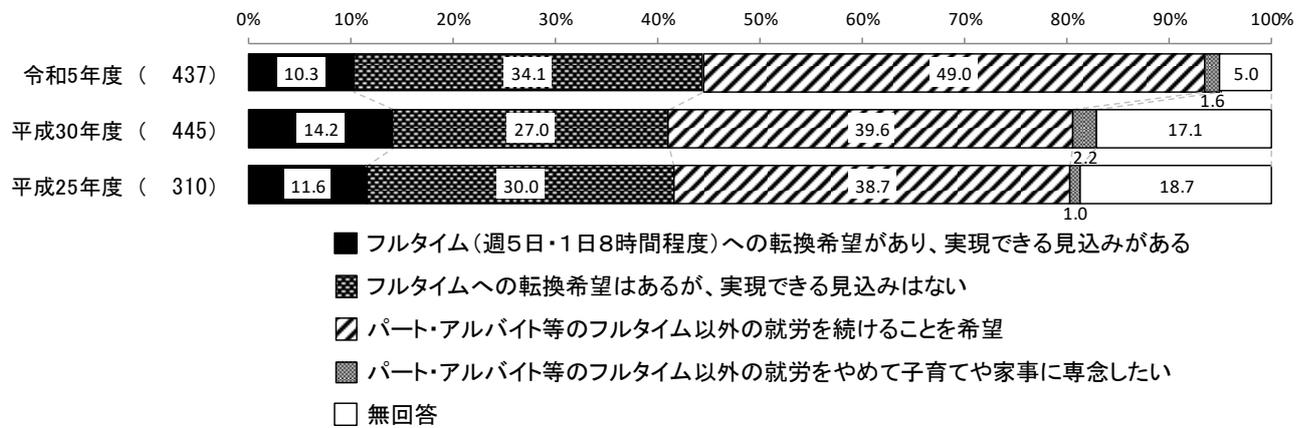


(5) フルタイムへの転換希望

①母親

フルタイム以外で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」が49.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が34.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.3%となっています。

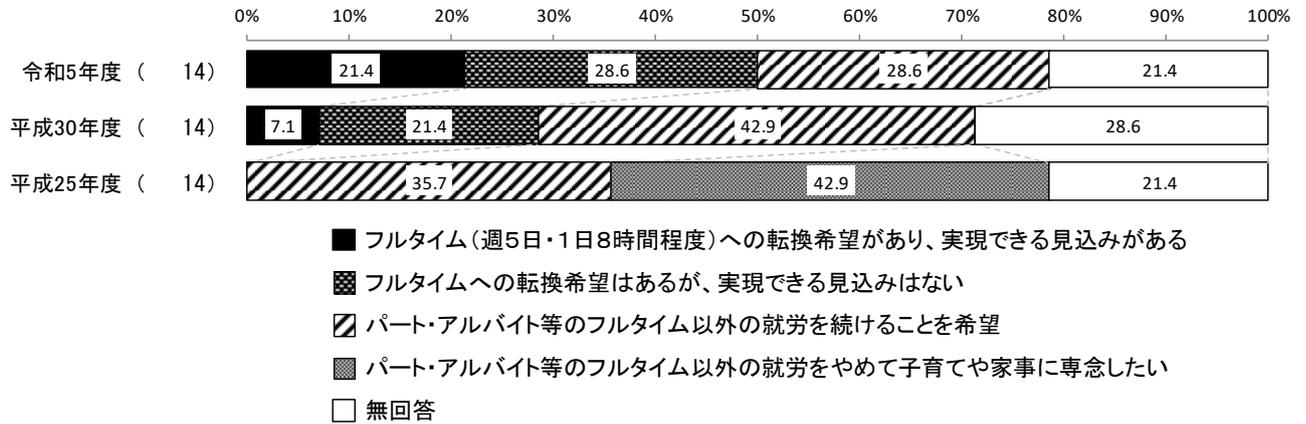
図表 1-4-2-5-1 母親のフルタイムへの転換希望



②父親

フルタイム以外で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」がともに 28.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が21.4%となっています。

図表 1-4-2-5-2 父親のフルタイムへの転換希望



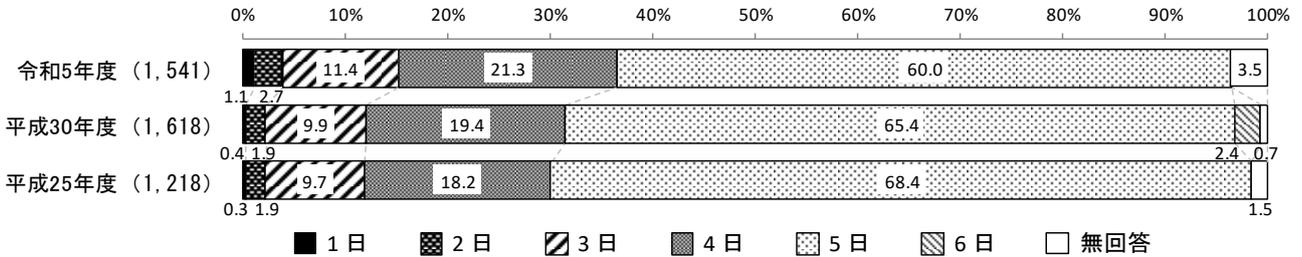
3. 平日の定期的な放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況について

(1) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況と利用希望

①現在の状況

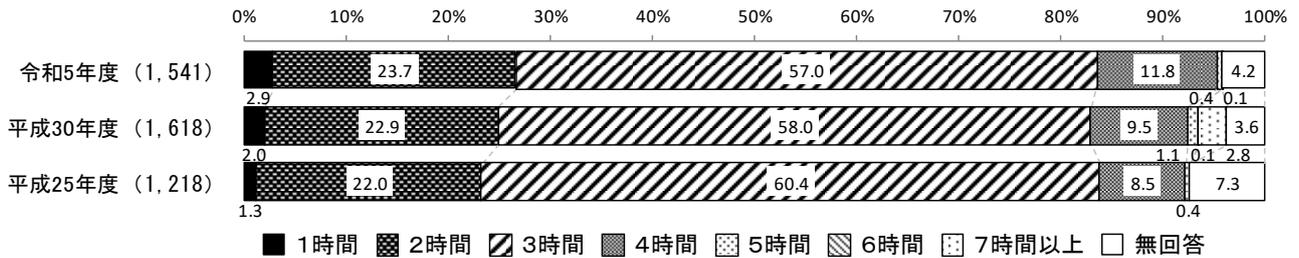
放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの利用日数は、「5日」が60.0%と最も高く、次いで「4日」が21.3%、「3日」が11.4%となっています。

図表 1-4-3-1-1 放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの利用日数



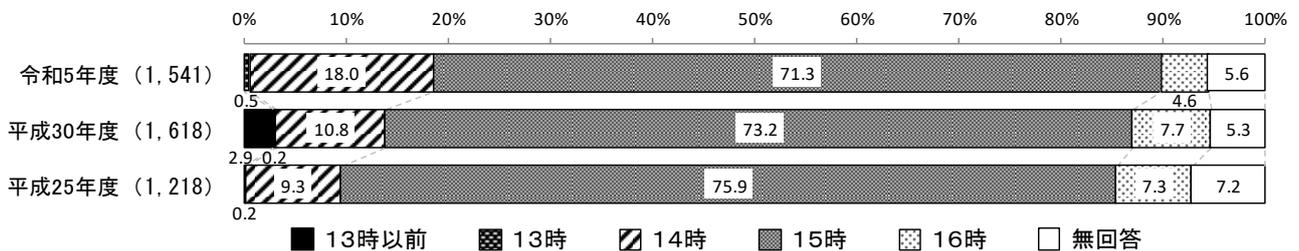
放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間は、「3時間」が57.0%と最も高く、次いで「2時間」が23.7%、「4時間」が11.8%となっています。

図表 1-4-3-1-2 放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間



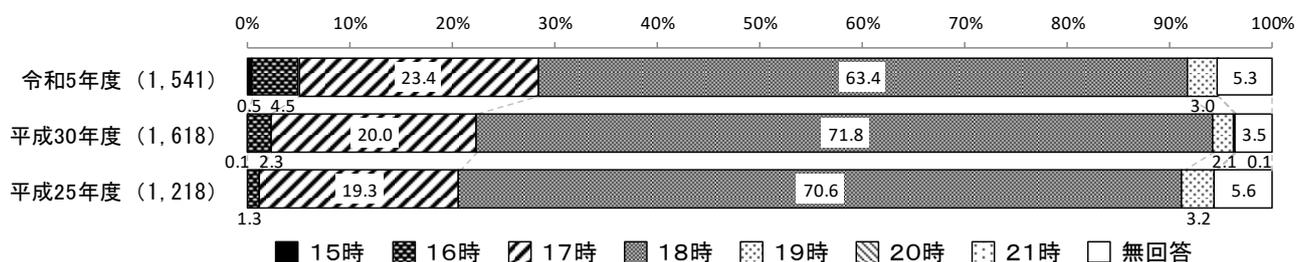
放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「15時」が71.3%と最も高く、次いで「14時」が18.0%となっています。

図表 1-4-3-1-3 放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻



放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が63.4%と最も高く、次いで「17時」が23.4%となっています。

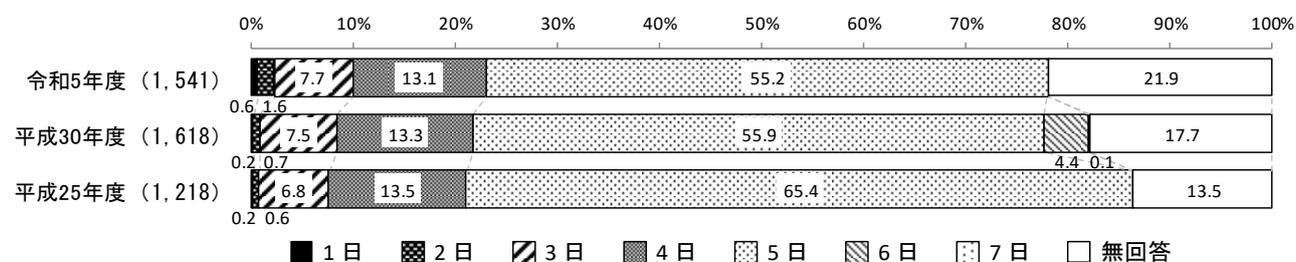
図表 1-4-3-1-4 放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻



②利用希望

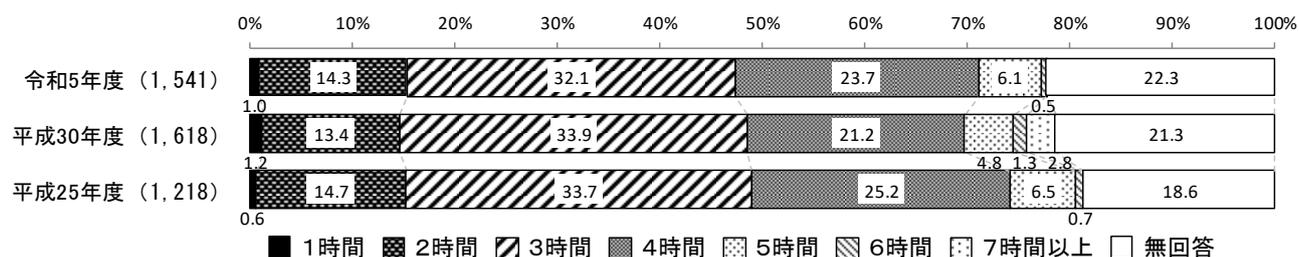
放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの利用日数の希望は、「5日」が55.2%と最も高く、次いで「4日」が13.1%、「3日」が7.7%となっています。

図表 1-4-3-1-5 放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの利用日数の希望



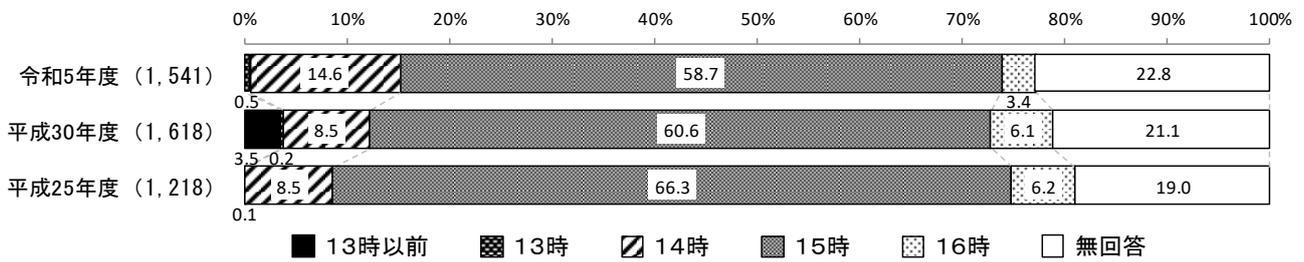
放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間の希望は、「3時間」が32.1%と最も高く、次いで「4時間」が23.7%、「2時間」が14.3%となっています。

図表 1-4-3-1-6 放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間の希望



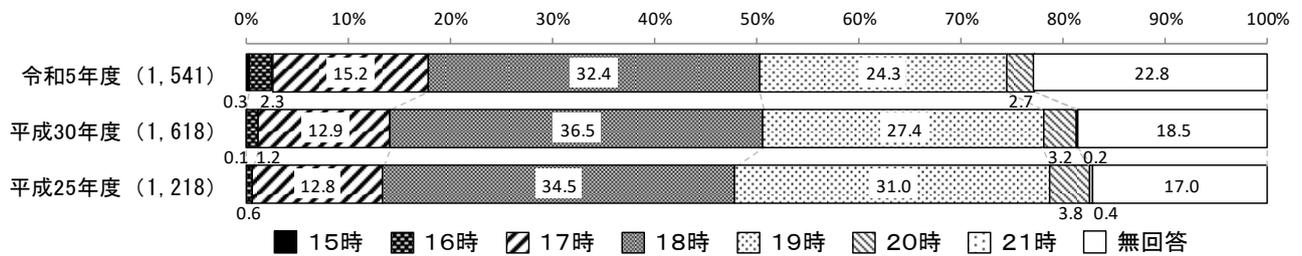
放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻の希望は、「15時」が58.7%と最も高く、次いで「14時」が14.6%となっています。

図表 1-4-3-1-7 放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻の希望



放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻の希望は、「18時」が32.4%と最も高く、次いで「19時」が24.3%、「17時」が15.2%となっています。

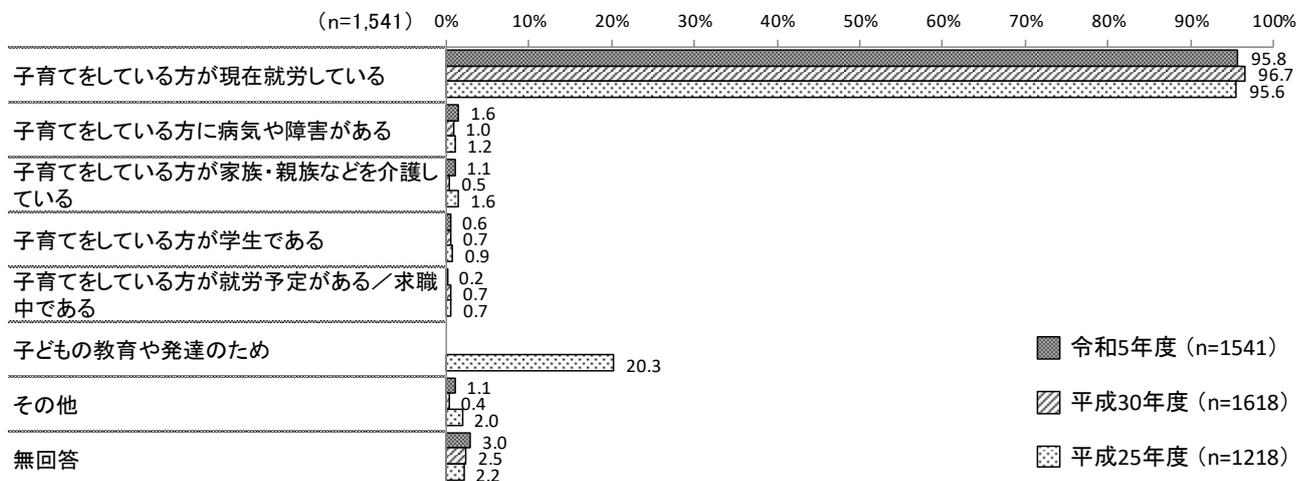
図表 1-4-3-1-8 放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻の希望



(2) 平日に定期的に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由

平日に定期的に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由を複数回答で聞いたところ、「子育てをしている方が現在就労している」が95.8%と最も高くなっています。

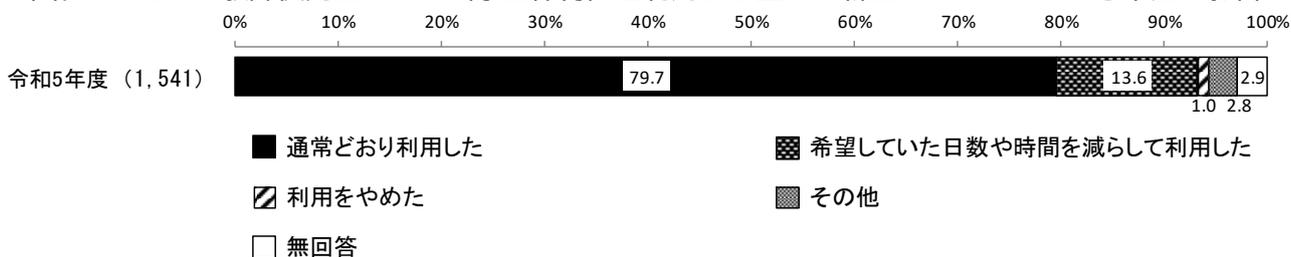
図表 1-4-3-2 平日に定期的に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由（複数回答）



(3) 放課後児童クラブ（学童保育）を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響

放課後児童クラブ（学童保育）を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響は、「通常どおり利用した」が79.7%と最も高く、次いで「希望していた日数や時間を減らして利用した」が13.6%となっています。

図表 1-4-3-3 放課後児童クラブ（学童保育）を利用する上での新型コロナウイルス感染症の影響

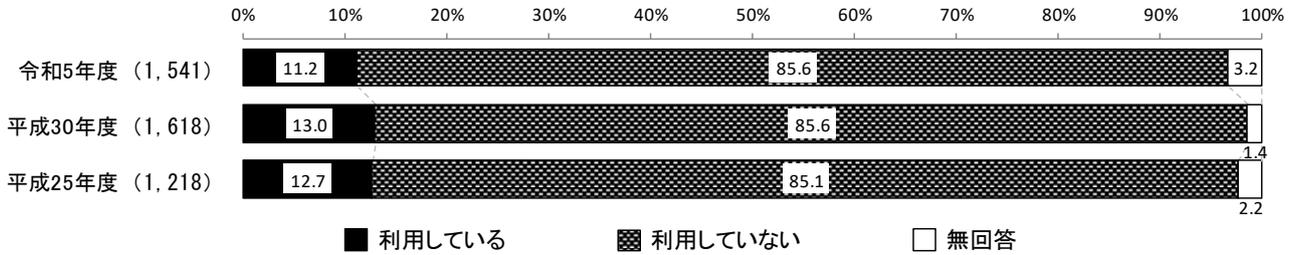


4. 土曜・日曜・祝日や学校休業期間中の「定期的」な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望について

(1) 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況は、「利用していない」（85.6%）が「利用している」（11.2%）を74.4ポイント上回っています。

図表 1-4-4-1-1 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況

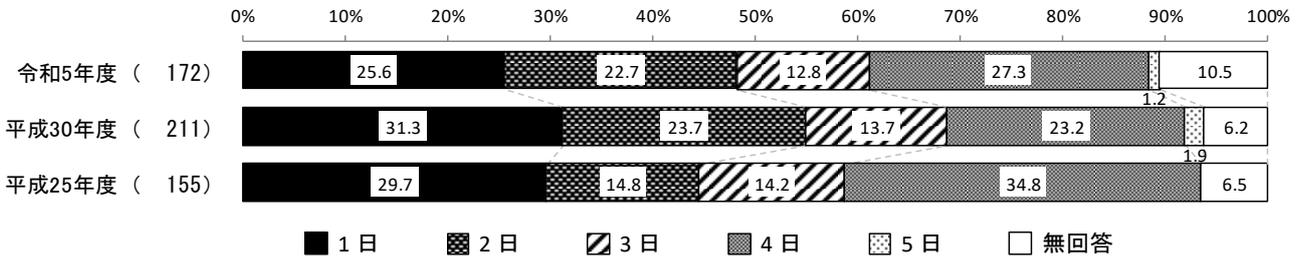


(2) 土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方の現在の利用状況と利用希望

①現在

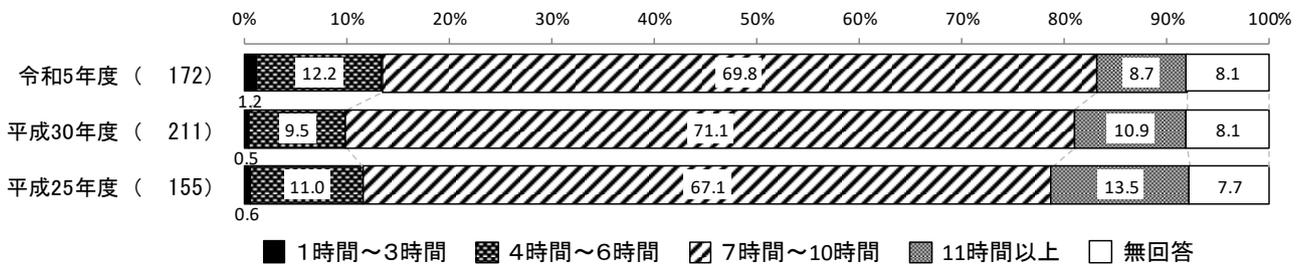
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の1か月当たりの利用日数は、「4日」が27.3%と最も高く、次いで「1日」が25.6%、「2日」が22.7%となっています。

図表 1-4-4-2-1 土曜日の1か月当たりの利用日数



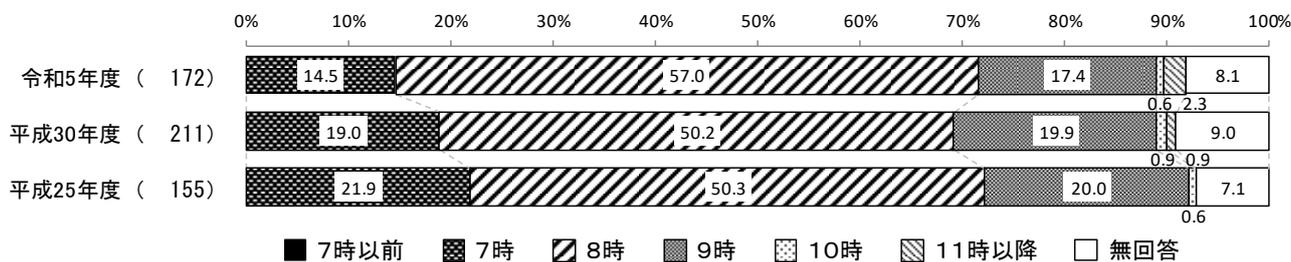
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が69.8%と最も高く、次いで「4時間～6時間」が12.2%、「11時間以上」が8.7%となっています。

図表 1-4-4-2-2 土曜日の1日当たりの利用時間



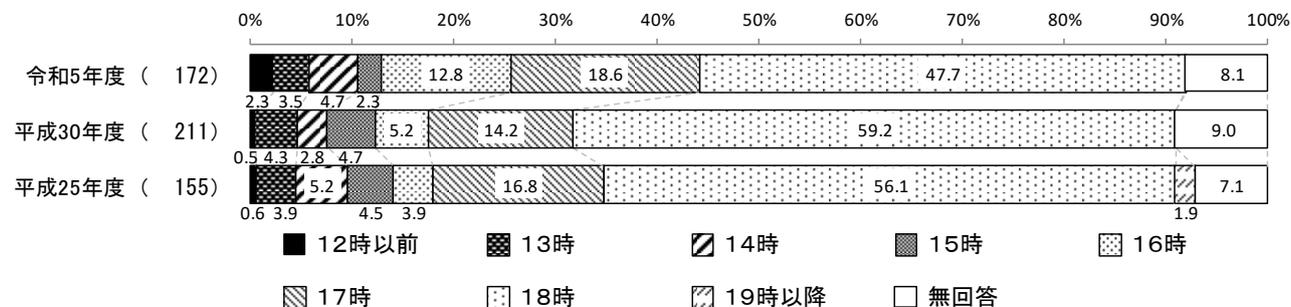
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「8時」が57.0%と最も高く、次いで「9時」が17.4%、「7時」が14.5%となっています。

図表 1-4-4-2-3 土曜日の登室時刻



土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が47.7%と最も高く、次いで「17時」が18.6%、「16時」が12.8%となっています。

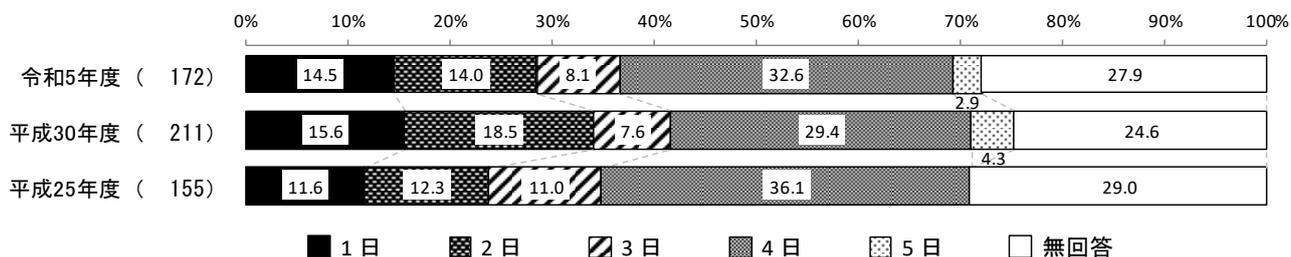
図表 1-4-4-2-4 土曜日の降室時刻



②希望

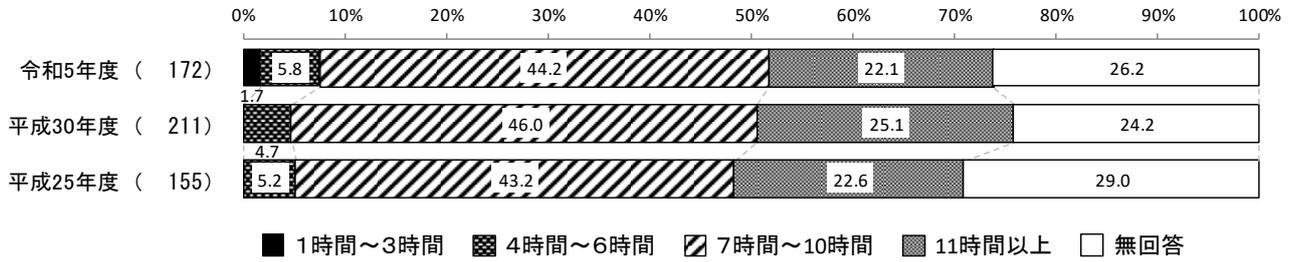
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の1か月当たりの希望利用日数は、「4日」が32.6%と最も高く、次いで「1日」が14.5%、「2日」が14.0%となっています。

図表 1-4-4-2-5 土曜日の1か月当たりの希望利用日数



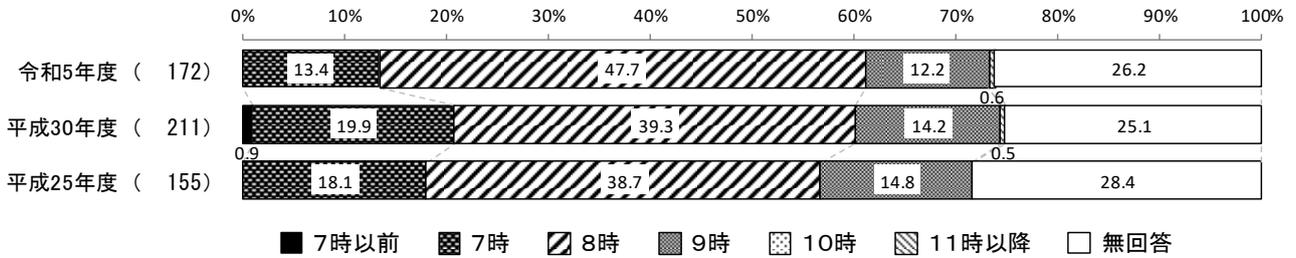
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの希望利用時間は、「7時間～10時間」が44.2%と最も高く、次いで「11時間以上」が22.1%、「4時間～6時間」が5.8%となっています。

図表 1-4-4-2-6 土曜日の1日当たりの希望利用時間



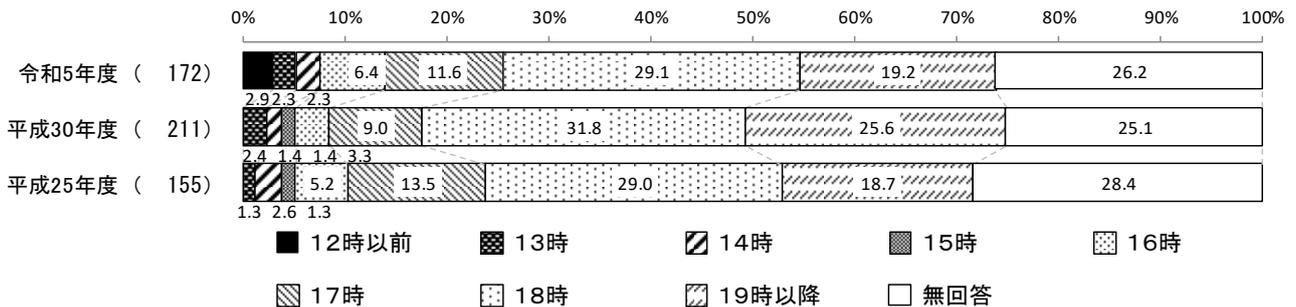
土曜日に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「8時」が47.7%と最も高く、次いで「7時」が13.4%、「9時」が12.2%となっています。

図表 1-4-4-2-7 土曜日に希望する登室時刻



土曜日に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が29.1%と最も高く、次いで「19時以降」が19.2%、「17時」が11.6%となっています。

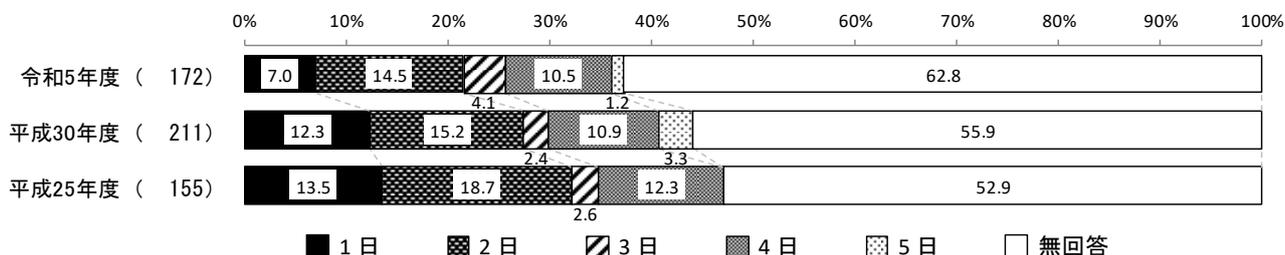
図表 1-4-4-2-8 土曜日に希望する降室時刻



(3) 土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方の日曜日・休日の利用希望

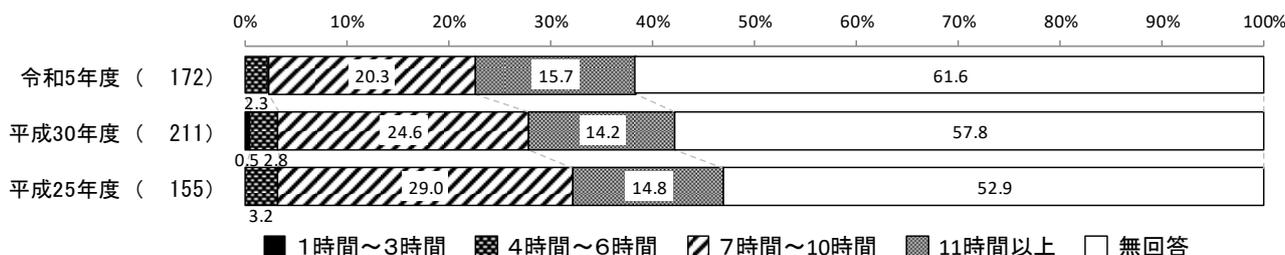
日曜日・休日の放課後児童クラブ（学童保育）の1か月当たりの希望利用日数は、「2日」が14.5%と最も高く、次いで「4日」が10.5%、「1日」が7.0%となっています。

図表 1-4-4-3-1 日曜日・休日の1か月当たりの希望利用日数



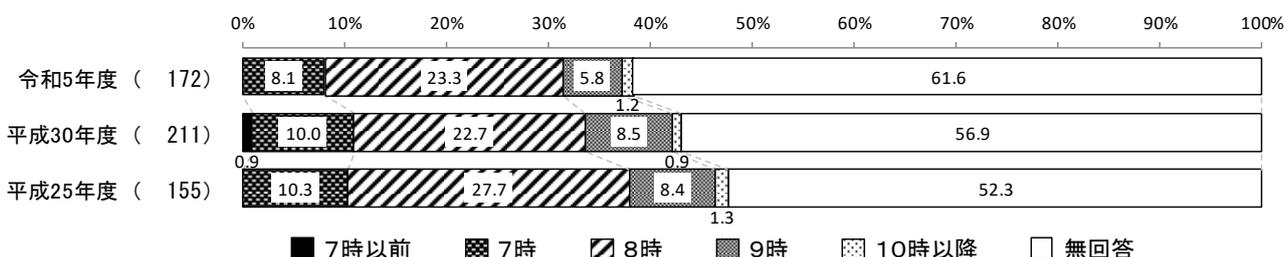
日曜日・休日の放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの希望利用時間は、「7時間～10時間」が20.3%と最も高く、次いで「11時間以上」が15.7%、「4時間～6時間」が2.3%となっています。

図表 1-4-4-3-2 日曜日・休日の1日当たりの希望利用時間



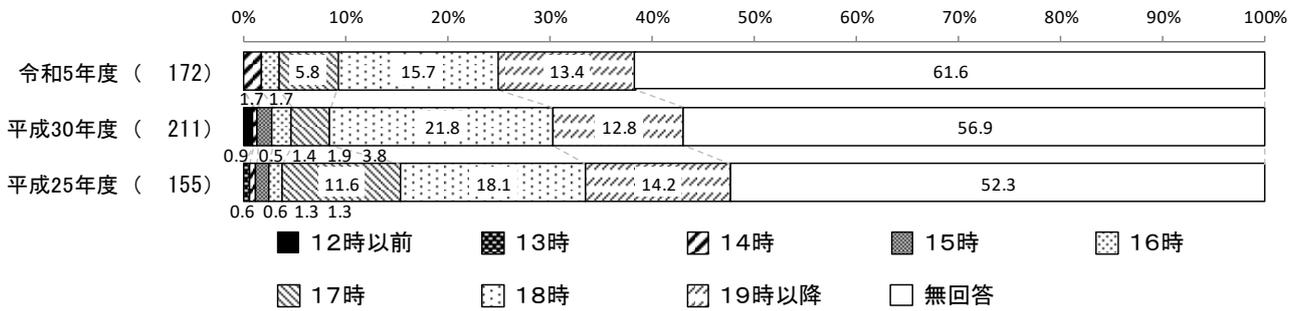
日曜日・休日に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「8時」が23.3%と最も高く、次いで「7時」が8.1%、「9時」が5.8%となっています。

図表 1-4-4-3-3 日曜日・休日に希望する登室時刻



日曜日・休日に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が15.7%と最も高く、次いで「19時以降」が13.4%、「17時」が5.8%となっています。

図表 1-4-4-3-4 日曜日・休日に希望する降室時刻

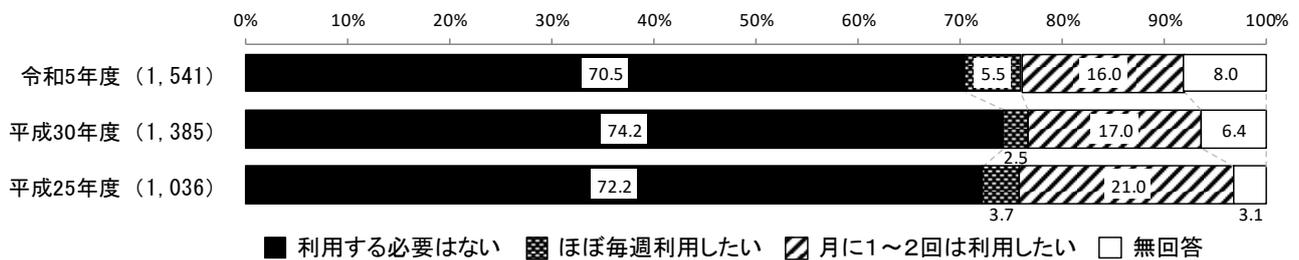


(4) 土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない方の土曜日・日曜日・休日の利用希望

①土曜日

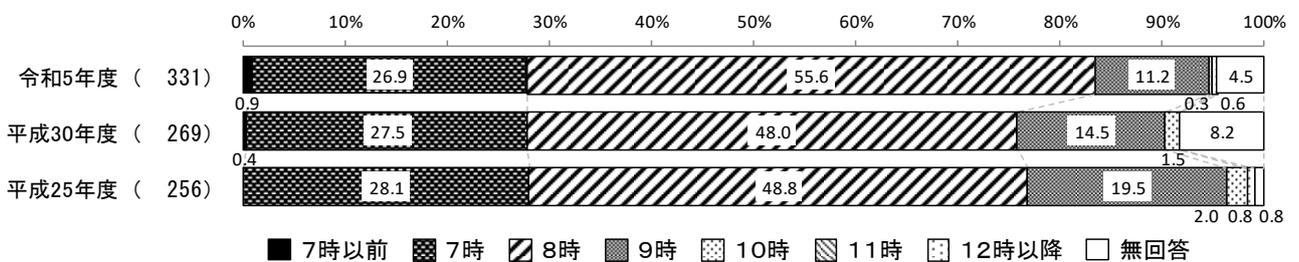
土曜日の「定期的」な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」(70.5%)が「ほぼ毎週利用したい」(5.5%)と「月に1～2回は利用したい」(16.0%)を合わせた『利用したい』(21.5%)を49.0ポイント上回っています。

図表 1-4-4-4-1 土曜日の「定期的」な利用希望



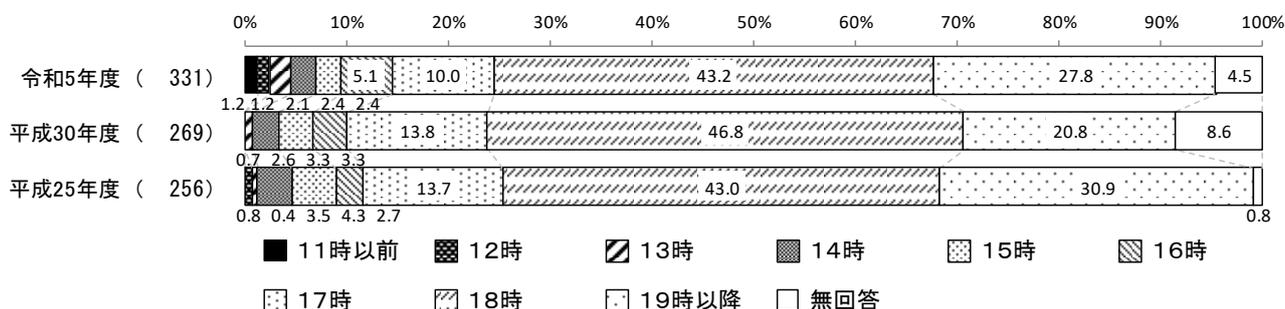
土曜日に希望する登室時刻は、「8時」が55.6%と最も高く、次いで「7時」が26.9%、「9時」が11.2%となっています。

図表 1-4-4-4-2 土曜日に希望する登室時刻



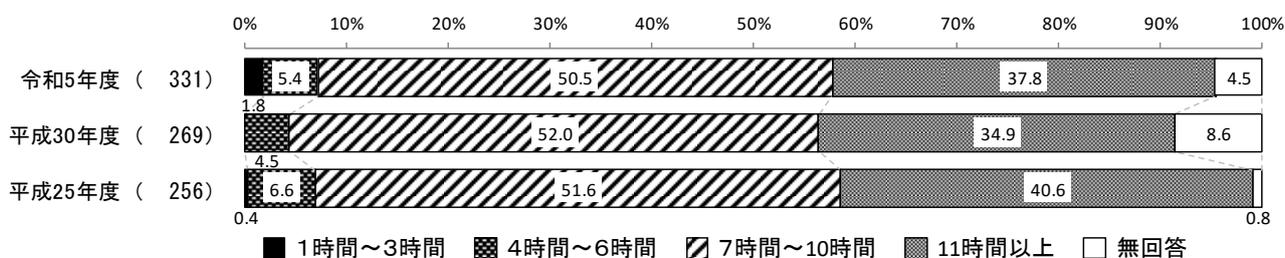
土曜日に希望する降室時刻は、「18時」が43.2%と最も高く、次いで「19時以降」が27.8%、「17時」が10.0%となっています。

図表 1-4-4-3 土曜日に希望する降室時刻



土曜日に希望する1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が50.5%と最も高く、次いで「11時間以上」が37.8%となっています。

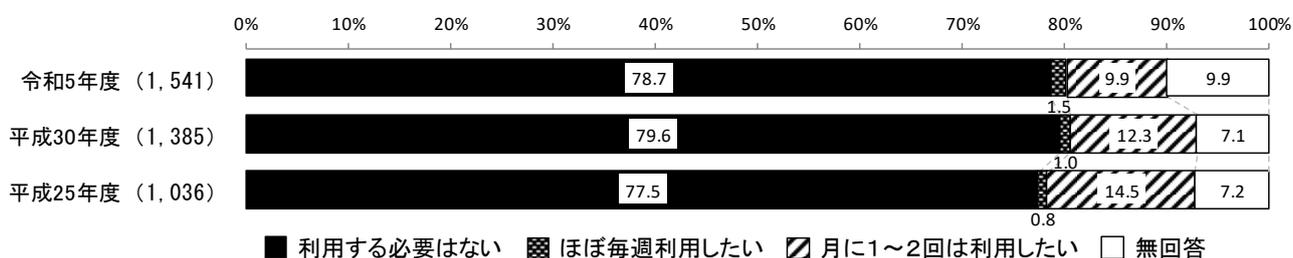
図表 1-4-4-4 土曜日に希望する1日当たりの利用時間



②日曜日・祝日

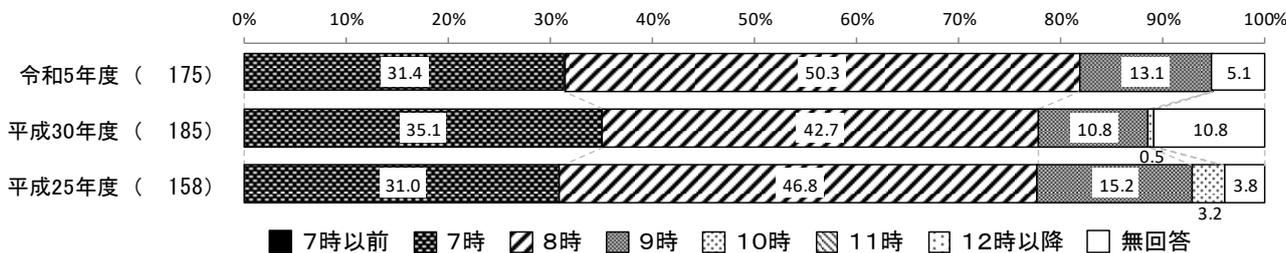
日曜日・祝日の「定期的」な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」（78.7%）が「ほぼ毎週利用したい」（1.5%）と「月に1～2回は利用したい」（9.9%）を合わせた『利用したい』（11.4%）を67.3ポイント上回っています。

図表 1-4-4-5 日曜日・祝日の「定期的」な利用希望



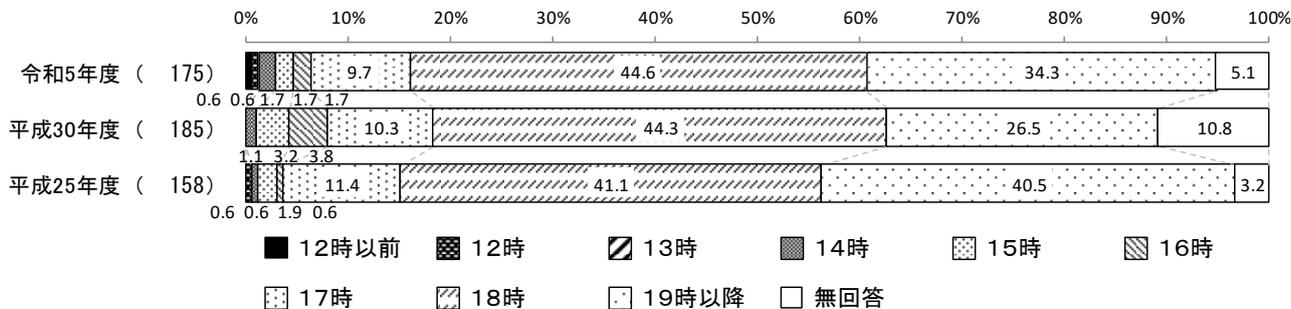
日曜日・祝日に希望する登室時刻は、「8時」が50.3%と最も高く、次いで「7時」が31.4%、「9時」が13.1%となっています。

図表 1-4-4-4-6 日曜日・祝日に希望する登室時刻



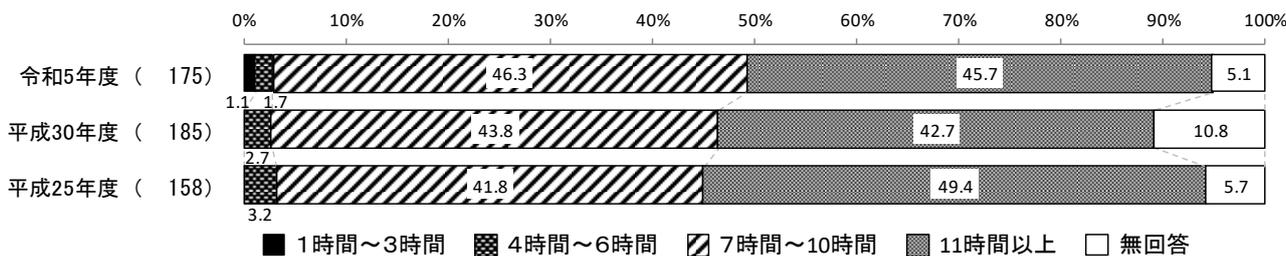
日曜日・祝日に希望する降室時刻は、「18時」が44.6%と最も高く、次いで「19時以降」が34.3%、「17時」が9.7%となっています。

図表 1-4-4-4-7 日曜日・祝日に希望する降室時刻



日曜日・祝日に希望する1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が46.3%と最も高く、次いで「11時間以上」が45.7%となっています。

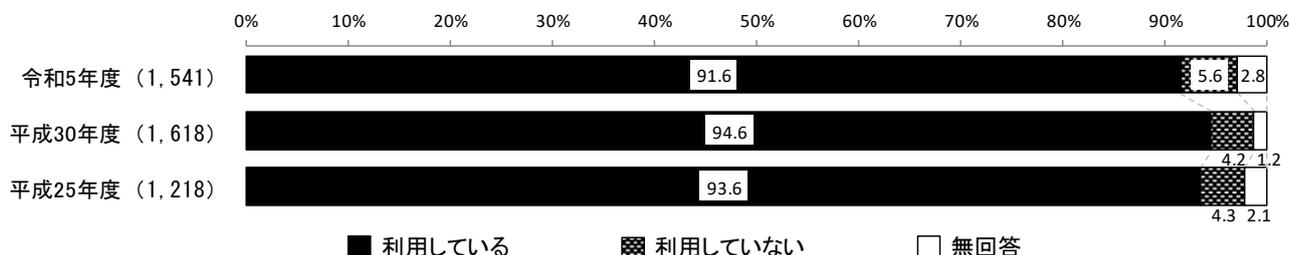
図表 1-4-4-4-8 日曜日・祝日に希望する1日当たりの利用時間



(5) 学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況

学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況は、「利用している」（91.6%）が「利用していない」（5.6%）を86.0ポイント上回っています。

図表 1-4-4-5-1 学校休業期間中の利用状況

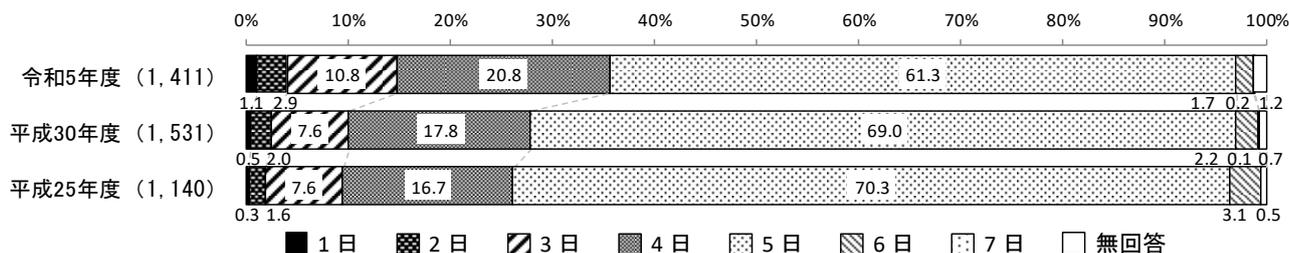


(6) 学校休業期間中に放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方の現在の利用状況と利用希望

①現在の利用状況

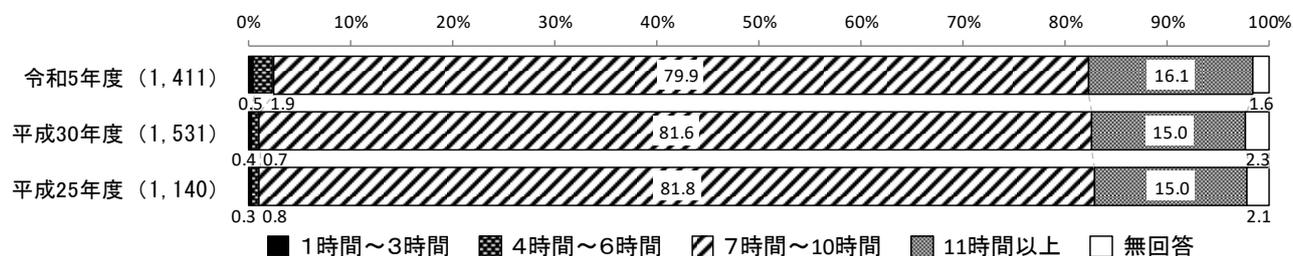
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの利用日数は、「5日」が61.3%と最も高く、次いで「4日」が20.8%、「3日」が10.8%となっています。

図表 1-4-4-6-1 学校休業期間中の1週間当たりの利用日数



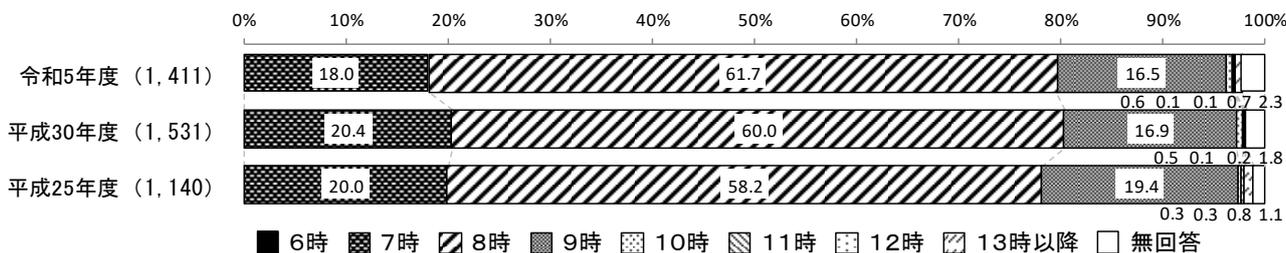
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの利用時間は、「7時間～10時間」が79.9%と最も高く、次いで「11時間以上」が16.1%となっています。

図表 1-4-4-6-2 学校休業期間中の1日当たりの利用時間



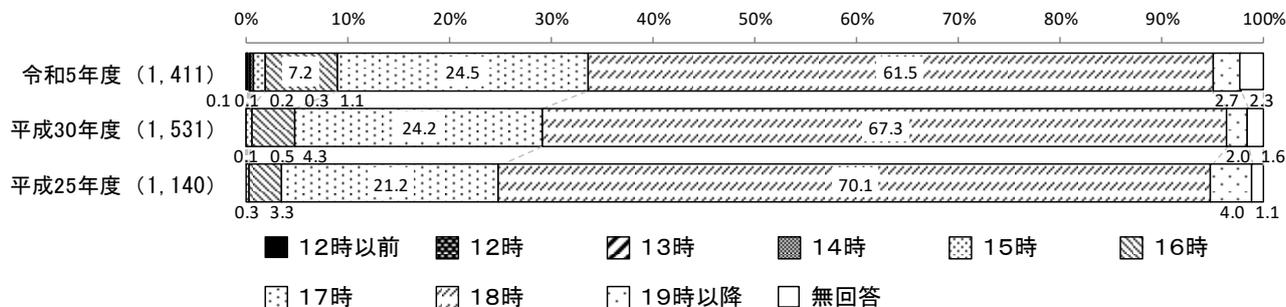
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「8時」が61.7%と最も高く、次いで「7時」が18.0%、「9時」が16.5%となっています。

図表 1-4-4-6-3 学校休業期間中の登室時刻



学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が61.5%と最も高く、次いで「17時」が24.5%、「16時」が7.2%となっています。

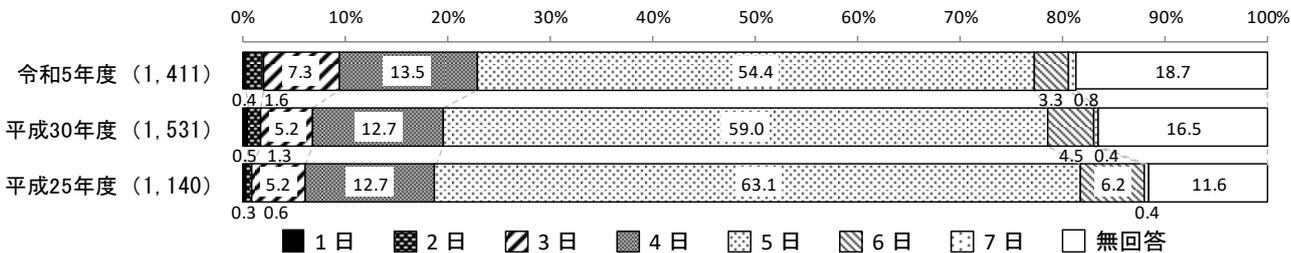
図表 1-4-4-6-4 学校休業期間中の降室時刻



②利用希望

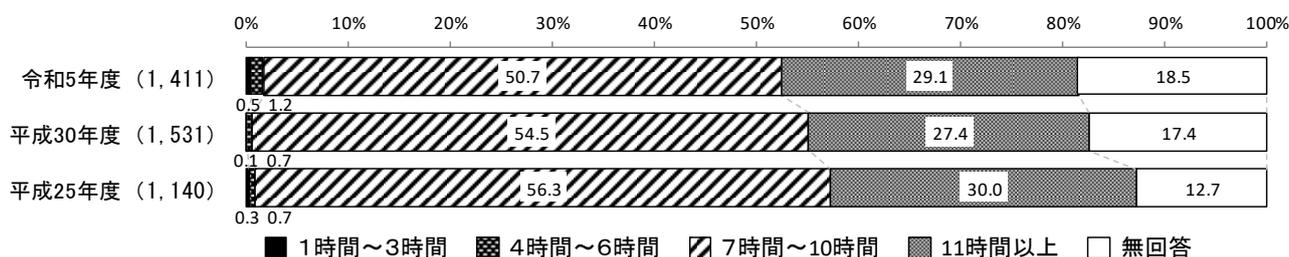
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の1週間当たりの希望利用日数は、「5日」が54.4%と最も高く、次いで「4日」が13.5%、「3日」が7.3%となっています。

図表 1-4-4-6-5 学校休業期間中の1週間当たりの希望利用日数



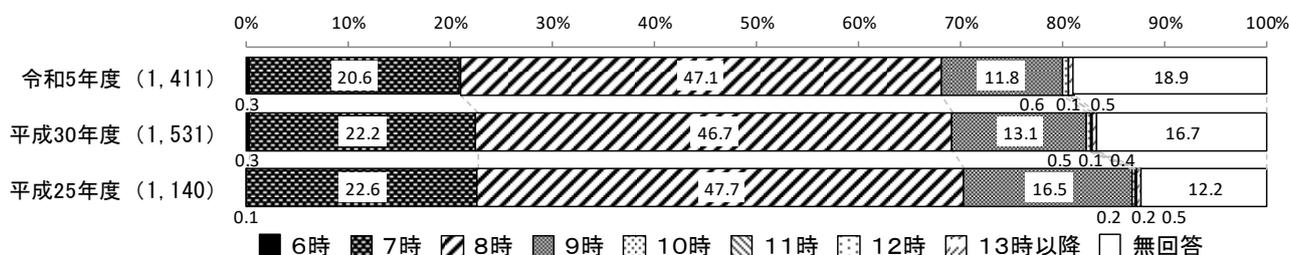
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の1日当たりの希望利用時間は、「7時間～10時間」が50.7%と最も高く、次いで「11時間以上」が29.1%となっています。

図表 1-4-4-6-6 学校休業期間中に希望する1日当たりの利用時間



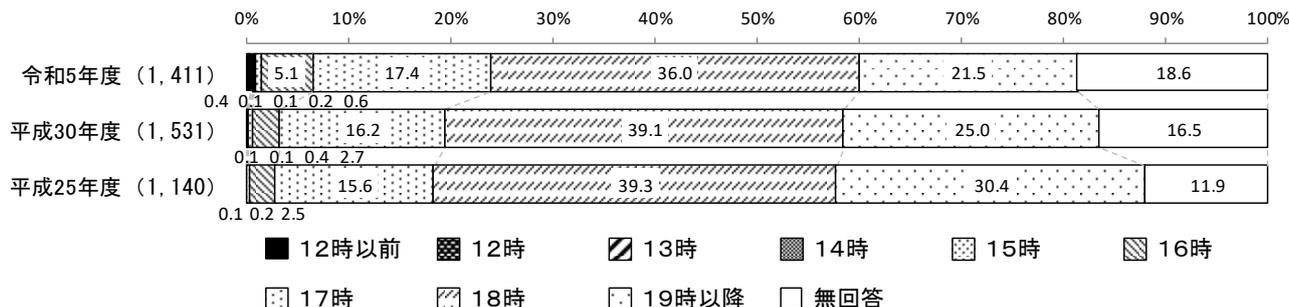
学校休業期間中に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の登室時刻は、「8時」が47.1%と最も高く、次いで「7時」が20.6%、「9時」が11.8%となっています。

図表 1-4-4-6-7 学校休業期間中に希望する登室時刻



学校休業期間中に希望する放課後児童クラブ（学童保育）の降室時刻は、「18時」が36.0%と最も高く、次いで「19時以降」が21.5%、「17時」が17.4%となっています。

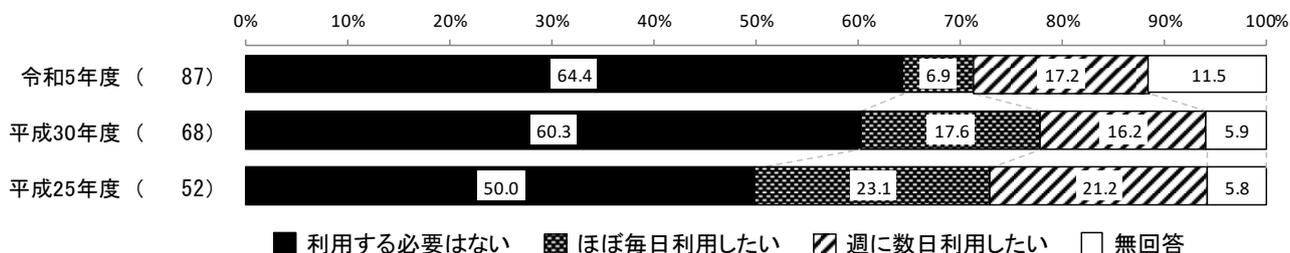
図表 1-4-4-6-8 学校休業期間中に希望する降室時刻



(7) 学校休業期間中に放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない方の利用希望

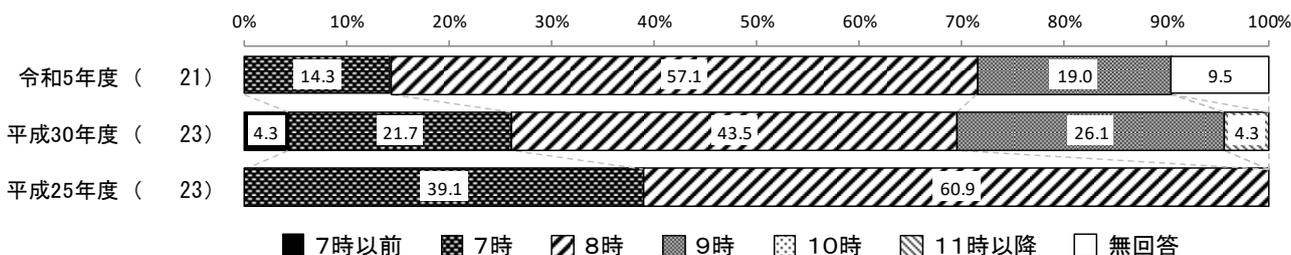
学校休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」（64.4%）が「ほぼ毎週利用したい」（6.9%）と「週に数日利用したい」（17.2%）を合わせた『利用したい』（24.1%）を40.3ポイント上回っています。

図表 1-4-4-7-1 学校休業期間中の利用希望



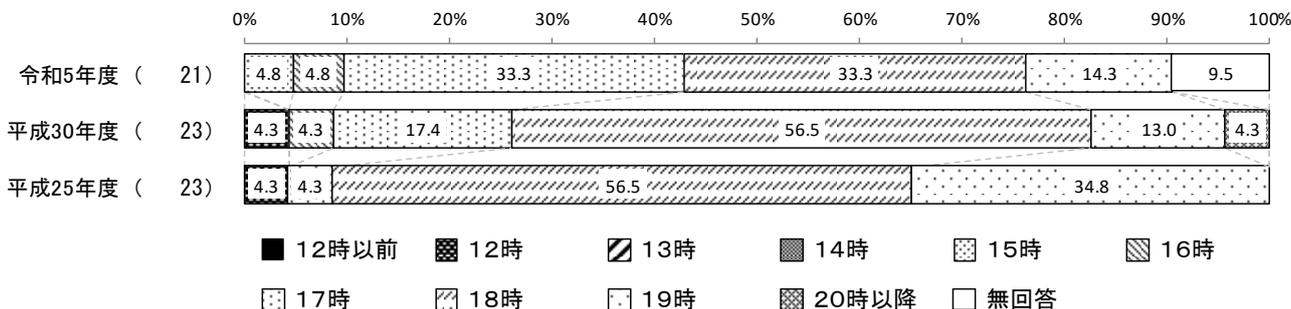
学校休業期間中に希望する登室時刻は、サンプル数は少ないものの「8時」が57.1%と最も高く、次いで「9時」が19.0%、「7時」が14.3%となっています。

図表 1-4-4-7-2 学校休業期間中に希望する登室時刻



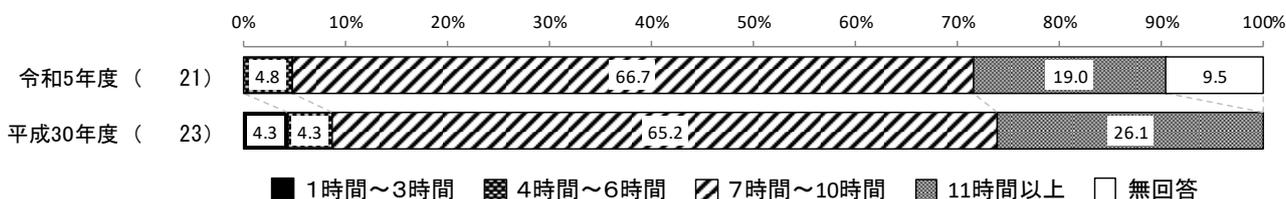
学校休業期間中に希望する降室時刻は、サンプル数は少ないものの「17時」と「18時」がともに33.3%と最も高く、次いで「19時以降」が14.3%となっています。

図表 1-4-4-7-3 学校休業期間中に希望する降室時刻



学校休業期間中に希望する1日当たりの利用時間は、サンプル数は少ないものの「7時間～10時間」が66.7%と最も高く、次いで「11時間以上」が19.0%、「4時間～6時間」が4.8%となっています。

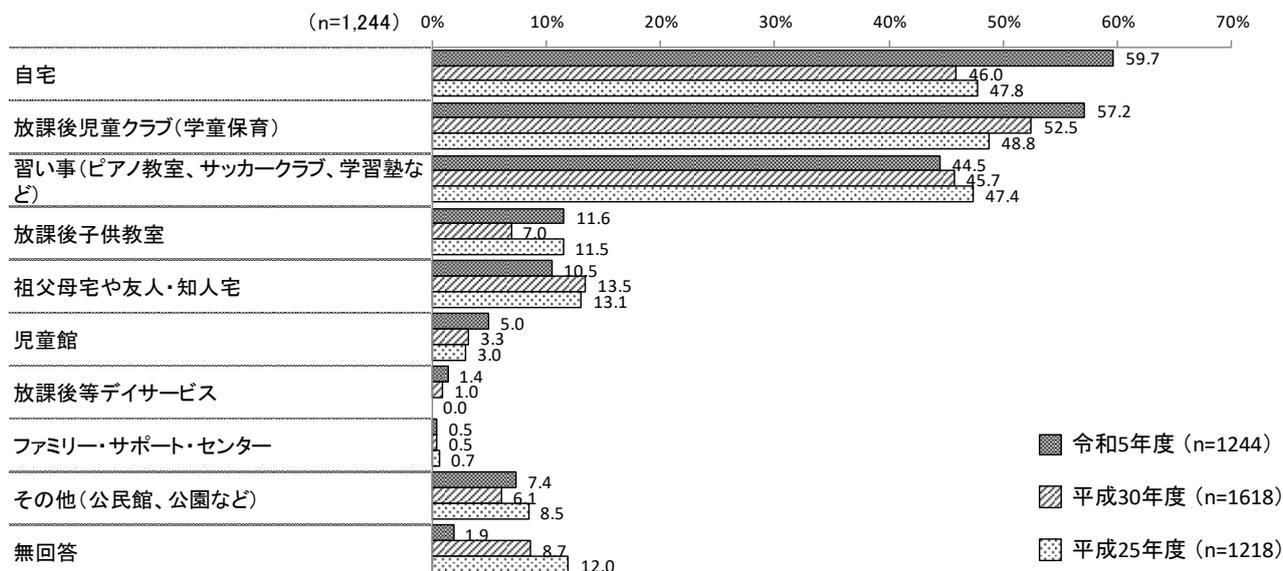
図表 1-4-4-7-4 学校休業期間中に希望する1日当たりの利用時間



(8) 現在、低学年の子どもが高学年になったときの放課後の過ごし方と1週間当たりの日数等

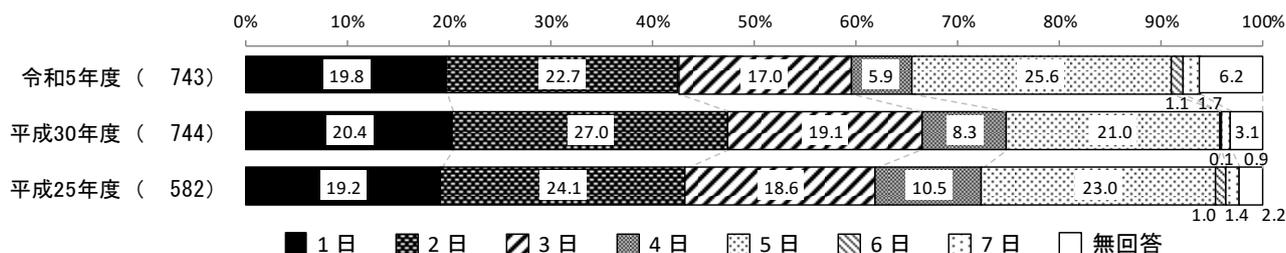
高学年のうちに放課後を過ごしてほしいと思う場所を複数回答で聞いたところ、「自宅」が59.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が57.2%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が44.5%となっています。

図表 1-4-4-8-1 放課後の過ごし方(高学年)(複数回答)



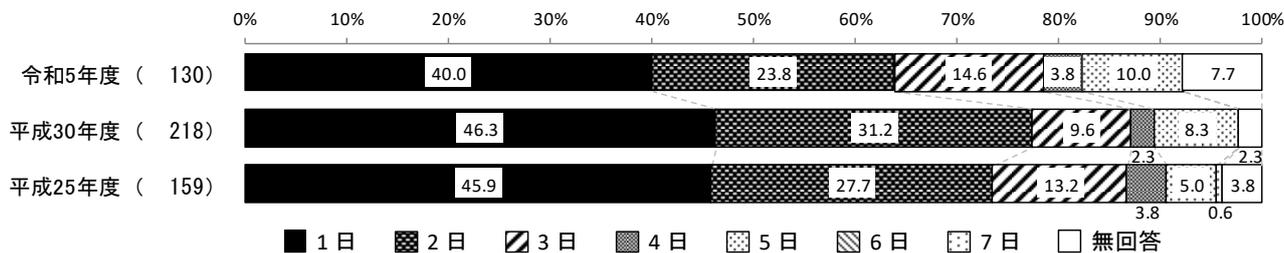
自宅で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「7日」が25.6%と最も高く、次いで「2日」が22.7%、「1日」が19.8%となっています。

図表 1-4-4-8-2 1週間当たりの希望日数(自宅)



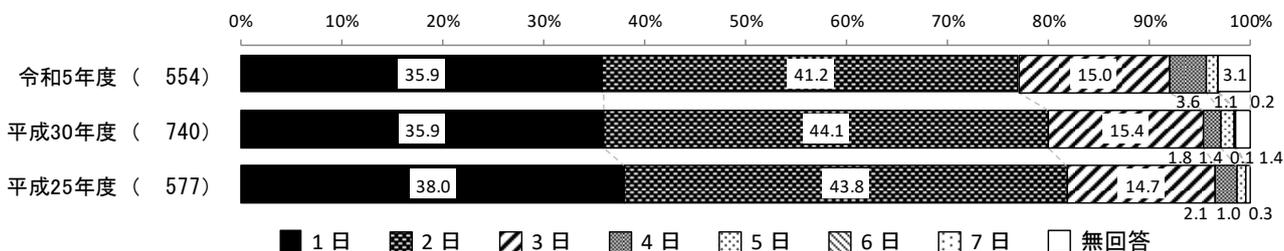
祖父母宅や友人・知人宅で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が40.0%と最も高く、次いで「2日」が23.8%、「3日」が14.6%となっています。

図表 1-4-4-8-3 1週間当たりの希望日数（祖父母宅や友人・知人宅）



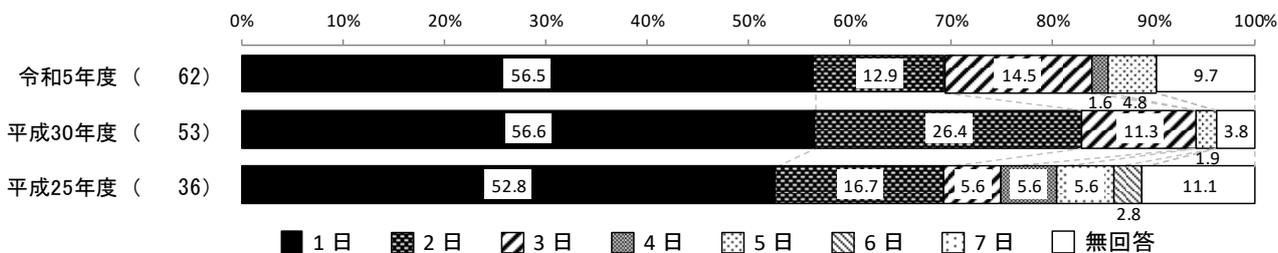
習いごとで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「2日」が41.2%と最も高く、次いで「1日」が35.9%、「3日」が15.0%となっています。

図表 1-4-4-8-4 1週間当たりの希望日数（習いごと）



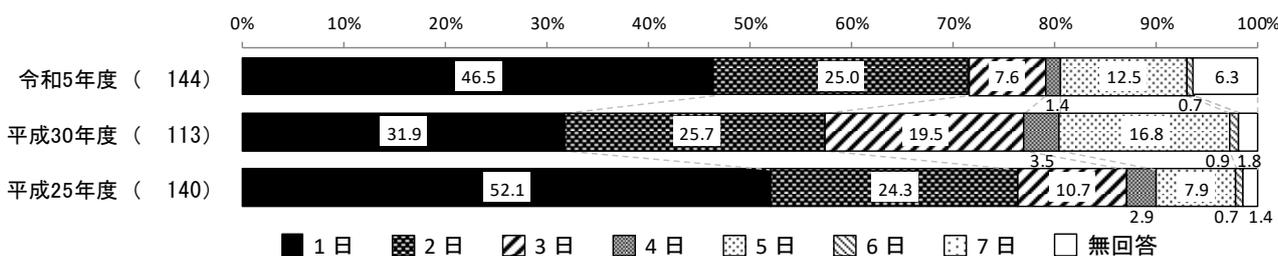
児童館で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が56.5%と最も高く、次いで「3日」が14.5%、「2日」が12.9%となっています。

図表 1-4-4-8-5 1週間当たりの希望日数（児童館）



放課後子供教室で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が46.5%と最も高く、次いで「2日」が25.0%、「5日」が12.5%となっています。

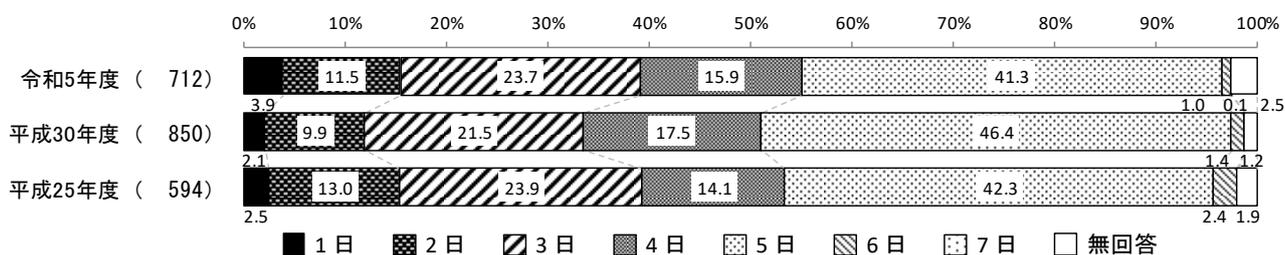
図表 1-4-4-8-6 1週間当たりの希望日数（放課後子供教室）



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

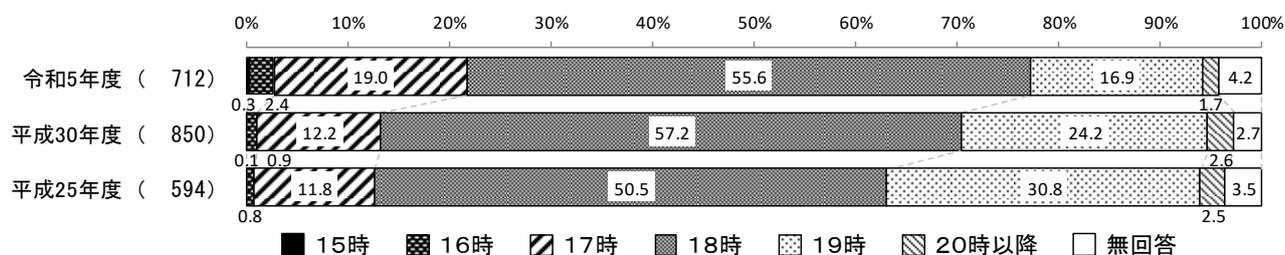
放課後児童クラブ（学童保育）で過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「5日」が41.3%と最も高く、次いで「3日」が23.7%、「4日」が15.9%となっています。

図表 1-4-4-8-7 1週間当たりの希望日数（放課後児童クラブ）



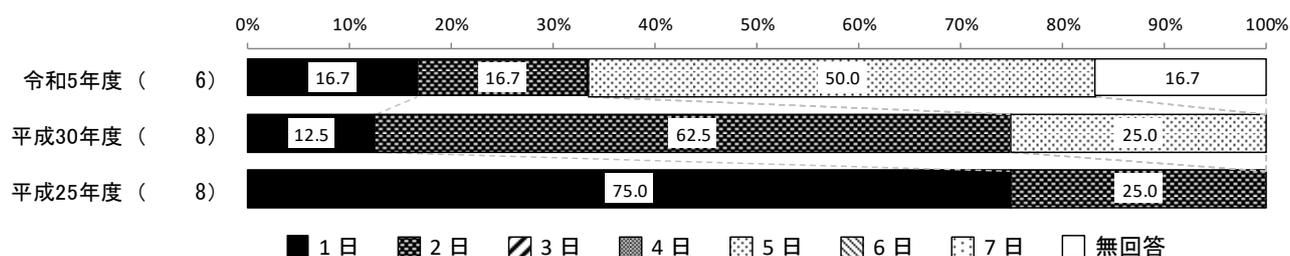
放課後児童クラブ（学童保育）で何時まで過ごしてほしいかは、「18時」が55.6%と最も高く、次いで「17時」が19.0%、「19時」が16.9%となっています。

図表 1-4-4-8-8 利用時刻（放課後児童クラブ（学童保育））



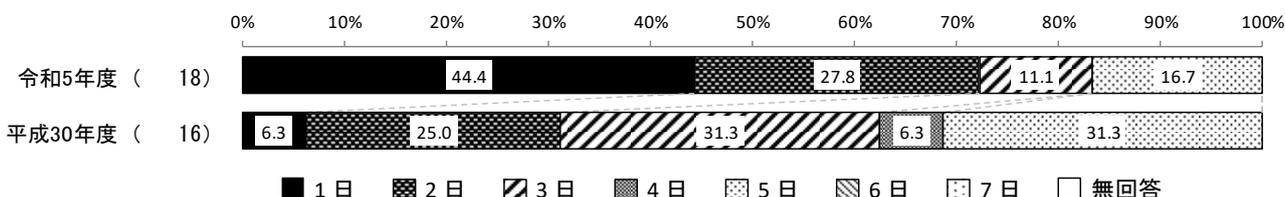
ファミリー・サポート・センターで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「5日」が50.0%と最も高く、次いで「1日」と「2日」がともに16.7%となっています。

図表 1-4-4-8-9 1週間当たりの希望日数（ファミリー・サポート・センター）



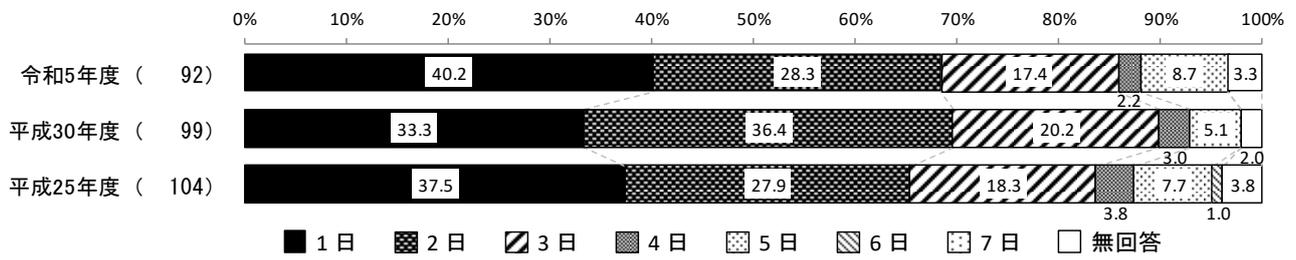
放課後デイサービスで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、サンプル数は少ないものの「1日」が44.4%と最も高く、次いで「2日」が27.8%、「5日」が16.7%となっています。

図表 1-4-4-8-10 1週間当たりの希望日数（放課後デイサービス）



公民館、公園などで過ごしてほしい1週間当たりの希望日数は、「1日」が40.2%と最も高く、次いで「2日」が28.3%、「3日」が17.4%となっています。

図表 1-4-4-8-11 1週間当たりの希望日数（公民館、公園など）

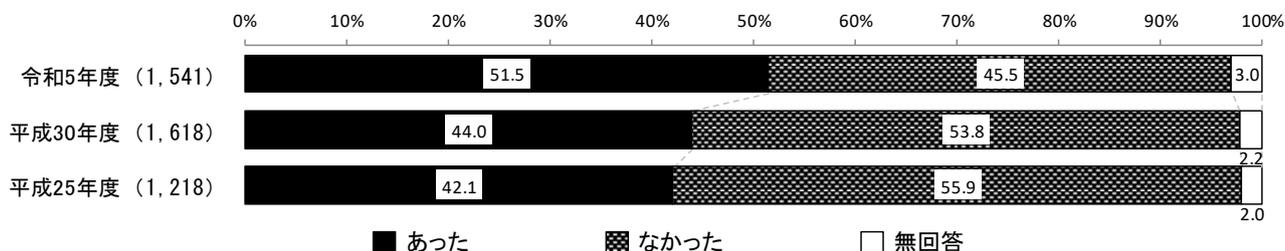


5. 子どもの病気やケガの際の対応について

(1) 病気やケガで放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった経験の有無

病気やケガで放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった経験の有無は、「あった」（51.5%）が「なかった」（45.5%）を6.0ポイント上回っています。

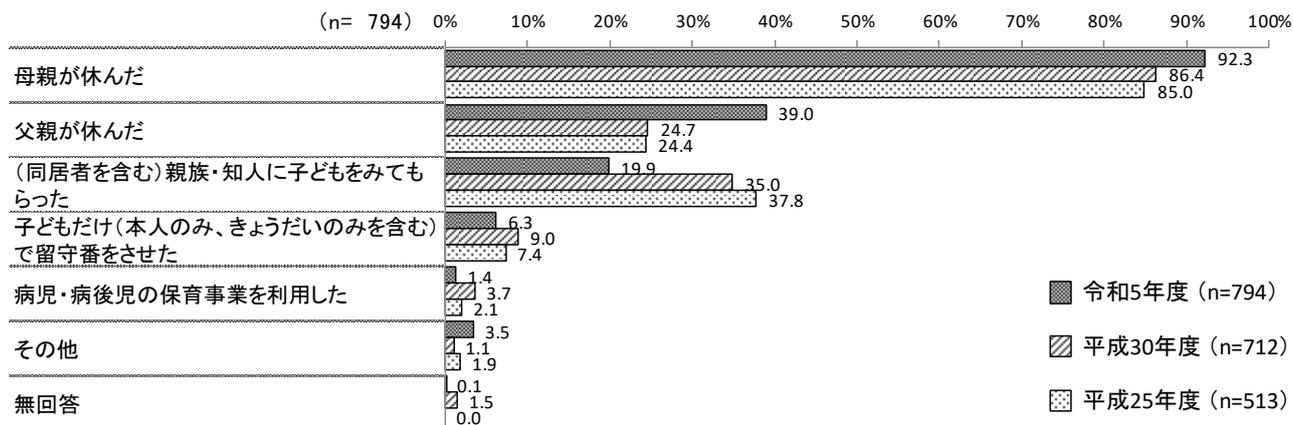
図表 1-4-5-1 病気やケガで放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった経験の有無



(2) 放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった場合の対処方法と日数

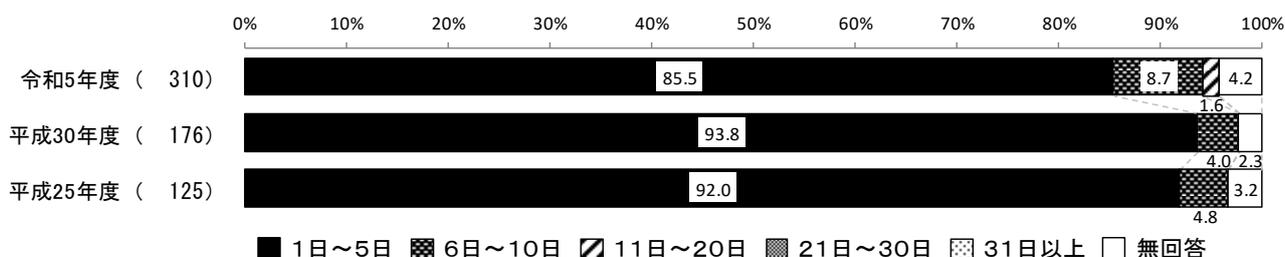
放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった場合の対処方法を複数回答で聞いたところ、「母親が休んだ」が92.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が39.0%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が19.9%となっています。

図表 1-4-5-2-1 放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった場合の対処方法（複数回答）



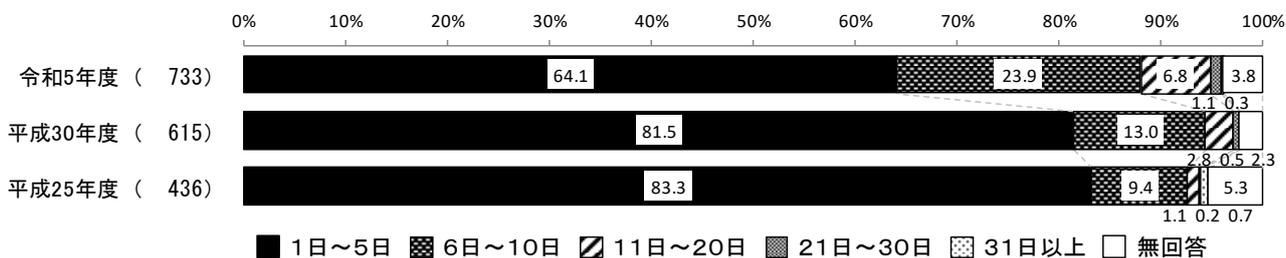
父親が休んで対処した日数は、「1日～5日」が85.5%と最も高く、次いで「6日～10日」が8.7%、「11日～20日」が4.2%となっています。

図表 1-4-5-2-2 年間対処日数（父親が休んだ）



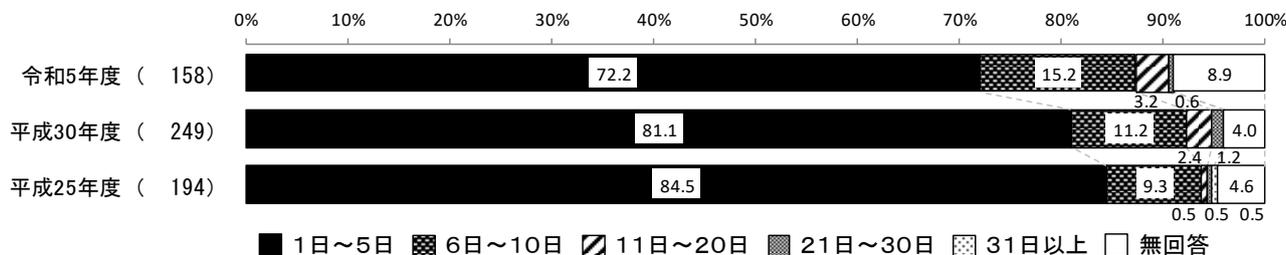
母親が休んで対処した日数は、「1日～5日」が64.1%と最も高く、次いで「6日～10日」が23.9%、「11日～20日」が6.8%となっています。

図表 1-4-5-2-3 年間対処日数（母親が休んだ）



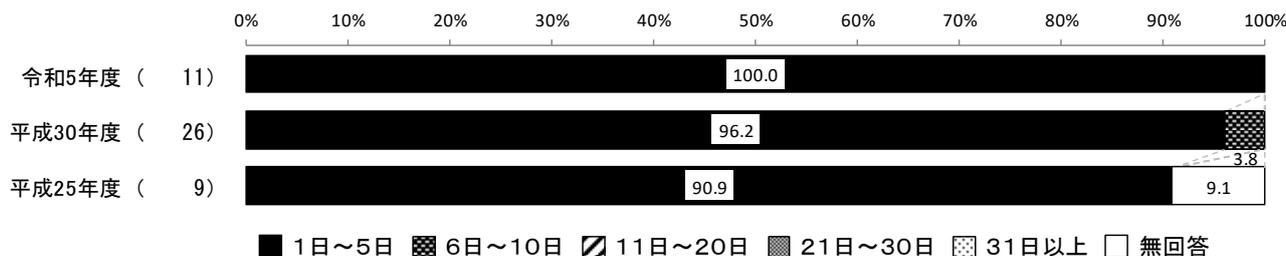
親族・知人に子どもをみてもらって対処した日数は、「1日～5日」が72.2%と最も高く、次いで「6日～10日」が15.2%、「11日～20日」が3.2%となっています。

図表 1-4-5-2-4 年間対処日数（親族・知人に子どもをみてもらった）



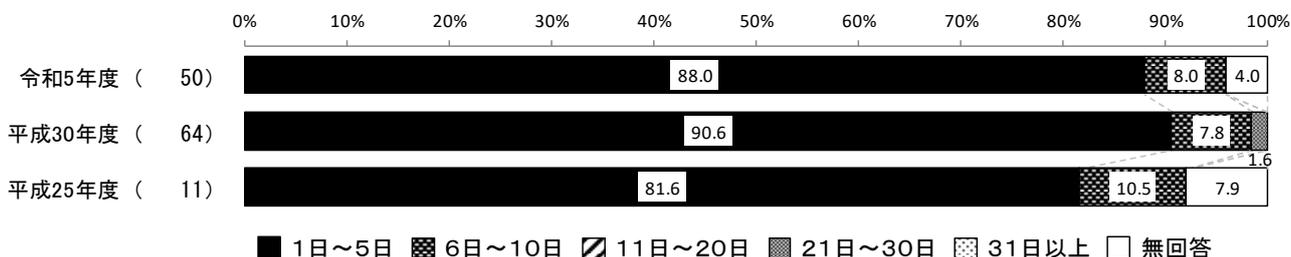
病児・病後児保育を利用して対処した日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が100.0%となっています。

図表 1-4-5-2-5 年間対処日数（病児・病後児保育を利用）



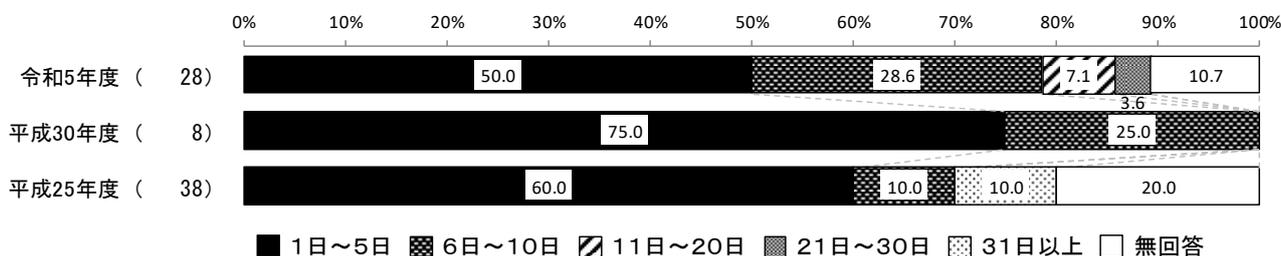
子どもだけで留守番をさせて対処した日数は、「1日～5日」が88.0%と最も高く、次いで「6日～10日」が8.0%となっています。

図表 1-4-5-2-6 年間対処日数（子どもだけで留守番）



その他の手段で対処した日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が50.0%と最も高く、次いで「6日～10日」が28.6%、「11日～20日」が7.1%となっています。

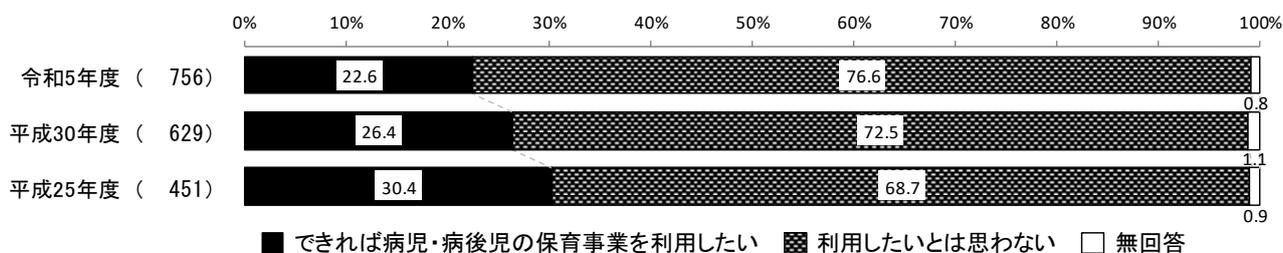
図表 1-4-5-2-7 年間対処日数（その他）



(3) 病児・病後児の保育事業の利用希望

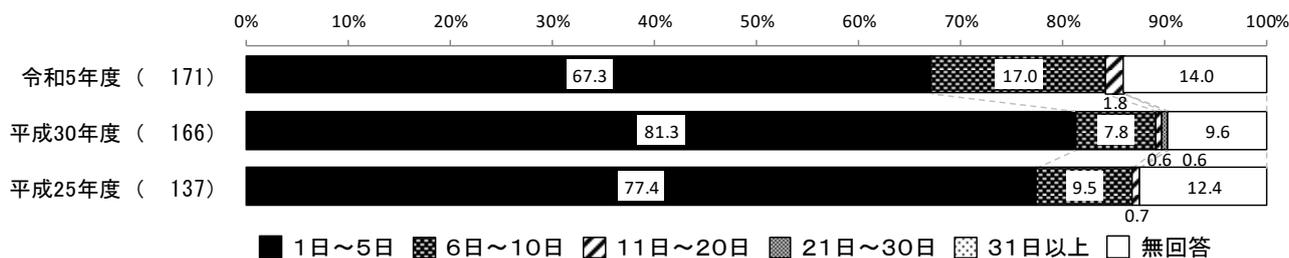
病児・病後児の保育事業の利用希望は、「利用したいとは思わない」(76.6%)が「できれば病児・病後児の保育事業を利用したい」(22.6%)を54.0ポイント上回っています。

図表 1-4-5-3-1 病児・病後児の保育事業の利用希望



病児・病後児の保育事業の利用希望日数は、「1日～5日」が67.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が17.0%、「11日～20日」が1.8%となっています。

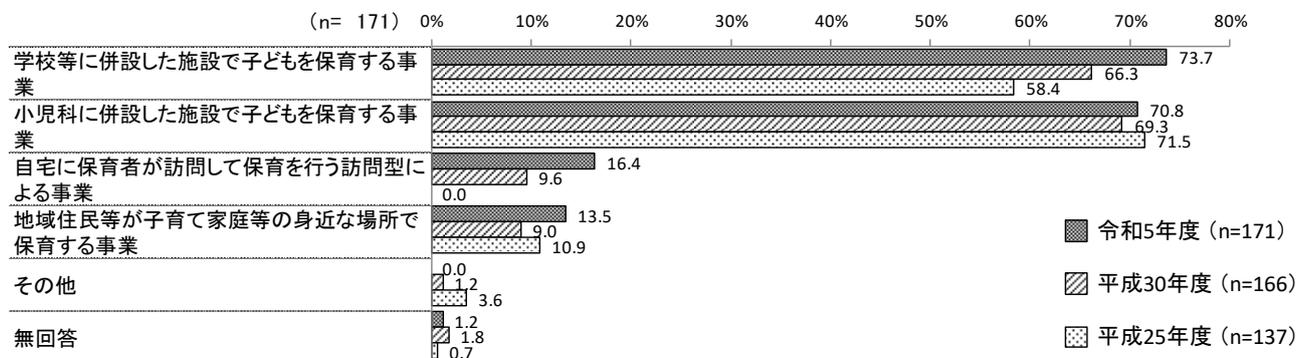
図表 1-4-5-3-2 病児・病後児の保育事業の利用希望日数



(4) 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

子どもを預ける場合の望ましい事業形態を複数回答で聞いたところ、「学校等に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.7%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.8%となっています。

図表 1-4-5-4 子どもを預ける場合の望ましい事業形態（複数回答）

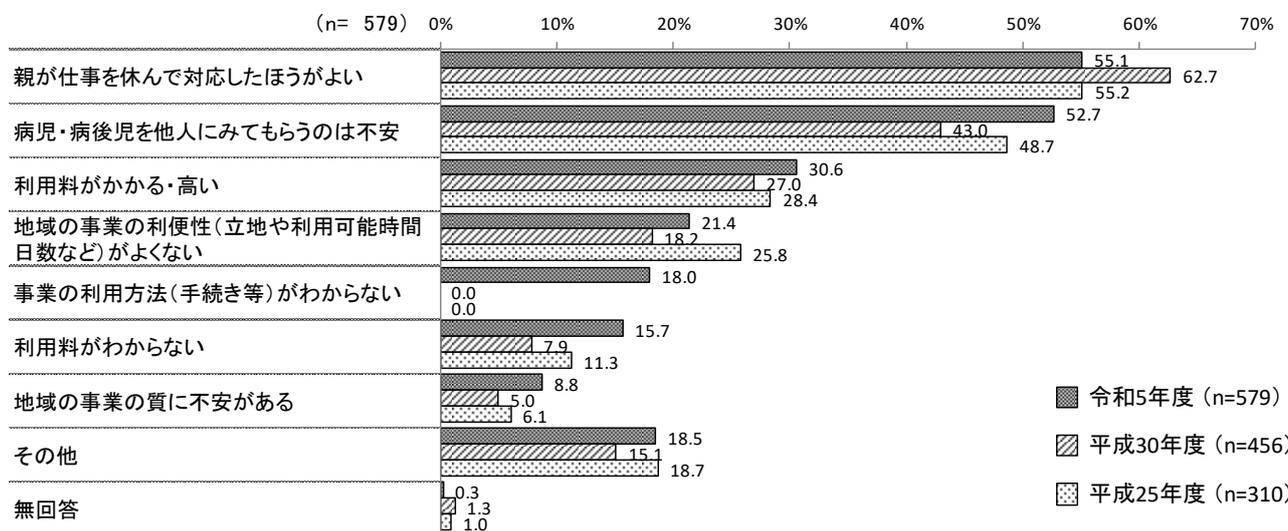


(5) 病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由

病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由を複数回答で聞いたところ、「親が仕事を休んで対応したほうがよい」が55.1%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が52.7%、「利用料がかかる・高い」が30.6%となっています。

その他の具体的な意見として、「在宅勤務で対応できるため」「手続きが面倒」「送迎に時間がかかる」などが挙げられました。

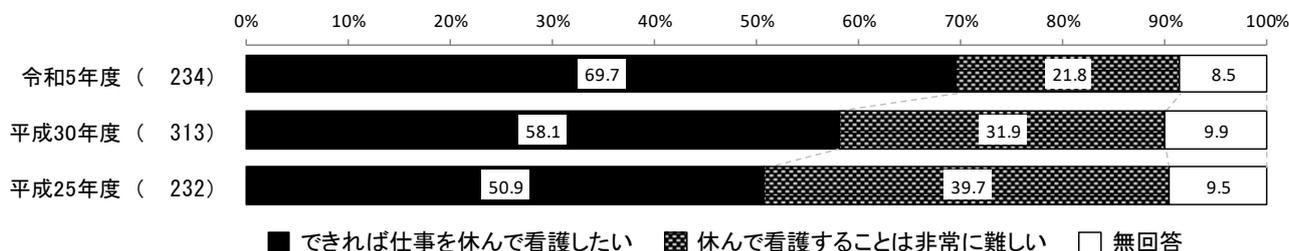
図表 1-4-5-5 病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由（複数回答）



(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったか

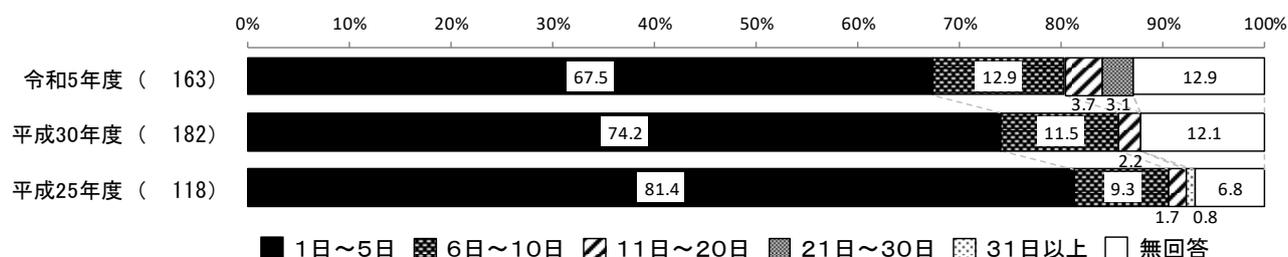
父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看護したい」(69.7%)が「休んで看護することは非常に難しい」(21.8%)を47.9ポイント上回っています。

図表 1-4-5-6-1 父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったか



仕事を休んで子どもを看護したい日数は、「1日～5日」が67.5%と最も高く、次いで「6日～10日」が12.9%となっています。

図表 1-4-5-6-2 仕事を休んで子どもを看護したい日数

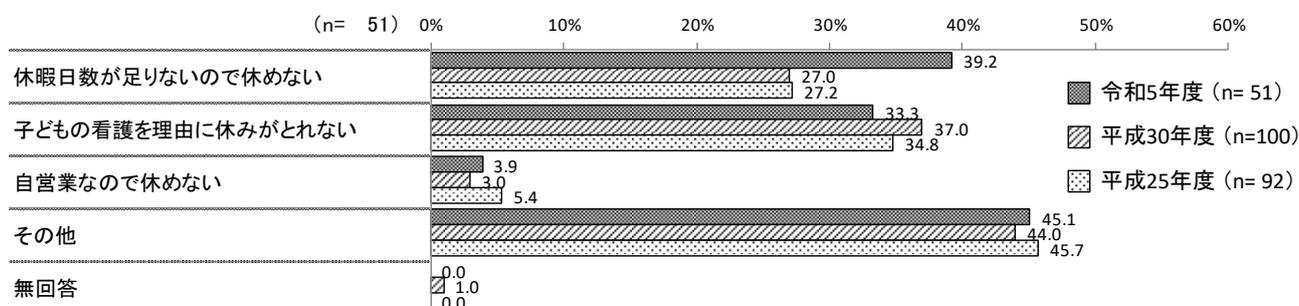


(7) 休んで看護することが非常に難しい理由

休んで看護することが非常に難しい理由を複数回答で聞いたところ、「休暇日数が足りないので休めない」が39.2%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が33.3%、「自営業なので休めない」が3.9%となっています。

その他の具体的な意見として、「シフト制で夜勤があるので急に休みにくい」「給与を減らしたくない」「仕事が忙しく休めない」などが挙げられました。

図表 1-4-5-7 休んで看護することが非常に難しい理由 (複数回答)

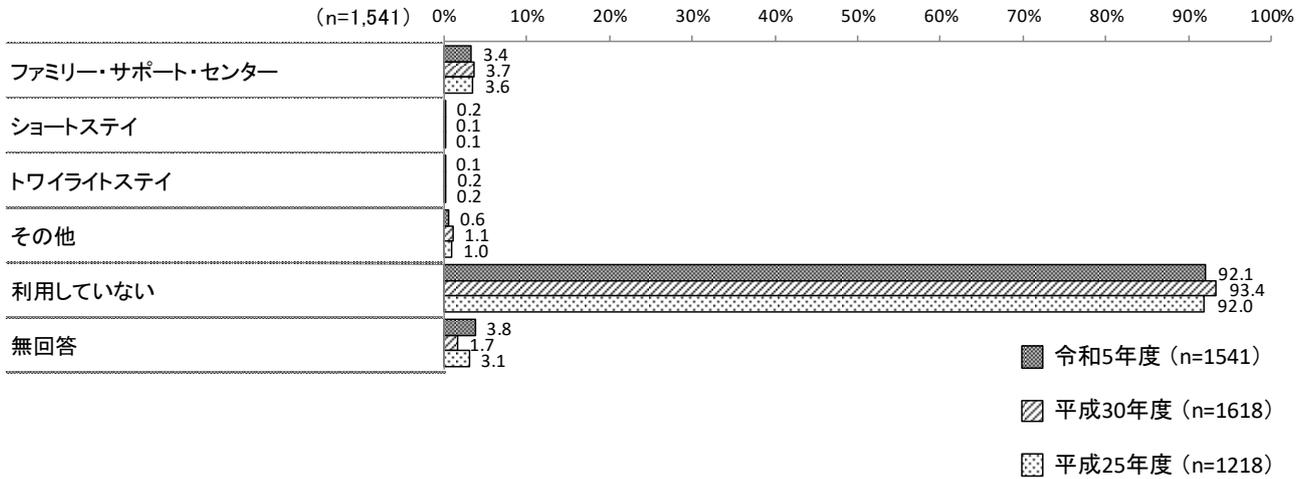


6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している教育・保育事業と年間利用日数

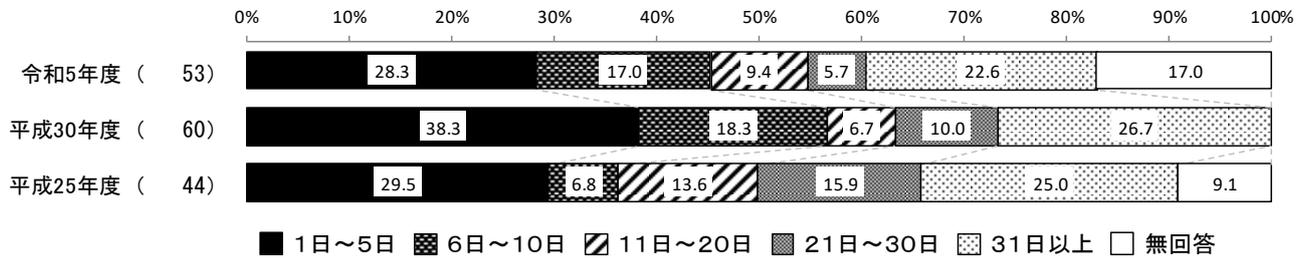
不定期に利用している教育・保育事業を複数回答で聞いたところ、「利用していない」が92.1%と最も高くなっています。

図表 1-4-6-1-1 不定期に利用している教育・保育事業（複数回答）



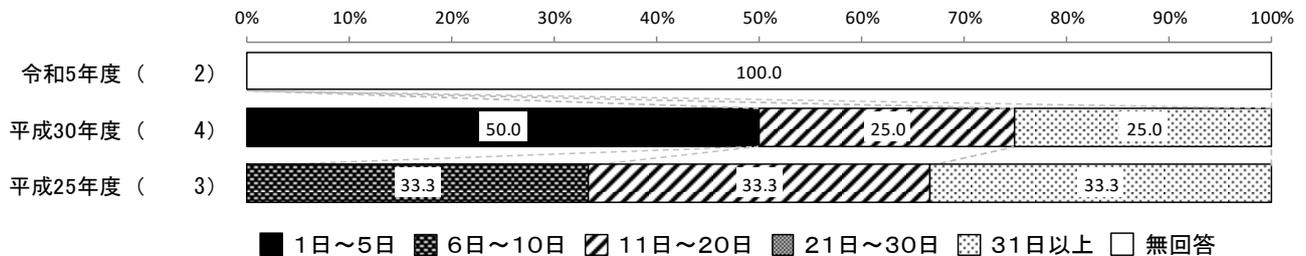
ファミリー・サポート・センターの年間利用日数は、「1日～5日」が28.3%と最も高く、次いで「31日以上」が22.6%、「6日～10日」が17.0%となっています。

図表 1-4-6-1-2 年間利用日数（ファミリー・サポート・センター）



トワイライトステイの利用者のうち、年間利用日数について回答した人はいませんでした。

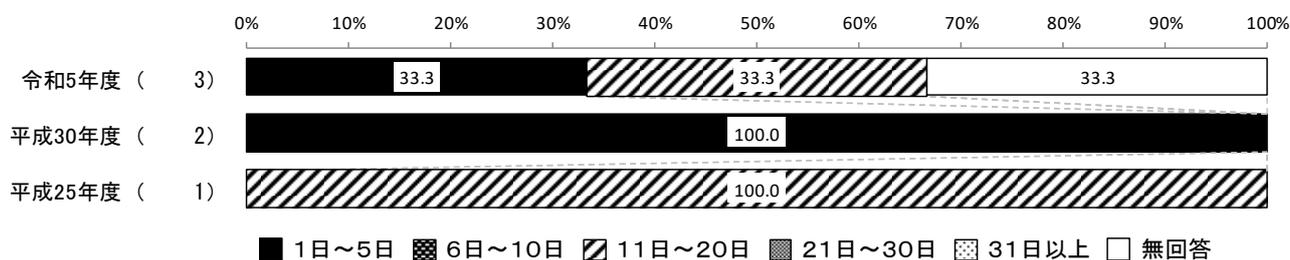
図表 1-4-6-1-3 年間利用日数（トワイライトステイ）



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

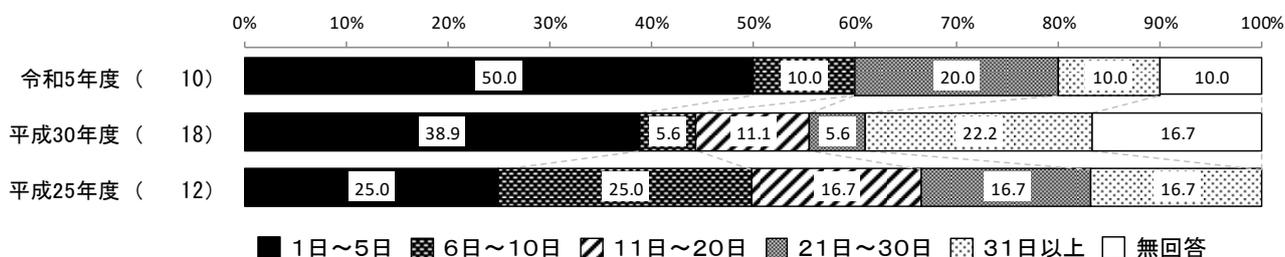
ショートステイの年間利用日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」と「11日～20日」がともに33.3%となっています。

図表 1-4-6-1-4 年間利用日数（ショートステイ）



その他の事業の年間利用日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が50.0%と最も高く、次いで「11日～20日」が20.0%、「6日～10日」と「31日以上」がともに10.0%となっています。

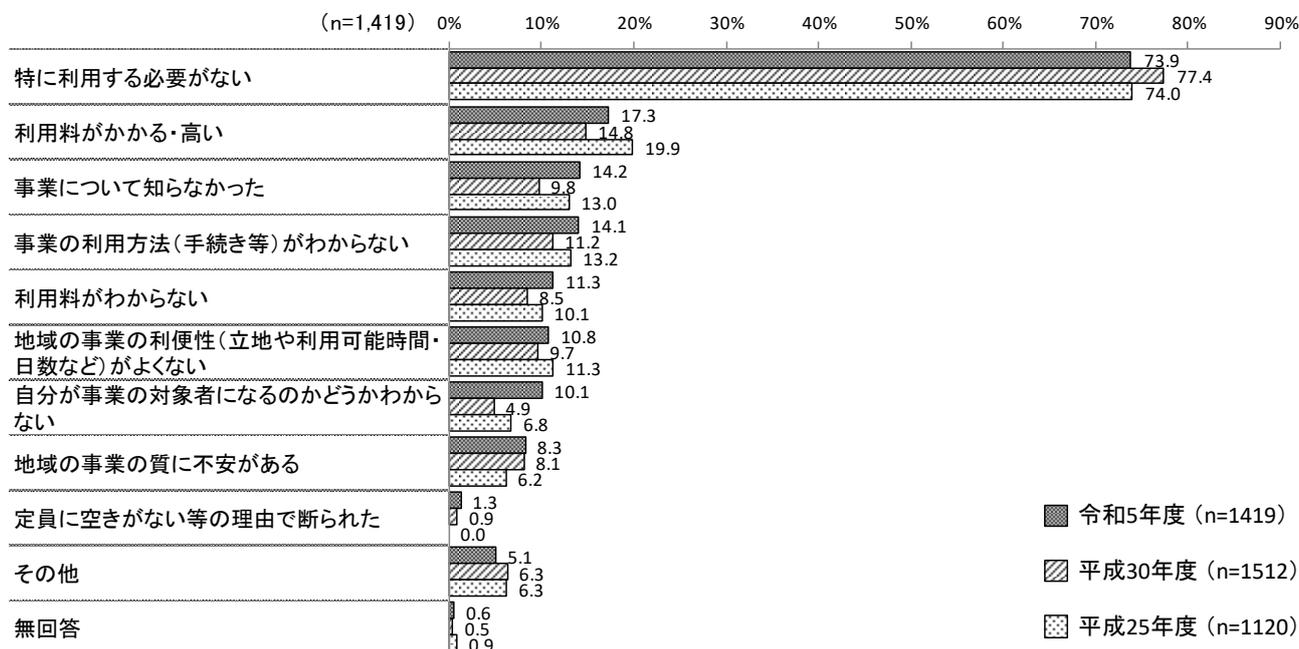
図表 1-4-6-1-5 年間利用日数（その他）



(2) 現在利用していない理由

現在利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「特に利用する必要がない」が73.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が17.3%、「事業について知らなかった」が14.2%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が14.1%となっています。

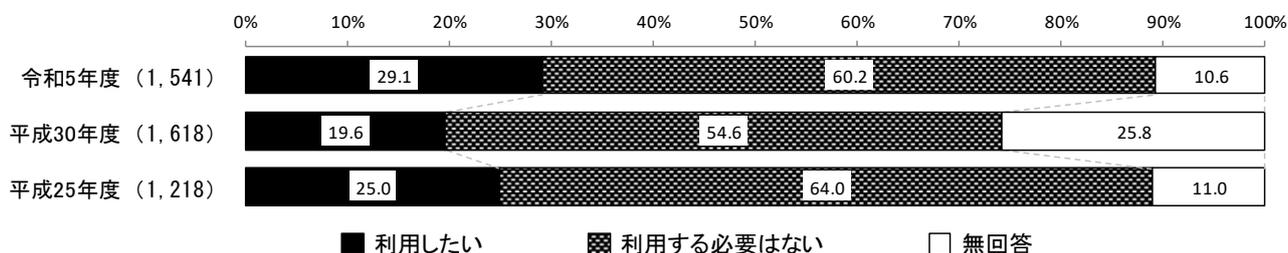
図表 1-4-6-2 現在利用していない理由（複数回答）



（3）宿泊を伴う一時預かり等の利用希望の有無と年間利用希望日数

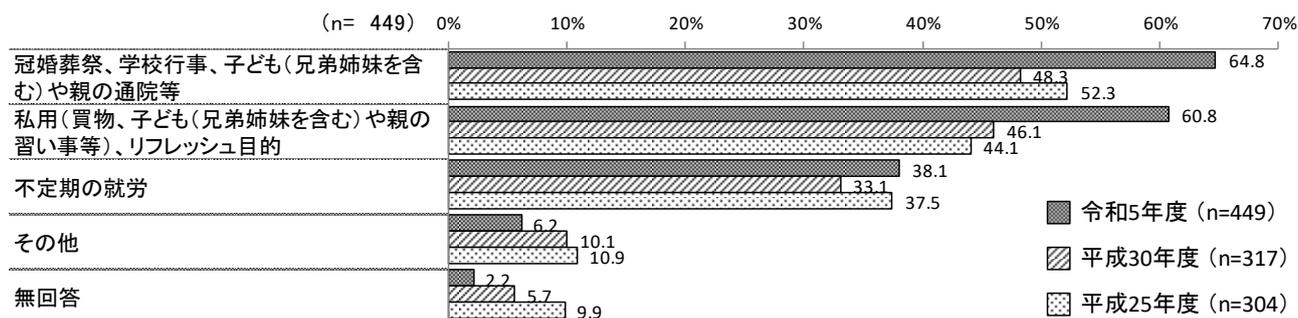
私用、親の通院、突発的な就労等の理由での宿泊を伴う一時預かり等の利用希望の有無は、「利用する必要はない」（60.2%）が「利用したい」（29.1%）を31.1ポイント上回っています。

図表 1-4-6-3-1 宿泊を伴う一時預かり等の利用希望の有無



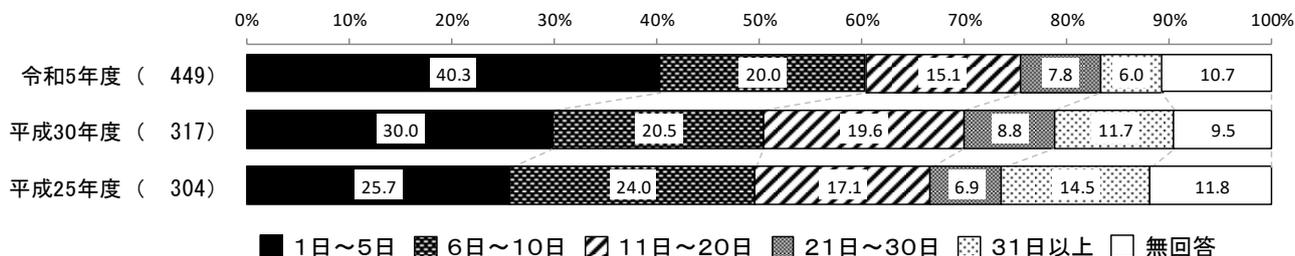
宿泊を伴う一時預かり等の利用目的を複数回答で聞いたところ、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が64.8%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が60.8%、「不定期の就労」が38.1%となっています。

図表 1-4-6-3-2 宿泊を伴う一時預かり等の利用目的（複数回答）



宿泊を伴う一時預かり等の年間利用希望日数は、「1日～5日」が40.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が20.0%、「11日～20日」が15.1%となっています。

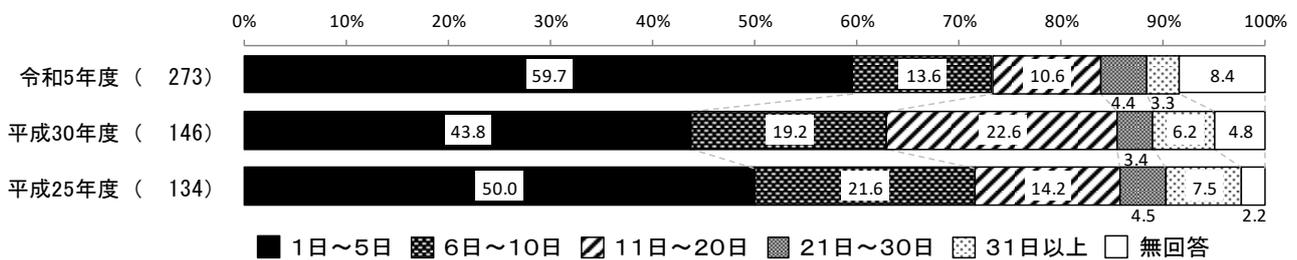
図表 1-4-6-3-3 宿泊を伴う一時預かり等の年間利用希望日数



第1部 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

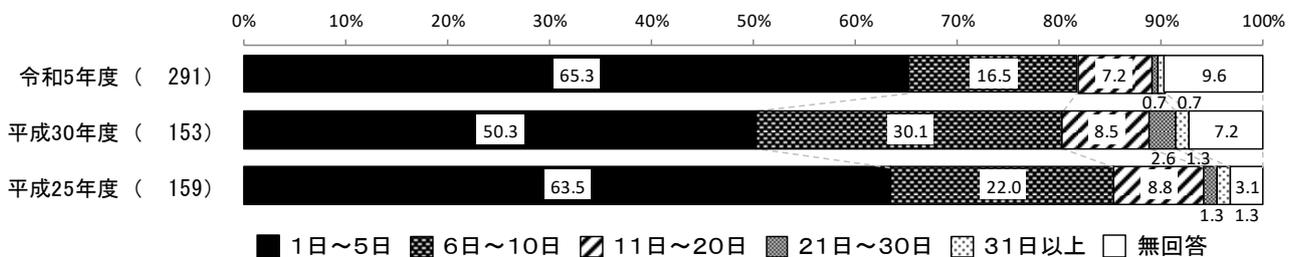
私用、リフレッシュ目的での年間利用希望日数は、「1日～5日」が59.7%と最も高く、次いで「6日～10日」が13.6%、「11日～20日」が10.6%となっています。

図表 1-4-6-3-4 年間利用希望日数（私用、リフレッシュ目的）



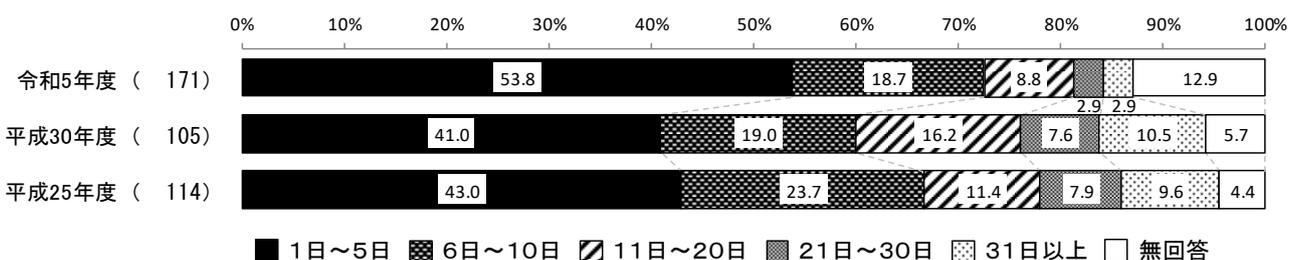
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等での年間利用希望日数は、「1日～5日」が65.3%と最も高く、次いで「6日～10日」が16.5%、「11日～20日」が7.2%となっています。

図表 1-4-6-3-5 年間利用希望日数（冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等）



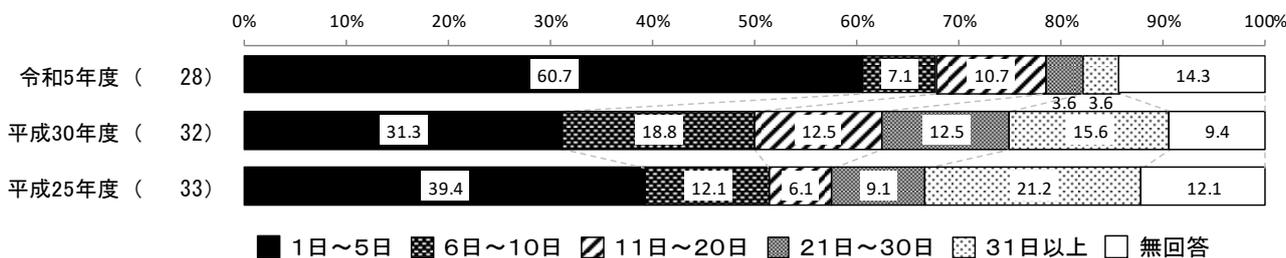
不定期の就労での年間利用希望日数は、「1日～5日」が53.8%と最も高く、次いで「6日～10日」が18.7%、「11日～20日」が8.8%となっています。

図表 1-4-6-3-6 年間利用希望日数（不定期の就労）



その他の目的での年間利用希望日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が60.7%と最も高く、次いで「11日～20日」が10.7%、「6日～10日」が7.1%となっています。

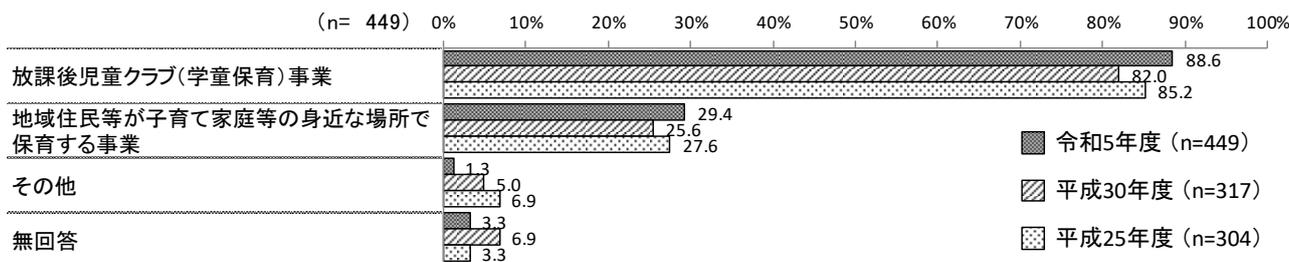
図表 1-4-6-3-7 年間利用希望日数（その他）



(4) 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

子どもを預ける場合の望ましい事業形態を複数回答で聞いたところ、「放課後児童クラブ（学童保育）事業」が88.6%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が29.4%となっています。

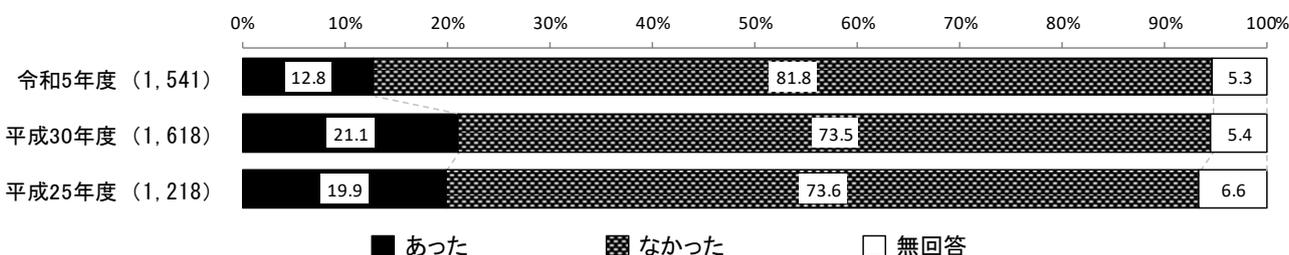
図表 1-4-6-4 子どもを預ける場合の望ましい事業形態（複数回答）



(5) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、「なかった」(81.8%)が「あった」(12.8%)を69.0ポイント上回っています。

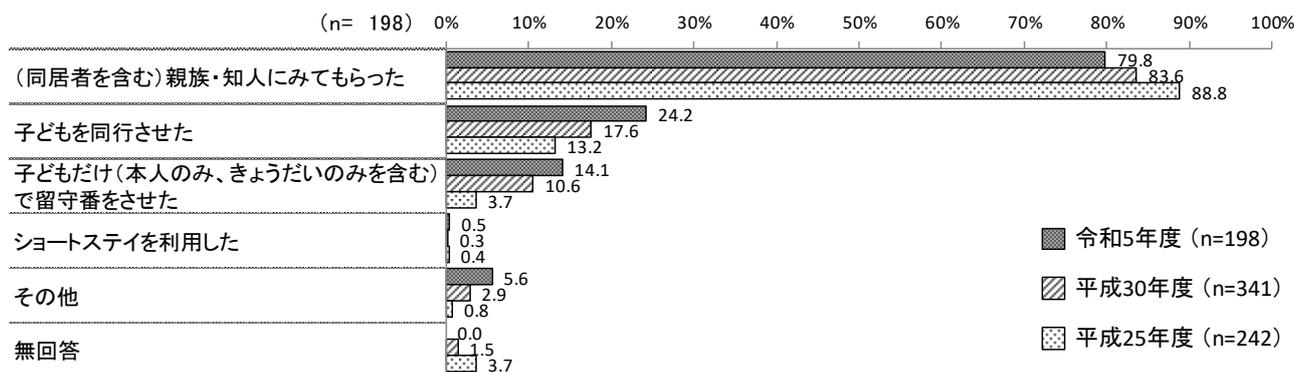
図表 1-4-6-5 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか



(6) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法と年間対処日数

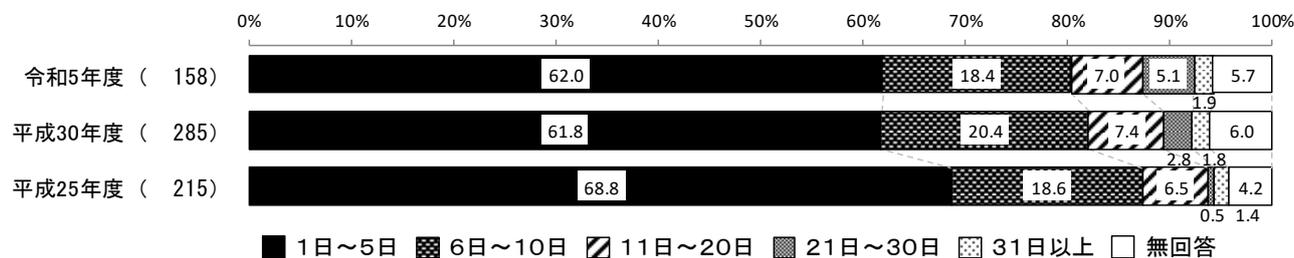
子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法を複数回答で聞いたところ、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が79.8%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」が24.2%、「子どもだけ(本人のみ、きょうだいのみを含む)で留守番をさせた」が14.1%となっています。

図表 1-4-6-6-1 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法(複数回答)



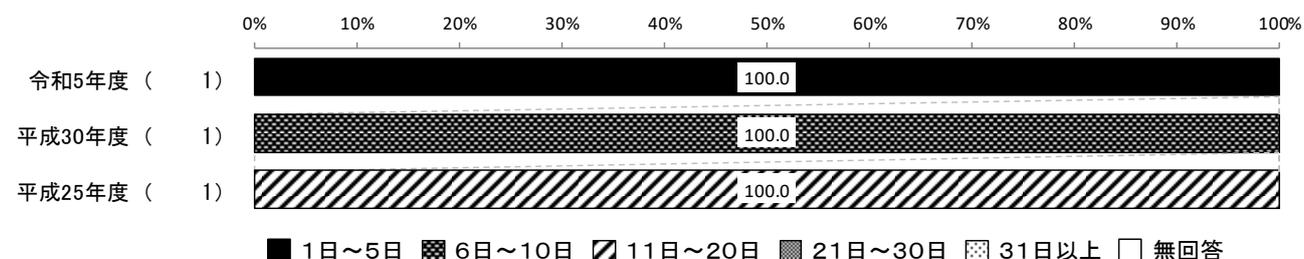
親族・知人にみてもらった年間日数は、「1日～5日」が62.0%と最も高く、次いで「6日～10日」が18.4%、「11日～20日」が7.0%となっています。

図表 1-4-6-6-2 年間対処日数(親族・知人にみてもらった)



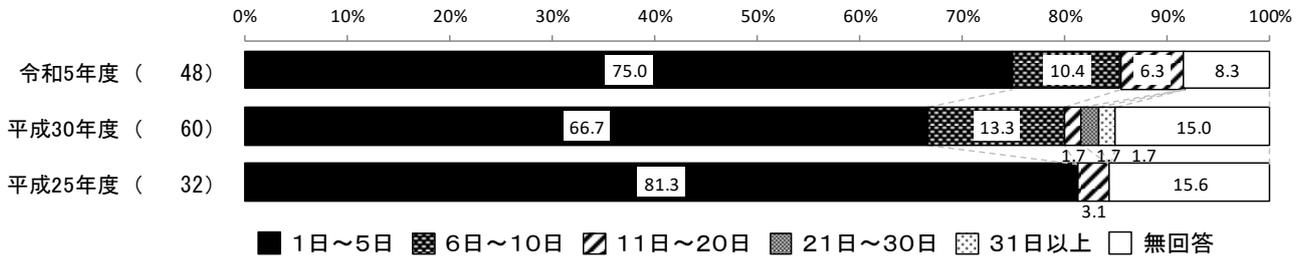
ショートステイを利用した年間日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が100.0%となっています。

図表 1-4-6-6-3 年間対処日数(ショートステイを利用した)



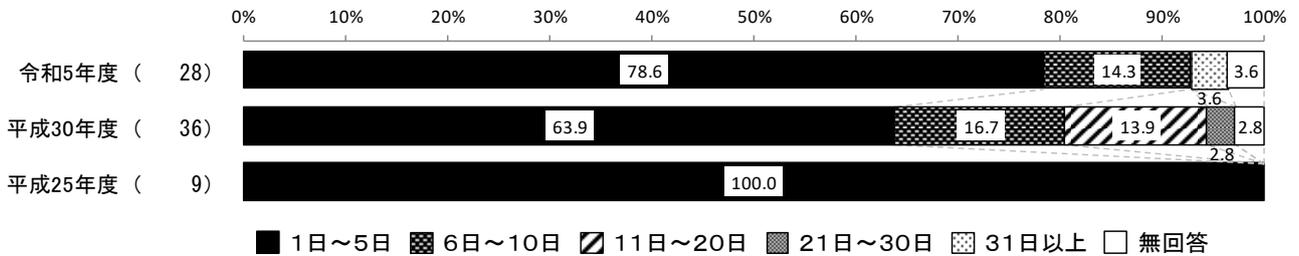
子どもを同行させた年間日数は、「1日～5日」が75.0%と最も高く、次いで「6日～10日」が10.4%、「11日～20日」が6.3%となっています。

図表 1-4-6-6-4 年間対処日数（子どもを同行させた）



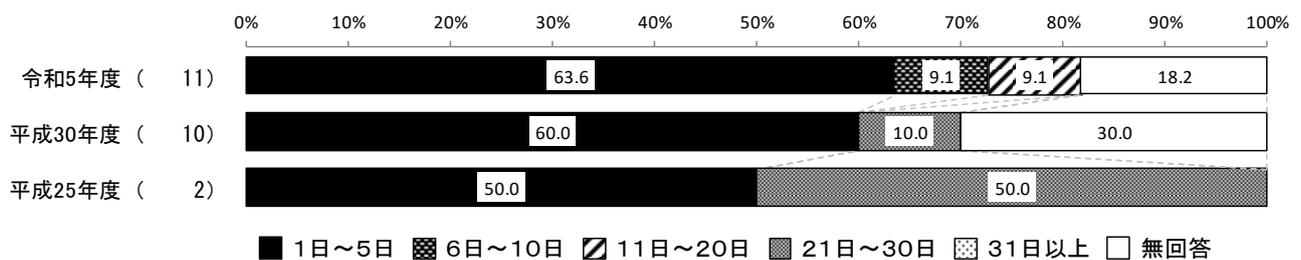
子どもだけで留守番させた年間日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が78.6%と最も高く、次いで「6日～10日」が14.3%、「11日～20日」が3.6%となっています。

図表 1-4-6-6-5 年間対処日数（子どもだけで留守番させた）



その他の方法で対処した年間日数は、サンプル数は少ないものの「1日～5日」が63.6%と最も高く、次いで「6日～10日」と「11日～20日」がともに9.1%となっています。

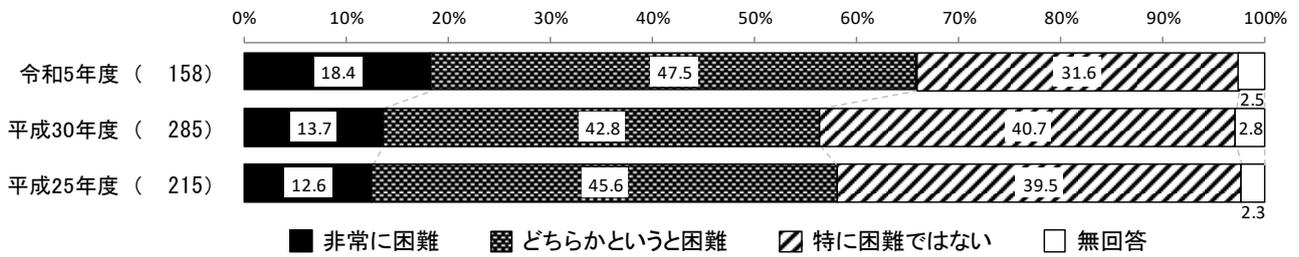
図表 1-4-6-6-6 年間対処日数（その他）



(7) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった際の困難度

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった際の困難度は、「非常に困難」(18.4%)と「どちらかという困難」(47.5%)を合わせた『困難』(65.9%)が「特に困難ではない」(31.6%)を34.3ポイント上回っています。

図表 1-4-6-7 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった際の困難度

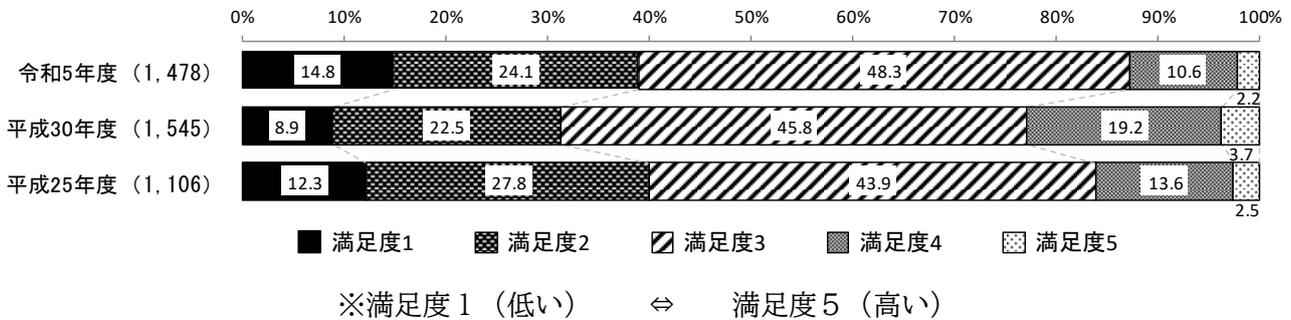


7. 子育て全般・市の施策について

(1) 川越市の子育て環境や支援への満足度

川越市の子育て環境や支援への満足度は、「満足度1」（14.8%）、「満足度2」（24.1%）の合計が38.9%に対し、「満足度4」（10.6%）、「満足度5」（2.2%）の合計は12.8%となっています。

図表 1-4-7-1-1 川越市の子育て環境や支援への満足度



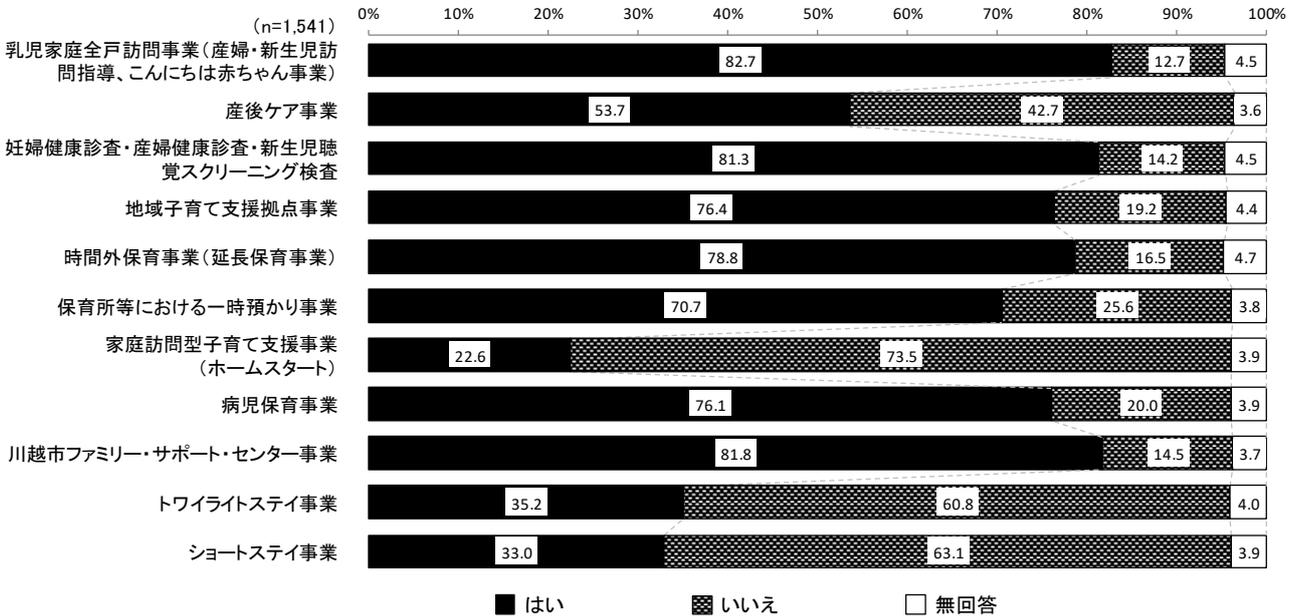
※無回答を除いています。

(2) 市で実施している事業の認知度、利用経験、利用希望

① 認知度

認知度については、「乳児家庭全戸訪問事業（産婦・新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業）」（82.7%）、「川越市ファミリー・サポート・センター事業」（81.8%）、「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」（81.3%）が8割を超えて高くなっています。

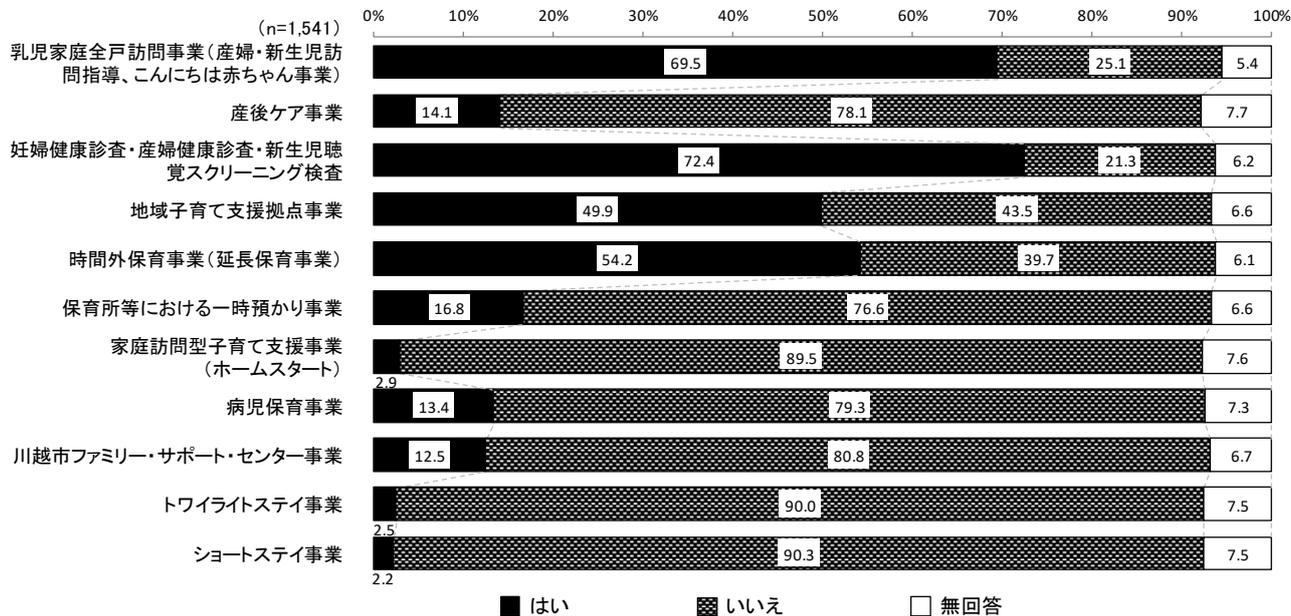
図表 1-4-7-2-1 市で実施している事業の認知度



②利用経験

利用経験については、「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」(72.4%)、「乳児家庭全戸訪問事業(産婦・新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業)」(69.5%)が7割前後と高くなっています。

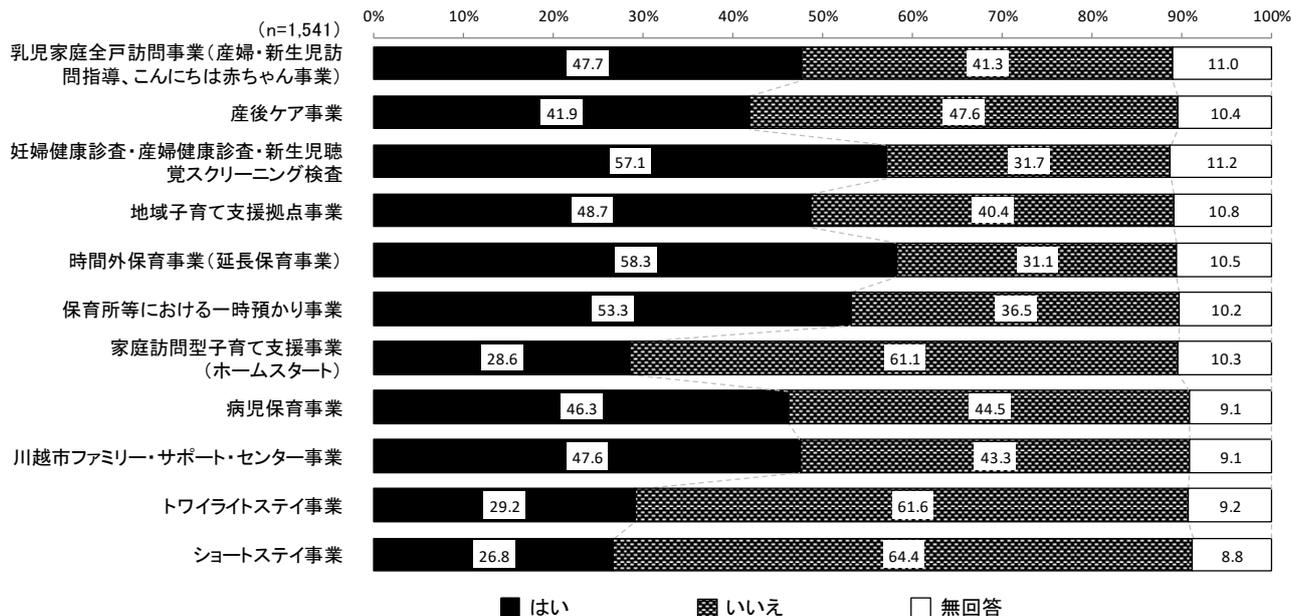
図表 1-4-7-2-2 市で実施している事業の利用経験



③利用希望

利用希望については、「時間外保育事業(延長保育事業)」(58.3%)、「妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査」(57.1%)、「保育所等における一時預かり事業」(53.3%)が5割を超えて高くなっています。

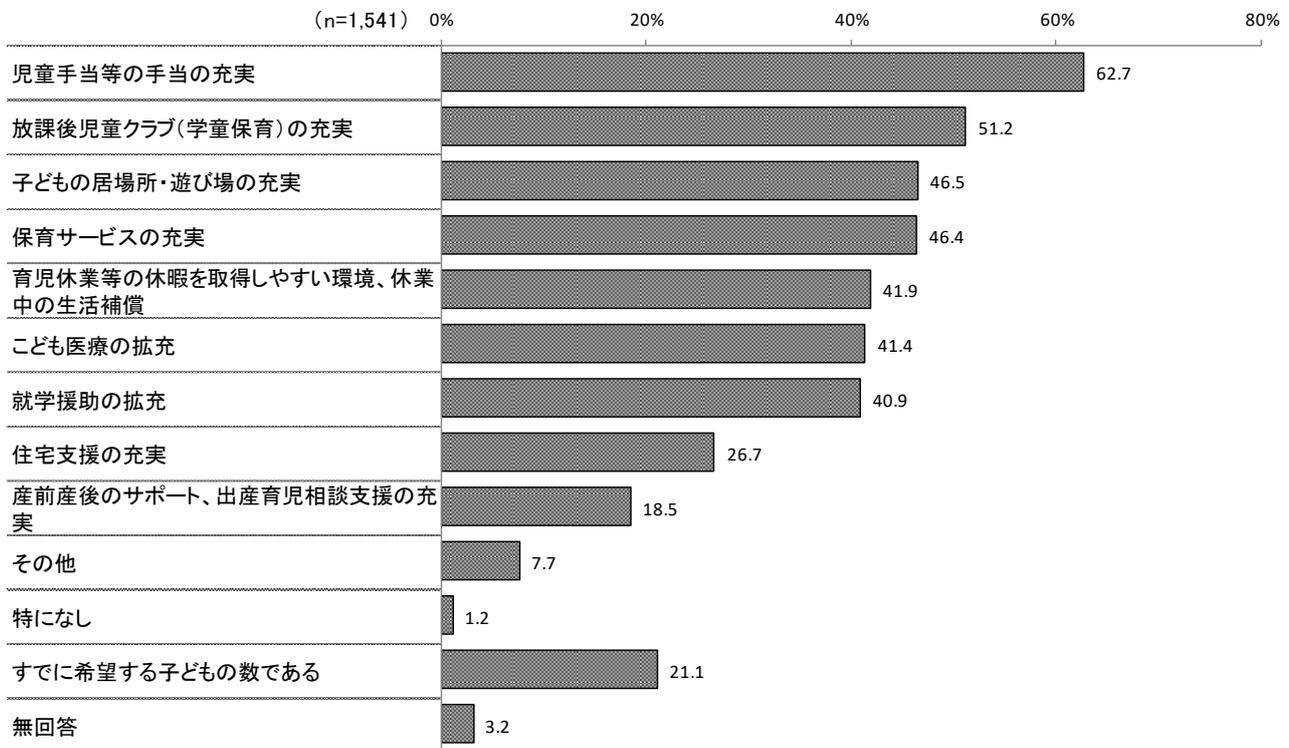
図表 1-4-7-2-3 市で実施している事業の利用希望



（3）希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援

希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援について複数回答で聞いたところ、「児童手当等の手当の充実」が62.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）の充実」が51.2%、「子どもの居場所・遊び場の充実」が46.5%、「保育サービスの充実」が46.4%となっています。

図表 1-4-7-3 希望する子どもの数を実現するために必要だと思う市からの支援（複数回答）



（4）教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関する意見

教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援について自由記述で聞いたところ、679人からご意見をいただきました。主な意見の件数は以下のとおりです。

図表 1-4-7-4 教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関する意見

項目	件数
開設時間・開設曜日に関すること	145件
長期休暇時の利用・緊急な預け先・病児保育に関すること	123件
その他学童保育に関すること	120件
小学校・PTA・学童保護者会に関すること	111件
施設及び・指導員の質に関すること	101件
公園・児童館・安全に関すること	71件
市役所への要望に関すること	60件
利用料に関すること	36件
コロナ禍関連	12件
その他	235件

第5章 調査結果から見えてきた状況と課題

1. 就学前児童保護者用アンケート結果から見えてきた状況と課題

(1) 保育ステーション利用希望の地域差

保育ステーションの利用希望について、利用頻度では地区毎のばらつきが大きい、「利用したいと思わない」と回答した割合は、本庁管内・南古谷・大東地区が4割前半と他地区と比べ低く、利用希望の高い地域と思われます。

上記3地区の内、特に南古谷地区は「事業を知らなかった」と回答した割合が64.4%と全ての地区で最も高かったため、保育ステーションの周知が必要と考えられます。

(2) 子どもが病気等で教育・保育施設を利用できなかった場合の対処方法の地域差

名細地区では「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合がやや高くなっていますが、各地区とも最も割合が高い回答は「母親が休んだ」、次いで「父親が休んだ」、3番目が「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」か「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」のいずれかになっている点で共通しています。

(3) 子どもをみてもらえる親族または友人・知人の有無と配偶者の有無

配偶者がいない保護者では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が57.1%と配偶者がいる保護者の21.2%と比べ大幅に高くなっています。また「いずれもない」についても配偶者がいないの方が、配偶者がいる人よりも低い割合となっています。

(4) 支援事業の利用実績及び利用希望の配偶者の有無による差

支援事業利用実績では、配偶者がいる保護者よりも配偶者がいない保護者の方が13事業すべてで「いいえ」と回答した割合が高くなっています。利用希望では13事業のうち「子育て支援情報メール配信」のみ、配偶者がいる保護者よりも配偶者がいない保護者の方が「はい」と回答した割合が高くなっており、利用者側の情報開示や時間的負担が少ない形の事業の方が、利用希望も高くなる可能性が考えられます。

(5) 土日・祝日・長期休暇期間の保育利用希望と親族(祖父母の協力)の有無による差

土曜日・日曜日(祝日)・夜間いずれも、祖父母が子どもをみてくれる場合の月1回以上利用を希望する割合は、友人・知人が子どもをみてくれる場合より高く、子どもをみてくれる人がいずれもない場合より低くなっています。また、日常的に子どもをみてくれる場合と緊急時・用事の際にみてくれる場合とでは大きな差はありませんでした。祖父母が子どもをみてくれる場合の、長期休暇期間の保育利用希望の割合は6割程度で、友人・知人が子どもをみてくれる場合と大きな差はないものの、子どもをみてくれる人がいずれもない場合の3割弱と比べると高くなっています。

(6) 支援事業の認知度の相談できる人の有無による差

支援事業の認知度では、相談できる人がいる保護者よりも相談できる人がいない保護者の方が13事業すべてで「いいえ」と回答した割合が高いため、相談相手が支援事業の存在・内容について情報源のひとつとなっていると考えられます。

(7) 地域の子育て環境や支援への満足度の差による市への意見

子育て環境や支援に関しての意見では現状に満足している人より、不満と感じている人の方が回答件数が多くなっており、特に「インフラ整備に関すること」「金銭的な援助に関すること」「保育所・幼稚園の質・量に関すること」で多くの意見が挙がりました。

2. 放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者用アンケート結果から見てきた状況と課題

（1）学童保育室の利用理由と地域差

学童保育室の利用理由で「安心して預けることができるから」と回答した割合についてみると、一部地域の学童保育室においてが高くなっていることがわかりました。

また、学童保育室の利用理由で「子どもが通いたいと希望したから」と回答した割合が高かった学童保育室においては、その学童保育室に何らかの魅力がある、もしくは居心地の良さがあると思われる。該当の学童保育室で実施しているグッドプラクティスを各学童保育室に共有することで、学童保育室が、子どもにとって更に良い環境になることが期待できます。

（2）学童保育室の土曜日の利用希望と保護者の状況

この希望は職種含めた就労状況等の保護者都合が、回答に影響しているのではないかとされる項目になります。「ほぼ毎週利用したい」の回答が10%超えの学童保育室は新宿学童保育室・芳野学童保育室・牛子学童保育室・高階北学童保育室・霞ヶ関学童保育室となっています。

子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無と土曜日の利用希望には大きな差が見られませんでした。しかし、6年生まで学童保育室を土曜日に利用したいと回答した割合は、「祖父母等の親族にみてもらえる」の28.9%に対して、「いずれもない」では47.0%と比較的高くなっています。

（3）学童保育室の利用時間と母親の就労状況

2時間は「正規雇用」が18.2%なのに対し、「非正規雇用（パート・アルバイト含む）」は33.3%となり、3時間は「正規雇用」が64.4%なのに対し、「非正規雇用（パート・アルバイト含む）」は48.4%となります。時間が短いほど「正規雇用」は低く、「非正規雇用（パート・アルバイト含む）」は高くなり、時間が長くなるとその逆になる傾向がみられます。

平日の利用終了時間も同様で、早い時間は「非正規雇用（パート・アルバイト含む）」が高く「正規雇用」が低く、遅い時間はその逆になる傾向がみられます。

土曜日の学童利用の希望時間について、開始時間にはあまり差異は見られませんでした。終了時間は母親の就労状況によつての差異がありました。16時では「非正規雇用」が13.5%なのに対し「正規雇用」が3.4%、また17時では「非正規雇用」が19.2%なのに対し「正規雇用」が8.5%となり、比較的「非正規雇用」が高いです。しかし18時になると逆転し、「正規雇用」が33.3%なのに対し「非正規雇用」が19.2%、19時以降では「正規雇用」が20.5%なのに対し「非正規雇用」が15.4%となり、土曜日の学童利用については「正規雇用」の方がより遅い時間まで利用したい希望がある傾向になりました。

（4）学童保育室の土曜日の利用希望と父親の就労状況

「利用する必要はない」では「正規雇用」が74.4%なのに対し「非正規雇用」が38.9%となり、逆に「ほぼ毎週利用したい」では「非正規雇用」が22.2%なのに対し「正規雇用」が4.8%となっています。父親の就労状況によつて、土曜日の学童利用希望は大きく異なる傾向が見られます。（これは父親の「就労状況」ではなく、「業種」による差異であるかもしれません。）

（5）長期休暇中の学童利用希望日数と父母の就労状況

長期休暇中の学童利用日数／週について、母親の就労状況によつての差異がありました。「正規雇用」は「5日」が70.3%で圧倒的に多いのに対し、「非正規雇用」は46.8%となり「4日」の33.7%（「正規雇用」は13.1%）や「3日」の14.1%（「正規雇用」は8.7%）もそれなりに高くなっています。長期休暇中の学童利用日数については、母親の就労状況が「正規雇用」だとより多い日数を利用している傾向があります。

長期休暇中の学童利用日数／週について、父親の就労状況として「正規雇用」「無回答」「非正規雇用」の順に多くなっており、それぞれ「5日」が60.1%、68.9%、65.7%、「4日」が22.0%、12.2%、17.1%、「3日」の11.2%、8.1%、11.4%となっています。母親の就労状況の場合と異なり、父親の就労状況にかかわらず「5日」を中心に多い日数を利用している傾向があります。

(6) 長期休暇中の学童保育室の利用時間と父母の就労状況

長期休暇中の学童利用時間／日および利用開始・終了時間について、母親の就労状況によつての差異がありました。「正規雇用」は「11時間以上」「7時」開始、「18時」終了がそれぞれ22.1%、24.0%、71.1%となっているのに対し、「非正規雇用」は6.8%、8.9%、46.4%と低くなっています。

母親の就労状況が「正規雇用」だと利用日数の場合と同様に、より多い時間利用している傾向があります。一方、長期休暇中の学童利用時間／日および利用開始・終了時間について、母親の場合と異なり父親の就労状況による大きな差異はありませんでした。

(7) 長期休暇中の学童利用希望と母親の就労状況

長期休暇中の学童利用希望について、母親の就労状況によつての差異がありました。「正規雇用」は利用日数／週「5日」、利用時間／日「11時間以上」、開始時間「7時」、終了時間「19時以降」がそれぞれ60.5%、38.6%、27.4%、28.3%となっているのに対し、「非正規雇用」は45.1%、14.1%、10.3%、10.6%と低くなっています。

母親の就労状況が「正規雇用」だと実際利用の場合と同様に、より多くの日数・時間、より遅くの時間まで利用を希望している傾向があります。

(8) 病気の子どもへの対処方法及び希望の配偶者の有無による差

子どもが病気やけがの場合の対処方法について、配偶者の有無による差異がありました。「配偶者がいる」場合は「父親が休んだ」と「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」割合がそれぞれ43.0%、18.9%となっているのに対し、「配偶者がいない」場合の割合はそれぞれ7.9%、29.4%と大きく異なります。

(9) 病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由の配偶者の有無による差

病児・病後児の保育事業を利用したいと思わない理由について、配偶者の有無による差異がありました。「配偶者がいる」場合は「利用料がかかる・高い」の回答割合が29.2%となっているのに対し、「配偶者がいない」場合は42.9%と大きく異なります。

また「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の回答割合は、配偶者がいない方が低い結果になっていることから、ひとり親世帯の収入が少ないことが利用希望の低さにつながっている可能性が考えられます。

(10) 地域の子育て環境や支援への満足度の差による市への意見

子育て環境や支援に関しての意見では現状に満足している人より、不満と感じている人の方が件数が多くなっており、特に「開設時間・開設曜日に関すること」「長期休暇時の利用・緊急な預け先・病児保育に関すること」「小学校・PTA・学童保護者会に関すること」で多くの意見が挙がりました。

